

圍大ニ失シテ會員ノミヲシテ其事務ニ執掌セシメ難キトキハ之レカタメニ有給者ヲ採用スルモ尙ホ可ナリ  
爲メニ生スル利益ハ優ニ爲メニ支出スル費用ヲ償フテ餘アルヘク斯ノ如キ費用ハ適度ノ範圍ヲ逸セサル限  
リ敢テ憂フルニ足ラサルナリ

### 第四章 公共的救貧事業ト個人的慈善事業トノ連絡

#### 第一節 連絡ノ必要

單ニ慈善心ノ發動ニ因リテ慈善ヲナスモノハ他日其効果ノ豫想ノ如クナラサルヲ自覺スル機アルヘシ即チ  
救助者ノ慈善心及ヒ被救助ヲ以テスル充分ナル救助カ貧ヲ裝フ寡婦ニ對シテ果シテ如何ナル効用ヲ有スル  
ヤヲ慈善者ニ覺ラシメンカ爲メ無名ノ書ヲ送リテ被救助者カ救助ヲ受クルヲ自負シ且アラユル手段方法ヲ  
以テ救助者ノ慈善心ヲ利用セントスルヲ慈善者ニ告ケテ其猛省ヲ促ス美望的傍觀者アリ又々慈善者自ラモ  
偶々知友トノ會談ニ依リテ種々ナル口實ノ下ニ或ル階級ノ慈善心ヲ利用シ諸方ヨリ救助ヲ得タルモノアル  
ヘキ事實ヲ知リ一層些細ナル詮索ヲ遂ケ誤信者ノ自己ノミナラスシテ巨多ノ個人及ヒ協會モ同一奸策ノ犠  
牲トナリタルコトヲ發見スルコトアリ茲ニ於テカ或ハ憤慨ノ極爾後一切ノ慈善事業ヲ廢止シ眞ノ貧者ヲシ  
テ自己ノ不明ヲ償ハシムルモノアリ或ハ依然何等ノ思慮ナクシテ事業ヲ繼續スルモノアリ或ハ後來斯ノ如  
キ惡行ニ對抗シ得ヘキ方法ヲ講スルモノアリ然レトモ斯ノ如キ場合ニ於テハ單ニ將來自ラ一層ノ注意ヲ加  
ヘ詮索ヲ厚クスルノミヲ以テ足レリトセス既ニ他人ハ如何ナル救助ヲナシタルヤ且ツ如何ニセハ眞ニ困難  
ノ存スル場合ニ自己ノ救助ト他人ノ助救ト相呼應シテ互ニ實効ヲ奏シ得ヘキヤヲ究ムヘキナリ

余ハ前章ニ於テ生活關係ノ多種ナルカタメ博愛事業モ亦多種ナラサルヘカラストセリ然レトモ茲ニ又救貧  
事業ノ實行上殆ント當然存在スヘキ制限アリ即多種ノ事業カ秩序ナク集合輻輳シテ相互間ノ連絡ナリ甲ノ  
爲ス所乙之レヲ知ラサル如キコトナリ各事業間ニ聯絡ヲ維持シ秩序ノ共同動作ノ途ヲ講スルニアリ然レト  
モ此主義ハ實演サル、コト頗ル稀ニシテ殆ント凡テノ慈善事業ハ(殊ニ大都市ニ於テハ)秩序ノ共同動作ヲ  
缺如セリ最大ノ弊害二三ヲ指摘センニ元來公共的救貧事業ト個人的博愛事業トハ互ニ信頼セサルヘカラサ  
ルモノナレトモ實際ノ事情ハ全ク之ニ反スルモノアリ人若シ救ヲ個人的博愛機關ニ求メンカ往々左ノ如キ  
答ヲ耳ニスヘシ(ソハ余等ノ關與スル所ニアラス請フ市ニ向ツテ之ヲ求メヨ)而シテ公共的救貧機關ニ依  
賴センカ又往々(某協會ニ依頼セヨ)トノ答ヲ得ン而モ市若クハ協會ノ果シテ救助スルヤ否ヤハ確保スルモ  
ノナシ之ニ反シテ同一事件ニ關シテ公共的救貧機關私設協會宗教的機關等巨多ノ救貧機關カ同時ニ救助ノ  
勞ヲ取リテ而モ互ニ自己以外ニ救助者アルヲ知ラサルコト又尠シトセス斯ノ如キ場合ニ於テハ固ヨリ救助  
ニ缺クルコトナキモ過剩ノ救助ハ反ツテ有害ナル効果ヲ有シ爲メニ破廉耻漢ハ榮ヘテ正義者ハ衰減セン  
識者ノ認識スル此弊ヲ除カンカ爲メ從來案出スル主義三個アリ其一ハ官廳ノ力ヲ以テ個人ニ博愛事業ヲ禁  
止セントスルニアリ余輩ハ之カ評論ニ多言ヲ費ヤスヲ欲セス蓋シ斯ノ如キハ机上ノ愚論ニシテ任意の博愛  
事業ノ精神及ヒ價值ヲ誤認スルモノタリ未タ眞面目ニ之カ實行ヲ講究スルモノナシ之ニ反シテ殊ニ羅馬人  
種國ニアリテハ公共的救貧制度存在セサルヲ以テ公共的救貧制度ヲ廢止セントスル論ハ前者ニ比シ大ニ眞  
面目ナレトモ佛國ニ於テモ亦タ純然タル個人的組織ナラスシテ資力ヲ有シ最モ有力ナル寺院及ヒ宗教的救

貧事業ノ存スルノミナラス各縣ニ於ケル兒童養育精神病者保護并ニ近時創立サレタル市町村ニ於ケル疾病者保護ニ關スル設備ハ公共的の制度タリ勿論公共的の救貧事業ヲ經營セル個人ハ之ニ不當ノ任ヲ負ハシメントスル傾向アリ爲メニ斯業ノ上ニ不良ノ結果ヲ來スナキニアラサレトモ或種類ノ救貧事業ニ在リテハ個人的の博愛事業ノ力其任ニ堪ヘサルヲ以テ公共的の救貧制度ニ據ラサルヲ得ス隨ツテ佛國及「エルザス、ロートリンゲン」ニ在リテモ亦タ多數斯道ノ有識者ハ同一ノ理由ニ依リテ公共的の救貧制度ノ採用ヲ主張セリ蓋シ眞ノ貧困者ニ限り而モ其必需ヲ限度トシテ救助スヘシトノ原則ノ實行ハ任意的の博愛事業ニ於ケルカ如ク不確定ナラシムヘカラサレハ此主義モ亦タ採用スヘカラサルナリ

第三ノ主義ハ公共的の救貧制度モ個人的の博愛主義モ共ニ維持シテ各自ノ動作範圍ヲ限定シ且ツ相互ノ間ニ確固タル聯絡ヲ開始セントス換言スレハ公共的の救貧事業ト任意的の博愛事業及其個々ノ部分トノ間ニ秩序的聯絡ヲ組織セントス而シテ此主義ニ依レハ公共的の救貧事業ノ任務ハ主トシテ貧困者ニ必要ニシテ缺クヘカラサル救助ヲ支フルニアリ任意的の博愛事業ハ主トシテ有益の及ヒ可<sup>ウニシユツ</sup>望的の救助ヲ與フルヲ期スヘク且ツ金力智力等ニ關スル兩者相互ノ能力モ斟酌セサルヘカラサルナリ

高尚ナル意味ニ於ケル博愛事業トハ既ニ屢々絮說シタル如ク一般ノ救貧事業及ヒ慈善事業ノ範圍内ニ於ケル總テノ行爲ヲ意味シ公共的の救貧事業上ノ救助ト任意的の博愛事業上ノ救助トノ間其外觀ニ於テ毫モ差異ナク兩者ノ差異ハ寧ロ行爲ノ内部的原因ニ於テ存スルヲ見ル即チ一方ノ行爲ハ法律ノ規定スル義務ニ起因スルモ他方ノ行爲ハ慈善心ノ發動ニ基ク全然ノ自由ニ胚胎セリ而シテ又前章ノ初メニ於テ詳述シタル如ク彼

此從來ノ範圍ノ大小等モ斟酌スヘク相互ノ行爲ノ和合ハ最モ緊要ナリトス世人或ハ公共的の救貧事業ヲ以テ慈善的人情ノ右手トナシ任意ノ博愛事業ヲ以テ其左手トナセトモ事業ノ成功ヲ期セントセハ右手ノ爲ス所ハ左手ノヲ知ルヲ要シ交互事情ノ通曉即チ兩事業和合一致ヲ標榜スル此ノ第三主義ハ巨多實驗ノ指示スルトコロニシテ救貧事業ノ關係上必要缺クヘカラサルモノナリ然リ而シテ學者ハ往々中央集權ヲ欲スル傾向アリ換言スレハ總テノ博愛事業ヲ一手ニ集注管理セントスル傾向アレトモ斯ノ如キ主義ノ實行ハ即チ總テノ任意的の博愛事業ノ撲滅ニ外ナラサルナリ蓋シ不羈獨立ハ任意的の博愛事業ノ特性ニシテ強制ハ其耐ヘ能ハサル所ナルノミナラス又毫モ實効ナシ何トナレハ任意的の博愛事業ハ既ニ着手シタル事業モ其意ニ適セサルトキハ隨意ニ之ヲ放棄シ得ルヲ以テナリ(斯ノ如キハ公共的の救貧事業ニアリテハ不能事ニ屬ス)任意的の博愛事業上ノ救助ハ一定ノ事項又ハ一定ノ人若クハ一定ノ階級ヲ目的トスルモノナレハ中央管理所アリテ鞅掌スヘキ事項及ヒ救助者ヲ指示シ其目的トスル事業ノ實行及ヒ被救助者ノ選擇ヲ制肘セハ遂ニ全然其効用ヲ失セン任意的の慈善事業ハ此特性ニ依リテ又或ル場合ニハ公共的の事業并ニ中央管理所ノ支出シ能ハサル財力ヲ據出シ得ヘケレトモ之ニ反シテ中央集權ハ個人的の助力力ヲ不充分ナルニ拘ハラス之ヲ増加セスシテ反ツテ減少スルノ弊ナキニアラス故ニ余ハ茲ニ再ヒ中央集權ノ否ニシテ秩序立チタル連絡ノ必要ナルコトヲ主張セントス

## 第二節 連絡ノ方法

秩序立チタル連絡ノ方法ハ種々アリト雖モ其實在シ若クハ吾人ノ希望スル方法ハ之レヲ二種ニ大別スルヲ

得ヘシ即チ報告及意見ノ交換是レナリ而シテ報告ハ更ラニ被救助者ノ身分ニ關スルモノ及慈善制度ニ關スルモノニ別レ意見ノ交換ハ又タ更ニ諸種制度ノ管理上交互ノ代理及ヒ共同救助若クハ慈善事業ノ目的ニ關スル協議ニ別カタル(甲)被救助者ニ關スル報告 小都市若クハ村落ニアリテハ住家ノ距離遠カラス住民屢々往來シ交際親密ニシテ事情ニ通スルヲ以テ被救助者ノ既ニ他一人ヨリ救助サル、ヤ否ヤ又タ救助方法ノ如何ヲ容易ニ詮索シ得レトモ關係複雜ナルニ及ンテ詮索益々困難トナリ而モ大都市ニ在リテハ往々不能ノ事ニ屬スルヲ以テ各救助者ヲシテ自己ノナシタル救助ヲ報告セシメテ之ヲ希望者ニ傳達スヘキ機關ノ必要ヲ生ス而シテ此機關ノ作用ニ依リテ諸方面ヲ報告當ニ輻輳セハ何人カ救助ヲ受クルヤ將タ救助方法如何ナルヤ尙ホ更ニ救助スヘキ必要アリヤ否ヤ果シテ必要アリトセハ如何ナル點ニ付キテ救助ヲ要スルヤ否ヤ等ヲ知ルヲ得テ救助ノ重複又ハ過剩等ハ全ク其痕ヲ絶ツニ至ラン蓋シ此考案ハ頗ル簡短ニシテ自然ノ必要ニ胚胎シ之レカ實行ヲ企ツル都市ノ數亦タ尠トセス巨多ノ救貧官廳カ公共的救助ニ關スル個人ノ照會ニ對シテ回答ヲナスカ如キハ即簡短ナル形ニ於ケル此制度ノ實地ニ外ナラス「キール」「ドルトムント」「ハンノーフ」「エルバーフェルト」等多數ノ都市ニ於テハ公共的救貧官廳ハ二三ノ大協會ト氣派ヲ通シテ救助ニ關スル報告ヲ交換セリ「ダンチヒ」ニ在リテハ巨多ノ協會ト連絡ヲ有スル救助協會ハ此機關ヲ組織シ市役所ハ寄附財團ヨリ救助ヲ受クルモノ、名簿ヲ調製シテ寄附財團管理人ノ質問ニ備フ漢堡ニアリテハ千八百七十年ノ法律ニ從ヒ寄附財團管理人ハ救助事件ヲ慈善的寄附財團監督官廳ニ報告スヘク監督官廳ハ獲タル報告ヲ帳簿ニ登錄シテ寄附財團管理人ノ質問ニ備ヘ此帳簿ニハ毎年約四萬五千件ノ登錄アレトモ殆ント全ク利用

スルモノナシ此制度ニ模倣シ千八百九十五年ニ於テハ更ラニ公共的救貧事業ノ管理ト密着ナル關係ヲ以テ公共的救貧事業及ヒ寄附財團ノ取扱ニ係ル救助事件ノ報告機關ヲ設立セリ然レトモ這般機關ノ創立ニ際シテハ個人的慈善事業ヲ悉ク網羅シテ之レヲ一致協裁セシメ難ケレハ(此點ニ關シテ下ニ述フルトコロアルヘシ)他ノ慈善事業ノ協和ヲ求メサリキ然ルニ該機關ノ設立後幾許モナクシテ救貧官廳ノ有スル記録ハ個人的慈善事業ニ關シテモ亦大ナル價值ヲ有シ且ツ救貧官廳ハ直接個人的慈善事業ノ保護ナクトモ事實上汎ナル報告ヲナシ得ルニ至リ此新制度ハ著シク世人ノ注意ヲ惹キ此機關ノ利用ハ暫時ニシテ頻繁トナリ既ニ設立後九ケ月間ニナシタル報告ノ數三千五百件ニ達シ千八百九十六年ニハ其數増シテ六千五百件トナリ内一個人ノ請求ニ繫ルモノ二千二百七十六件協會ノ請求ニ繫ルモノ千四百一十一件寄附財團ノ請求ニ繫ルモノ千七百九十七件官廳ノ請求ニ繫ルモノ八百八十五件ナリトス又タ頃者伯林ノ救貧官廳ノ設立シタル類似ノ機關ハ千八百九十六年ニ於テ二千九百五十六件ノ報告ヲ取扱ヘリ獨逸救貧慈善協會ハ千八百九十一年ノ大會ニ於テ此機關設置ノ可否ヲ詳細ニ討議シ爾來此機關ハ大ニ贊成者ヲ増シタレトモ多クハ之レカ設備ヲ單ニ公共的救貧事業ノ專屬事業トセス可成一般ニ各種ノ個人的慈善事業ヲ誘引シテ之レニ加盟セシメントセリ即チ「ドレーズデン」「シユトラスブルヒ」「ボーゼン」「コルマー」「ギョルリツク」其他巨多ノ都市ニ於テ然リ頃者伯林ニアリテハ前記救貧官廳ノ經營スル機關ノ外個人的慈善事業ノ區別報告政度ノ實施セントシ數月來小區域内ニアラサレハ救助ノ有効ナラサルヲ洞察シ(各種個人的慈善事業ノ代表者ハ)定期連合會ヲ設ケ自己ノ區域内ニ於ケル貧困者ニ關スル意見ヲ交換セリ即チ各代表者ハ每會前ニ自己ノ會ニ對シテ救助

ヲ請ヒタルモノ、名簿ヲ持參シテ之レヲ連合會ノ人名簿ニ記入セシメ尙ホ必要ニ應ジテ當該被救助者ニ關スル意見ヲ吐露スヘキモノトス其目的トスルトコロハ當ニ救助ノ過剩ヲ防止スルノミナラス共同救助ノ範圍ヲ擴張セントスルニアル貧困者ヨリ救助ヲ請求サル、カ如キ偶然ノ事實ニ由リテ救助者ヲ定メス協會ノ性質其資力等ニ鑑ミ或ハ一協會ヲシテ其目的トスル救助ニ關シテハ數件ヲ負擔セシメ或ハ二個若クハ數個ノ協會ヲシテ分擔セシム伯林及ヒ漢堡ノ猶太教徒慈善協會同盟團ハ此種ノ組織ニシテ同盟協會ハ交互報告ノ義務アリ(一般猶太教徒慈善事業ノ秩序正シキコトハ注意スヘキ特所ナリ)報告機關ノ運用上場所ノ大サニ從ヒ増加スヘキニ大困難アリ即チ通知ノ不確實ナルコト及ヒ巨多ノ個人的慈善協會ノ因循ナルコト之レナリ被救助者ノ姓名ヲ報知スルカ如キハ一見甚タ簡ナルカ如シト雖モ其實行ニハ二個ノ困難ノ隨伴スルアリ其一ツハ技術的困難ニシテ被救助者ノ住居、姓名、家族關係救助ノ方法、金額、期間等ニ關シ正確ナル通知ヲ得ルコト難ク殊ニ大都市ニ在リテハ同一ノ姓名尠カラス今日與ヘラル、救助モ或ハ明日停止サル、コトアリ家族關係ニ至リテモ死亡疾病家族ノ移動勞働上收入ノ多寡等ニ依リテ絶ヘス變動スルヲ以テ一定ノ用紙ヲ調製シ之レニ所要ノ事項ヲ記入セシムルニアラサレハ信ヲ置クニ足ルヘキ記録ヲ作製スルヲ得ス而メ此機關ヲ設ケントスルニハ土地ノ廣狹ニ應シ相當ノ素養アル役員ヲ擧ケテ記錄事務ヲ掌ラシムヘク總テノ關係者ノ通知ハ常ニ可出來限リ敏捷確實ナラサルヘカラス且ツ公共的救貧官廳ノ協力モ緊要ナリトス之レニ反シテ内部ノ困難ハ個人的慈善事業ノ慈惠ニ側面ノ缺點ヲ有スルニアリ即チ善側面ニ就キテ見レハ眞ノ慈善者ニアリテハ其行爲ハ人間慈愛ノ情ニ湧出シ敢テ之レヲ世間ニ吹聴シ又タハ被救助者ノ姓名ヲ世

間ニ披露シテ之レヲ辱カシムルヲ欲セス惡側面ニ就キテ云ヘハ巨多ノ私人并ニ協會ハ自己ノ獨立ノ喪失スルヲ畏レテ凡テ共同事業ニ反抗セントスル傾向アリ特ニ宗教的協會カ公共的救貧事業ニ對スル關係ニ於テ然リトス而モ其反抗ハ頗ル抑制シ難キモノアリ吾人ノ屢々觀察スル實際上ノ事情ニ依レハ此種ノ機關ヲ設置セントスルニ當ツテハ實驗上當該慈善協會寄附財團等ノ悉ク加入賛成ヲ表スルヲ俟タンヨリハ寧ロ有力ナル二三協會ノ贊同ヲ得ハ直チニ事業ニ着手スルノ優レルモノアリ機關ノ設備恰適ナランカ最初加入ヲ拒ミタルモノモ遂ニ自ラ新ニ詮索セサルヘカラサル事項モ此機關ヲ利用セハ迅速確實ニ探知シ得ヘキヲ曉リ自ラ進ンテ加入ヲ希望スルニ至ラン且ツ救貧官廳及ヒ主要ノ協會ニシテ同盟セハ或ハ幾分ノ施設上ノ缺典アリトスルモ敢ヘテ甚タシキ不便利ヲ感スルコトナリ個々ノ場合ニ於ケル詮索ニ依リテ之レヲ補ヒ得ヘク而モ個々ノ場合ニ於ケル詮索秩序立チタル救貧事業并ニ博愛事業ニ在リテハ當然缺如スヘカラサルモノタリ

(ロ) 慈善制度ニ關スル報告 被救助者ノ身上取調ヲ有効ナラシメント欲セハ其救助ノタメニ存スル慈善制度ノ報告ヲ必要トス此報告ハ慈善事業ヲ敏活ニシ兼テ又公共的及ヒ個人的慈善事業ノ異ナリタル各方面ヲ互ニ聯絡疏通スルニ缺クヘカラサル手段ナリ其主タル目的ハ救助ヲ求ムル者及ヒ慈善ヲ施サントスル者ヲシテ如何ナル方法及ヒ制度存スルカ將タ其希望ヲ達スルタメ何人ノ許ニ到ルヲ要スルカヲ知ラシムルニアリ大都市多數ノ人民ハ公共的救貧事業ノ存在ヲ漠然想知セサルニアラスト雖モ果シテ何人カ之レヲ行フカ如何ナル機關ニ由テ實行セラル、カ如何ナル者ニ施與セラル、カニ至テハ彼等之ヲ詳ニセサル

ナリ秩序ナキ慈善事業ノ第一ノ缺點ハ施與者ニ於テ已レ直チニ請救者ヲ救助スルニアラスンハ彼レ餓死スルナラント安信スルニアリ多少秩序アル公共的救貧制度行ハル、ニ於テハ斯ル誤信ヲ全然排除スルヲ得ヘキナリ然ルニ私財ヲ慈善事業ニ投セントスル一般人民ハ其翹望スル慈善事業ニ從事スル團體ノ存立ヲ知ラス殊ニ況ヤ或種ノ貧困者又ハ盲目者聾啞者等ノ如キ不具者ニ對スル制度ノ存在ヲ知ラサルナリ故ニ一定ノ方法ヲ設ケテ之ヲ告知スルハ實ニ有益ナルノミナラス實ニ必要ノコトナリトス是レ其制度ノ如何及ヒ之ヲ利用スルニ如何ナル條件ヲ要スルカヲ一定ノ場所ニ就キ迅速精確ニ知ルヲ得ル如クスルノ要アル所以ナリ而メ此等ノ點ハ世人ヲ以テ慈善制度ノ存在ヲ知ルモノト誤信スル公共的救貧官廳ニ就テ或ハ又斯業ニ從事スル個人ニ問フテ之ヲ知り得サルニアラサレトモ事件ノ廣汎ナルニ於テハ徒ラニ時間ト勞力ヲ費スノミニシテ而モ必ラスシモ確定ノ結果ヲ得ルノ望ミナキナリ然リ而メ之ニ代ユル確實ナル調査方法ハ慈善的施設ノ目錄ナリトス這般ノ目錄ハ實際多數ノ大都市ニ存在スレトモ多クハ公衆ノ注目達セサル市行政報告ニ登載スルニ過キス而シテ或ハ市街の寄附財團ニ止マリ或ハ一般ノ寄附財團ニ涉リ或ハ只個人の協會ノミニ止マルモノアリ然レトモ又甚タ完備ノモノナキニアラス例ヘハ「ドレーズデン」ノ報告ハ各般ノ個人の慈善事業及ヒ其支出ヲ證明セリ又寄附財團ノ特別目錄ヲ官ニテ出版スル都市アリ例ヘハ伯林「ハンブルヒ」「シエウツトガルト」「リユーベック」ノ如キ是レナリ但シ此等ノ目錄ハA B C順ニ編纂シ個々ノ寄附財團ニ就テ詳記スルナリ汎ク其目的ヲ述フルニ過キサルヲ以テ實用上ノ價值甚大ナラス且系統的ニ編纂セサルカユヘ其使用困難ナリ之ヲ要スルニ系統的ニ編纂シタルモノハ頗ル稀ナリ

トス頃日「ボートセン」市廳ハ模範冊ヲ出版ニ該市ノアラユル慈善制度ヲ適當ニ排列網羅シ一々其特種ノ目的救助ヲ得ルタメニ到ルヘキ場所等ヲ記載セリ其排列法ハ人身ノ狀態ニ則幼年者ニ對スル制度ニ始マリ青年壯者病者不具者ニ對スル制度ニ及ホシ貧困豫防制度ニ終リ公衆衛生及ヒ國民圖書館ニ關スル附録ヲ添附セリ又倫理協會報告部ノ發兌ニ係ル伯林慈善制度案内ハ斯界ニ於ケル顯著ノ一現象ト謂ツヘク其所言ニ由レハ本書ノ目的ハ慈善ヲ施サントスル者ヲシテ其救助目的ニ合致スル團體ノ所在ヲ知ラシメントスルニアリ全體ノ材料ヲ系統的ニ配置シ寄附財團及遺囑財產ヲ先ニシ次ニ各宗派ノ經營ニ係ルモノヲ述ヘ最後ニ爾余ノ制度ニ及ホセリ而シテ掲載ノ各制度ニ番號ヲ付シ此番號ハ全冊子ヲ通シテ一貫ス是レ甚タ實用ニ適スルノ考案ナリ且頗ル注意シテ編纂セル索引ヲ附シ各事項ヲ迅速ニ搜索檢出スルノ便ニ供セリ本書ニハ慈善制度其者、其範圍、目的及ヒ之ヲ利用スルニ當ツテ訪問スヘキ事務所ヲ記載ス其系統的順序ハ非難スヘキ點往々ナキニアラスト雖モ以テ全體ノ價值ヲ輕重スルニ足ラス實ニ伯林ノ公衆ハ是ニ由テ慈善事業及ヒ夫ノ所謂慈善事業ノ小部分ニ屬スル制度一千以上ヲ迅速且精確ニ知ルノ便ヲ得タリシナリ

新ナル需要ニ相應スル這般ノ案内書ハ從來只外國ニ於テ見ルヲ得タリ先ツ第一ニ屈指スヘキハ數年來年々新ニ出版セラル、倫敦慈善事業大目錄及ヒ一覽書其他亞米利加各大都市ノ出版ニ係ル案内書ニシテ殊ニ「ポストン」府印行ノ目錄ハ排列ノ井然タルヲ以テ著名ナリ巴里ノ中央慈善協會ノ出版ニ繫ル慈善事業報告モ亦是ニ屬ス

(ハ) 共同及ヒ意見交換 前段述ヘタル報告ノ必要ト相待テ復タ共同行爲ノ要ヲ生ス是レ各個人ニ代テ被救

助者ノ状態ヲ調査シ又必要ニ際シテハ其扶助ノ任ニ當ルヘキ中央協會ノ設立ヲ見ルニ至リタル所以ナリ  
被救助者ノ状態ヲ知悉スルニ及ハス其門戸ニ於テ將タ街道ニ於テ或ハ哀願書面ニ基キ郵便ヲ以テ施與ス  
ルノ徒ラニ弊害ヲ醸生スルニ過キサル所以ヲ漸ヤク解得シ(所謂慈善家ナル者ハ多數ハ此ノ如キ見界ヲ  
有セサルヲ常トス)而カモ自身其實況ノ穿鑿ニ從事スルノ時間ヲ有セス或ハ之ヲ欲セス己レニ代テ其調  
査ニ從事スルモノアランコトヲ希望スル者往々アリ此等ノ希望ニ因リ多數ノ都市ニ於テハ所謂乞丐撲滅  
協會一般慈善協會等ノ設立ヲ見ルニ至レリ而シテ是等ノ會員ハ協會ニ補助金ヲ拂込ミ協會員タルコトヲ  
表章スヘキ徽號ヲ受ケ之ヲ門戸ニ打付ケ不知案内ノ乞丐來ルアレハ指示シテ協會ニ到ラシム伯林救貧  
協會「ドレーステン」貧困救濟會「ドルトムント」慈善協會「ポツフウーム」乞丐排除協會「ケムニツク」救  
助協會「フランクフルト」救貧協會「ハンノーファー」有志救貧協會小市ナルニ拘ハラス甚タ敏活有益ナル  
「ジーゲン」ノ貧民救助協會等ノ如キ即チ此種ニ屬スルモノトス此等ノ協會ハ大抵其設立ノ初メニ在テハ  
其後チヨリ寧ロ功績ノ見ルヘキモノアリキ協會多數ノ報告ニ徵スルニ其設立後若干ナラスシテ會員及ヒ  
補助金ノ減少ヲ訴ヘサルナシ是レハ施與ニ關シ市民ノ無思慮ナルニ由ルト雖モ多クハ亦タ協會ノ熱心  
漸ク冷却スルニ由ラスンハアラス要スルニ這般ノ協會ハ實際甚タ必要ナルヲ以テ市民宜シク更ニ奮起シ  
テ再興スルカ或ハ報告部ノ設置ト相俟テ一新セサルヘカラス

此協會ト報告部トノ中間ニ存スル制度アリ即チ其通常ノ事業ノ傍ラ富者ノタメ一種ノ私屬代理者トシテ行

動スルモノ是レナリ此等富者ハ一般會費金ヲ拂込ムノ外救助ノ目的ニ供シタルモノニシテ自ラ適當ニ使用  
シ能ハサル金額ヲ其代理人の制度ニ交附ス伯林倫理協會報告部ハ其顯著ナル試驗ヲ爲セリ即チ該部ニ就テ  
憐ミヲ請フモノアレハ言行共ニ之ヲ扶助シ其取扱ヒタル事件ヲ帳簿ニ記入シ問者アレハ是レニ基テ回答シ  
尙ホ其他前記慈善家ノ多數ト聯絡シテ其機關トナル「ライプチヒ」ニ於テハ三年前教會ノ救貧團體等博愛事  
業ニ從事スルノ目的ヲ以テ中央報告部ヲ設置セリ該部ハ一定ノ豫習ヲ終リタル男女ノ救貧事務員ヲシテ窮  
民ノ状態ヲ仔細ニ視察セシメ可成の迅速ニ意見ヲ添ヘテ之ヲ慈善者ニ通告シ又望ニ由リ直接ニ施物ヲ給與  
スルニ努ム此等ノ救貧團體ハ公共的救貧事業或ハ寺院救貧事業ト親密ニ交通ス就中最モ包括的ニシテ其組  
織完全ナルハ倫敦ノ慈善組合巴里ノ中オツフェイス、サントラル、セロワル央慈善協會ニシテ亞米利加ノ慈善組合モ亦深ク此點ニ注意  
ス即チ「ポストン」府ノ慈善組合ハ毎年廣告書ヲ發シテ自ラ未知ノ乞丐ニ施物ヲ給與セス組織のナル個人的  
慈善組合ヲ利用シ又ハ之ニ加入センコトヲ汎ク公衆ニ希望セセリ本書ニ記載シタル市傳道教會ノ行爲ノ一  
半モ亦斯業ニ屬スルモノナリ

貧困者ノ身上及ヒ之ニ關スル制度ヲ秩序的ニ知悉セハ勢ヒ救助事業ニ關シ共同行爲ヲ希望スルニ至ル此共  
同行爲ハ報告部トノ聯絡ニ由テ成リ或ハ又救貧若クハ慈善事業ニ從事スルモノハ大抵同時ニ斯業ノ多數ニ  
干與スルニ由リテ成ルモノトス是レ一ハ好テ這般ノ事業ニ從事スルモノ甚タ鮮ナキヲ以テ同一人ニシテ多  
數協會ノ業ヲ執ルノ止ムヲ得サルニ至ルト又一ハ法律上此種兼務ヲ規定シタルモノアルニ由ル例ヘハ南獨  
逸各聯邦ノ法律ハ地方僧侶及ヒ郡醫ハ救貧評議會ニ屬スヘキコトヲ定ム普魯西ニ於テハ斯ル規程存セスト

雖モ實際上往々這般ノ關與ヲ見ル例ヘハ舊教信者多キ「ミイユンスタ」ニ於テ四名ノ舊教僧侶カ救貧官廳ノ列員ナル如キ是レナリ又「バーナウ」ニ於テハ宗教組合及ヒ寄附財團ノ代表者八名「フランクフルト」ニ於テハ大慈善協會ノ代表者五名救貧官廳ノ役員タリ之ニ反シテ巨多ノ寄附財團ニ在リテハ定款ヲ以テ市ノ行政機關ノ代表者カ監督機關タルヘキコトヲ規定セリ又私設協會ニシテ同様ノ規定ヲ存スルモノアリ「ハンノーファー」「ドルトムント」「ブレスラウ」ニ於テハ救貧官廳ノ長官ハ實際又地方慈善協會長ナリトス又婦人協會ト救貧事業ノ間ニ聯絡ヲ通スルモノ往々アリ夫ノ救貧區域カ密ニ市區ノ分割ニ隨伴スル「エルバーフェルト」及ヒ「クレーフフェルト」ノ如キ是レナリ「ブレスラウ」ハ近時大ニ注意シテ此關係ニ就テ規定スル所アリ

各團體ハ屢々會合シテ一般ニ地方救貧事業及ヒ慈善事業ノ狀態ニ就キ互ニ意見ヲ交換シ又其救助ヲ有力ナラシムヘキ方法ヲ定メント努ム之カ摸範タルヘキハ「ドレーズデン」ノ會合ナリトス該會ハ千八百八十二年當時ノ市救貧事業監督者ノ指揮ノ下ニ多數個人的救貧事業ノ代表者ヲ會合シ其共同行爲ノ原則ヲ議定セリ而シテ同盟ノ目的ハ常習的乞丐ヲ撲滅シ一般ノ困難ニ際シテ共同救助ヲナスニアリ又タ前顯ノ報告ニ關シテ規定スル所アリキ之レニ由リテ救貧問題ノ經驗及ヒ思想ヲ交換スルタメ一ノ團體ヲ生スルニ至リシカ自今此團體ノ救貧及ヒ慈善事業ニ致シタルノ功ハ尠ナカラサリシナリ「ドレーズデン」ノ摸範ニ倣ヒ「ボーゼン」ニ於テモ亦同様ノ企圖ヲ爲シ公共的及ヒ個人的救貧事業ノ各機關商議ノ結果共同行爲ノ原則ヲ立テ其第一條ニ市救貧官廳ハ「ボーゼン」市ノ貧者及ヒ欠乏者救助ヲ任トスル協會團體施設及ヒ寄附財團ト合シテ

一ノ聯合團ヲ組織スルコトヲ定メ總會及ヒ市委員會ヲ以テ其機關トセリ又「ブランデンブルヒ」ニ於テモ全然之ト趣ヲ均フシ救貧官廳ト公共的救貧事業ニ從事スル團體殊ニ婦人協會副牧師協會及ヒ寺院の救貧協會ト相合シ聯合團體ヲ組織シ部長及ヒ總長ヲ置イテ其機關タラシム而シテ市ヲ三部ニ區劃シ是ニ個人的慈善事業ノ市部ノ代表者及ヒ其他各種ノ部類ノ代表者ヲ適當ニ配置セリ然リ而シテ當市ニ於テモ報告部ノ設立ハ聯合團體ノ設立ト相待チシナリ「シユテッテイーン」ノ救貧協會ハ其設立ニ當リ殊ニ一般ノ注意ヲ惹ケリ其設立者タル「シユテヤンベヤヒ」市長婦人ハ各協會個々孤立ノ害ヲ認メ中央團體ノ設立ヲ獎勵シ從來ノ團體ヲシテ或ハ全ク之ト合併シ或ハ以前ノ獨立ヲ存シテ之ト聯合セシメタリ中央團體ノ任務ハ二様ニ分レ其團體自身ノ管理スルト共ニ其管内協會ノ行フ救貧事業ヲ媒介獎勵シテ之レニ干涉スルニアリ管内ニ在ル協會ノ數ハ七個ニシテ前記ノ干涉ヲ受クルノ外又全ク獨立シテ救貧事業ニ從事ス此等協會ノ限界ハ市救貧區ノ限界ト一致シ又能フ限リ教會區ト一致セシメタリ市救貧委員會長及ヒ主トシテ各區ニ於テ行働スル僧侶ハ殆ト盡ク中央團體長ニ屬スルヲ以テ該團體ハ市及ヒ寺院の救貧事業ト絶ヘス聯絡ヲ通シ且管内ニ行働スル慈善機關ト統一的關係ヲ保持スルヲ得タリ而シテ各協會區内總テ事務ヲ指揮スル任アル部長ハ毎月集會ス各區協會ニ一人ノ女性副牧師ヲ派遣シ協會内婦人會員ヲシテ其屋内救貧事業ニ關シ之レヲ補助ス「シユ」市ノ救貧事業報告ハ此組織ノ有効ナルヲ述ヘ乞丐ノ減少ハ實ニ其力ニヨルト揚言ス本團體ハ能フ限リ施物ニ代ヘテ勞働ヲ與ヘテ救助ノ目的ヲ達セント力メツ、アリ其他多數都市ノ報告ニ徵スルニ前記ノ方法ニ由リ多少ノ功績ヲ收メタリト云フ

女性救貧事務員ニ男子ト同一ノ權義ヲ與ヘ又タ義務ヲ負擔セシメテ公共的救貧事業ニ從事セシムルノ點ニ於テ他ニ先鞭ヲ着ケタル「カツセル」市ニ於テハ救貧事業ニ重ナル機關十四日毎ニ個人的慈善事業代表者中ノ重立チタル者ト會合ス(救貧婦人協會、祖國婦人協會、女副牧師協會、救貧醫會)等「シユテウツトガート」ニ於テハ地方慈善協會ノ機關ト救貧官廳トノ間ニ甚タ親密ナル聯絡ヲ通シ兩者互ニ其會議ニ出席ス又「ハルレー」ニテハ年々救貧官廳ト慈善組合ノ共同會議ヲ催開ス市或ハ市救貧官廳ヨリ慈善協會ニ補助金ヲ與ヘ市ハ之レニ由リテ協會ニ對スル一種ノ監督權ヲ行ヒ或ハ其決議ニ干與シ是レヲ以テ公私救貧事業ハ連絡ヲ通スル一方法トナスモノアリ

(二) 外國制度 外國ハ各地方協會ニ於テ救貧慈善ニ關スル事業ヲ共同セシムルニカムルヤ更ニ切ナリ前ニ記載セル倫敦ノ慈善組織ハ其目的貧民ノ運命ヲ改善スルニアルモノニシテ其宣言書ノ冒頭第一ニ慈善、事業ノ健全ナル原則及ヒ意見ノ弘布ニ就キ記載シ第二ニ慈善事業ノ共通利益ノタメ其共同ヲ獎勵シ第三ニ健全ノ原則ニ適シ且必要ナル制度ヲ賞揚シ次ニ組合ノ事業ニ關聯スル實際問題ヲ説明シ慈善事業ニ關スル報告ヲ蒐集シ之ヲ公衆ニ弘布シ最後ニ一定人ノ身分身上取調ノ報告乞丐ノ撲滅方法及ヒ個々ノ場合ニ於テ博愛事業ヲ委任セラレタル各區ノ救貧事業員等ノ保護ニ就テ記載セリ又該組合ハ月報及ヒ前記ノ慈善組合總目錄ヲ發兌シ又年報及ヒ多數ノ小冊子ヲ刊行シテ其業務ヲ補充シ以テ指示的報告的ニ公衆ニ對シテ活動ス其他之ニ類スル組織英國ノ地方的及ヒ特ニ亞米利加ニ於テ發生スルモノ巨多アリ

巴里ノ中央慈善協會ハ一層遠大ノ目的ヲ追行ス全國慈善協會間ノ聯絡ヲ疏通スルハ其目的任務ナリト標榜

ス即チ彼此相求ムルモ遭遇セサル慈善家及ヒ貧民ヲ互ニ接近セシメ關係者ニ既存制度ヲ知悉セシメ其目的施與ノ代リニ秩序的救助ヲ與ヘシムル等ハ實ニ其目的ナリト云ヘルアリ曰ク中央協會ハ全國ノ慈善事業ト共同動作ヲ爲スト審査委員及ヒ勞動周旋委員ノ外擴張委員アリ年報ニ於テハ該協會ノ事業ヲ報告ス殊ニ其一例ヲ示セハ曰ク多額ノ資金ヲ善良ノ目的ニ使用セント欲スルモ何レノ所ニ用ユヘキカラ知ラサル慈善家ニ其使用上有益ノ目的ヲ指示スルヲ得タリト而シテ該協會ハ又貧民ノ救助殊ニ其收容ノタメ外國ト通信ス其他公衆ニ慈善制度ノ價值ヲ示シ個人的博愛事業カ相續權喪失者ニ對シテ如何ナル用ヲ爲シタルカラ知ラシメ又タ併セテ其缺點ヲ證明スルノ目的ヲ以テ既存制度ニ就テ種々ノ取調ヲナセリ

(ホ) 全國中央協會 慈善事業ノ共同ヲ計リ意見ノ交換ヲ媒介スヘキ地方協會カ一地方ニ於テ於テ必要ナルカ如ク一國內或ハ數都市間ニ在テモ亦聯合組合及ヒ中央協會ヲ必要トス獨逸ニ於テ首トシテ舉クヘキハ千八百八十年以來成立シ救貧及ヒ慈善ノ重要ナル疑問ヲ説明スル爲メ年々各所ニ巡回集會スル獨逸救貧慈善協會ナリ其議事ハ豫メ之ヲ印刷物ニ附シ議事傍聽筆記ト共ニ坊間ニ販賣セリ千八百九十六年協會ハ「ドクトル、ミインスターベヒヤ」ノ編纂シタル總報告書ヲ公ニセリ其總テノ材料ハ事項ニ從テ分類指示スルヲ以テ復タ參考書タルノ性質ヲ有ス中央機關タル此協會カ都市ノ救貧事業ニ頗ル好影響ヲ與ヘ又縱令公然ナラサルモ亦タ立法ノ根據トナリシヤ蓋シ疑ヒナキノ事實ナリ要スルニ本協會ハ單ニ意見交換ノ機關タルニ止リ直接ニ實際ノ救助事業ニ從事スルコトナシ

内部的布教中央委員會中央夏期救助會、獨逸宿舍協會、獨逸救助協會聯合會獨乙勞動會中央本部及ヒ前ニ



記載シタル祖國婦人協會聯合部モ亦此種ノ組合ニ屬ス又英米兩國ニモ之ト類似ノ聯合會アリ就中亞米利加ノ國民慈善及矯風會ハ著名ノモノナリ佛國ニハ此問題ニ關シ萬國聯合會アリ常會ヲ有シ報告書及ヒ月報ヲ發行シ研究ニ從事ス但シ其行動ハ主トシテ佛國內ニ限局セラル而シテ從來「フランクフルト」「ブライセル」「アンヅルス」ニ於テハ萬國會議ヲ催開セリ之ヲ要スルニ斯業ニ關スル必要ノ問題ヲ研究シ意見及ヒ經驗ヲ交換スルノ要ヲ今ヤ正ニ種々ナル方面ヨリ生シ來リシナリ

### 第五章 救助手段

#### 第一節 貧困者ノ身上

吾人ハ外形ニ信憑スヘカラス襤褸ヲ纏ヒ涕潛々タルモ請救者ノ事情ヲ精密調査スルニアラサルヨリハ俄ニ惻隱ノ情ヲ發動スヘカラス夫レ然リト雖モ豫メ貧困者ヲ階級ニ區分シ以テ此調査ヲ容易ナラシムヘキ貧困ノ外部徵憑ナクンハアラサルナリ

其徵憑ハ左ノ如シ

性、年齢、家族的關係、健康是ナリ

是ニ由リ左ノ別ヲ生ス

性即チ男女

年齢即チ乳呑兒、未就學齡兒、就學齡兒、少年壯老年

家族的關係ハ大人ニ在リテハ未婚者、既婚者、寡者、離縁者別居者、夫ニ遺棄セラレタル婦

小兒ニ在リテハ兩親死亡セル者隻親死亡セル者、兩親ニ遺棄セラレタル者、兩親ノ知レサル者、婚出子私生兒

健康狀態ヨリ云ヘハ健康者、病者、不具者ニシテ不具者ハ又不具ノ種類ニ從ヒ病癡者、聾啞者、盲者、癩癩白痴及ヒ精神病者ニ分ツ

然リ而シテ數多ノ徵憑相待ツテ到底豫想シ能サル種々ノ關係ヲ實際上發生スルハ固ヨリナリ

斯ク大別スルハ慈善者ヲシテ請救者ニ對シテ取ルヘキ動作ヲ直チニ認知セシムルカ爲メ緊要ナリ吾人ハ扶助者ヲ失ヒタル者即チ寡婦孤兒ノ如キ或ハ一時營業不能ナル者即チ病者ノ如キ又永ク營業不能ナルモノ即チ老人虛弱者不具者ノ如キ者ニハ些ノ隔心疑念ナク之レニ接スルナリ若シ此等ノ者ニシテ他ノ救源例ヘハ所有財産、恩給、年金等ヲ有スルナカランカ敢テ詳細ノ證明ヲ要セス吾人は救助ノ必要アル者ト認ムル豈ニ不當ナランヤ之ニ反シテ勞働ニ堪ユヘキ健康者ニ在テハ大ニ趣ヲ異ニシ如何ナル特種ノ事情ニヨリ其勞力ヲ以テ自身及ヒ其家屬ヲ養育シ能ハサルヤ極メテ周到ニ穿鑿セサルヘカラス

救助ハ自助シ能ハサル者ニ與フルヲ原則トス然レトモ勞働能力アル者ノ救助ヲ全然杜絶セサルモ決シテ此原則ヲ妨ケサルナリ抑モ勞働能力ナル語ハ勞働上ノ能方詳言スレハ身體精神ノ健康ノミヲ意味スルニアラス此力ヲ使用スルノ能力ヲモ意味スルナリ若シ夫レ一般ノ勞働ノ機會ナキカ若クハ其者カ修得シタル勞働ナキカ或ハ其收入ハ以テ自身及ヒ其家族ヲ養フニ足ラサル勞働ノミ存センカ此勞働能力者ハ全部若クハ一部自助ノ途ナキモノニシテ即チ全部若クハ一部救助ヲ受クルノ要アルモノナリ果シテ缺欠スルヤ否ヤヲ定

ムルハ之ヲ各個ノ場合ニ於テ其原因タル事實上ノ條件存スルヤ否ヲ定ムルノ場合ニ於テ其原因タル事實上ノ條件存スルヤ否ヲ定ムルノ難キニ比スレハ其難易同日ノ談ニアラサルナリ外部ノ狀況ノミヲ以テ直チニ自助シ能ハサルコトヲ明ラカナラシムルニ足ルモノアリ例ヘハ元來勞働ニ堪ユル婦人ニシテ多クノ子女ヲ抱テ寡婦トナリタルトキハ或ハ其家族ノ小生計ヲ充分支フルニ足ル男子ニシテ其盲目兒ヲ病院ニ入レサルヘカラサルトキ等ノ場合ニ於テ其第一ノモノニ在テ全部ノ自助力ニ缺ケ第二ノモノニアリテハ一部ノ自助力ニ缺クルヲ認メ相當ニ之ヲ扶助スヘキハ蓋シ何人モ疑フ所ニアラサルヘシ然レトモ收益寡少ノ場合ニ在リテハ之ヲ判斷スル稍々困難ナリ此場合ニハ其修練足ラサルニ由ルカ其性質例ヘハ飲癖不都合ニ由ルカ將タ個人ノ力ニ及ハサル狀況ニ基クカヲ穿鑿セサルヘカラス例ヘハ商業航海ノ杜塞過度ノ建築投機手工業ヨリ機械工業ヘノ遷移括言スレハ經濟上又ハ工業上ノ發達狀態ニ關聯シ國民全般ノ進運ヲ阻碍スヘキ營業上ノ恐慌是ニ屬ス是等ハ實ニ自己ノ過失ニ基カサル困難ニシテ其場合ヲ認識スル容易ノ業ニアラス一攫千金ノ利ヲ得ントノ空想ヲ抱テ大都市ニ移轉シ小規模ナレトモ確實ナル營業所ヲ去リ若ハ生産ノ人爲的增加ノ如キハ社會一般ノ狀態ニ由テ個人ノ生活狀態ヲ推移セシムルモノニシテ到底救貧又ハ慈善事業ノ方法ヲ以テ改善變更シ得ヘキモノニアラス是レ範圍廣汎ナル社會及ヒ經濟問題ニ屬シ夫ノ勞銀問題ト共ニ社會問題ノ燒點タル無職業ナル大問題ヲ生出スルモノニシテ是ヲ仔細ニ觀察スルハ本書ノ論題外ナリ讀者只施物ノ給與ハ勞働ノ假僞又ハ實際ノ欠乏ニ當リ社會問題ノ解決ニ裨益スル所甚鮮ナルヲ知ラハ即チ可ナリ勞働能力アル者ニ對シテ實際救貧及ヒ慈善事業力取ルヘキ態度ニ就テハ家内救助及ヒ無職業ノ保護ヲ述フルニ當

リ更ニ論スル所アルヘキナリ

## 第二節 救手段ノ種類

吾人ハ貧困ノ意義ニ關シ愛ニ讀者ノ記憶ヲ喚起セント欲ス吾人ハ曩ニ貧困トハ必要缺クヘカラサル生活資料ノ缺乏ヲ云ヒ必要缺クヘカラストノ意義ハ人心、風俗習慣、氣候文化ノ程度及ヒ救貧者ノ財產狀態ニ關係スルモノナルコトヲ看來レリ又吾人ハ公共的救貧事業ハ生活ニ是非トモ缺クヘカラサル必需品ノ給與ニ限ラルレトモ任意的博愛事業ハ其希望の物品及有益物其他尙ホ場合ニ由リテハ贅澤品サヘ給與シ得ルモノナルコトヲ知レリ故ニ本來我生存ヲ光明ニシ改善シ美ナラシムヘキ物執レカ貧困者ノ身體上精神上或ハ道義上ノ缺乏ヲ救濟スルノ具タラサラン又小兒ヲ可成の能ク教育シ又ハ精神上ノ安慰ヲ與フル如キモ衣食住ト等シク執レカ博愛事業ノ手段タラサルモノアランヤ

救助ノ手段ヲ異ナラシムヘキ外部ノ徵憑アリ此徵憑勿論貧困ノ徵憑ニ從テ分類スルモノトス即チ健康者、病者及ヒ不具者ニ對スル救助ハ健康狀態ニ從テ區分シ小兒大人及ヒ老人ニ對スル保護ハ年齡ニ從テ區分ス又繼續的又ハ一時困貧者ニ對スル扶助ヲ繼續的及ヒ一時ノモノニ分ツ又生活必需品全部ヲ給與スルカ或ハ其一部ノ缺乏ヲ補給スルカニ從ヒ全部救助又ハ補足救助ニ分ツ又其救助ヲ與フル、貧困者ノ住居ニ於テスルモノアリ或ハ特別ナル場所ニ於テスルモノアリ其第一ノ場合ヲ在宅救助ト云ヒ第二ノ場合ヲ入場救助ト云フ又金錢救助又ハ實物救助ノ別アリ此等ハ救助ノ基礎形狀ニシテ之ヨリ種々ノ狀態ヲ生ス例ヘハ病母ヲ病院ニ收容スルト同時ニ相當ノ報酬ヲ拂テ小兒ヲ里子ニ出シ或ハ金錢ト實物トヲ併給シ或ハ家父大酒家ナ

ル家族ヲ保護スルニ實物ヲ以テスルト共ニ小兒ヲ養育院ニ收容スル等はレナリ

(イ) 一時及ヒ繼續的ノ救助 豫見スヘキ時期ニ排除シ得ヘキ貧困ノ状態ハ一時的ノモノニシテ豫見スヘキ時期ニ排除スルヲ得サルヘキ状態ハ經久的ノモノナリ其顯著ノ例ハ健康ノ復スル迄病者ヲ救助スルハ一時的ノモノニシテ老人ヲ救助スルハ繼續的ノモノナリ被救助者ノ生存間繼續スルコトナカルヘシト雖モ其終期ヲ豫定シ得サルモノハ繼續的救助ト見做スヲ常トス其主タル實例ハ兒子ヲ有スル寡婦ヲ小兒ノ經濟的獨立年齢マテ扶助シ孤兒ヲ同時期マテ收容救助スル是レナリ全快ノ希望アルモ長時日ヲ要スヘキ不具者モ亦是ニ均シ而シテ不治ノ廢疾者精神病者等ノ經久的貧困ニ屬スルハ固ヨリ疑ナシ之ヲ區別スルノ要ニアリ即チ其一ハ認許ノ形式ニ關スルモノナリ貧困ノ状態カ終身又ハ少クトモ豫定スヘカラサル時期間繼續スヘキモノニ對シテハ長期救助ノ認許ヲ與フ例ヘハ千八百九十二年マテ「ハンブルヒ」ニ於テハ總テ六十以上ノモノヲ所謂登錄貧困者トシテ取扱ヒ既ニ登錄セラレタル貧困者ニ對シテハ更ニ何等ノ調査ナク死亡マテ其救助ヲ繼續セリ伯林ニ於テハ所謂施物ノ認許ハ其時期一年ヲ限リトシ一時ノ扶助ハ只一面ニ止リ都度調査ノ上其認許ヲ與フルコト、セリ

第二ニ被救助者ニ對スル救助機關ノ動作ハ實ニ救助期間ノ長短ニ關係ス(是レ最モ必要ノ點ナリトス)經驗ニ徴スルニ終身救助ハ暫ク措キ長期機關ヲシテ被救助者トノ交通ヲ怠慢ナラシメ其事情ヲ間斷ナク審査セス單ニ認許期間救助料ヲ支給スルヲ以テ足レリトスルニ至ラシムルノ弊アリ爲メニ被救助者ハ救助ノ受領ニ慣レ改正前ノ「ハンブルヒ」ニ於ケル登錄貧困者ノ如ク一種ノ國家年金トシテ之ヲ請求シ得ルモノ、如ク

信スルニ至ル「エルバーフェルト」ノ救助主義ハ此二個ノ原因ヨリ繼續的救助ヲ全然廢止シ救貧事務員ノ救助繼續申立ニ由リ各救貧區集會ニ於テ十四日毎ニ其事件ヲ調査スルコト、セリ但シ調査ハ理窟ニ拘泥セス貧困ノ状態存スル場合ニハ敢テ多言ヲ費サスシテ救助ノ繼續ヲ認許セス然レトモ救貧事務員ハ少ナクトモ此十四日間ニ一回配下ノ状態ヲ調査セスシテ集會ニ臨席スルコトナシ「ハンブルヒ」ニ於テハ目下非常ニ高齡ナル不具者ニ對シテハ六ヶ月寡婦ニ對シテハ三ヶ月ノ期間ヲ定ム是レ蓋シ月會ニ於テハ時間缺乏ノタメ總テノ事件ヲ常ニ調査スル能ハストナス外部的理由ニ起因シ此長キ期間ヲ原則上正當ト信シタルニ因ルニアラサルナリ要スルニ養育者ニ遺棄セラレタル婦女及ヒ小兒ニ對シ始メヨリ長期救助ヲ與フルハ絶對ニ不可ナリ固ヨリ此場合ニ於テハ救貧事務員ノ間斷ナキ調査ト周到ナル注意ハ家族遺棄ノ非行ヲ防クノ効ナクンハアラサルヘカラスト雖トモ事實上長時ノ救助ヲ爲シ將タ或ル事情ノ存スル場合ニ於テハ又タ數年間救助スルモ敢テ妨ナキナリ然レトモ又他ノ場合ニ於テハ自立シ能ハサル高齡者ト雖トモ成長セル兒孫之ヲ救助シ或ハ養老年金ヲ請取ル如キ重大ノ變更ヲ生スルナシトセス同シク遺棄サレタル妻ニ在リテハ或ハ再婚シ若クハ夫ノ歸來スルコトナキニアラス

前述ノ必要アルノ外第一回ノ救助請願アルニ當リ其期間ヲ定ムルハ甚タ切要ノコトナリトス請救者ヲシテ修身貧困者ニ陷ラシムル所以ハ蓋シ往々茲ニ存ス一回ニシテ多額ヲ要スル救助例ヘハ手工器械裁縫器械材料品等ヲ給與シ又ハ特別ナル病院ニ入院セシメ若クハ多額ノ費用ヲ要スル治療ヲ加ヘシムル等ハ貧困者ヲ其窮狀ヨリ脱却セシメ之ヲシテ再ヒ自立ノ生活ヲナスヲ得セシムレトモ間斷ナキ小額ノ救助ハ其効充分ナ

ラスシテ之ヲ反覆セサルヲ得ス其結果ハ終ニ被救助者ヲシテ施與ニ慣レシムルニ至ルモノナリ故ニ一時ノ貧困モ亦任意的博愛事業ノ適當ナル目的ナレハ任意的博愛事業ハ宜シク夫ノ生活必需品ノ給與ニ限レル公共的救貧事業ト異リ此點ニ關シテ一層努力スヘキナリ殊ニ貧困豫防策ヲ講スヘク隨ツテ經久的貧困ニ陥ルヲ防遏スヘキ救助ハ大ニ之レヲ獎勵セサルヘカラス

(ロ) 開放救助及ヒ限定救助 開放救助ヲ自宅救助ト云ヒ限定救助ヲ入場救助ト稱スルヲ寧ロ明瞭ナリトス貧困者カ其救與セラレタル救助ヲ自宅ニ於テ使用シ即チ依然自家ノ主人タルカ入場シテ獨立ノ經濟ヲ止メ總テ生計ニ要スルモノハ救貧院ニ於テ受クルニ隨ヒ此別ヲ生ス此種救助方法中何レヲ優レリトスルヤニ就テハ獨立經濟ト營造物經濟ノ利害ヲ問フヲ要セサル所ニ在テハ之ヲ決スル難キニアラス夫ノ精神病者、白痴者盲目者、高齢者、又ハ虛弱者ノ如キ重キ不具者ハ救助院外ニ於テ獨立ノ經濟ヲ營ムヲ得ス是非トモ他ノ扶助ヲ待タサルヘカラサルナリ彼等ニ在リテハ或ル一家族ニ附托スルヨリハ良好ニ組織シ熟練ノ監督者及ヒ看護人ヲ有スル病院ニ附托スルノ優レルヤ否ハ單ニ便宜問題ニ過キス又或ル種類ノ病者ハ自宅ニ於ケルヨリモ病院ニ於テ寧ロ能ク介抱セラレ得ヘキハ何人モ疑ハサルヘキモ一時ノ病者ニ自宅療養ヲ拒否スヘシトハ蓋シ何人モ想像セサルヘシ

夫レ然リ故ニ自宅救助或ハ入場救助ノ何レヲ可トスルヤノ問題ハ獨立經濟ト營造物經濟トノ優劣ヲ比較シ得ヘキ所ニ在リテ初メテ發生スルモノトス今ヤ本問題ハ各國及ヒ各町村ニ於ケル救貧主義ニ向テ解決ヲ與ヘ入場救助ハ往々自宅救助ヲ壓倒スルニ至レリ余ハ是ニ關シ下章勞働場ヲ述フルニ當リ詳説セント欲ス

余ハ爰ニハ只入場救助ノ原則ヲ過大ニ擴張スルノ極ハ年齡男女ノ別及ヒ健康狀態ノ如何ヲ問ハス總テノ貧困者ヲ救助院ニ收容シ小兒大人及老人、健康者及ヒ病者ヲ救貧場ニ集メ以テ健全ナル救貧ノ原則タル個人主義ヲ甚シク侵害スルニ至ルヘク否已ニ侵害シタルコトアルノミヲ注意セントス夫レ然リ個人主義ノ適用ニ依ルニアラサレハ如何ナル場合ニ於テ自宅救助ヲ用ユヘキカ入場救助ヲ用ユヘキカヲ適當ニ知ルヲ得ス各個ノ場合ヲ審査シ特別ノ事情ニ應シテ貧困者ヲ待遇スルカ如キハ又タ此主義ノ命スル所ナリ兩親ト分離シテ小兒ヲ救貧院ニ入ル、ヲ絶對ニ拒否スルモ亦是カタメノミ小兒ニ注意周到ノ保護ト教育トヲ要スルモノニシテ家族或ハ特別ノ施設ニアラサレハ之ヲ收容スル能ハサルナリ其他病者及ヒ不具者モ亦救貧院ニ入ラシムヘキモノニアラス自宅或ハ特種ノ施設ニ於テ必要ノ救助ヲ受クヘキモノナリ又小兒ヲ有スル寡婦ハ家族的生活持續ノ點ヨリシテ自宅救助ヲ以テ遙ニ入場救助ニ優レリトス又一時職業ヲ失ヒタル男子ヲ其家族ト分離シ且ツ一方ニ於テハ其技能ニ適スル勞働ヲ與フルコト困難ナルニ他方ニ於テ新ナル勞働ヲ求ムルノ機會ヲ失ハシムルハ慘酷ナリト云ハサルヘカラス但シ其無職業ノ原因勞働嫌忌放蕩又ハ飲酒ニアルノ疑ヒアルニ於テハ入場救助ヲ可トスヘキナリ

上來論スル如クナルヲ以テ多數經驗家ノ意見ニ從ヒ左ノ原則ヲ定ムルヲ得入場救場ハ家族ノ團樂ヲ破リ獨立經濟ノ再興ヲ難カラシメ各自ノ身體及ヒ精神ニ適應スル扶助ヲ殆ト與フル能ハサルヲ以テ普通貧困者ニ對シテ採用スヘカラス之ヲ採用スルニ於テハ適當ノ制限ヲ施シ必スヤ健康者ト病者、小兒ト大人トヲ區別スヘク而メ之ヲ許スニハ經費上ノ理由ニ依リ使用セサルヘカラサル施設ノ存スルトキニ限ルモノトス之ニ

反シテ入場救助ヲ要スル(甲)勞働嫌忌者、放蕩者、酒癖家ニ對シテハ強制勞働場ノ形式ヲ以テシ(乙)孤獨ノ老人ニ對シテハ養老場ノ形式ヲ以テシ(丙)病者ニ對シテハ治療場ノ形式ヲ以テシ(丁)廢疾者ニ對シテハ瘋癲院盲目院聾啞院白痴院等ノ形式ヲ以テスヘシ他語ヲ以テ云ヘハ入場救助ハ監督ノ下ニ勞働ヲ強制スルノ必要アルカ又ハ治療看護苦クハ監守ノ爲メニ一層好良ナル技術的方法ヲ應用スヘキトキニ之ヲ採用スヘキナリ

(ハ) 實物救助、入場救助ハ施設内ニ於テ住所食料療養品醫藥其他尙ホ場合ニ由テハ衣類ヲモ現品ニテ給與スルヲ以テ廣義ニ於ケル實物救助ナリ但シ狹義ニテ現品救助ト稱スルハ現金ヲ給與セサル自宅救貧ヲ云フ實物救助ハ之レヲ細別セハ生活、看護教育等ニ要スル總テノ物即チ食物衣類醫藥治療品教育具等ニ別ツヲ得ヘシ實物救助ハ金錢救助ニ優ルヤトノ問題ハ昔時盛ニ爭議ノ存セシ所ニシテ其論據ハ一ハ給與者ノ便宜ヨリシ一ハ被給與者ノ便宜ヨリセシナリ

現時ニ在リテハ主トシテ現金經濟行ハル詳言スレハ文明諸國ニ於テハ物品ト物品トヲ交換セス又勞力ニ對シテ物品ヲ給與セス現金ヲ交付ス即チ收入ノ多寡ニ應レテ其欲スル所ノ物品ヲ購買スルヲ得去レハ都市ニ於テハ企業者又ハ主人ノ許ニ寄食スル徒弟職工或ハ雇人ノ外現品給與ヲ受クルモノナシト雖トモ村落ニ於テハ趣ヲ異ニシ勞働者收獲物ノ一部ヲ得又ハ田地ヲ借受クルモノアリテ(勿論此處ニ於テモ亦金錢報酬ノ傾向ヲ有ス)村落ニ於テハ現品救助ノ行ハル、範圍尙ホ廣汎ナリ然レトモ是レ理論上適當ナルカ爲メニアラス農民ニ在リテハ貧民ニ與フルニ金錢ヲ以テスルヨリハ實物ヲ給與スルコト低廉ナルニ由

ル是レ尙ホ村落ニ於テ所謂順次救助ノ制ヲ見ル所以ナリ順次救助トハ貧困者順次村落ノ住民ニ寄食シ日常ノ食物其他場合ニ由テハ住所ヲ此所ニ求ムルヲ云フ此等貧民中或ハ救貧院ニ起臥スルアリ或ハ他人ノ許ニ引取ラレ其代價トシテ能フ丈勞働ヲ供スルアリ抑モ此種ノ救助ハ濫酷ノ結果ニ陥リ易ク貧民ヲ不潔ノ屋舎ニ居住セシメ食物ノ殘物ヲ以テ給養スルニ至ルヲ以テ往々法律ヲ以テ之ヲ禁シ又ハ特別ナル保護條件ノ下ニ之ヲ許可ス何レノ程度マテ此種ノ救助カ今日尙存在スルヤハ之ヲ探知スル甚々難シ何トナレハ此等救助ハ大抵公共的救貧事業ニアラスシテ村落住民間ニ於テ私ニ行ハル、モノナレハナリ近年「シユタイヤー」州行政部カ爲シタル精密ノ取調ニ由リ其狀況ノ一端ヲ窮知スルヲ得此種ノ救助ヲ「シユタイヤー」州ニ於テハ寄宿ト云フ千八百九十二年ニ於テ寄宿人ノ數四千二百七十一人ニシテ總被救助者ノ約五分一ニ相當セリ寄宿ハ大村落ニ全ク其跡ヲ絶ツニアラスト雖モ多クハ小村落ニ行ハル但シ五千以上ノ人口ヲ有スル村落ニ於テハ全ク無シ寄宿人ノ過半ハ六十歳以上ニシテ女子ヨリハ男子多シトス然レトモ小兒ニシテ寄宿人タルモノモ亦ナキニアラス家族的状态及ヒ職工ニ就テ云ヘハ主トシテ未婚ノ老年被雇人ナリ寄宿ノ状態例ヘハ部屋食物及清潔等ニ於テハ改良ヲ希望スヘキ點多ク郡醫ノ力爲メ訴フル所アルナリ各種ノ建物例ヘハ厩舎、小屋、打禾場ノ如キヲ其宿舍ニ充用サル村落ニ産シ爰ニ勞働シタリシ寄宿人ハ敢テ不快ヲ感スルナシト雖モ都市ヨリ歸郷ノ途次寄宿ノ介抱ヲ受クル者ニ在リテハ實ニ一種ノ苦痛ナリトス前記調査ノ結果ニ基テ制定セル「シユタイヤー」ノ新法ハ寄宿ヲ禁止セス其適當ナル保護規定ヲ設クルニ止メタリキ而シテ小兒、精神病者、酒癖家及ヒ其同意ナキトキハ七十歳以上ノ者

ヲ寄宿ニ入ラシムルヲ許サス他諸國ノ狀況ニ關シテハ報告不充分ナリト雖モ村落貧民ノ狀況ハ到ル所良好ナラス實ニ老幼男女ノ別ナク收容スル救貧ノ狀態ハ甚タ好マシカラス改良ヲ望ムヘキ點多キヲ見ルナリ故ニ少クトモ「シユ」州ニ於ケルカ如ク監督ヲ嚴ニスルハ目下ノ急務ナリトス然レトモ低廉ノ費用ヲ以テ足ルカ故ニ順次救貧其物ハ全然廢止シ得サルナラン

往々亞米利加ニ於テ行ハル、官衙ヨリ救助料ヲ拂フテ老人又ハ不具者ヲ主トシテ地方人士ノ宅ニ寄宿セシムルノ制ハ右ト類似スルモノナリ被救助者ハ此場合ニ於テ其家主ノタメニ家事ニ精勵セサルヘカラス此救助方法ハ費用ニ優ルヲ以テ例ヘハ「ハンブルヒ」ノ授産場及ヒ救貧院ノ如キ大ナル養老及ヒ虛弱者保護院伯林ノ「フリートリヒ、ウイルヘルム」病院ノ如キハ相當ノ被救助者ヲ此方法ニテ救助ス但シ注意シテ保護家族ノ選擇ニ注意シ且絶ヘス其監督ヲ嚴ニセサルヘカラス要スルニ入場救助ニ類似セル此ノ順次救助若クハ家族的救助ハ都市救貧事業ニ在リテハ身體又ハ精神衰弱若クハ老人ニ限ルヘキモノトス其他ノ階級ニ屬スル貧困者ノ物品ヲ救助給與ニ關シテ論スヘキハ是等ノ者ニ現金ノ代リニ食物衣類等ヲ直接ニ給與スルノ利害如何ノ點ニ在リ物品救助カ果シテ便利ナルカ否ノ問題ハ貧困者其者ノ爲メニ便利ナルヤ否ノ視點ヨリ決スヘキナリ物品救助ヲ可トスル者ハ曰ク救貧官廳ハ物品ヲ大買シ貧民ハ爲メニ良好ノ食物ヲ得ヘク又物品救助ニ在リテハ之ヲ消費セサルヘカラスシテ現金ノ如ク火酒ニ代ユルヲ得ス故ニ救助金ノ濫費ヲ防キ併セテ良好ノ食物ヲ得セシムルヲ得ヘシ反對者ハ曰ク大町村ニ於テハ其購入甚タ困難ニ其貧民ノ食物賣買ハ到底絶無ナルヲ得ス殊ニ貧民ヲシテ可成の速ニ獨立經濟ニ復セシムルハ希望

スヘキノコトナルニ是カ爲メ反ツテ其習慣ヲ失ハシム然リ貧民ノ食物購入ニ關シテハ此觀察定ニ當ヲ得タリ余嘗テ「ハンブルヒ」ニ於テ以前行ハレタル肉汁共同調理ヲ調査セシニ當時二十個所ニ開設セル肉汁市場ハ五片ニテ賣却シタリシニ救貧官廳ノ賣下代金ハ十片ナリキ又「キヨルン」ニ於テ麵麩供給ヲ廢止シタルモ同一ノ理由ニ出ツ若シ夫レ彼ノ人ノ門前ニ物ヲ乞フ所謂遊歷徒弟ニ給與サル、古衣類古靴類等カ直チニ現金ニ代ヘラレ次テ火酒ニ代ヘラル、數ノ莫大ナルヲ知ラハスル方法ニテ食道ヲ通過スル金額ノ多大ナル驚クヘキナリ加之ナラス救貧割烹所ニ關シテハ需要者之レニ依リテ自己ノ貧民タルヲ一般ニ認メラル、ヲ嫌忌シ又往々食物ノ不味ナルコトヲ臆斷スル弊アルヲ免レス全部物品ノ救助ノ反對家ハ主トシテ重キヲ獨立經濟ニ置キ貧困者ヲシテ能ク之ヲ經營セシメ之ヲ維持セシムルヲ以テ殊ニ必要ナリト爲シ現品救助ハ全然此ノ習慣ヲ失ハシムヘシト思惟セリ然リ從來夫ノ勞銀ヲ以テ家計ヲ營ミタル寡婦カ今遺兒ヲ抱テ救助金ヲ受クルニ至リタレハトテ何ソ之レヲ中止セシメサルヘカラサルノ理アラシヤ彼ハ救貧官廳ヨリモ廉價ニ物品ヲ購入スヘキ場所ヲ知リ其給與セラレタル金錢ヲ寧ロ有効ニ使用スルコトナシトセス又縱令彼レ或ル事情ヨリ食物ヨリハ寧ロ多クヲ衣類ニ費シ或ハ多クヲ食物ニ使用スルモ決シテ答ムヘキニアラサルナリ一時救助ヲ受ケサルヘカラサル事情ニ陥リタル家族ニ在リテモ亦然リ又飲食物ヲ他ノ家族ヨリ受クル老人ニ於テ其ノ給與セラル、救助金ヲ稍々佳ナル住宅或ハ其他滋養物購入ニ使用スルモ亦何ソ妨ケン然レトモ場合ニ由リ特種ノ事情アルトキハ金錢ノ代リニ食物薪炭衣類等ヲ給與スルモ敢テ不可アルナシ例ヘハ「ハンブルヒ」ノ救貧規則ハ現金ヲ不經濟ニ費消スル恐アル者ニ對シテハ物品給

與ヲ規定ス而シテ一般ニ此ニ最後ノ主義最モ廣ク行ハル「エルバインフルト」主義ニ模倣セル救貧制度ヲ有スル都市ニアリテハ獨立經濟ニ便ナル金錢救助ヲ常トシ小數ノ都市特ニ主トシテ小都市ニ於テハ物品救助ト金錢救助ヲ混用シ又タ二三ノ都市ニ在リテハ物品救助ノミヲ實用セリ亞米利加ニ於テハ物品救助ヲ常則トス其他ニ在リテハ物品救助ハ金錢救助ノ補助方法タルニ過キス醫藥病者ノ攝生食物例へハ牛乳肉類葡萄酒卵等ノ如キハ一般ニ總テノ所ニテ現品ヲ以テ給與サル但シ葡萄酒ハ病者ノ男性家族ノ欲望スルモノナレハ尤モ注意シテ取扱フヲ要ス又薪材ヲ與ヘ時々或ハ寢臺家具ヲ給與スルコトアリ「ハンブルヒ」ニ於テハ千八百九十二年ノ改正ニ由リ貧民殊ニ其住宅ヲ失ヒタル者ニ給與スルタメ死者ノ遺物貯藏所ヲ建設セリ「ライプチヒ」ニテハ尤モ完全ニ管理サレタル麵麩製造所アリテ貧民ニ麵麩ヲ給與スル就學齡兒童ニ衣類ヲ與ヘ或ハ祭衣ヲ給與スルハ個人的慈善事業ニ寺院的慈善事業ノ管轄ニ屬ス概シテ物品ヲ給與スヘキ博愛事業ノ區域ハ甚タ廣汎ニシテ病者兒童ノ看護ハ一ニ是ニ屬ス去レハ滋養的食物ヲ與ヘテ殊ニ病者及ヒ產婦ヲ介抱スルハ尤モ其ノ適當ノ行爲ナリ多數ノ婦人協會ハ一定ノ順序ニ從ヒ其社員順次病者ニ晝飯及ヒ肉汁ヲ給與スルノ制ヲ設ケ此等ノ食物就中肉汁ハ是ヲ滋養的ニ調理スルニ於テハ食物及ヒ扶助全體ノ有効ナル補助方法タルナリ遺憾ナカラモ吾人カ往々實見スル如ク肉汁調理ヲ以テ一ノ厄介ナル義務ト思惟シ如何ニ粗惡ノ物品ト雖トモ貧民ニハ充分ナリトノ根本的思想ヲ以テ其責ヲ充スカ如キコトナキヲ要ス滋養的肉汁ノ代リニ洗ヒ水ノ如キモノヲ供シ爲メニ全家族ノ不平ヲ招ク家婦アルハ屢々耳ニスル所ナリ

## (ハ)

金錢救助、金錢ハ需要ノ媒介物ナルヲ以テ純然タル金錢救助ノ問題ハ之ヲ解決スル比較的容易ニシテ被救助者ノ生活ニ要スル萬般ノ物品ヲ購入スルノ金額ヲ救與スレハ即チ足レリトナスヘキニ似タリ然レトモ果シテ如何ナル物品カ其生活ニ必要ナルヤトノ問題ニ就テハ法律救貧規則私立協會機關等各所見ヲ異ニス而シテ其所見ノ標準ハ國家一般ノ狀態其土地ノ狀況救貧機關並ニ被救者ノ生活上ノ習慣及ヒ意向ナリトス其生活狀態佳良ナル救貧事務員ハ曰ク三人ノ兒童ヲ有スル寡婦ニ切要ナル救助費ハ五十麻乃至六十麻ナリト然ルニ生活質素ナル其隣區ノ救貧事務員ハ此救助費ノ額ニ一驚シ一ヶ月二十五麻乃至三十麻ノ救助費モ尙ホ多キニ過クト思惟ス

故ニ信憑スヘキ之カ基礎ヲ定ムル爲メ質素ナル家族ノ生活ニ要スル金額ヲ費用簿ニ由リテ算定セント努メタリ蓋シ其結果ヲ仔細ニ觀察シタルモノハ生活ニ屬スル費用額ニ就テ一驚シタルヘク又貧民カ其生活上ノ血路ヲ如何ニシテ開キ得ルヤニ就キ更ニ一驚シタルナルヘシ

「フランクフルト」慈善院ノ調製ニ係リ「フランクフルト」勞働者生計費豫算ト題スル書ハ例示トシテ三個ノ家計ヲ精査セリ即チ其ノ一ハ鐵道工場ノ一ハ化學工場ノ職工場ノ職工一ハ補助勞働者即チ家僕トシテ勞働セルモノ、家計ナリ第一ノ家族ハ十四歳以下ノ小兒四人第二ノ者ハ六人第三ノモノハ一人ヲ有セリ其第一ノモノハ報告年度ニ於テ千二十四麻第二ノモノハ千三百三十八麻第三ノモノハ約八百麻ノ勞銀ヲ得タリ余ハ片ノ支出ニ至ルマテ精細ニ算出セル計算書ニ就キ必需品ニ關スル左ノ小表ヲ調製シ支出ノ實額ト共ニ金支出ニ對スル歩合ヲ記載セリ即チ其支出額左ノ如シ

	家賃	肉代	麵麩及粉代	衣服代	薪燈材及	一般食費	家賃、飲食費、衣服費、薪燈材
第一	一六八一六、一 <small>（プロセント）</small>	一二七一、一 <small>（プロセント）</small>	一九四一八、五 <small>（プロセント）</small>	八四七〇 <small>（プロセント）</small>	六一五、八 <small>（プロセント）</small>	五七五五四、九 <small>（プロセント）</small>	八八八八三、八 <small>（プロセント）</small>
第二	一七七一四、五	七〇六、一	一六二一四、一	一四七二二、八	五三、四、六	六〇一五二、三	九六八八四、二
第三	三二四四四、四	八〇一〇、七	二四四、二	六〇八、六	四〇五、七	二六七三五、六	六九一九四、三

本表ハ種々ナル教訓ヲ與フ即チ必須ノ需用ノタメ費ス所多クシテ第一及ヒ第二ノモノハ其他ノ支出即チ疾病滋養教育慰樂ノタメ僅ニ十六「プロセント」第三ノモノハ實ニ只六「プロセント」ヲ剩スニ過キス又第一第二ノモノハ頗ル少額第三ノモノハ非常ニ多額ノ家賃ヲ拂ヒ而シテ此ノ第三ノモノ、ミカ稍ヤ佳ナルノ家屋ニ住シ且同居人ヲ置クヲ以テ其實際ノ支出額ハ前記ノ數字ヨリ幾分カ減少セリ之ニ反シテ説明書ニ據ルニ他ノ兩者ノ家屋ハ不充分且健康上有害ニシテ第二ノモノハ十人ノ家族ニ對シ二室及ヒ臺所ヲ有スルニ過キス全家族一室ニ寢臥セサルヘカラサリシナリ第一第二ノモノ、生活ハ割合ニ佳良ナレトモ第三ノモノニ在リテハ食費ノ割合ニ家賃ノタメニ費ス所多シ而シテ第一第二ノモノハ第三ノモノニ比スレハ良好ノ家財ヲ有ス之ニ反シテ第一ノモノ、衣服ハ甚タ粗惡ニシテ彼レノ外出ヲ爲スノ稀ナルハ亦タ是ニ由ルト明言セリ兒童ノ衣服ハ稍ヤ可ナリシカ收入ヲ以テ購入セルニアラフクリスマスノ贈物トシテ得タルナリ其教育費ハ九麻五片ト記載シアリ一モ新聞ヲ購讀セス又協會ニ加入セス其娛樂ハ家族ト散步シ同僚ト「ビール」ヲ飲ムニアリ第二ノモノ、狀況モ是ニ酷似セシカトモ家族多勢ナルヲ以テ一層不如意ヲ感セリ第三ノモノハ小兒一人ナレトモ必須ノ支出以外ニ一モ費消スル能ハサリシ

「エムアイ」氏カ近頃「勞働者ノ生活」ナル題名ヲ以テ公ニセル二十ノ勞働者家計豫算モ亦同様ノ結果ヲ示セリ二十家族ノ内五名ハ千五百麻以上九名ハ千麻以上千五百麻未滿四名ハ九百麻以上千麻未滿二名ハ其レ以下ノ收入ヲ有セリ而シテ其生活費ハ平均全收入ノ半額以上ニシテ家賃ハ其四分ノ一乃至五分ノ一ニ相當セリ只地方ニ生活スルモノハ之カタメ費ス所寡少ナリシニ衣服ハ一割乃至一割半ヲ消費セリ故ニ教育費、保険料貯蓄ノ爲メニ剩ス所僅々ニシテ又實ニ之カ爲メ費ス所零碎ニ過キサリキ

此結果ヲ取リテ之ヲ同種類ナル他ノ試驗例ヘハ「シユナツバーアーン」氏ノ精細調査セル五個所ノ「タクヌス」組合最近倫敦經濟俱樂部ノ公ニセル二十八ノ家計豫算獨逸勞働者ノ生計ニ關スル「ヅルム」氏ノ報告書等ニ比較スルトキハ甚タ有益ナル二個ノ論結ニ達スルヲ得ヘシ即チ一ハ略ホ一定シ左マテ僅少ナラサル收入ヲ有スルモノニ在リテモ必須需要外ノ目的ノタメニ剩ス所甚タ尠ク又第二ニハ此等必須需要ハ先ツ第一ニ食物第二ニ住宅第三ニ衣類ノ順次ヲ以テ充タサレ家賃暴騰ノ爲メ比較的多額ヲ是ニ費サ、ルヘカラサルコトヲ知ルヘキナリ

然レトモ是等ハ千百麻以上千二百麻ニ至ル收入ヲ有スル人々ニシテ貧民救助ヲ受クルモノニアラス若シ夫レ戶主職業ヲ失ヒ妻ト四人ノ小供ヲ養育セサルヘカラサルトキ或ハ婦五人ノ小供ヲ抱テ夫ニ遺棄サル、トキ救貧官廳行政部ハ果シテ是レニ一ヶ月九十麻（一年千八十麻）或ハ僅ニ六十麻若クハ五十麻ヲ給與スヘキカ小救貧官廳ハ一週四麻乃至五麻以上大救貧官廳ト雖モ八麻乃至十麻以上支出スルハ甚タ稀ニシテ此等ノ救助額ト雖モ尙ホ頗ル多シト思惟スルニアラスヤ



是レ果シテ實際ノ需要ヲ評定シタルモノナルカ此金額ヲ以テ果シテ大家族カ不十分ナカラモ其生活ヲ營ムヲ得ルカ此問題ハ是ヲ否定セサルヘカラス若シ夫レ救貧事務員自身此金額ノ二倍將タ三倍ヲ以テ生活シ得ルカト問ハ、思フニ彼レハ其不可能ヲ唱フヘク其妻娘ニ至リテハ絶望シテ嗚呼ノ嘆聲ヲ發スルヲ禁スル能ハサルヘシ

(二) 救助金定額、貧者モ亦生計ヲ營ムナリ故ニ彼等ハ前上ノ小額救助金ノミヲ以テ生活スルカ或ハ之ト共ニ他ノ手段ヲ取ラサルヘカラストハ吾人ノ往々耳ニスル所ナリ寔ニ然リ只爰ニ所謂他ノ手段ハ如何ニシテ之ヲ求ムヘキカ是ニ關シテ貧民ヲ二種ニ區別セサルヘカラス其一ハ只タ單ニ乞食ヲナシ或ハ慈善協會又ハ多數ノ個人ノ助ケヲ得テ以テ口ヲ糊シ其二ハ(是レ實際廉耻心ヲ存シ非常ナル困難ニ際シテノミ慈善事業ノ救助ヲ受ケタル貧民ニシテ其數モ亦尠カラス)體力健康ヲ賭シ自家ノ利害ヲ顧ミス子女ニ對スル注意ヲ缺キ以テ救貧事業ノ給與スル不足額ヲ補足セントスルモノナリ幾多寡婦ノ給與スル不足額ヲ補足セントスルモノナリ幾多寡婦ハ其子女ノ傍ニ在リテ之ヲ撫育セス屋外ニ於テ勞役シ或ハ家内ニ在リテ日々十四時間ノ長キ裁縫器械ヲ擁シ或ハ一層長ク傭傭シ以テ少許ノ賃銀ヲ得ントスルニアラスヤ近時仕立職同盟罷工ニ起因シテ設置セラレタル委員會ハ併セテ婦人勞働者ノ賃銀ヲ調査センカ其收入ハ小兒服裁縫ニ在テハ十三時間半ノ勞働ニテ一週六麻九十九片即チ休日ヲ差引キ一年ノ最多額二百八十麻ト算定セリ此結果ヲ精査シテ「ウエバー」氏ハ此等ノ子女ニハ救貧組合ヨリ相當ナル救助金額ヲ與フルコト却テ這般ノ賃銀ニ由テ其資銀ヲ低廉ナラシメ身體ヲ衰弱セシムルニ優ルトナセリ余モ亦此點ニ就テハ氏ノ意

見ニ賛成ス這般ノ子女ヲ救助スルニ當リ救貧官廳ハ可成的其給與額ヲ低廉ナラシメント力メス宜ク相當ト認ムヘキ金額ヲ給與シ孤立無告ノ子女ヲシテ自身及ヒ其ノ子女ヲ節儉ニ然モ大ナル心補ナク生活スルヲ得セシメ僅ニ飢餓ヲ免ル、以上ノ狀態ニ在ラシメサルヘカラス余モ亦過多ノ救助金ニハ偶々以テ救助請願ノ弊ヲ生スルモノナルヲ知ラサルニアラスト雖モ過多ノ救助金ト僅々タル小救助金ノ間ニハ一大逕庭存スルナリ斯ノ如キ事情ノ下ニ養育セラレ衣食シ居住シタル子女ハ果シテ如何ニ成人スヘキヤモ亦考ヘサルヘカラス又爲メニ廉耻心アルモノヲシテ辛酸絶望ノ淵ニ沈マシメ廉耻心薄弱ノ徒ヲ驅テ誘詐暴行以テ其不足ヲ補ハントスルニ至ラシムルコトヲ忘ルヘカラス余ハ自認ス正當ノ中道ヲ得ル容易ナラサルヲ被救助者ニハ如何ナル場合ニ於テモ獨立勞働者以上ノ生活ヲ爲サシムヘカラストノ原則ハ必スヤ之ヲ確守セサル可カラス故ニ其他ノ普通勞働者ノ賃銀ニ相當スル收入ヲ有スル者ニハ或ハ特別ナル事情例ヘハ妻兒重患等ノ爲メ一時ノ救助ヲ與フル外之ヲ拒否セサルヘカラス救助額ヲ定ムルニ當テハ此原則ニ準據シ個々ノ場合ニ就テ實際ノ收入ヲ調査スルヲ要ス是レ殆ント各救貧規則ノ規定スル所ニシテ其規定ヲ見ルニ「救助ノ金額ハ總收入ノ額ニ由テ定ム」自身ノ勞銀同居ノ成人セル家族ノ收入恩給年金及ヒ親族ヨリ受クル扶助金ハ其收入ニ算入ス」ト云フヲ常トス此規程ハ固ヨリ不可ナシ誠實ナル救貧事務員ハ一定ノ公式ニ從ヒ各金額ヲ調ヘ全額ヲ計上シ其全收入ハ救助ヲ拒否スルニ足ル丈多額ナルカ或ハ尙ホ若干ヲ給與セラルヘカラサルカヲ計算スルナラン是最初救助ノ請求アリタル場合ニ於テハ兎モ角爲ヌヲ得ヘシト雖モ其後ニ至リテハ一定ノ年金等ハ暫ク措キ其收入ヲ常ニ綿密ニ確定スルハ甚タ難事ナリ殊ニ變

更常ナキ勞銀ニ於テ然リトス

其計算ハ暫ク信用スルニ足ルト假定シテ救助金額ハ何ニ由テ定ムヘキカ是レニ關シテ三種ノ主義アリ第一ハ家族ノ需要ニ對シテ一定ノ標準ヲ定メ收入ヲ合算シ其金額若干不足ナルヲ以テ其不定額ヲ救貧組合ヨリ給與スヘシト云フニアリ「エルバールフルト」市其他「フランクフルト」「バーメンライセルドーフ」等ノ各市ハ此方法ニ由ル即チ二三市都ニ於テハ左ノ額ヲ規定ス

家 主	エルバールフルト市	ゾーリンゲン市	フランクフルトアムマイン市
夫ト共ニ生活スル妻	二、〇〇	二、五〇	一〇、〇〇
十五歳又ハソレ以上ノ兒童	二、五〇	一、八〇	四、〇〇
十歳以上十五歳未滿ノ兒童	三、〇〇	一、五〇	二、〇〇
五歳以上十歳未滿ノ兒童	二、〇〇	一、三〇	一、〇〇
一歳以上五歳未滿ノ兒童	一、六〇	一、〇〇	一、〇〇
一歳以下ノ兒童	一、四〇	〇、八〇	一、〇〇
	一、〇〇	〇、五〇	一、〇〇
	一、〇〇	〇、五〇	一、〇〇
計	一四、五〇	九、四〇	一九、〇〇

此許可金額ハ一週間ニ涉ルモノニシテ夫妻及ヒ前記各種年齢ナル五人ノ兒童ヨリ成ル家族ハ「フランクフルト」ニ於テハ十九麻「エルバールフルト」ニ於テハ十四麻「ゾーリンゲン」ニ於テハ九麻四十片ヲ受ク即チ其年額ハ九百五十麻七百二十五麻及ヒ四百七十麻ニ相當ス前ニ記載シタル實例ノ如ク兩親及ヒ八名ノ兒童ヨリ成ル家族ニ在リテハ三麻乃至四麻増加スルヲ以テ其需要額ハ二十三麻十七麻五十片及ヒ十二

麻四十片トナリ年額千五百五十麻八百七十五麻若クハ六百二十麻ニ相當ス救貧規則ハ大抵何レモ此金額ニ相當スル收入アルモノニハ救助ヲ拒否シ又其收入此金額ニ達セサルモノト雖トモ或ル殊ニ不幸ノ狀態存スルニアラサレハ此金額又ハソレ以上ヲ給與セサルコトヲ規定ス然レトモ亦多數ノ救貧官廳ハ豫メ救助金ハ一定ノ金額ヲ超過スルヲ許サスト規定ス是レ一概ニ定メ得ヘキノコトニアラス例ヘハ一ノ勞働者アリテ其收入九百麻ナランニハ設令其家族多人數ナリトモ救貧事務員ハ之ヲ救助スルヲ欲セサルヘシ然レトモ救貧官廳カ規定金額ニ照シ必須ノ生働費ニ缺ケ八人ノ兒童ヲ有スルモノニ在リテハ千百麻乃至千二百麻ヲ要スト爲シ實際之ヲ給與スルニ於テハ蓋シ獨立勞働者ノ不滿ヲ招クヲ免レサルヘシ故ニ所定ノ金額ハ是ヲ墨守スル能ハス只是ヲ以テ略ホ標準タルヘキ金額ト見做スヲ得ルニ過キサルナリ是レ第二ノ主義ノ定ムル所ナリ本主義ハ金額ヲ家族ノ大小ニ由リテ定メス或ハ湊合的徴憑例ヘハ獨身者夫婦一人二人三人等ノ兒童ヲ有スル家族ニ給與スル金額ハ非常ナル場合ニ於テ若干ノ額迄ニ至ルヲ得ルヤヲ定ム例ヘハ伯林ニ於テハ家族ニ於ケル各小兒ニ六麻ノ扶助金ヲ給與スルヲ得ヘク「ビーレーフェルド」ニ於テハ一人最多額一麻五十片一人乃至二人ノ兒童ヲ有スル家族二麻以下三人乃至四人ノ兒童ヲ有スル家族二麻五十片等ト爲セリ又或ル一定ノ家族ノ數ニアリテハ救助ヲ拒否スルコトアリ例ヘハ伯林「フランクフルト」等ニ於テハ勞働ニ堪ユル婦ハ救助ヲ待タスシテ一人ノ小兒ヲ養育スルヲ得ルモノトナシ「ドレーステン」ノ救貧規則ハ二人ノ小兒ヲ養育シ得ルモノトセリ「キヨート」ニヒスベヤヒニテハ這般ノ場合ニ於テ小兒幼年又ハ虛弱ノ爲メ特別ナル介抱看護ヲ要スルトキニ限り救助金ヲ與フルモノトス「カ

ツセル」ニテハ二人ノ小兒アルトキハ各二麻ツ、ヲ與ヘ以上一人ニ一麻ツ、ヲ給與ス第三ノ主義ハ最高額又ハ一定ノ標準額ヲ定メス個々ノ場合ニ於テ之ヲ料定スヘキモノトシ十麻ヲ與フルヲ得ヘク又六十麻ヲモ與フルヲ得ルモノトセリ但シ例ヘハ「ハンブルヒ」ノ如キハ一定額ヲ超ユル救助金ヲ給與スルニ當リテハ監督官衙ノ認可ヲ受クルモノトセリ「ハンブルヒ」ニ於テハ各救貧區ノ獨斷ニテ給與シ得ル額ハ獨立者ニ十八麻夫婦ニ二十五麻小兒ヲ有スル家族ニ三十六麻トシ其レ以上ヲ給與セントスルトキハ高等官衙ノ認可ヲ受クヘキモノトセリ

「ハンブルヒ」ノ救貧條例ハ金錢救助ノ規則中先ツ比較的最佳良ノモノナルコトヲ自認セント欲ス標準額ノ制ハ總收入ノ計算甚タ困難ナルヲ以テ概シテ之ヲ實行スル甚タ難シ又場合ニ由テハ計算上收入額却テ獨立勞動者ノ收入ニ著シク超過スルノ結果ヲ生スルコトナキニアラス又確然超ユルヘカラサルノ最高額ヲ定ムルハ到底機械的タルヲ免レス毎週五麻乃至六麻ヲ給與サル、實際貧困ナル家族ノ養育者カ疾病ニ罹ルカ或ハ死亡スルニ當テハ其家族ハ餓死スルカ乞食スルカ或ハ竊取スルノ外他ニ手段アラサルナリ之ニ反シテ「ハンブルヒ」ノ主義ハ其原則ヲ機宜ニ應用スルニ於テハ之カ料定ノ餘地充分存ス故ニ他ノ救貧官應ニシテ是ニ摸倣セルモノ尠ナカラス但シ救貧區會ハ其認可シ得ル給與額ヲ超過スルヲ好マサルノ傾アリ是レ高等官衙ニ申請スルヲ欲セサルヲ以テナリ

「エルバーフェルト」「フランフルト」等ニ於テ行ハル、主義ハ放漫ノ料定ヲ許サス收入ノ欠缺及ヒ充分ノ收入欠乏ノ場合ニ生スル需用額ヲ實際稽查シテ之ヲ補充スルヲ旨トスルモノニシテ元來適當ノ見地ヨリ

發程シタルモノナルヲ否認セス然レトモ此主義ハ各種需要ニ就テノ價格表ヲ確定シ騰落不定ノ食費ヲ正確ニ定メ各階級貧民ノ需用ヲ顧慮シ得ル等ノ場合ニ於テ始メテ能ク好果ヲ收ムヘク是レ所謂家計豫算調製ノ慣熟ニ俟タサルヘカラスシテ現今ニ在テハ到底不能ノコトナリトス故ニ吾人ハ先ツ當救助機關カ種々ノ事情即チ健康疾病年齡家族ノ多寡ヲ斟酌シテ得ル一般的印象ニ信賴スルヲ以テ遺憾ナカラモ満足セサルヘカラス惟フニ救助機關ノ取扱件數ニシテ其視察ニ得ヘキ範圍ヲ超過スルナカラシニハ此視察ヲ遂クル必シモ難事ニアラサルヘキナリ此ノ如キ事情ナルヲ以テ各場合ヲ個々ニ視察セサルヘカラサルヲ知ルヘク特ニ救助金額ニ關シ如何ニ此視察ヲ遂クヘキヤニ就テハ後章ニ詳説スル所アルヘキナリ

(ヘ) 救助金ノ計算及ヒ算定、實例ヲ採テ詳説センカ爲メ余ハ曩ニ記載セル一人若クハ二人ノ小兒ヲ有スル婦人ニ救助ヲ與ヘサル救貧條例ノ規定ニ就テ述ヘン此規定ハ之ヲ各個ノ場合ニ應用シテ實際酷ニ失スルナカルヘキカ否決シテ然ラス勿論這般ノ子女ニシテ能ク自助シ得ルノ場合モアラン彼等ハ確ナル奉公口ヲ有シテ一麻五十片乃至二麻ヲ所得シ其内小金額ヲ拂フヲ小兒ヲ幼稚園ニ入レ且殘金ヲ以テ生活必需品家賃及ヒ衣服料ヲ支辨スルノミナラス又斯ノ如キ方法ニ由リ二人ノミナラス四人ノ小兒ト往々又是レニ加フルニ放蕩ノ夫ヲ糊口セシムル婦人モアラン且養老年金ヲ有スル老母ト同棲シ老母其家賃ヲ支拂ヒ且晝間小兒ヲ保護スル場合ニ於テハ婦女ハ小兒ヲ獨留守居セシムル如キ苦心ヲ須井ス外出スルヲ得ルナリ夫レ然レトモ若シ一人ノ小兒疾患ニ罹ルトキハ全ク事情ヲ異ニシ保護及救助ノ必要ヲ生シ疾病小兒ニ對スル僅少ノ救助金ハ以テ其費用ヲ辨スルニ足ラス婦女自身モ亦救助ヲ受ケサルヘカラサルナリ又他ノ一

例ニ就テ述ヘンニ夫婦及四人ノ小兒ヨリ成ル一家族アリ夫病床ニ臥シ十二麻ノ醫藥料ヲ受ケ此金額ハ塲合ニ由テハ其救助ニ要スルヨリモ却テ多額ニ過クルコトアラン勿論疾病ノタメ特別ノ看護ヲ要ス必要生活費ノ外ニ看護ノタメ餘分ノ費用ヲ要スルコトアルヘシト雖トモ病夫臥床スルニ至ラスシテ只單ニ在宅スルニ止マリ小兒ヲ介抱スルヲ得婦外出シテ收益スルヲ妨ケサル等ノ塲合モ亦タ往々之レナキニアラス此等ハ尙ホ比較的單簡ニシテ視察容易ナル塲合ナリ若シ夫レ勞銀又ハ確定ノ收入以外ニ例ヘハ十四歳未滿ノ四人ノ小兒ト十四歳以上ノ二人ノ小兒アリテ十四歳以上ノ小兒ハ各每週八麻乃至十麻ヲ收入ス而シテ約十八麻ノ此金額ヲ全部家族ノ收入ニ算入スルニ於テハ何等ノ救助ヲ要セサルハ素ヨリ論ナシ然レトモ斯ク算入スルヲ得ヘキカ小兒等ハ其收入ノ全部ヲ奪取セラル、ニ於テハ或ハ家ヲ去ルナカラシカ又彼等ハ衣服其他自身ノタメ多少ノ金錢ヲ要スルナリ而シテ若干家計ニ入金スルカハ之ヲ定ムル難シ或ハ其全收入ヲ家政ニ供スルノ兒子モアルヘク或ハ其若干部分ヲ兩親ニ供セシムルタメ有ラユル法律上ノ方法ヲ用キテ強サルヘカラサル者モアルヘキナリ

然レトモ多數ノ家族ハ斯ク確定シ得ヘキ收入ノミナラス此他一定セサル收入源ヲ有ス即チ其家族ヲ愛顧スル昔日ノ主人又ハ傭主若クハ隣人或ハ親戚ノ之ニ助力スルアリ殊ニ此ノ如キ際ニ在テハ往々一時ノ感情又ハ偶事ニ由テ其給與金ヲ増減變更スル所ノ個人的慈善行ハル、ナリ總テ此等ノ收入及ヒ給與金額ヲ檢知スルハ甚タ難ク之レカ交互ノ割合ヲ正確ナラシムルハ一層困難ノコトナリトス

公共的救貧事業ト個人的慈善事業ノ關係及ヒ保險ヨリ受クル給與ニ對スル此兩者ノ關係ニ就テハ大ニ議

論ノ存スル所ナリ例ヘハ幸ニモ七十歳ノ長壽ヲ保テル老人アリ他ノ條件ノ具備スルニ方テハ七十一歳ノ第一日ヨリ十麻乃至十四麻ノ養老年金ヲ受クヘキナリ此者從來救貧組合ヨリ八麻乃至十麻ヲ受ケタリトスレハ之ヲ機械的ニ計算スルニ方テハ其收入曩日ニ比シ増加シタルヲ以テ公給救助ヲ停止セサルヘカラス然リ是レ實ニ多數救貧官廳ノ實行スル所ナリ余ハ信ス是レ頗ル無情ノ所爲ニシテ恰モ人ヲシテ保險法律ノ與フル恩惠ヲ不快ニ感セシムルモノナリト看ヨ彼ハ其十麻ヲ受取ル所ノ金庫カ曩ニ救貧組合ナリシニ今ヤ變シテ保險會社ト稱スルノ外剩シ得ル所果シテ何物ソ彼ハ多年其渴望セル年金ハ其財産上更ニ益スル所ナク加之ナラス嚴密ニ云ヘハ却テ害ヲ被ラシメタリト感スルナラン素ヨリ受領年金ヲ全然計算外ニ置クヘキニアラスト雖モ之ヲ無雜作ニ折算スルハ不當ナリ宜シク事情ニ應シ相當ニ救助金ノ大部分ヲ繼續支給シ年金ノ恩惠クルコトヲ感セシムルヘキナリ又之ヲ給與スルモ老人ニ在テハ殆ト浪費ノ危險アルナシ何ントナレハ彼等ハ既ニ本來無救ノ境遇ニ在ルモノナレハナリ但シ千八百九十一年以來實際往々目撃スル所ニヨレハ年金ノ存スルカタメ子孫ハ老父母ヲ引取り介抱スルヲ厭サルカ如シ勿論斯ノ如キ塲合ニ於テハ救助金ヲ停止スルモ敢テ妨ケナカルヘキナリ個人的慈善事業ノ給與ニ就テモ亦然リ從來救貧組合ヨリ九麻ヲ受ケタル寡婦ニ某婦人協會每週二麻ト麴麩トヲ給與スルコト、ナリタルニ救貧事務員ニ於テ其婦人ノ私人ヨリ扶助ヲ受クルニ至リタルノ故ヲ以テ其三麻ヲ減殺シタリト假定セヨ救助組合ハ個人慈善ノタメニ其負擔ヲ減スルモノニシテ是レ豈ニ個人的慈善ノ目的トスル所ナランヤ又是レ救貧官廳ノ位置ニ相當スルコトニアラサルナリ若シ夫レ斯ク事ヲ嚴正ニ實行センカ其結果ハ私人怒テ慈善ヲ中止

スルカ或ハ秘密ニ扶助ヲ繼續スルカ若クハ公ノ救助ヲ受クルモノヲ全ク省ミサルニ至ルヘク這般ノ停止ヲ惹起スル如キハ豈背理ノ極ト云ハサルヘケンヤ元來公ケノ救貧部ハ必須ノ需要品ヲ給與スルニ過キス去レハ眞ニ相當ナル被救助者ニ幾分カ夫レ以上ヲ與フルハ實ニ個人的慈善ノ美譽ニシテ又價値アル所以ナリトス故ニ救貧部カ寡婦ニ其住居衣服及ヒ必須ノ食料ニ要スルモノヲ與フル場合ニテ於テ(余輩ハ數多ノ實例ニ就キ此金額ノ甚タ過少ニ計算セラル、ヲ看來レリ)其ノ小兒ノ養育ヲ良好ニシ又事情ニ由テハ稍ヤ佳良ノ衣服ヲ纏ヒ將タ數小兒中秀才ノモノアルトキ其教育ヲ佳良ナラシムルタメ私人是ヲ扶助好スル豈ニムヘキノコトニアラストセンヤ若クハ救助ヲ以テ生計スル老婦ニ個人的扶助ヲ與ヘテ以テ一匙ノ砂糖ヲ珈琲ニ投スルヲ得セシメ或ハ特ニ暖ヲ取ルニ足ルノ衣服ヲ纏フヲ得ルニ至ラシムル如キハ吾人之ヲ不當ト認メサルヘカラサルカ

嘗テ「ハンブルヒ」ニ於テ被救助者齡百歳ニ達セリ是ニ於テ救貧事務員等集會ヲ催シ救貧官廳ノ豫備費ヨリ若干ヲ支出シテ其給與額ヲ増加シ老婦ヲシテ殘年ヲ樂マシメントセリ謙讓ナル老婦此時果シテ何物ヲ希望セシソ彼レハ實ニ將來珈琲ニ砂糖ヲ投シ少許ノ菓子ヲ之ニ添ヘンコトヲ願ヒタルニ過キス當局者ト雖トモ斯ル嗜好ニ費ヤスヘキ金額ヲ救助金中ヨリ控除セント思惟セサリシハ素ヨリ論ナキナリ余ノ記憶スル所ニ由レハ當時救助金額ハ増加サレタリキ又「ハンブルヒ」ニ於テ舊件ヲ漸次審査シ公ケノ救助ノ外寄附財團ヨリ千麻ニ至ル確定扶助金ヲ受クルモノアルヲ發見スルニ及ヒ勿論直チニ公ケノ救助ヲ取消セリ余カ茲ニ此等ノ例ヲ掲ケタルハ這般ノ場合ニ於テ如何ニ人ニ由リテ其取扱ヲ異ニスルカ總テノ場合ニ對ス

ル適當ノ規則ヲ設タルコトノ如何ニ難キカヲ示サントスルニアリ故ニ此等ノ諸點ニ就テ規定スル所アル救貧條例例ヘハ「ハンブルヒ」及ヒ「キヨルン」ノ條例ト雖トモ寄附財團協會又ハ個人的慈善事業ヨリ確定ノ扶助金ヲ受クルトキハ適當ニ之ヲ斟酌スヘシ」ト云フニ過キス而シテ「ハンブルヒ」ニ於テハ尙是レ附加シテ「這般ノ扶助金ハ從來受ケタル又ハ爾後受クヘキ必須救助金ヨリ無雜作ニ控除スルヲ得ス何トナレハ是ニ由テ個人的慈善事業ヲ失望セシメ其慈善的目的ヲ無効ナラシムレハナリ」トノコトヲ規定セリ蓋シ夫レ以上ヲ定ムル能ハス是レ常ニ救助機關ノ機智ナル思料ニ待タサルヘカラサルナリ是等ノ關係ヨリ見ルモ余カ曩ニ詳述シタル如ク救貧事業及ヒ慈善事業ニ關係スル各種機關代表者ノ常時會合ノ必要ナル所以ヲ知ルヘキナリ

少許ノ物品救助ハ金錢救助ノ額ヲ量定スルニ更ニ影響スルナキヲ常トス然レトモ一般ノ物品救助カ主トシテ行ハル、カ又ハ一定ノ物品救助カ救助ノ性質ヲ全然變更セシムルトキハ是ト趣ヲ異ニス即チ被救助者ニ冬期間給與セラル、燃料ハ救助金中ニ計入セサルヲ常トスレトモ「ラヂブチヒ」ニ於ケル麵麩或ハ「ミユンヒユン」ニ於ケル肉汁ハ救助ノ普通成分ニ屬スルモノニシテ此等ハ實ニ金錢給助ノ金額ヲ定ムルニ付テ影響ヲ及ホスモノトス葡萄酒牛乳肉類等ノ如キ所謂滋養物ハ特ニ強壯ナラシムルノ目的ニ用ユルモノナルヲ以テ通常現金給與中ニ算入セサレトモ老衰者ニ這般ノ食物ヲ多量ニ給與シテ實際是ヲ其他ノ食物ニ代用シ其價格略ホ普通金錢救助額ニ均シキカ或ハ之レヲ超過スルトキハ金錢給與額中ヨリ相當ニ控除スル蓋シ至當ナルヘキナリ孤獨ナル老衰者ハ其健康狀態ニ適スル看護方法及ヒ取扱方法存スル所ノ病院ニ入ラシムル

ヲ利トスルヤ否ノ疑問アリ若シ之ヲ收容スルニ於テハ各種ノ救助ヲ停止スヘキナリ概シテ入場救場ノ形状ヲ以テ給與スル物品救助ハ總テノ場合ニ於テ救助金ノ計算上ノ至大ノ關係ヲ有ス例ヘハ不具ナル夫ト健康ノ婦ヨリ成ル一家族アリ多額ノ救貧金ヲ受ク然ルニ夫ヲ病院ニ收容スルトキハ婦ハ自今又救助ヲ待タスシテ生活スルヲ得ヘキナリ去レトモ小兒カ一時小兒病院ニ收容セラル、モ是カタメ爾他ノ家族ニ對スル救助ヲ減少スルハ殆ト爲シ得サルノコトナリトス但シ主トシテ小兒ノタメ此救助ヲ要スルニ至リタルモノナルトキ例ヘハ盲目、精神病或ハ白痴ノ小兒アリ母ハ其看護ノ爲メ全力ヲ注カサルヘカラスシテ毫モ職業ニ從事スル能ハサリシ爲メ救助ヲ受ケタリシニ其小兒專問病院ニ收容セラル、ニ至リタルトキハ固ヨリ此限ニアラストス之ニ反シテ婦カ病院ニ收容セラレタルトキハ恐ラク多額ノ救助金ヲ要スルナラン何ントナレハ此場合ニ在リテハ家計上ノ費用多キヲ加フヘク又其婦カ寡婦ナルトキハ全ク家計ヲ廢止シ小兒ヲ他人ノ保護ニ托セサルヘカラサレハナリ是ニ由テ之ヲ觀レハ此關係ハ錯綜ヲ極メ精細ニ豫定シ得サルモノナルヲ知ルヘシ故ニ此等ノ判定ハ機宜ノ斟酌ニ任スルノ外アラサルナリ

#### 第六章 個々ノ救助方法

本書ノ目的トスル所ハ主トシテ慈善家カ自ラ手ヲ下シテ救助ノ實ヲ行ヒ得ヘキ範圍内ニ於ケル貧民ノ情況ヲ詳悉スルニ在ルヲ以テ自宅救助ヲ論スルコト自ラ入場救助ヨリモ多カラサルヲ得ス而シテ後者ハ亦特種ノ原則ニ據リテ行フヘキモノトス是ヲ以テ本章ニ於テ男女ノ慈善家カ實行スヘキ救助ノ方法ヲ論述スルニ當リテモ亦慈善家カ直接ニ窮厄ヲ救濟シ若クハ貧民ヲシテ其狀態ニ應スル救助手當ヲ享受シ得ヘキ救貧院

ニ入ラシムル方法ニ限ラサルヲ得サルナリ而シテ此範圍内ニ於テハ失業者無宿者ノ救助幼者病者ノ救助就業ヲ以テ主要ナルモノトス尙ホ終ニ臨ミ上來續述ノ論旨ニ照ラシテ結論一章ヲ成シ以テ救助事業ノ全般ニテ論スル所アルヘシ

#### 第一節 失業者ノ救助

曩ニ貧民ノ種類ヲ舉クルニ當リ労働ノ能力ヲ備フル貧民ニ對スル救貧制度ノ態度ヲ概論シ自宅救助入場救助ノ章ニ於テモ之ニ論及シテ遺漏ヲ補ヘリ而シテ今ヤ本節ニ於テ説カントスル所ハ失業者救助ノ實施方法ニシテ併セテ失業問題ノ解決ニ關シテ救貧制度慈善事業ニ關連スル諸點ニ就テ述ヘント欲スルナリ蓋シ失業救助ノ問題ハ失業豫防ノ問題ニ移リ救貧制度ハ此問題ノ一隅ヲ占ムルニ過キスト雖トモ以テ救貧事業カ經濟上、社會上ノ大問題ト關係スルノ密ナルヲ知ルヘキナリ

(イ) 労働ニ對スル權利 「ヘレヒトアウツナー」ノ「ビスマーク」ノ一度之ヲ口ニセシ來一種ノ流行語トナレリ然レトモ其意義果シテ何處ニ存スルヤ即チ各人ハ労働スル權利ヲ有スルノ義ナルヤ或ハ失業ノ際各人ハ業務ヲ請求シ得ルノ義ナルヤ第一義ハ當然ノ事ニ屬シ第二義ニ至リテハ種々ノ疑問相踵テ續出スルヲ見ルナリ、即チ何人ヨリ如何ニ長ク何處ニ於テ労働ヲ受クヘキヤ從來労働ヲ有セシ地ヲ去リテ首都ニ來リタルモノハ多年伯林ニ住居スルモノト全然同一ノ業務ヲ請求シ得ルヤ或ハ後者ニ優先權ヲ與フヘキヤ或ハ前住ノ地ニ歸リテ從前ノ労働ヲ取ラサルヘカラサルヤ數回住所ヲ變セルモノハ何處ニ於テ労働ヲ請求シ得ヘキヤ労働請求ノ時間ハ一日、一週、一ケ日、一年又ハ終身ナルヤ又タ労働ノ種類ハ既

ニ練習セルモノナルヤ之ニ類似セルモノナルヤ或ハ全ク別種ノモノナルヤ頭腦労働者ニハ必ス頭腦ノ労働ヲ與ヘ手工労働者ニハ手工ヲ給スヘキヤ又ハ労働ノ種類ハ毫モ撰ム所ナク市街掃除、網引、雪掃除等ニテモ可ナルヤ又其賃銀ハ從前ニ比シテ高キヤ或ハ低キヤ或ハ土地ノ慣習ニ從フヘキヤ

以上記列セル疑問ニ對スル答辨ノ甚タ困難ナルハ言フ俟タス各地常ニ給與スヘキ業務ヲ有ストセハ釋然タル解決ヲ得ヘキモ是レスラ必シ難キノミナラス労働者ノ失業起リテ其漸次蔓延スルニ當リテハ同一ノ地在リテ同一ノ業務ヲ取レルモノト雖トモ之ヲ繼續スルコト容易ナラサルナリ何トナレハ諸種ノ工事業縮少シテ労働者ノ需要減スレハナリ而シテ開戦ノ疑懼流行ノ變遷投機ノ過度商條約ノ締結等百般ノ原因更ニ之ニ加ハルアリ斯ノ如ク労働者ノ需要著シク減少セルニ際シテ國家又ハ市町村ハ失業ノ労働者ニ業務ヲ給セサルヲ得ストセハ如何ニシテ之レヲ求メ得ルヤ土工築道等ノ公事業ヲ興スヘキ乎「エルバーフェルト」  
「ハンブルヒ」「マグデブルヒ」「フランクフルト」等ニ於テハ數ハ此方法ヲ用ヒテ一時ノ失業ヲ補ヒ労働者ノ困厄ヲ救ヘリ然レトモ此事タル市町村當局者ノ巧妙ナル手腕ヲ要シ殊ニ相當ノ事業ヲ遺留シテ冬期失業ノ需ニ應セサルヘカラサルヲ以テ要スルニ假令急速ヲ要セサルモ早晩起工スヘキ工事ノ存在ハ缺クヘカラサルナリ之レニ反シテ單ニ失業者特ニ總テノ失業者ニ業務ヲ與フルカ爲メニ工事ヲ起ストキハ二種ノ結果ヲ來タスヤ必セリ而シテ其ノ一ハ經費ノ大ニシテ且益々増大ヲ來スコト是レナリ何トナレハ需要ナキ労働者ハ他ニ之レヲ求ムルモノナケレハナリ其ノ二ハ即チ社會公衆ノ全般ニ及ホス影響ニシテ労働ト救助事業トノ關係ヲ全ク顛倒スルコトナキヲ保セサルナリ是レ實ニ學者机上ノ空論ニアラスシテ之レカ實際ノ適例也

シカラス

今其著名ナル二例ヲ擧ケン而シテ其依テ起ル所以ヲ見ルニ國家又ハ市町村ハ失業者ノ多數ニ對スルモノニシテ當局者ハ思ヘラク業務ナキモノハ必ス所得ナク所得ナケレハ困窮ニ陥キラン而シテ飢餓凍餒ハ當局者ノ傍觀スヘキコトニアラサルヲ以テ必ス其困窮ヲ救ハサルヘカラス然レトモ困窮者ハ労働ノ能力ヲ有スルモノナレハ徒ニ布施ニ終ハルヘカラス労働ヲ得セシムルニアリ而シテ自ラ労働ヲ見出シ能ハサルヲ以テ事業ヲ起シテ労働ニ従事セシメ之カ報酬トシテ救助ヲ與ヘサルヘカラスト

此論旨タル救貧制度ノ健全ナル原則ニ符合スルモノト云フヘキナリ然レトモ一千七百八十二年及ヒ九六年ノ有名ナル「ギルバート」條例ハ此論旨ニ據レリト雖モ更ニ一步ヲ進メテ救貧制度ノ當局者ヲシテ労働ノ能力ヲ備フルモノニシテ業務ナキトキハ其住居ノ近傍ニ於テ相當ノ業務ヲ媒介シ其賃銀ヲ領收シテ其生活ニ供セシメ若シ不足ナルトキハ救貧組合ヨリ補助ヲ與フヘキモノトナセリ蓋シテ生活必需品ノ分量ト家族ノ員數トニ依リ賃銀ノ標準ヲ定メ自己ノ労働ニヨリテ得タル賃銀ニシテ此標準額ニ滿タサルトキハ則チ補助ヲ與フルモノトス故ニ一人ノ労働者ニシテ前記ノ標準賃銀ヲ得ル能ハサルコトヲ唱フルトキハ則チ大地主又ハ製造家ニ送リテ労働ニ従事セシメ大地主又ハ製造家ハ其労働ノ効果ニ應ジテ賃銀ヲ給スルモノトス而シテ此賃銀ニシテ亦タ前記ノ標準賃銀ヲ下ルトキハ其不足額ハ市町村之ヲ補助スルモノタリ

此規則制定ノ當時ハ穀價非常ニ騰貴シテ賃銀ノ上進之ニ伴ハサリシトキナリシヲ以テ人々皆ナ之カ施行ニ賛成シ以テ農家ヲシテ多少賃銀ヲ引上ケシムルヲ得ヘシトナシ當時ノ慈善家モ亦タ此規則ヲ喜ヘリ然レト

モ實際ノ結果ハ全ク豫期ニ反シ最初ニハ困窮救助ノ効著シカリシモ労働者并ニ傭主ハ忽チ之ニ狎レ賃銀ヲ騰貴セシメスシテ寧ロ低落セシメタリキ如何トナレハ賃銀ノ不足額ハ市町村之レヲ補助スルカ故ニ進テ労働ヲ求ムルノ必要ナク結局怠惰ナル者モ精勵ナル者モ得ル所同シキヲ以テ賃銀ノ上騰ヲ務ムルモノナケレハナリ

之ニ次テ獨立ノ労働者ハ其位地ノ維持ニ苦シミ賃銀ハ愈ヨ低落シ救貧税及ヒ救貧經費ハ非常ニ増加シ自由労働者ハ遂ニ業務ナキニ至レリ是ニ於テ人民ノ廉耻心一般ニ減退シ町村ノ補助ハ家族ノ員數ニヨルヲ以テ結婚續々行ハレ民ノ資産減少シテ貧民増加シ富者ハ救貧事業ノ盛ナル地方ヲ避ケテ他ニ移住セリ茲ニ於テカ人民ノ風規亂レ不穩騷擾放火其他ノ罪惡ハ頻々トシテ起レリ此情況ハ遂ニ人々ノ忍フ能ハサル程度ニ達シ一千八百三十三年特別ノ調査委員會設置セラレ其報告ニ基キテ一千八百三十四年ノ顯著ナル法律改正ヲ見ルニ至レリ此法律ニ於テモ金品ノ施與ヲナスシテ労働ヲ給與スルノ原則ヲ採レルコトハ前法律ニ異ラスト雖トモ之カ施行方法ニ至リテハ全ク異レリ、其詳細ハ後ニ記述スヘシ

第二ノ有名ナル實例ハ巴里ノ國立労働場ナリトス之ヲ前例ニ比スルニ其經過ノ順序全ク反對ニシテ即チ一見無害ナル救貧制度ノ一方法トシテ實施サレ遂ニ弊害ヲ醸生セルニアラスシテ初ヨリ社會改良ノ一新法タルコトヲ標榜シテ現出シ後チ救貧制度ノ組織内ニ隱ル、ニ至レリ、抑モ一千八百四十八年ノ革命政府ハ困厄貧窮ノ瀰漫セルヲ見テ市民ノ労働ニ對スル權利ヲ承認シ各市民ニ労働ノ保障ヲ與ヘ遂ニ二月二十七日ノ法令ヲ以テ國立労働場ヲ設立シ先ツ土工等ニ着手セリ而シテ此等ノ労働ニ堪ヘサルヲ證明スルモノニハ一

日一「フラン」半ヲ與ヘ實際之ニ從事スルモノニハ二「フラン」ヲ給セリ其不規律ニシテ工事ノ粗惡ナル忽チ四方ノ非難ヲ招キ組織ノ改良ニ依リテ改善ヲ謀リタレトモ遂ニ其目的ヲ達スル能ハサリキ而シテ三月十五日ニハ從業ノ労働者一萬四千人ニシテ日々増加スル需要ニ對スル事業ノ供給漸ク困難トナリ三月十九日ニハ其數八萬七千九百人ニ達セリ最初ノ一ヶ月ニ於テ費ス所百二十萬「フラン」ニシテ爾後日々二十萬「フラン」ヲ要シ結局事業ノ繼續三ヶ月餘ニシテ千四百萬「フラン」ヲ費セリ而シテ其結果タル英國ノ前例ニ異ラス自由労働ヲ害シ怠惰ト不注意トヲ獎勵シ不穩ノ情況ヲ醸成セルニ外ナラサリキ

前記ノ實例ニ照ラストキハ労働ニ對スル權利ノ承認ニヨリテ現今ノ經濟的組織ニ於ケル失業問題ヲ解決スルノ難キヲ知ルヘキナリ將來經濟組織變更スルニ當リテモ亦タ知ルヤ否ヤ確答ヲ與ヘ難シ雖トモ余カ卑見ニ依レハ經濟組織ハ如何ニ變更スルモ人類ノ性質ハ依然今日同シキヲ以テ自己ノ行動ニ對スル責任解除セラル、ニ於テハ必ス今日ニ均シキ結果ヲ來スヘキナリ即チ他人ノ出費ニ依リ生活セントスルコトコレナリ

(ロ) 労働ノ告示 労働ノ告示ハ労働要求權ト全ク異ナリ寧ロ労働ノ紹介ト名クルヲ以テ通稱トス抑モ個人トシテ労働市場ヲ通觀スルハ極メテ難事ニシテ一方ニ於テハ企業者労働者ヲ求メテ得ス他ノ一方ニ於テハ労働者労働市場ヲ望ンテ徒爲ニ屬スルコト少カラス自ラ諸所ヲ彷徨シテ職業ヲ求ムルハ種々ノ弊害之ニ伴ヒ新聞紙ノ廣告ハ出費ヲ要スルコト多ク又労働ノ紹介ヲ營業トスルモノハ依頼者ヲ誅求スルコト甚シク殊ニ飲食店旅店ノ被雇人又ハ海員ノ嘆息ハ常ニ吾人ノ耳ニスル所ナリ茲ニ於テ労働ノ需要ト供給トヲ互ニ告示セシメ一所ニ於ケル労働ノ空位ハ直ニ之ヲ發見シテ補充セントスル公益機關ヲ組織セントハ人々



ノ念頭ニ浮ヘル所ニシテ若シ其區域ヲ擴張シテ一村一市ニ限ラス一洲否ナ一國ニ及ホシ各地ノ紹介所互ニ氣脈ヲ通スルニ至ラハ紹介ノ功ヲ奏スル必ス尠少ナラサルナリ而シテコレ決シテ容易ノ業ニアラス何トナレハ労働者ト雇主トノ關係ハ一種ノ信用ニ基クモノナレハナリ又タ紹介ヲ營業トスルモノハ必ス此公益的の事業ニ反對スレハナリ又タ労働者カ遠ク他方ノ移住ヲ喜ハサルモ少カラサルト共ニ企業者ハ他ノ地方ヨリ來ル労働者ヲ好ムモノアレハナリ公益事業社會政策及ヒ救貧事業ニ亘レル問題ニシテ労働紹介ノ如ク世人ノ熱心ナル注意ヲ惹ケルモノハ未タアラサルナリ

労働ノ紹介カ救貧事業慈善事業ニ關シテ必要ナル所以ハ眼前失業ノ爲メニ救濟ヲ求ムルモノニ勞役ヲ與フルニ在リトス然レトモ救貧事業トシテ一般ノ労働紹介業ヲ起スヲ得ス何トナレハ労働紹介業ハ寧ロ救貧ノ必要ニ充テ之カ豫防策トシテ施行スヘキモノニシテ自由労働者ヲ以テ目的トナシ又此ノ如キニシテ始メテ成功ヲ見ルヘキモノナレハナリ即チ救貧事業ノ機關ノ力ヲ盡シテ労働紹介業ヲ獎勵シ補助シ利用シ求救者ヲシテ利用セシメ得ヘキヤ言ヲ俟タスト雖モ自ラ困窮者ノ利益トナル労働ヲ探求シ若クハ媒介セントセハ救貧事業ト直接ノ關係ノ存スルコト顯著ナラサルヘカラス此點ニ關シテハ後章諸設備ヲ論スルニ當リテ論及セン且ツ労働紹介ノ事業ハ如何ニ完備スルモ到底彼ノ失業問題ヲ解決スルモノニアラス只タ現存セル労働ノ機會ヲ指示スルニ過キスシテ新ニ労働ノ機會ヲ作成スルモノニアラサルナリ

(ハ) 労働場主義 労働要求權ノ承認ニ基キ收容無條件ニシテ自由労働者ト救貧労働者トヲ全ク同一ニ待遇スル一般的労働制度ハ實行シ難ク且ツ公益ニ害アルコトハ曩キニ述ヘタルカ如ク労働ノ紹介モ現存セル

労働ノ機會ヲ示スノミニシテ自ラ労働ヲ與ヘ得ルモノニアラサルコト右ニ説キタルカ如シ是ヲ以テ救貧事業ノ任務ハ労働ノ能力ヲ備フルモ之ヲ用ユルノ途ナクシテ窮困セルモノヲ救濟スルニアリ即チ實際的の事業ニアリテハ失業問題ハ到底十分ニ解決スヘキニアラストシテ其任務ヲ充タシ得ヘキニアラス欠典ノ存スル所其原因ノ如何ヲ問ハス之レカ救濟ノ途ヲ講セサルヘカラス而シテ労働ノ能力アルモノニハ労働ヲ與ヘテ救助スヘシトノ動カスヘカラサル大原則ヲ捨テサルニ於テハ前段研究シタル効果ナキ一般的制度ニ代ユルニ單ニ貧困者ノミニ適用スヘクシテ救貧事業ト特別ノ關係ヲ有スル特別制度ヲ採用セサルヘカラス而シテ此主義ヲ公共的の救貧事業ニ應用セハ所謂労働主義トナリ個人的の救貧事業ニ於テハ實物給與主義トヲ生ス、労働場主義ハ左ノ感念ニ胚胎スルモノナリ即チ窮困ニ陥リテ公共的の救濟ヲ求ムルモノハ獨力ヲ以テ自ラ支フル能ハサルコトヲ示スモノナルカ故ニ公益ノ爲メニ之ヲ救助スルノ必要アルト共ニ亦タ之ヲ監督スルノ必要ヲ見ルナリ而シテ監督ノ實ヲ擧ケント欲セハ求救者ヲ一定ノ場屋ニ收容シ勞役ノ進行并ニ其成績ヲ嚴密ニ觀察セサルヘカラサルナリ且ツ進テ労働場ニ來ルコトヲ喜フモノナカラシメンカ爲メニ自由獨立ニ慣レタル者ノ賤ミテ好マサルカ如キ労働ヲ與ヘ且ツ規則ヲ嚴ニシ男女ヲ區別シ一時家族の交通ヲ遮斷シ飲酒喫烟等ヲ禁セサルヘカラス而シテ此ノ如キコトハ一定ノ場屋ニ於テ始メテ之ニ勵行シ得ヘキナリ之ヲ要スルニ労働ト救助トヲ合セ行フニハ規律嚴正ニシテ人々精勵セル場所ナラサルヘカラス而シテ更ニ一步ヲ進メ労働能力ヲ有スルモノ、ミナラス困窮者ハ其種類境遇ノ如何ヲ問ハス總テ之ヲ收容センコトヲ説クモノアリ

自宅救助ト入場救助トニ關シ獨立經濟ト營造物經濟トノ差違ヲ論シ入場救助ノ自宅救助ニ優ル所以ハ曩ニ述ヘタルヲ以テ茲ニ再言スルヲ要セサルナリ

入場救助制ノ最モ完全ニ實行サル、ハ英國ニシテ實ニ一千八百三十四年ノ改正法律ニ基クモノトス即チ當時ノ立法者ハ意ヘラク公共的救貧事業ヲ行ヒ而シテ其弊害ニ防遏スル唯一ノ方法ハ屋舎ヲ建設シ來テ救濟ヲ求ムルモノハ悉ク收容スルト共ニ嚴密ナル監督ヲ施ニアリト而シテ此勞働場ニ入ラントスルモノハ實際窮乏ニ困ムコトヲ多少證明セシメタルハ「エルバールフェルド」制度ニ類似セリ抑モ當時ノ入場救助タルヤ古來未曾有ノ新制ニアラス英國ニ於テ從前既ニ勞働場ノ設アリシノミナラス第十六世紀ニ當リ伊太利佛蘭西獨逸ニ於テモ同一ノ制度行ハレタリキ、然レトモ英國ノ改正方法ニ依リ此制度ハ違ニ其面目ヲ改メ人ヲシテ全ク斬新ナル制度ナルカ如クニ感セシムルニ至レリ而シテ此制度ニ於テハ受救者ノ衣服飲食居住男女ノ離隔職業等ニ關ス悉ク細密ナル規定ヲ設ケタリ商工業ノ不景氣ナルトキニ當リテハ救助ヲ仰カントスルモノ多クシテ(經費ノ點ハ暫ク措テ論セストスルモ)到底悉ク之ヲ收容シ得ルニ足ルノ勞働場ヲ設クルコト難ク且ツ屋場外ニ於テ救助ヲ受クル貧民ハ屋場内ニ於ケルモノヨリ遙ニ大ナリシト雖モ此新法律ノ効果ハ決シテ沒スヘカラサルナリ

一區域ノ貧民ハ勞働場ニ入場ノ勸誘ヲ受ケ救助ト自由トハ交換シ難シトナシテ擧ツテ救助ヲ辭退セルコトアリキ英國ノ勞働場ヲ觀覽シテ之レヲ記述セル一獨逸人ノ言ニ曰ク「英國ノ勞働場ハ假令家計貧困ナルモ和睦セル家庭生活ヲナセルモノニ對シテハ實ニ勞働場タルノ實ヲ有スルナリ、即チ身體ノ自由ハ束縛セラレテ苛重ナル勞役ニ服シ收得ハ毫モ自己ノ養禮ニ歸セス食物ハ極メテ粗劣ニシテ且ツ十分ナラス社界ニ於テハ極貧者モ享有スル快樂モ之ヲ得ル能ハス役員ヨリ時々虐待サレ殊ニ父子夫婦モ互ニ離隔シテ相語ルヲ得サルヲ以テ勞働ナル名稱ハ人ヲシテ獄舎ヲ聯想セシムルニ至レリ是ヲ以テ未タ墮落ノ極ニ達セサルモノハ假令非常ノ窮困ヲ忍フモ此場屋ニ入ルコトヲ欲セサルナリ然レトモ以上列記セル情況ハ以テ最下等ノ人民ヲ威嚇シテ恒ニ勤勉貯蓄ノ風習ヲナサシムルニ足ラス此等ノ人民ハ氣候溫暖ナルニ當リテハ勞働場外ニ彷徨シ而シテ全ク糊口ニ窮スルニ至レハ勞働場ニ來リテ救濟ヲ求ムルノ途ヲ有スルヲ以テ平素節約ノ精神ヲ減却シテ濫費ノ風ヲ長シ從テ勞働ヲ嫌惡シテ飲酒ニ耽リ諸所ニ漂泊スルナリト最近數十年間英國ニ於ケル自宅救助ト入場救助トノ情況ハ左ノ如シ

	勞働場内	勞働場外	合	計	住民百人ニ對スル貧民ノ數
一千八百五十一年	九二、〇〇一	七〇、九八一	一六二、九八二	五、一	五、一
一千八百七十一年	一四〇、四六七	八四、三七九	二二四、八四六	四、三	四、三
一千八百九十三年	一六九、一五五	五〇、五四九	二二〇、七〇四	二、九	二、九

右ノ計數ニ據レハ過去二十五ヶ年間ニ於テ入場救助ノ比較的著シク増加セルヲ見ル是レ蓋シ受救總人員ノ減少セル所以ナリ然レトモ自宅救助ノ數ハ尙ホ多數ニシテ一千八百九十三年ニ當リ入場救助ニ三倍セリ而シテ其然ル所以ノモノハ幼年者ヲ場内ニ收容セス特殊ノ救助ヲ與フルニアリ亞米利加ニ於テモ救貧院又ハ勞働場ニ收容スルヲ以テ救貧法ノ原則トナスト雖モ此方法ニ於ケル救貧事業ハ少シク退歩ノ趨向ヲ現セリ

是亦瘋癲院ノ増加個人的慈善事業ノ發達及ヒ幼年者ニ對スル特別ノ救助制度ノ設置ニヨルモノトス  
 獨逸ニ於テハ場外制度主トシテ行ハル入場制度ハ主トシテ勞働能力ヲ有スル貧民ニ應用サレ其成績ハ英國  
 ニ劣弊タリ此制度ハ實ニ一千八百三十年代四十年代「ホルシュタイン」及ヒ「ザクセン」王國ニ於テ盛ニ行ハ  
 レタリキ蓋シ當時乞丐多クシテ其處置ニ苦ミ且ツ勞働能力ヲ有スル貧民ニ業務ヲ授ケントスルモ一市町村  
 ノ力ニ堪ヘサルヲ以テ合同シテ勞働場ヲ設ケタルニ起因シ多クハ今日尙ホ存立セリ即チ「ザクセン」王國ニ  
 於ケル約三十個所ノ勞働場ハ勞働ヲ嫌惡スルモノヲ收容スルノ目的ニシテ又同時ニ勞働能力ヲ有セサル貧  
 民ヲモ救済スルモノトス創立ノ當時ニ在リテハ其効果甚タ良好ニシテ從來地方ノ救済事業ニ伴ヘル弊害ハ  
 全ク一掃セラレタルノ觀アリキ殊ニ救貧院ノ設立セラル、ヤ救済ヲ請求スルモノ頓ニ減少シ相當ノ監視ヲ  
 施スト共ニ乞丐モ亦殆ント其跡ヲ絶ツニ至レリ

以上ノ記述ニ類似セル情況ハ近時ニ至ルマテ多數大都會ノ行政報告ニ散見スル所タリ而シテ獨逸ニ於ケル  
 勞働場ノ發達ハ區々ニシテ一様ナラス是レ蓋シ内外ノ原因ニヨリ完全ナル入場制度ノ到底實行シ難キニヨ  
 ルナラン即チ始ヨリ純然タル勞働場トシテ設立セラレタルモノハ極メテ少數ニシテ其他ニ至リテハ或ハ全  
 ク町村在籍ノ貧民ヲ收容スルニ供シ救助ヲ以テ主眼トナセリ此種ノモノハ殊ニ小市町村ニ多シトス所謂勞  
 働場ニアリテハ勞働ト救助トノ交換ニ重キヲ置ケリ或ハ救貧院ニシテ同時ニ勞働場タルモノアリ或ハ勞働  
 場ト懲戒所トヲ兼ネシムルモノアリ「ハンブルヒ」ノ如キハ救貧院兼勞働場タルノ制度ヲ採レリ而シテ老若  
 ヲ問ハス疾病ノ有無ニ關セス又タ勞働ニ服スル意志如何ヲ顧ミスシテ諸種ノ貧民ヲ收容セルモノハ皆ナ實

ニ憐憫タル情況ヲ呈シ男女老幼病者犯罪者精神病ニ罹レル者傳染病ニ惱メルモノ等ヲシテ雜然同居セシム  
 ル勞働場ノ記述ニ至リテハ實ニ吾人ヲシテ戰栗セシムルモノ少カラサルナリ、故ニ世人ヲシテ勞働場ヲ恐  
 怖セシムルノ點ニ於テハ效果ヲ奏シ貧困ノ極ニ達シタルモノニアラサレハ敢テ之ニ入ルコトヲ求メサルナ  
 リ然レトモ他ノ一方ニ於テハ收容セラレタル貧民ノ種類ニヨリテ自ラ勞働場トナリ又ハ救貧院ニ變セルモ  
 ノアルナリ之ヲ要スルニ地方町村ニ於テハ事實上ノ必要ニヨリ混合ノ性質ヲ有スレトモ其他ニ至リテハ最  
 初ノ目的ニ復シ即チ勞働場ヲ以テ勞働ニ服スル意思ノ試驗所トナシ主トシテ勞働能力ヲ有スルモノト其家  
 族トニ限ルニ至レリ

斯ノ如ク變遷セル所以ハ救済事業并ニ乞丐ニ關スル學說輿論ノ變移與テカアルナリ即チ往時ノ立法者ハ眞  
 ニ窮困ニ陷レルモノヲ救助スルノ法ヲ設ケス單ニ嚴罰ヲ以テ乞丐并ニ漂泊民ノ絶滅ヲ期シタリシカ近時ノ  
 法律ハ貧民ニ對シテ救助ノ必要ヲ承認シ一方ニ於テ確然救助ノ方法ヲ備フルト共ニ濫用ヲ防クカ爲ニ罰則  
 ヲ設ケ相當ノ理由ナクシテ救助ヲ請求シ又ハ貧困ニ陷ルモ公共的救助ヲ仰カスシテ漂泊シ乞丐スルモノヲ  
 處罰ス

前記ノ意義ヲ以テ獨逸帝國刑法ハ其第三百六十一條及ヒ第三百六十二條ニ於テ規定シテ曰ク漂泊者、乞丐  
 自己ノ家族ヲシテ乞食セシムルモノ怠惰ニシテ業ヲナサス賭博ヲナシ又ハ飲酒ニ耽ケリ爲ニ自己并ニ其家  
 族ヲシテ公共ノ救助ヲ仰クニ至ラシメタルモノ公共的救助ヲ享クルノ際指命サレタル勞役ヲ其力ニ相應セ  
 ルニ拘ラス勞働嫌惡心ヨリ之ヲ拒絕シ又ハ自己ノ過失ニ由リ住屋ヲ有セサルモノハ禁錮ニ處シ又ハ罰金ヲ

課シ且ツ其能力境遇ニ應シ監獄内又ハ他ノ自由労働者ト隔離スルコトヲ得ルトキハ監獄外ニ於テ勞役ニ服  
サシムルヲ得ト

前記ノ強制的労働ヲ執行スル場屋ハ他ノ懲罰所、禁錮場及ヒ懲役場ト異リ狹義ニ所謂労働所ニシテ入場者  
ノ改善ヲ期スルモノナルカ故ニ感化院トモ稱スルナリ故ニ労働能力ヲ備フルモ自ラ貧困ナリト稱スルモノ  
ヲ收容スル場所ニ三種アリ第一ニ救貧院第二ニ救貧官廳ノ管理スル救貧労働場第三ニ感化院コレナリ  
斯ノ如ク貧民救助ト強制労働トハ相觸接セルモノニシテ例ヘハ労働シ能ハサル老人モ之レヲ適當ニ救助セ  
ントスルニハ救助ヲ與フルカ又ハ救貧院ニ收容スヘク人ノ之ヲ助クルナキトキハ乞丐トナリテ遂ニ強制勞  
働場ニ投セラル、ニ至ラン、而シテ如何ニセハ救助ノ方法ヲ失セサルヤハ寧ロ偶然ニ出ツルコト極メテ多  
ク警察官ノ注意ノ深淺裁判官ノ認定ノ緩嚴ニヨリ殊ニ救貧官廳カ意向ニヨリテ定マルモノトス獨逸ニ於テ  
ハ尙ホ一事ノ此決定ヲ難カラシムルモノアリ即チ現今獨逸ニハ四十七個所ノ感化院ト十個所ノ支院トアリ  
其中二十四個所ハ普魯士國領ニ屬スナリトス而シテ處罰セラレタル乞丐浮浪徒等ノミヲ收容スルモノハ甚  
タ僅カニシテ多數ハ地方團體ノ負擔ニ係ル貧民ヲ收容シ數個ノ地方ニ至リテハ懲役場禁錮場労働場ノ部  
ニ別レ往々更ニ修學義務ヲ有スル幼者ノ部門ヲ備フルモノアルナリ而シテ處罰ノ爲ニ入場セルモノモ一部  
ハ寧ロ救貧院ニ收容スヘキモノアリ入場者總數ノ一割ハ身體上又ハ精神上ノ不具者ニシテ僅ニ労働シ得ル  
モノアリ又全ク労働シ能ハサルモノアリ要スルニ世人カ純然タル懲罰場ヨリモ却テ労働場ヲ恐レ非常ノ困  
苦ヲ忍ブモ寧ロ救助ヲ請求セサル所以ノモノハ蓋シ怪ムニ足ラサルナリ之ヲ近時數年ノ經驗ニ徴スルニ一

ケ年ノ入場者ハ一萬二千人ニシテ其三分ノ二ハ平均二回入場シ三分ノ一ハ三回以上入場スト云フ以テ此等  
中ニハ刑罰ヲ受ケ又ハ刑罰ヲ以テ威嚇セラル、モ懶惰放肆飲酒ノ惡習ヲ悛ムル能ハサル余ノ前章ニ於テ社  
會殘滓ト名ケタル分子ヲ混入スルヤ固ヨリ疑ナシト雖トモ時機ヲ失セスシテ相當ノ救助ヲ與ヘタランニハ  
斯ノ如キ邪路ニ迷フヲ免レシムルヘカリシモノ少カラサルヤ亦疑ナキナリ

第二種即チ救貧労働場ニ於テハ其關係ノ半ハ相反スルヲ見ルナリ此等ノ労働場ニ於テモ法律ヲ以テ規定セ  
ル強制的労働ノ必要ナル貧民少カラスシテ而モ此等ノ貧民ハ他ニ救濟ノ方法ナキカ故ニ茲ニ收容スルノ外  
ナキナリ而シテ其結果タル設立後幾ナラスシテ被收容者ノ種類并ニ其員數ニ由リ或ハ紀律緩慢ニ失セル強  
制労働ナキ救貧院トナリ或ハ監獄ニ髣髴タルモノトナルナリ其他容易ニ制度ノ本來ノ性質ヲ變更スル事情  
ノ存スルアリ即チ労働ト交換スルニアラサレハ救助ヲ與フヘカラス而モ此労働ハ簡單ニシテ習練ヲ要セス  
容易ニ着手シ又タ容易ニ中絶シ得ルモノニシテ又タ世間ノ産業ニ對シテ競争ヲナスモノナルヘカラス斯ノ  
如キ労働ヲ選擇スルハ甚タ困難ニシテ政府ノ監獄既ニ之ニ苦メリ木材截割、石割網振、紡績、珈琲豆選紙  
袋製造等ハ其重ナルモノニシテ或ハ溝ヲ堀リテ再ヒ之ヲ埋メ、豆ヲ混シテ再ヒ之ヲ分タシムルカ如ク全然  
無益ノ仕事ヲナサシムルコトアリ婦女子ニ在リテハ場内ハ厨事裁縫洗濯等ヲ課スルコトヲ得ルヲ以テ多少  
容易ナリトス然レトモ之ヲ概言スルトキハ勞務選擇問題ハ頗ル難問ニシテ數多ノ労働場ハ之レカ爲メ失敗  
セリ「デューシャラル」「ナグイユ」二氏ノ救貧ニ關スル著書ハ今日尙ホ參考ニ供スヘキ材料ニ富メルモノニ  
シテ其中ニ於テ前記ノ問題ヲ論スルコト六十頁以上ニ涉リ諸國ノ實例ヲ引用シテ其解決ノ難キヲ示セリ既

ニ曩ニ述ヘタルカ如ク全ク無益ナル仕事ヲ課スルハ眞ニ労働ノ意志アルモノニ對シテハ反抗ノ念慮ヲ起シ有用ナル仕事ヲモ好マサルニ至ラシムヘク畢竟労働場制度ハ其長所ニ對シテ幾多ノ短所ノ伴フモノアルヲ見ル例ヘハ自己ノ過失ナキ失業者ヲシテ家族ト別居セシメ又々労働場維持ノ費用ノ大ナル等コレナリ之ニ反シテ現金ヲ以テスル一時ノ自宅救助ハ經費ヲ要スルコト少クシテ而カモ被救助者ヲシテ自ラ仕事ヲ求ムル機會ヲ獲得セシム尙ホ且ツ既ニ乞食漂泊ニ慣レタルモノヲシテ同居ノ善良ナル青年ニ惡習ヲ傳ヘシムルハ亦タ此主義ノ缺點ナリ例ヘハ「ユルバーフェルド」主義ニ關シテ毫モ爭フモノナシト雖トモ前記ノ問題ノ如ク甲論乙駁諸説紛々タルハ他ニ比類ナキ所タリ而シテ多數ノ學者及ヒ實際家ノ主唱スル折衷説ヲ略述セシニ労働ヲ嫌ヒテ救助ヲ求メ又ハ乞食スルモノ又ハ怠惰放逸ニシテ其家族ヲ飢餓ノ境遇ニ陥ラシムルモノニ對シテ必ス嚴罰ヲ課スヘク現行法ヲ一層嚴ナラシムルハ諸人ノ賛成スル所タリ刑罰ノ執行ハ救貧官廳及ヒ警察ノ任務ニ屬ス然レトモ純然タル労働場ノ設置ハ救貧制度上缺クヘカラサルモノナリ蓋シ労働能力アルモ其家族ヲシテ公共救助ヲ仰クニ至ラシメタルカ如キモノニシテ果シテ彼ニ勞務ヲ求ムル眞意アルヤ否ヤ疑フニ足ルヘキ正當ノ理由ノ存スルモノヲ收容スルノ要アレハナリ而シテ救貧區域ノ小ニシテ斯ノ如キ労働場ヲ設置シ能ハサルトキハ郡立トナスヘキナリ又々假令實際ニ用ユルコト稀ナルモ之レカ德義上ノ價值大ニシテ財政上ニ於テモ亦タ冗費ニ終ハラサルヘシ蓋救貧制度モ亦タ受救者ノ意志ヲ試驗スヘキ機關ヲ要スルモノニシテ受救者カ労働場ニ收容セラル、コトヲ嫌ヒテ乞食漂泊ヲナストキハ國家ハ其強制力ヲ以テ入場ヲ勵行ス其目的ヲ遂行セサルヘカラス之ニ反シテ個人的慈善事業ニ於テハ次章ニ論スルカ如キ意志

試験ノ機關ヲ備フルナルトハ一面識ナキモノニ救助ヲ與フヘキニアラス多少制裁權ヲ有スル公共的救貧事業又ハ警察官ニ之ヲ委託スヘキナリ此書ニ於テ既ニ數回論破セルカ如ク公衆ノ無識ナル徒ニ貧民ニ惠與シテ組織完全ニシテ眞ニ憐ムヘキ貧民ヲ救助セントスル救貧事業ヲ妨害スルコト少カラサルナリ

以上述フル所ニ反シ労働能力ナキモノ又ハ從來労働ニ從事シ只タ一時窮困ニ陥リタルモノ、如キニ對シテハ労働場主義ハ應用スヘカラス自宅救助又ハ個人的救助ヲ以テ之ニ代ユヘキナリ

(二) 乞食禁止組合、宿泊所、實物給與場、労働者「コロニイ」無宿者休憩場、無錢旅行者ハ日常實際ノ生活ニ於テモ又々劇場ノ舞臺ノ上ニモ現ハル、モノニシテ吾人ノ常ニ目撃スル所タリ若シ夫レ門戸ノ信鈴微ニ響キテ下婢ノ無錢旅行者ノ戶外ニ立ツヲ報スルアレハ主人ノ之ニ對スル感情ハ其立脚ヲ異ニスルニ從ヒテ千差萬別アルヘク或ハ與フルモノナシト叱シ或ハ我カ友ヨ聊ハ何故ニ労働セサルカト問ヒ或ハ市役所又ハ警察ニ赴ムクヘシト説キ或ハ茲ニ「マーク」アリ乞フ之レヲ取レト云フアリ或ル者ハ進ンテ其何處ヨリ來リテ何處ニ赴クヤ等ヲ問ヒ窮カニ答者ニ益スルコトナク一麻ノ貨幣モ亦多ク益スル所ナキヲ知リ又遂ニ此貧困ナル旅行者ヲ救フ所以ヲ知ラサルナリ蓋シ旅行者ニ同伴シテ仕事ヲ求メ宿泊所ヲ得セシムルハ彼レノ難シトスル所ナレハナリ假令之ヲ爲シ得ルトスルモ其ノ目的ヲ達スルコト容易ナラサルナリ何トナレハ相當ノ準備ヲ有ス他ノ機關設備ノ助ヲ藉ルニアラサレハ此旅行者ノ爲メニ次日ニ於ケル宿泊所ヲ求メ持續セル仕事ヲ得ル能ハサレハナリ是ニ於テ少シク考慮アルモノハ一人ノ力ヲ以テ到底此等ノ貧民ヲ救助シ能ハサルヲ悟リ同感ノ人ト協贊シテ實際有効ナル施設ヲナス

右ニ述ヘタルカ如ク人ノ門戸ヲ叩キテ救助ヲ乞フ無錢旅行者ハ果シテ如何ナルモノナルヤ米國ノ一記者「マツクツク」ハ此等ノ人種ニ關スル米國特別名稱ナル所謂「ツランブ」ナルモノヲ記述シテ曰ク「漂遊ヲ好シテ飽クナク一モ著シキ生活必需品ヲ携ヘス勞働能力ヲ有スルモ非常ニ勞働ヲ嫌ヒ人家ヲ屢訪シテ物ヲ乞ヒ所有者ノ承諾ヲ經スシテ他人ノ所有地ノ上ニ眠ル等ハ單獨以テ未「ツランブ」ト云フニ足ラス此等ヲ綜合スルトキハ始テ吾人ノ「ツランブ」ト名クル浮浪徒ノ特質ヲ描キ盡スト然レトモ無錢旅行者ハ悉ク「ツランブ」ナルヤ否ヤ又皆貧民ニシテ又常ニ實際旅行者ナルヤ否ヤヲ知ル能ハサルナリ、獨逸ニ於テハ古來年季奉公ヲ終ヘタル手工職工カ諸處ヲ遊歴セルヲ以テ無錢旅行者ノ意義モ此慣習ニ關聯ス此等ノ手工職工ハ到ル處自己ノ習得セル仕事ヲ求メテ其同業者ヲ訪ヒ或ル場合ニハ慈善家ノ門ニ立ツコトアルナリ而シテ輓近ニ於テハ手工職工ノ遊歴減少セルモ工場職工ノ諸處ニ移轉スルモノ甚タ多ク從テ其際人ノ門戸ニ立チテ金錢ヲ乞フノ風習ハ傳來シテ衰ヘサルモ一種ノ權利ナリトノ古來ノ感念ハ世人ノ腦裡ヲ脱却シテ傳來セス、而シテ此遊歴ノ風習ハ其初メニ於テハ不正ノ目的ニ出テサリシト雖トモ一方ニ於テハ遊歴者ヲシテ他ノ好意ト不注意トニ狎レシメ他方ニ於テ其悠々トシテ係累ヲ脱シ且ツ勞働ヲナサシテ諸處ヲ遍歴スルノ快樂ヲ覺ユルニ至ルヲ以テ初メハ饑渴セサルカ爲ニ職業ヲ求ムルノ際救助ヲ乞ヒタルモノモ變シテ遊歴スルカ爲メニ救助ヲ求ムルニ至ルナリ且ツ遍歴慣習ト共ニ之ニ關聯スル客舍生活飲酒懶惰ノ習癖ヲ助長セサルナシ其初メハ眞面目ナリシ青年者モ他ノ老功者ノ爲メニ感化セラル、ナリ而シテ懶惰遊逸ハ遂ニ進ンテ暴行

トナリ田舎ノ住民カ漂泊者ヲ恐ル、故ナキニアラス或ハ豚ヲ奪ヒ雞ヲ竊ミ甚シキニ至リテハ放火スルモノアルナリ要スルニ遊歴者ヨリ漂泊者ニ移リ求救者ヨリ純然タル乞丐トナリ次テ乞丐浮浪徒ノ犯罪人ニ轉スルハ故ラニ奇トスルニ足ラサルナリ而シテ田舎ニ於テ成效スルトキハ都市ニ來リテ之ヲ試ムルノ勇氣ヲ生ス田舎ニアリテハ人家離隔スルカ爲メニ乞丐ニ便ナルモ都市殊ニ大都市ハ隱蔽ニ便ナルヲ以テ此種ノ人物ノ尙ホ都市ニ多キハ怪ムニ足ラサルナリ甚シキニ至リテハ一定ノ住所ヲ有シ從テ漂遊ノ必要ナキモノモ其妻兒ト共謀シテ他人ノ門戸ニ立ツモノ尠カラス而シテ此業務ノ繁盛ナルハ世人ノ知ル所ナラン乞丐界ノ事情ニ精通セル諸著述ノ計算スル所ニ據レハ一日ノ漂泊者一萬二千乃至二萬人ニシテ一人最小收入二「マーク」ヲ得ルモノトスレハ一人カ一年ニ所ル所七百五十「マーク」トス故ニ漂泊者ノ一日平均數ヲ一萬五千人トスルトキハ獨逸國民カ一年間ニ漂泊者ニ授與スル所ハ一千五十萬「マーク」ニシテ而モ此計數ハ寧ロ内端ヲ見積リタルモノナリ而シテ此金額ヲ授與シテ得ル所ハ如何ニト云フニ實際漂泊者ノ窮厄ヲ救フヲ得ス却テ勞働嫌避ノ念ヲ長シ正業ニ復歸スルノ期ナカラシム抑モ漂泊ノ原因ハ眞ニ勞務ノ缺乏世上ノ不景氣家庭ノ困難等ニ在ルナレハ漂泊ノ境遇ニ陷ラントスル始ニ當リテ之ヲ救濟シタランニハ後來勞働場ニ入り老後救貧院ニ收容セラル、ヲ逸シ得ヘク從テ能力及ヒ勞働ノ巨額ナル資本ヲ徒費スルノ損失ヲ避クルヲ得ヘキナリ、乞食者、漂泊者ニ對スル法律ハ存在スト雖トモ法網ヲ免ルモノ尠カラス又假令嚴罰ヲ加フルモ多クハ既ニ時機ヲ失スルヲ如何ニセン又一區域ノ救貧事業能ク整備シテ勞働場ヲ有スルモノアルモ附近ノ町村ニ於テ同一ノ設備ナキトキハ遂ニ其効力ヲ失シ而カモ救貧事業不完全ナル所ニ在リテハ余力屢

々記述セルカ如ク貧民ヲ驅リテ乞丐界ニ墮シ入レサルナシ加之無知ノ公衆ハ好シテ乞丐ニ惠與シテ其罪ヲ悟ラス要スルニ此等ノ設備ハ悉ク不完全ニシテ放逸無耻ナルモノハ出テ、乞丐トナリ廉耻アルモノニシテ貧困ニ陥リタルモノハ遂ニ餓死スルヲ免レサルナリ而シテ乞丐漂泊ハ到ル處ニ行ハレテ其害ハ世人ノ熟知スル所ナレトモ個人ノ獨力ヲ以テ之ヲ如何トモナスヲ得サルナリ是ニ於テ無錢旅行者ノ戶外ニ立ツニ方リ獨力ノ力救済ノ任ニ當ル能ハサルヲ悟ルモノハ衆多ノ力ヲ協セテ以テ此疾疫ニ均シキ弊害ヲ削除センコトヲ企圖スルニ至レリ

面シテ第一ニ解決スヘキ問題ハ勞働能力ヲ有スル救助請救者ノ處置ニシテ此點ニ關シテハ衆人其說ヲ一ニシテ即チ施物ヲ廢シテ勞働ヲ與フヘク之ヲ換言スルハ勞働ノ報酬トシテ救助ヲ與フヘシト主張セリ此觀念ハ近時(古代ニモ類似セルモノナキニ非レトモ)起リタル實物給與場、勞働者「コロニー」(此二者ハ主トシテ地方ニ行ハル)乞丐禁止協會(都市ニ多シ)ノ基礎ニシテ公共的救貧事業ニ在リテハ勞働場主義ニ於テ實行サル

實物給與場ハ其名ノ示スカ如ク漂泊者ヲ寄宿セシメ食費相當ノ勞務ニ從事セシム從ツテ勞務ノ程度ハ晝食夕餐宿ノ際ニ準シテ差アリ本場ハ一時漂泊者ヲ收容スルモ長ク滞留スルヲ許サ、レハ寄宿者ハ眞ニ業務ヲ得ヘキ地方ニ向テ可成速ニ赴カサルヘカラス、而シテ此實物給與場ヲシテ實際効能アラシメント欲セハ一郡一國否ナ全帝國ヲ通シテ統一的組織ヲ有シ大凡一日程ノ距離毎ニ一給與場ヲ設ケ行旅者ヲシテ初メヨリ其行路ヲ豫定セシメ各給與場ニ於テ證明書ヲ與ヘテ他ノ給與所又ハ官廳ニ呈セシムルヲ要ス一千八百九十

五年ニ於テ普魯士國ハ三百四十二郡ヲ通シテ給與場七百四十四ヲ有ス然レトモ増減甚タ急激ニシテ一千八百九十二年以來百五十三箇所ヲ減ス故ニ普國全土ヲ通シテ遍ホク實物給與ヲ設置セントセル法律案ノ否決セラレタルハ實ニ痛嘆スルニ堪ヘタリ現存ノ實物給與場ハ連合シテ一團體ヲナシ其團體亦連合シテ全獨乙實物給與場組合ヲ構成ス瑞西奧太利ニ於テモ其發達略ホ獨乙ニ類似シ英佛米ノ諸國ニ於テハ熱心ニ獨乙ノ制度ヲ研究セリ

勞働者「コロニー」ハ實物給與場ニ類似スレトモ其異ナル所ハ漂泊及乞食ヲナシテ墮落シ勞働ノ習慣ヲ失ヒ精神上身體上ノ困難ニ遭遇シテ當ニ新生涯ヲ始メントスル漂泊者ヲ救助セントスルニアリ故ニ實物給與場ノ如ク一時ノ收容ヲ目的トセス初メヨリ長時間ノ逗留ヲ豫定セリ現今獨乙全土ヲ通シテ勞働者「コロニー」二十七箇所アリ設立以來收容セル人員ハ九萬人以上ニ達ス收容定員ハ三千餘ニ減スト云フ而シテ獨逸勞働者「コロニー」中央連合會ナルモノアリテ各「コロニー」互ニ氣脈ヲ通スルモノトス

宿泊所(ヘヤベヤヒ、ツォア、ハイマート)ハ一種ノ漂泊者旅舎ニシテ其目的トスル所行旅者ノ旅店ノ爲ニ奪掠セラレ又火酒飲用ノ惡習ニ感染スルヲ豫防スルニ在リ其宿料ハ甚タ廉ニシテ耶蘇教主義ヲ以テ管理サル同時ニ實物給與場ノ性質ヲ備フルモノ多ク救貧官廳又ハ個人的慈善協會モ屢々費用ヲ償フテ無業行旅者ヲ托シ自己ノ實物給與場トシテ利用ス此制度モ亦一ノ中央機關ヲ有ス成立既二十年ニ達セリ目下獨逸ニ於ケル此種ノ宿泊所ハ四百三十九箇所ナリ、一千八百九十五年度投宿人員ハ三百七十萬人ニシテ其中自ラ費用ヲ支拂ヘルモノ二百四十七萬人實物給與場トシテ收容セルモノ七十萬人只タ食事ノミナセルモノ五十萬

乞丐防止協會ハ主トシテ都市ニ於ケル乞丐防止ヲ目的トシ柏林「ドレーズデン」「ドルトムント」「ハンノー  
ワー」「ブレスラウ」等皆之ヲ有ス「エルバーフェルド」ニ於テハ婦人協會同時ニ乞丐禁止協會タリ此種ノ協  
會ノ目的ハ前記諸種ノ設備ヨリモ更ニ一步ヲ進メ惠與ヲ乞フモノヲ自ラ直接ニ救済スルノ時間ト志望トヲ  
有セサルモノニ代リテ乞救者ノ事情ヲ調査シ相當ノ救助ヲ與フルニ在リ是レヲ以テ其會員ハ戶外ニ來レハ  
乞救者ニ對シテ何等ノ惠與ヲモ施サ、ルモ良心ニ耻ツルナク只タ之ヲ協會ニ差遣スレハ則チ可ナリ故ニ此  
種協會ノ一要件タル會名ヲ有スル門標ハ眞ノ乞丐ヲ驅逐スル確効手段タリ此レ乞丐輩ハ門標ヲ見テ既ニ主  
人ノ協會員タリ其答ノ協會ノ指定ニアルヘキヲ知レハナリ而メ漂泊的乞丐ニ關シテハ此種ノ協會ハ(例ヘ  
ハ設備完全ナル「ドレーズデン」救貧并ニ乞丐禁止協會ノ如キハ)特別ノ勞働場ヲ有ス若クハ所在ノ實物給與  
場ト氣脈ヲ通シテ漂泊者ヲ委托ス特ニ無宿者救助ノ爲ニハ無宿者休息場ナルモノアリ大都會ニ於テハ或市  
立勞働場又ハ私立實物給與場ト連絡ヲ有スルモノアリ或ハ連絡ナキモノアリ「ベヤリオン」「ハンブルヒ」  
「ブレスラウ」ノ休息場ハ其規模大ナリトス此休息場ナルモノハ給與場ト宿泊所トノ中間ニ位シ其主義トス  
ル所ハ勞働ヲ強ヒス何等ノ格式ヲ要セサルニ在リ此レ即チ所謂匿名主義ニシテ來ル者ハ皆之ヲ收容シテ沐  
浴セシメ携帶物ヲ消毒シ宿泊ヲ許ス朝食ヲ給ス故ニ來リ投スル者ハ外所ヨリ來レハヤ或ハ市内ニ住スルモ  
ノナルヤヲ判別スルコト難シ而シテ此休息場ヲ管理スル人々ハ前記ノ主義ヲ辨護シテ曰ク乞救者ニ與フヘ  
キ救助ハ可成其窮厄ヲ輕カラシムルニ在リ從テ休息場ニ一夜ヲ費ス間ハ警察官又ハ慈善家ノ來リテ其姓名

ヲ尋問スル等以テ其安息ヲ破ルコトナキヲ以テ可トスト然レトモ近時救貧慈善協會ハ匿名主義ニ反對ノ意  
見ヲ有ス余ハ當時同會ノ報告員トシテ反對ノ態度ヲ取ルコトヲ主張セリ此レ蓋シ救貧事業ノ健全ナル原則  
ニ該當スレハナリ大都會ニ於テ無宿者ノ無調査收容ヲナスハ之ニ代ハルヘキ良法ナキ以上ハ蓋シ己ヲ得サ  
ルニ出ツルコトハ余ノ認ムル所ニシテ「ベヤリオン」「ハンブルヒ」ニ於テ余ノ親シク見聞スル所ヲ以テスレ  
ハ人々カ利ヲ捨テ、盡力スルハ熱誠ナル慈善心ノ表章タルコトハ亦タ余ノ首肯スル所ナリト雖トモ其事情  
ヲ調査セシテ來投者ニ宿泊ヲ許スハ調査セシテ物品ヲ施與スルト異ナルナク救貧事業ノ大原則タル個  
人主義ノ精神ニ反スルモノタリ即チ無宿者ノ一夜休息場ニ眠リテ翌朝之ヲ辭スルヤ其境遇ハ昨日ニ異ナル  
ナキモ若シ其事情ヲ調査シテ相當ノ救助ヲ與フルトキハ其境遇ヲ改善スルコト必シモ難キニアラサルナリ  
或ハ曰ク休息場ハ金錢ヲ與フルニアラス長ク宿泊ヲ許スニアラス僅カニ一夜ノ就眠ト僅少ノ飲食ヲ給スル  
ニ過キサレハ之ヲ奇貨トシテ濫用スルモノナリ其救助モ甚タ輕少ニシテ姓名ヲ記錄スル等ノ手數ヲ費スニ  
足ラサルナリト一夜ノ宿泊ハ甚タ輕事タリト雖トモ十人ノ宿泊ト之ニ伴フ朝夕ノ肉汁ハ其費ス所必シモ少  
ナラサルナリ且ツ無報酬無調査ニ之ヲ行フトキハ遂ニ被救助者ノ心中ニハ常ニ無造作ニ與フル布施ニ附帶  
スルカ如キ危険ナル安心ヲ生シ且ツ宿泊料ニ支出スヘカリシ金錢ヲモ飲酒ニ費サシムル誘惑ヲ生ス就中憂  
フヘキハ休息場ノ目的トシテ外地ヨリ漂泊者ノ來集スルコトコレアリ例ヘハ「ベヤリオン」ニ於テハ私立并  
ニ市立ノ休息場ニ於テ各五夜ヲ費スコトヲ得ヘク而モ監督不充ナルヲ以テ比較的長ク救助サレ得ヘシ又  
記錄ノ勞ニ關シテハ余ハ全ク反對ノ意見ヲ有スルモノタリ蓋シ記錄其他ノ煩勞ハ初メテ救貧事業ニ關與ス



ル者ニハ最モ利益多ク其關スル所ハ管ニ僅々ノ價格ヲ有スル一夜ノ宿泊一杯ノ肉汁一足ノ古靴ノミナラス從來愛受者ノ境遇改善スルヤ將タ益々墮落スルヤノ繫ル所タリ而シテ其孰レニ決スルヤハ受救者カ初メテ救助ヲ受クルニ當リテ其事情ヲ了知シ得ヘキヤ否ニ繫ルコト頗ル大ナリ

故ニ實物給與場労働者「コロニー」ノ遵奉スル主義ハ健全ナルモノト謂ハサルヘカラス何トナレハ労働ノ意志アルモノト然ラサルモノト多少區別センコト試ムレハナリ從テ休息場カ公共的救貧制度又ハ個人的慈善協會ト氣脈ヲ通シテ乞救者ノ事情ヲ明ニシ以テ如何ナル救濟ヲ施スヘキヤヲ知ラシムルハ刻下ノ急務ナリトス而シテ乞救者ノ事情ヲ調査スル他ノ慈善事業ト連絡スルハ休息場ニ於テ毫モ躊躇スルヲ要セス諸種ノ機關互ニ連絡ヲナシ始メテ乞救者ノ境遇事情ニ應シテ之ヲ休息場労働場實物給與場又ハ労働者「コロニー」ニ收容スルコトヲ得ルモノタリ之ニ反シテ所謂匿名主義ヲ以テ怠惰放逸飲酒ニ耽ルノ徒ヲ保護スルハ不可ナリトス然レトモ目下匿名主義ノ休息場アルハ全クナキニ勝ル萬々ナルハ言ヲ俟タス「ロンドン」「パリス」「ニューヨーク」其他ノ大都ニ於テモ之ヲ有スルハ蓋シ已ムヲ得サルニ出ルモノタリ只タ吾人ノ希望スル所ハ其寧ロ姑息ノ處置ナルヲ知りテ他ノ方法ヲ以テ之ニ代ユルコトヲ努ムルニ在ルノミ

## 第二節 幼者ノ保護

救貧事業中人々ノ好シテ力ヲ盡スモノハ幼者ノ保護ニ勝ルモノナシ、蓋シ幼者ノ保護ハ既ニ成熟セル壯年者ヲ取扱フニアラス、又人生ノ辛酸ヲ閱シ盡セル老者ノ晩年ヲ慰ムルニアラス、青年ノ活氣内ニ滿チテ教育ヲ施スノ餘地緯々タル幼者ハ人生ノ初期ニ立チテ前途尙ホ遠達其果シテ溫和勤勉身神共ニ健全タル人物

トナルヤ或ハ邪路ニ迷ヒテ身神兩カラ墮落シ己ヲ苦シメ社會ヲ害スルノ徒輩トナルヤハ一ニ救助方法ノ良否如何ニ在リテ存スレハナリ、貧人ノ子ト富者ノ子トハ性質并ニ薰陶受納ノ力ニ於テ差等アリト云フモノアレトモ是レ大ナル謬ニシテ後來差違ヲ生スル所以ノモノハ生長ノ境遇如何ニ由ルモノトス、特別ノ例外ハ孰レノ階級ニモ存在スルモノニシテ此例外ヲ除クトキハ幼者ノ如何ナル人物トナルヤハ四圍ノ關係ニ從フモノトス、而シテ幼者ノ保護ハ能ク時機ヲ失セスシテ救濟保護シ教育シ得ルヲ以テ其事業タルヤ愉快ニシテ且ツ有望タルナリ

抑モ幼者ハ獨立スルヲ得ス、必ス他ノ扶養ヲ仰クモノニシテ第一ニ養育ノ義務ヲ有スルモノハ父母ナリトス、故ニ幼者保護ノ主眼トスル所ハ幼者其父母ヲ失ヒ若クハ其父母健在スルモ養育シ能ハサル場合ニ當リ代テ父母タルニ在リトス、即チ單ニ衣食ヲ給シ教育ヲ授クルノミナラス、能ク限リ父母ノ慈愛ヲ與ヘサルヘカラサルナリ彼ノ伯林救貧規則ノ定ムルカ如ク幼者ノ尙ホ父母ノ膝下ニ在ルニ當リテ幼者養育料ナルモノヲ給スルハ其當ヲ得タルモノニアラス、斯ノ如キ場合ニ於テ救助ヲ受クルモノハ幼者ニアラスシテ其父母若クハ其家族ナリトス、而シテ救助ノ原因ハ多兒ナルニ在リトスルモ養育料ハ敢テ特ニ兒女ノ養育ニ充ツルニアラスシテ之カ用途ハ父母ニ委任スルモノトス故ニ正當ナル意義ヲ以テ幼者ノ保護ト稱スルトキハ第一ニ幼者カ父母ヲ失ヒ父母ニ遺棄セラレ又ハ家事の事情ニ依リ父母ノ家ヲ去ラシメサルヘカラサルノ場合ニ於テ直接ニ之ヲ扶養スルコトヲ云ヒ第二ニ父母ノ家ニ在ル幼者ニ對シテ特ニ其者ノ爲メニ救助ヲ與フルヲ謂フナリ、是ヲ以テ幼者ノ保護ヲ二種ニ分チ第一ヲ全部保護ト稱シ第二ヲ補充的保護ト云フ即チ全部

保護ニ於テハ或ハ育兒院ニ收容シ或ハ私人ノ家族ニ托シ以テ生活ノ必要物ハ總テ之ヲ擔當スルニ在リ、補充的保護ニ於テハ牛乳ヲ給與シ保護所ニ幼者ヲ收容シ病院ニ送り休暇日ニ旅行ニ伴フカ如キコトヲ行フモノトス

全部保護ハ今日尙ホ多ク孤兒保護ト稱スレトモ適稱ト云フヲ得サルナリ、何トナレハ孤兒即チ父母ノ死亡セル幼者ハ全部保護ヲ受クルモノ、一部ニ過キサレハナリ、蓋シ孤兒保護ナル名稱ハ孤兒ノミヲ保護スヘキモノトナセル時代ニ濫觴セルモノナリ、而シテ棄兒ハ其父母ノ誰タルヲ明ニセス、他人ノ扶養ヲ要スル點ニ於テハ父母ヲ失ヒタル孤兒ニ同シキカ故ニ兩者ヲ同一視セリト雖トモ實際上其間ニ重要ナル差違アリ宜シク慎重ニ救助前ニ調査ヲ要スルノ原則ヲ喚呼セサルヲ得サルナリ、抑モ棄兒發見サルレハ必ス之レカ遺棄者ナカルヘカラス、即チ第一ノ扶養義務者ニシテ(特ニ父母)其義務ヲ履行セサルモノナカラサルヘカラス、然ルニ棄兒ヲ保護スルコト孤兒ト異ナルコトナキトキハ爲メニ他人ノ保護ニ依リテ己ノ責任ヲ免レタル父母タルモノ、心ニ影響スル所少カラサルナリ、殊ニ此種ノ救助盛ニ行ハレテ其間ニ差違ヲ設ケス、敢テ父母ノ何人タリシヤヲ調査セサルトキハ父母タルモノ、警戒ヲ緩フシ爲メニ濫婚ノ弊ヲ生シ私生兒ノ出産ヲ増加シ且ツ親子自然ノ關係ヲ滅却スルニ至ル、此レ實ニ孤兒保護ノ歷史上實例ノ無數ニ證明スル所タリ、就中有名ナルハ所謂廻轉器<sup>トイナリ</sup>ヲ備ヘタル孤兒院是レナリ、即チ廻轉器ハ軸心ヲ有シテ廻轉シ其一方ニハ棄兒ヲ收ムル容器ヲ備ヘ此容器外部ニ在ルトキハ院内ヨリ之ヲ窺知セラル、コトナクシテ院外ヨリ之ニ幼兒ヲ容ル、コトヲ得ル装置ナリ、之ヲ警フレハ猶ホ鳥籠ノ餌器ノ如シ、此廻轉器ノ濫觴ハ伊太利ニシテ獨逸英吉

利ニ於テモ一時行ハレタレトモ其最モ盛ナリシハ佛蘭西ナリ、即チ佛國ニ於テハ一千八百十一年幼者保護ニ關スル勅令ニ由リ一般ニ應用セララル、コトトナリ、二百三十五ヶ所ニ之ヲ設ケ忽チ收容兒童ノ増加ヲ來セリ、當時ノ著述家ノ記スルカ如ク世人ハ公費ヲ以テ兒女ヲ養育スルヲ以テ當然ナリト思惟スルニ至レリ一千七百八十四年ニハ公立孤兒院ノ幼者殆ント四萬人ナリシモ一千八百十五年ニハ六萬八千人、一千八百十九年ニハ九萬九千人、一千八百三十四年ニハ十三萬四千人トナレリ(一年ニ三萬乃至三萬四千人ヲ増加セル割合ナリ)「ハンブルヒ」「ロンドン」及ヒ其他廻轉器ヲ應用セル地ニ於テモ同一ノ結果ヲ生シ甚シキニ至リテハ單ニ孩兒ノミナラス、十四歳ノ童兒ヲモ器中ニ投入シ容器ニ收メ難キモノハ之ヲ孤兒院ノ門前ニ遺棄スルニ至レリ、現今ニ於テハ廻轉器ノ應用ハ稀ニ佛蘭西、伊太利、西班牙、南亞米利加ニ行ハル、ノミナリ

廻轉器ノ弊害ハ無主義ノ慈善ニ伴フ弊害ニ外ナラスシテ世人ヲシテ機會アル毎ニ自己及ヒ其骨肉ニ對スル責任ヲ逃レントスルノ念慮ヲ增長セシメ、此弊害ハ一事件毎ニ精密ニ其事情ヲ調査スルニアラサレハ之ヲ豫防スルヲ得サルナリ、故ニ現今諸専門家ハ皆唱ヘテ曰ク幼者保護ニ關シテハ他ノ慈善事業ト同一ノ主義ヲ適用スヘシト、而シテ父母ノ尙ホ存在スルトキニ當リテ小兒ヲ扶助スルハ即チ父母ヲ救助スルニ外ナラサルヲ以テ父母ノ事情ヲ調査スルコト父母ノ救助ノ場合ニ於ケルカ如クナルヲ要ス、從テ小兒ヲ遺棄スルモノアルトキハ其父母ヲ探索シテ少クトモ父母ヲシテ其義務ヲ竭サシムルコトヲ謀ラサルヘカラサルナリ近時伯林ニ於テ巨額ノ金員ヲ遺贈スルモノアリ、新聞紙ハ盛ニ之ヲ以テ棄兒養育院ヲ建設スヘシト唱道ス

レトモ吾人ハ世人ノ實驗ニ鑑ミ無調査收容制度ニ摸倣セサランコトヲ切望シテ止マサルナリ、無調査收容ノ結果ハ無責任ナル父母ノ小兒ヲ遺棄スルモノ續出シ今日既ニ出産百ニ對シテ十四五ノ高率ヲ示セル伯林ノ私生兒ノ數ハ一層増加スルニ至ラン（出産一〇〇ニ對スル私生兒ノ數ハ普魯士全國ニ通シテ七、帝國全土ニ通スルトキハ九、四トス「ベルリン」ハ前記ノ如ク一四「五ニシテ「ライン」右岸ノ「バイエヤン」ニ比スレハ少シク低キノミ）

小兒カ遺棄セラレテ扶ナキヲ見之ヲ捨テ、顧ミサル能ハサルハ人情ノ常タリ、又或ル場合ニ於テハ德義上衛生上扶養ヲ缺クノ甚シキヲ見テ父母ノ膝下ニ在ル小兒ヲモ引取ラントスルコトナシトセス、然レトモ斯ノ如キ場合ニ當リ私人ノ慈善ハ寧ロ拱手シ公共的救貧制度ヲシテ處置セシムルヲ可トス、蓋シ公共的救貧制度ニ於テハ法律ノ力ニ依リ父母ヲシテ小兒ノ養育ニ應分ノ力ヲ盡サシムルコトヲ得且ツ刑罰ヲ課シテ回避ノ應報ヲ感セシムルコトヲ得ルナリ往時廻轉器ノ利害ニ關シテ諸稅紛々タリシカ如ク、幼兒ノ全部保護ヲナスニ當リ之ヲ一定ノ場屋ニ收容スルト之ヲ私人ノ家庭ニ托スルト孰レヲ可トナスヤニ關シテハ諸家ノ唱フル所未タ一ニ歸着セス、前者ニ於テハ教師、監視人、世話掛アリテ教育薰陶ノ任ニ當リ後者ニ在リテハ家族ノ子弟ト同一ノ生活ヲナスモノニシテ前者ヲ主張スルモノハ曰ク育兒院ニ於テハ監督行届キ教育切實ナルモ小兒ヲ托スル家族ハ利益ヲ目的トナスカ故ニ缺點多シト、又後者ヲ可トナスモノハ曰ク家族必シモ缺點多キニ非スシテ而モ費用ヲ要スルコト甚タ少ナク家族生活ハ小兒ヲ自然ノ境遇即チ後來自ラ經歷スヘキ境遇ニ置タモノタリ、又夙ニ人生ノ真相ヲ悟リ育兒院ニ於ケルカ如ク他人ノ準備セル食卓ニ座スルニ

反シ家族ト苦樂ヲ共ニシ殊ニ一タヒ失ヒタル父母ノ慈愛ニ代ハルヘキモノヲ得ルノ便アリト、如上列舉セル利害以外ニ育兒院ハ以下記述スルカ如キ短所ヲ有スルモノタリ、即チ家庭ニ於テハ小兒ノ性質ニ應シテ特別ノ教育ヲ施スコトヲ得レトモ、育兒院ニ於テハ然ルヲ得サルナリ、又タ育兒院内ノ生活ハ單調無味ニシテ幼者精神ノ發達上佳良ナラサルナリ、又傳染病又ハ德義上ノ疾病モ亦タ傳播スルコト速ニシテ不徳義ナル小兒一人存在スルトキハ忽チ他ノ小兒ヲ誘惑スルニ至ルモノトス

以上ノ問題ニ關シテハ著述極メテ多シ然レトモ重要ナル二條件ヲ備フルトキハ家族委托制度ヲ以テ可トスルノ說ニ歸セルモノ、如シ此二條件トハ其一ハ適當ナル家族ヲ發見シ得ルコト、其二ハ此等家族ニ對シテ常ニ相當ノ監督ヲ實行スルコトコレナリ、家族ノ撰擇ヲ行ハス些少ノ養育料ヲ與ヘテ小兒ヲ托スルハ小兒ヲ冷遇虐待ノ境遇ニ陥ルニ外ナラサルハ育兒院派ノ唱フルカ如キナルヲ以テ今日整備セル救貧制度並ニ私立教育協會ニ於テハ最モ此點ニ注意セリ而シテ相當ノ煩勞ヲ惜マサレハ質素ナル家族ニシテ慈愛ト注意トヲ以テ小兒ヲ待遇シ養育料ノミヲ目的トセサルモノヲ發見スルコト難カラサルナリ、殊ニ田舎又ハ小都會ニ於テハ小兒養育ノ事情大都ニ比シテ佳良ナルカ故ニ田舎又ハ小都會ノ家族ヲ選ムヘシト雖トモ、大都會ニ於テモ亦良家族ナキニアラサルナリ

監督ハ育兒事務ヲ擔當スル吏員單獨又ハ助手ト共ニ之ヲ行フモノトス、而シテ近時助手トシテ婦人ヲ用ユルコト行ハレ其成績甚タ可ナリト云フ婦人ノ力ヲ借ラントスルトキハ豫メ各地存在ノ婦人協會ニ交渉シ協會員ハ各員ノ受持、區域ヲ定メ其區域ニ於ケル家族ヲ時々訪問シ或ハ醫師ト共ニ身體ヲ検査シ或ハ就學兒

童ニ在リテハ學校ノ教師ニ就テ學力品行ヲ調査ス此組織ハ「ブレスラウ」「ライプチヒ」「ボーセン」等ニ行ハレ、殊ニ「ブレスラウ」ニ於テハ婦人ノ監督好結果ヲ奏シ一年四回施行セル醫師ノ検査ヲ減スルニ至レリト云フ

家族養育ノ優レルハ已ニ述ヘタルヲ如シト雖トモ育兒院モ亦全ク之ヲ廢スルヲ得サルナリ即チ突然母ノ死亡シ、兩親ノ失踪シタル如キ、若クハ其他ノ原因ニヨリ速ニ幼兒ヲ引取ラサルヘカラサル如キ場合ニハ之ニ應スル設備ナカルヘカラサルナリ又教育ニ困難ナルモノ疾病ニ罹レルモノ癡疾ナルモノ等ハ特別ノ取扱ヲ要シ、其他精神上若クハ身體上不具ニシテ受托ナキモノ亦少シトセシ其他現今育兒院ノ多數ハ豐富ナル資金ヲ有シ容易ニ閉鎖スヘカラサルモノアリ之ニ加フルニ現今ノ育兒院ハ殊ニ衛生教育ノ二點大ニ進歩シ往時ノ育兒院ニ伴ヘル不備短所ハ今ヤ全ク其跡ヲ絶テリト云フモ不可ナキナリ

育兒院養育ト家族養育トノ長所ヲ保有スルカ爲ニ近時獨逸ニ於テモ英國佛國ノ例ニ倣ヒ所謂群團制度ヲ採ルニ至レリ、此制度ニ於テハ宏大ナル建物ヲ設ケス、田舎ニ數多ノ小屋ヲ建築シ幼者ヲ之ニ分置シ每屋ニ勞働者又ハ手工職工ノ家族ヲ住居セシメテ監視ヲ委托シ男兒ハ手工ヲ習練シ女子ハ家事ヲ見習ハシム一群團ノ幼者ノ數ハ八人乃至十二人ニシテ子女ニ富メル家族ト大差ナク以テ育兒院内ニ於テ家族的共同生活ノ趣味ヲ覺ヘシメントス、又大ナル育兒院ニ於テハ住居ヲ區別セスト雖トモ幼者間ニ群團ヲ造リテ特ニ親密ナル關係ヲ有セシム「ハンブルヒ」育兒院ハ巧ニ此方法ヲ實行セリ、群團制度（佛國ニ於テ最初ニ此方法ヲ行ヘル育兒院ニ因ミテ「メトレイ」制度ト名ケ又英國ノ模範ニ從ヒ「コツテージ」制度ト稱ス）ノ獨逸ニ於ケ

ル好標本ハ「ハンブルヒ」附近ノ「ホルン」ニ於ケル有名ナル「ラウエスハウス」前茅屋ト假譯セルモノナリ幼者ノ衛生及ヒ品行ニ關シテ注意スルノミナラス、善良ナル學課ヲ受ケテ將來生計ノ準備ヲナサシムルコトヲ務メ、整備セル育兒事業ニ在リテハ幼者ノ十四歳ニ達スルモ尙ホ干渉ヲ絶タス、奉公口ヲ周旋シ修業ノ便ヲ供シ其獨立自營ヲナスニ至ルマテ關係ヲ絶タス、其他私人ノ經營セル育兒事業ニ於テモ同一ノ目的ヲ有スルモノアリ、殊ニ小學退校後孤兒ノ爲ニ修學ノ便ヲ與フル一協會二年前ニ伯林ニ設立セラレ日尙ホ淺キモ成績佳良ナルヲ以テ他ノ之ニ倣ハンコトヲ切望スルナリ

育兒院ニ類似スルモノハ德性ヲ失シタル幼者又ハ全然教育ヲ缺キタル幼者ヲ收容スル レフトイグスアイユタルトニツセル  
ンブスアンシニタルト 院 エルチウングスレシュタルト 是レナリ、抑モ幼者ニシテ全然教育薰陶ヲ欠クトキハ多クハ社會ノ有害分子トナリ遂ニ罪惡ヲ犯スニ至ルヲ以テ以上ノ如キ設備ハ之カ爲メニ發生ス、最初ニ着手セルハ英國ナレ

トモ獨逸ニ於テモ着々其歩ヲ進メ殊ニ内部的布教ノ保護ノ下ニ盛大ヲ致セリ、而シテ救濟ノ方法ハ育兒院ニ於ケル方法ト異ナルナク全然兒女ヲ收容シテ教育ヲ施シ特ニ有用ナル勞役ニ導ヒテ德性ヲ養成スルニアリトス、近年法律ヲ以テ父母アリト雖トモ兒女ノ教育全ク缺如シテ德性ヲ害スルノ危險大ナルトキハ強制的ニ兒女ヲ引取リ國家監視ノ下ニ教育ヲ施スコトナリ（救濟事業ニ一段ノ進歩ヲ來タスニ至レリ）強制的教育カ國家行政ノ一部ヲ占メ父母カ貧民トシテ救助ヲ仰クヤ否ニ關セス、之ヲ實行スルモノトスルモ貧困ト兒女ノ無教育トハ關係甚タ親密ナルヤ明カナリ、即チ富有者ニ於テモ貧者ニ於テモ稀ニ存スル場合ノ外兒童ノ無教育無賴ナルモノナク、境遇ノ然ラシムル所ニシテ原因ハ多クハ貧困ニ外ナラサルナリ、是ヲ以

テ全ク教育ヲ怠リタル幼者ヲ他ノ境遇ニ移ストキハ忽チ變化ヲ來シテ善良ナル普通ノ兒女トナルハ實ニ驚ク可キモノアルナリ例ヘハ英國ニ於テ二萬五千人ノ兒女斯ノ如キ方法ニヨリテ教育サル、トセハ其大部分ノ早晚貧民トシテ救助ヲ仰クニ至ルヤ疑ヲ容レサル所ナリ

幼者ノ事情特殊ノ扶養教育ヲ要スルトキハ之ニ應スル方法モ亦異ラサルヲ得サルナリ即チ育兒嘔兒白痴兒痴鈍兒癩癩病兒ニ於テ然リ此等ノ場合ニ於テハ理解力ノ啓發ヲ努メ後來獨立シテ糊口スルコトヲ得ルノ道ヲ授クヘク、而シテ特殊教育法ヲ以テ最モ好ク此目的ヲ達シ得ルモノハ嘔兒ニシテ育兒之ニ次ク、然レトモ盲人ハ終生全ク他人ノ扶助ヲ離ル、コトヲ得ス其職モ亦一定ノ種類ニ制限サレ音樂ブラシ製造籠製造等其主タルモノナリ、痴鈍兒ニ至リテハ有用ナル人物トナラシムルハ一層困難ナレトモ極メテ簡單ナル手工ハ之ヲ習得シ得ヘシ然レトモ其多數ハ終生育兒院内ノ客タルヲ免レス以上ノ兒童ハ院内ニ收容シテ教育スルヲ通則トスレトモ自己ノ家族ト同居スルモノモ亦通學スルコトヲ得ルモノトス而カモ伯林ニ於テハ孤女育兒ヲ訓盲院ニ伴フモノ好慣習行ハル

右ニ述ヘタル所多クハ全部保護ヨリ補充的保護ニ向テ過渡事跡ニ屬ス自家ニ居住スル不具兒又ハ痴鈍兒ニテ特殊ノ教育ヲ受クルモノニ於テハ殊ニ然リトス

要スルニ補充的保護ハ之ヲ保護及ヒ衛生ノ二種ニ區別スヘク第一ハ晝間監督者、世話人ナキ幼者ニ對シテ行フモノニシテ父母又ハ母カ職業ノ爲ニ終日家ニ在ラサルトキハ幼者ハ終日監督者ナク全ク食セサルカ然ラサルモ頗ル不充ナル食事ヲナシ若シ之ヲ家中ニ抑留セサレハ街上ニ彷徨シテ遂ニ惡習慣ニ感染シ不良

不規律トナリ又御スヘカラサルニ至ル是レ孩兒預リ所、幼兒保護所、青年取締場ノ必要ナル所以ナリ此等ノ施設ハ種々ノ年齢ニ適用スヘク即チ第一ニ孩兒ヲ保護シ第二ハ幼兒學校、幼稚園等ニシテ未タ學齡ニ達セサル幼兒ヲ保護シ第三ハ學齡以上ノ青年ヲ保護スルモノトス、孩兒ノ場合ニハ新鮮ナル空氣ト純良ナル牛乳ヲ給スルヲ以テ主要トシ他ノ場合ニ於テハ之ニ加フルニ相當ナル業務ヲ以テス、殊ニ學齡以上ノ青年ニ對シテハ日々退校後學課復習等ノ外遊戯及ヒ有益ナル業務ヲ與フルニ注意スヘク之ヲ要スルニ以上ノ設備ハ悉ク缺如セル父母ノ保護ヲ補充スルヲ目的トセサルヘカラス

疾兒ノ處分ハ衛生的保護ノ範圍ニ屬シ純良(殺菌シタル)ナル牛乳ヲ供給シ休暇旅行ヲ企劃シ温泉又ハ海水浴ニ送ルコト等之ニ屬ス、此レ貧窮ノ子弟ヲシテ富有者カ毎年避暑及ヒ温泉旅行等ヲナスノ利益ヲ多少享有セシムル所以ナリ、而シテ茲ニ注意スヘキハ富有者ハ他ニ出ヅルモ亦家ニ歸ルモ常ニ健康ナル境遇ニ在レトモ貧賤者ノ兒女ハ然ラス從テ前記ノ方法ニヨリテ得タル一時ノ効果ヲ多クハ直チニ消失スルコト是レナリ、故ニ眞ニ慈善ノ業ヲ全セントセハ當ニ幼者ノ收容ニ留意スルノミナラス旅行等ヨリ歸舍後ノ身上ニ注意セサルヘカラス、是ヲ以テ獨逸ノ中、央、夏、時、保、護、ハ此點ニ注意シ一千八百九十五年ノ夏ニ當リ其保護ヲ受ケタル幼者二萬八千七百二十三名ノ内二千二百二十八名ニハ尙ホ朝食晝食入浴牛乳等ノ追加扶助ヲ與ヘタリト云フ

第三節 疾病救助

疾病ハ困窮ノ原因并ニ現狀トシテ救貧制度ニ於テ全然特殊ノ地位ヲ占ムルモノトス、抑モ收入ノ金額多カ

ラス、只家長又ハ他ノ家族ノ勞働ニヨリテ之ヲ得ルニ當リ、其家長又ハ家族疾病ニ罹ルトキハ收入ノ源泉忽チ枯ル、ヲ以テ一家困窮ニ陥ルハ言ヲ俟タス、患者ノ健康者回復ノ爲ニ治療ヲ施サ、ルヲ得ルナリ、而シテ住屋ハ狹隘ニシテ多數ノ家族同室ニ起臥シ日光乏シク空氣新鮮ヲ缺キ以テ衛生上缺ク所多ク妻女ノ看護ニ慣レズ、其營業ハ往々有害ナルヲ以テ微恙ハ變シテ重患トナリ、忽チ死亡ヲ來タスニアラサレハ痲疾トナリテ長ク苦シムルニ至ル、若シ其病ニシテ傳染的ナルトキハ家族ニ感染シ近傍ニ蔓延シ以テ幾多ノ家族ヲシテ悲境ニ呻吟セシムルナリ

他ノ一方ニ於テ救貧事業中疾病カ他ノ窮厄例ヘハ壯者ノ失業ニ比シテ異ナル所以ハ其救助濫用ノ患ナキコトコレナリ、虛病等ノ弊害ハ疾病救護組合、同業組合ニ於テ往々見ル所ナレトモ、之ヲ要スルニ疾病ハ外觀ニ依ツテ之ヲ知り且ツ其結果ヲ察シ得ヘク他ノ各人ノ意志性格ニ起因スル事情トハ同シカラサルナリ、又救助ヲ受クルノ目的ノミヲ以テ長ク病瘵ニ困臥スルモノハ甚タ稀ナリトス、又幼者保護ヲ除クノ外疾病救助ノ如ク豫防的ノ性質ヲ備フルモノハアラサルナリ、何トナレハ健康舊ニ復スレハ再ヒ糊口ノ途ヲ得レハナリ

疾病ハ右ニ述フルカ如ク窮困ノ原因并ニ現狀トシテ特殊ノ性質ヲ有スルカ故ニ救貧制度ノ未タ發達セサリシ古代ニ於テモ疾病救助ハ多少行ハレタルナリ、然レトモ模範ヲ古代ニ採リテ百年前ニ復歸センコトヲ欲スルモノニアラス、格物窮理ノ學大ニ進歩シ公共衛生ニ關スル國家并ニ市町村ノ職務其内容ヲ變シテヨリ疾病救助モ亦一新紀元ニ入り救助ノ範圍並ニ方法共ニ往時ノ比ニアラサルナク、即チ瘋癲者ヲ徒ニ束縛セ

ス病者ヲ以テ之ヲ待遇シタルハ百年以來ニシテ肺結核病者ニ對スル運動ハ實ニ最近ノコトタリ、便宜ノ病院ヲ建築シ不具者ノ爲ニ特殊ノ收容場ヲ設ケタルハ三十年來ノコトニシテ病後攝養ノ爲ニ保養院ヲ始メテ設ケタルハ僅ニ十年前ニ在リトス、之ニ加フルニ疾病保險、災害保險、廢疾保險ニ關スル社會的法律ノ効果モ亦少カラサルナリ、即チ獨逸ニ於テハ一千八百九十四年ニ當リ疾病保險ノ被保人七百七十六萬人、災害保險ノ被保人千八百九十九萬二千人、廢疾保險ノ被保人千五百一十一萬人ニシテ疾病救護組合ハ疾病救護料ヲ與フルコト一億九百萬麻、同業組合災害保險金四千四百萬麻ヲ支拂ヒ、其他保險會社ハ養老及ヒ廢疾保險金ノ額ハ三千五百萬麻ヲ支拂ヘリ、公共衛生ノ大ニ進歩シタルカ爲ニ數百萬ノ細民及ヒ其眷族カ疾病ニ罹ルモ、敢テ救貧制度ヲ累サ、ルニ至レル割合ハ計數ヲ以テ之ヲ明示スルヲ得スト雖トモ救貧慈善協會ノ調査及ヒ聯邦參事院ノ近時調査セル所ニヨレハ社會的法律ノ救貧事業ニ及ホセル影響ハ甚タ顯著ニシテ殊ニ當時立法者ノ注意セサリシ方向ニ案外ノ結果ヲ生スルニ至レリ、即チ他ニアラス公共的救貧制度及ヒ個人的慈善事業モ爲ニ疾病救護ニ關シテ力ヲ盡スニ至レルコトコレナリ、而シテ疾病ヲ未萌ニ防クハ發後ニ之ヲ救フヨリモ其功大ナルハ言ヲ俟タス衛生ニ適セル家屋ヲ建設シテ不健康ナル住居ヲ廢セシメ衛生ニ有害ナル營業ニハ豫防ノ設備ヲナサシメ、民衆營業ノ情況ヲ改善シテ營養ヲ増進セシメ以テ疾病救助ヲ不用ニ歸セシムルノ功大ナリトス然レトモ疾病ナルモノヲシテ全然其跡ヲ絶タシムル能ハサル限リハ疾病救助ヲ廢スル能ハス從テ之カ爲ニ一定ノ施設組織モ亦必要ナリトス、疾病救助ニ自宅救助、入場救助ノ二種アリテ一ハ病院ニ收容シ一ハ患者ノ自宅ニ於テスルナリ、又タ疾病ニ普通ノ疾病、慢性病、廢病ノ三種アリ

テ廢病ヲ更ニ別チテ身體ノ廢疾(盲目、聾、啞痴鈍)及ヒ精神上ノ廢疾トス、而シテ此等ノ疾病患者ヲ病院ニ收容スルヤ將タ自家ニ於テ救助スルヤハ患者住居ノ有様其家族ノ有無治療上入院ノ要否適當ナル病院ノ有無如何ヨリ決スヘキモノトス、例ヘハ近時ノ設立ニ係レル肺病治療院ハ肺病患病ヲシテ長期入院セシメ之ニ反シテ無害ナル精神病者ハ病院ニ收容セス(有名ナル「ゲール」ノ癡癲患者「コロニー」ノ如ク)家族ニ同居セシムルナリ、尙ホ次段ニ詳記スルカ如ク自家救助ノ發達ハ益々患者ヲシテ自家ニ在テ救護ヲ受ケシメ救貧醫ノ増加モ亦同一ノ結果ヲ來スモノタリ

病院治療及ヒ其設備ノ詳細ニ關シテハ本章ノ初ニ於テ述ヘタル理由ニヨリ之ヲ論セサルヘシ、蓋シ救貧制度及ヒ慈善制度ノ機關ハ一々實際ノ事情ヲ調査シ醫師ノ意見ニ從テ病院治療又ハ自家治療ニナスヘキヤヲ定ムヘキナリ、而シテ前者ニ於テハ入院ト同時ニ患者トノ關係ヲ失ヒ其家族ノ救助ニ關シテハ救貧事業一般ノ原則ヲ應用スヘキナリ、現今病院益々増加スト雖トモ自家治療亦タ決シテ少シトセス、而シテ其考慮ト義俠心トヲ要スルハ他ノ慈善事業ニ優ルモノアリ、次ヲ追フテ之ヲ説カン

(イ) 醫師、公共救貧制度ニ於テハ通常救貧醫ナルモノアリテ疾病ニ罹レル貧民ノ診察治療ヲ擔當スルモノトス、大都ニ於テハ此義務ヲ負擔スル醫師ハ貧民ノ爲ニ特定ノ診察時間ヲ有シ必要ニ應シテ往診シ要急ノ場合ニハ何時ニテモ其求ニ應スルモノトス、其報酬ハ豫メ之ヲ定メ三百麻乃至一千麻トス然レトモ醫師ノ選擇ヲ患者ニ任セ醫師ハ救貧官廳ト契約セル定率ニ從テ報酬ヲ受ケル制度ナキニアラス「ライド」ノ如キ是レナリ、此制度ハ貧民ノ冀望スル所ニシテ是レ蓋シ自己ノ信任スル醫師ニ就キ診察ヲ請クルノ便アレハ

ナリ、然レトモ報酬額ヲ定ムルコト容易ナラス且ツ醫師ト救貧官廳ト親密ナル關係ナキハ決シテ好結果ヲ奏セサルナリ、之ニ反シテ醫師ニ十分ナル俸給ヲ與ヘ密接ナル關係ヲ有セシムルハ種々ノ利益アル所以ニシテ「ハンブルヒ」ニ於テハ救貧醫ノ委員ヲ任命スト云フ、之ヲ要スルニ救貧醫ノミナラス醫師一般ニ競争ヲナシ殊ニ疾病救護組合制度ノ下ニ其弊ノ甚シキヲ見ルナリ、蓋シ醫師ニ給スル所甚タ薄ク而シテ醫師モ競争ノ結果如何ニ薄給ニ甘ンスルヤハ驚クニ堪ヘタリ、故ニ市町村ノ當局者先ツ模範ヲ與ヘ醫師ヲシテ薄給ノ結果普通ノ診察ヲ先ニシテ貧民診察ヲ重ンセサルノ弊ヲ去ラシムルヲ得ハ其功決シテ小ナカラサルナリ然レトモ社會ノ階級ニ於テ醫師ノ如ク理想ニ富ムモノナク、此レ則チ貧民診察カ未ダ墮落ノ極ニ達セサル所以ナリ

田舎ニ於テハ醫師乏シキヲ以テ貧民治療ノ不備都市ヨリモ甚シク之ヲ以テ郡區ニ於テ醫師ヲ雇入レ又ハ病院ノ建設次第ニ行ハル、ニ至レリ殊ニ此點ニ關シ獨逸ニ於テハ祖國婦人協會ノ盡力ニ出ツルモノ少カラサルナリ、英國ニ於テハ一村ニシテ醫師ヲ雇入ル、コト能ハサルトキハ數村連合スルモノトス、而シテ近時公共的衛生ニ關スル世人ノ思想ノ變移セルニ基キ町村ニ公共的救貧制度ヲ備ヘサル國ニ於テモ町村ノ經費ヲ以テ治療ヲ施スノ義務ヲ町村ニ負ハシムルニ至レリ、即チ佛蘭西ニ於テハ一千八百九十五年七月十五日ノ法律白耳義ニ於テハ一千八百九十一年十一月二十七日ノ法律以太利ニ於テハ一千八百八十八年十二月二十二日ノ法律ヲ以テ規定セリ

尙ホ大都市ニ於テハ眼科、耳科、咽喉科等ノ専門醫ト契約シテ一定ノ報酬ヲ與ヘ救貧醫ノ送りタル患者ヲ

個人的慈善事業ニ於テハ公開診察制度ヲ設ケテ患者ヲ住宅以外ニ於テ診察治療シ大ニ好成績ヲ得タリ

近時不時ノ怪我ヲ救助スル組織次第ニ擴張シ衛生隊、衛生隊派出所、不時災害報知所アリテ醫師之ニ當直シ即時ノ救済ニ備ヘ常ニ繃帶容器及ヒ運搬具ヲ備フ、而シテ其性質タル純然私設ナルモノアリ、又タ市ノ行政警察又ハ消防ト連絡スルモノアリ、一千八百九十六年獨逸「サマリターグランド」會長ノ調査スル所ニヨレハ獨逸ノ都市ニ成立スル「サマリター」協會ハ二十八ニシテ二百五十三ノ都市ハ多少應急方法ヲ備フルト云フ、而シテ其事業タル勿論貧民ノミニ限ラスト雖トモ貧民ノ救助ヲ受クルモノ多ク「サマリター」ノ名稱ノ示スカ如ク一種ノ慈善事業ニシテ廣ク貧民并ニ病者ノ救済ニ及ホサントスルモノ、如シ

(ロ) 藥劑等此事タル實物給與ヲ説クノ際既ニ述ヘタル所ニシテ藥劑ハ言フ俟タス、牛乳葡萄酒肉「エキス」等ノ滋養物モ亦之ヲ與ヘサルハ甚タ稀レナリ、處方ハ醫師之ヲ定メ授受ハ多クハ藥舖ニ於テシ豫メ藥舖ト諸般ノ契約ヲ結フモノトス、然レトモ牛乳葡萄酒肉類等ヲ與フル場合ニハ醫師之ヲ救済事務員ニ通知セサルヘカラサルナリ

眼鏡接骨帶義足等モ亦タ治療ノ必需品ニシテ醫師ハ之カ使用ヲ命スルコトヲ得レトモ義足ノ如キ高價ナルモノニ至リテハ救済事務員ノ承諾ヲ要スルモノトス

諸種ノ浴療モ亦醫師ノ命スル所ニシテ其ノコ、ニ至レルハ強制保險法ノ影響ニ外ナラサルナリ、而シテ諸處ノ溫泉ニ赴カシムルカ爲ニ間マ寄附財團アリ、即チ伯林ニハ「リーパーマン」氏寄附財團「ザクセン」ニハ

「ザクセン」王國臣民ノ爲メニ設定シタル寄附財團アリテ昨年間ニ四百人ノ患者ヲ「カールスバット」「テブ」リツツ」等ノ溫泉ニ送レリト云フ、又「エムス」ガメタイン」ニハ貧民ノ爲ニ特ニ浴場ヲ設ケ「タウヌス」山下ノ「ゾーデン」ニ於テハ貧困ナル猶太人ノ爲ニ設立セル養生場アリ、然レトモ數千人ノ富有者カ療養ノ爲メ溫泉ニ赴クニ比セハ此種ノ寄附財團ノ數ハ蓋シ寥寥タリト謂ハサルヘカラス、而シテ此等ノ計畫ハ最も個人的慈善事業ニ適スルモノナリト雖トモ公共的救済制度ニ於テモ浴療ニヨリテ好良ナル結果ヲ望ミ得ヘキトキハ又之レカ應用ヲ却クヘカラサルナリ、伯林ノ救済事務所ニ於テハ貧民ノ溫泉ニ赴カントスルモノニ證明書ヲ與ヘ普魯士政府ノ鐵道ハ爲ニ賃金ノ割引ヲナスナリ

住屋ノ掃除ニ消毒法ヲ用ヒ衣服寢臺家具ニモ亦消毒法ヲ行フハ最近ノ發明ニテ是亦玆ニ論スヘキ一事項タリ、而シテ消毒規則ニ由ルトキハ貧民ニハ無料ヲ以テ之ヲ行フヘキモノニシテ若シ家具ノ燒棄ヲ必要トスルニ當リ貧民之カ爲メニ困難ヲ覺ユルニ於テハ相當ノ方法ヲ以テ其家具ヲ償ハサルヘカラサルナリ、消毒法ノ殊ニ必要ナルハ休息所、宿泊所、實物給與場、救貧院ニシテ新ニ收容セラル、モノ、宿泊スルモノハ皆入浴ニヨリテ身體ヲ洗滌シ消毒法ヲ以テ衣服ヲ清潔ナラシムヘキナリ

(ハ) 治療用ノ器具、近年亦漸ク治療用ノ器具ヲ備フルニ至レリ、此事タル公共的救済制度并ニ個人的慈善事業ニ於テモ從來甚タ缺如セル事項ニシテ實ニ一大缺點ト云フヘキナリ、抑モ敷物水囊驗温器患者用ノ椅子、患者用ノ車浴槽等ハ自家治療上必要ナルモノニシテ此等ノ器具ハ醫師一タヒ之ヲ調製シテ爾後常ニ貧民ノ用ニ供スルカ或ハ吾人ノ常ニ見ルカ如ク不十分ナル代用品ヲ以テ充タスニアリ、此事業ノ始テ



起レルハ「チユリヒ」ニシテ第十九世期ノ始ニ當リ數人ノ醫師協議シテ治療用器具ノ備付所ヲ設ケ貧民ニハ無料ヲ以テ他ノ人々ニハ些少ノ借用料ヲ以テ貸與セリ、此備付所ハ次第ニ發達シテ宏大ナル患者器具貯藏所トナリ、一千八百九十五年ニハ千二百二十種ノ器具ヲ貸與セリト云フ而シテ其管理ハ注意周到ナル規則ニヨリテ行ハル、ナリ、斯ノ如ク器具貸與ハ「チユリヒ」ニ起リテ次第ニ瑞西全國ニ及ヒ近時「バーデン」國ニ於テモ「バーデン」婦人協會ノ支部二百二十四ヶ所中殆ント百ヶ所ハ貸與スヘキ器具ヲ備フト云フ、要スルニ此事業タル尙ホ微々トシテ振ハス、世人ノ大ニ之ニ注目センコトヲ切望セリ

(二) 看護、茲ニ看護ト云フハ患者ノ自家ニ於テ之ヲ看護スルノ謂ニシテ以上列記セル事項トノ點ニ於テ相異ナルヲ見ルナリ、即チ其起原ト其本質トノ二者コレナリ、抑モ看護ハ最初ノ耶蘇教徒組合ノ間ニモ既ニ行ハレタルモノニシテ中古時代ニ於テハ一般ノ救貧事業ト共ニ寺院等ノ管スル所トナリ、患者ヲ一所ニ收容スルニ至レリ、而シテ次テ同業組合ナルモノ出テ其公言セル目的ハ實ニ救貧ト看病トニ在リシナリ

此看護ナルモノハ由來外部ヨリ治療ヲ施ス他ノ方法ト異リ患者ノ心身ニ對シテ行フヘキモノニシテ、即チ身體ノ回春ヲ謀ルノミナラス、患者并ニ其家族ノ精神ヲ慰諭スルモノトス故ニ貧民ヲシテ未タ全ク世ニ捨ラレス疾病ノ如キ特殊ノ窮厄ニ陥ルトキハ一層ノ力ヲ貸シテ注意シ慰諭シ以テ精神上ノ艱苦ヲ輕スルモノアルコトヲ知ラシムルハ看護ニ若クモノナキナリ、次章第七ニ掲クル實例ハ以テ此間ノ消息ヲ知ルニ足ルナリ

醫學及ヒ療法ノ進歩ト共ニ看護ノ觀念モ亦遷移シ救貧事業ト看護トノ關係ヲ密接ナラシメタリ、而シテ慈論親切ノミヲ以テ病者ヲ健康ニ復スル能ハサルヲ以テ看護ニ重ヲ置キ遂ニ其任ニ當ルモノヲシテ看護ノ術ヲ熟知スルノ必要ヲ悟ルニ至リ、而シテ其要スル所ハ助手又ハ付添人ノ如ク單ニ技術的ノ習練ノミヲ以テ足レリトセス、人物ノ品位ヲ養フニ在リ、要スルニ良家ニ生レ家庭ノ教育ノ素養アリテ始メテ此目的ヲ達シ得ヘキナリ、「フロレンス、ナイチンゲール」出テ、看護婦養成ノ事業大ニ發達セル英國ニ於テハ最モ重キヲ此點ニ措キ「ラテイボーン」ノ著書(看護ノ歴史及進歩)ニ據レハ最大ナル看護婦會ハ看護婦ヲ上流社會ノミヨリ採用スルノ決議ヲナセリ、蓋シ上流ヨリ出テタル看護婦ハ患者ニ對シテ感化ノ力大ナレハナリ、之ニ反シテ下流社會ヨリ出テタル看護婦ニ關スル實驗ノ記事ヲ見ルニ成績佳良ナリト云フヲ得サルナリ然レトモ右ニ記スル所ハ決シテ極端ニ馳スヘカラス、即チ所謂貴女ノミヲ以テ看護婦ヲ養成セント謂フニアラス、中等以下ノ家ニ生シタル女子ト雖トモ看護婦タルニ必要ナル思想ト感情トヲ有シ得ルハ言フ俟タス、宗教ニ屬スル看護婦ノ例ニ徴シテ明カナリ、然レトモ高等ノ教育ト人事ヲ自由ニ觀察スルコト、ハ最モ良家ノ女子ニ望ミ得ヘキコトニシテ此二者アリテ始メテ看護婦ノ職務ノ眞價ヲ領解シ得ルナリ、世上ヲ見ルニ結婚ノ意ナク又結婚ノ機會ナク而シテ一事モナサ、ル女子實ニ夥多ナリ、而シテ其進ンテ看護婦タルモノ少ナキハ實ニ驚クヘキニアラスヤ、故ニ吾人ハ此等ノ女子ノ此職務ニ從事センコトヲ切ニ勸告スルナリ何トナレハ此職務ヲ行フニ當リテハ安逸ト無想トヲ供犠スルノ困難アリト雖トモ中心大ニ満足ヲ來タシ貧民ノ爲ニ至大ノ恩惠ヲ施シ貧富ノ間ニ連絡ヲ通スルモノタレハナリ

英國ニ於テハ此運動先ツ「リバープール」ニ起レリ、即チ區ノ貧民及ヒ疾病救助ニ關與シ熟練セル看護婦ヲシテ看護ニ從事セシメタリキ、此等ノ看護婦ハ婦人協會ノ保護ノ下ニ立チ且ツ其指揮ヲ受ケタリキ、習練看護婦ノ他ニ勝レル所以次第ニ顯著トナリ創立後四年ナラスシテ十八區ヲ設クルニ至レリ

獨逸ニ於ケル此運動ノ首唱者ハ舊教ノ姉妹新教<sup>システマ</sup>ノ女性副牧師協會ニシテ其事業ハ宗教上ノ救貧事業ヲ説クニ當リテ既ニ之ヲ記セリ、此等協會ノ目的ハ疾病看護ニ限ラサレトモコレ實ニ協會第一着ノ事業ニシテ其本部ト連絡セル病院ト共ニ諸般ノ技術的練習ノ關鍵ナリトス、此等ノ協會ニ倣ヒ國家モ亦病院等ノ爲ニ看護婦養成所ヲ設置セリ、就中其有名ナルハ「ザクセン」國「フベヤトウスブルヒ」ニ在ルモノト「ハンブルヒ」ノ一般病院ナリトス

患者ノ自家ニ就テ看護セントスルニハ協會ノ組織最モ必要ナリトス、此點ニ於テ第一ニ指名スヘキハ赤十字看護婦ニシテ其組織ハ祖國婦人協會ノ本部及ヒ支部ヨリ起レルモノタリ、祖國婦人協會ハ戰時看護ノ必要ニ應スルカ爲ニ創立セラレタルモノニシテ此目的ノ準備ヲ以テ主眼トスト雖トモ平時ニ於テ全ク爲スナキニアラサルノミナラス、平時ノ事業ハ我時必要ノ看護婦ヲ習練シテ之ヲ常備スルカ爲ニ當然ナサ、ルヘカラサルナリ、故ニ非常ナル窮厄ヲ救ヒ永續的困難ヲ救助スルコトヲ以テ職務トナシ其手段トシテ看護婦ヲ養成シ之ヲ常備セリ、一千八百九十六年總報告ニ據ルニ同年ニ於テ赤十字社ノ爲ニ職務トシテ看護ヲ擔任セルモノ赤十字社看護婦五百八十九人(前年度ノ四百五十四人ニ對シ百三十五人ヲ増加ス)宗教看護婦四百人以上ニ達セリ、看護婦ノ養成ハ國立又ハ市町村立ノ病院又ハ「デヤニコセン」養成所ニ托シ協會自ラ養成スルハ比較的少シトス、而シテ其養成ノ方法ハ或ハ實地習練ヲ用ヒ或ハ講義ヲ以テスルナリ、卒業セルモノハ赤十字社看護婦ト名ケ或ハ疾病ノ看護ノ爲ニ病院ニ留リ或ハ婦人協會地方部ノ職ニ就キ貧民及ヒ疾病救助ニ從事スルモ亦タ多シトス

發達ノ實例ヲ示スカ爲ニ「カツセル」婦人協會カ二十五年間ノ事業報告ニ據リテ少シク之ヲ詳説セン、即チ「カツセル」ニ於テハ最初ニハ他ヨリ看護婦ヲ雇入レタリシカ次テ自己ノ看護場ヲ設立シ「バーデン」婦人協會ノ看護婦ヲ以テ其任ニ當ラシメ同時ニ衛生及ヒ看護ニ關スル講義ヲ開始セリ、後チ需要ノ増加スルニ從ヒ自己ノ病院ヲ起シ自己ノ看護婦養成所ヲ設ケ十二年間(一八八二年—一八九三年)ニ病院内ニ於テ五千九百九十四人病院外ニ於テ千三百三十一人ヲ看護セリ、卒業セル看護婦ノ一部ハ之ヲ地方派出所ニ移シテ以テ新入生ヲ迎ヘタリキ、而シテ志願者ハ總テ相當ノ教育ヲ享ケタルモノニ限リ少クトモ九箇月間ハ習練ヲナスヘク、此間ハ看護ノ實際ト理論トヲ學ハシメ、之カ爲ニ病院ノ醫師ハ毎年二課程ヲ教授セリ、其教授時間ニ連續シテ牧師ノ看護ニ關スル宗教上、倫理上ノ問題ヲ講説スルアリ、一應課程ノ習練ヲ終ルトキハ委員中ノ醫師理論並ニ實際ニ就テ嚴密ナル試験ヲ行ヒ及第セルモノニハ看護婦ノ證明書ヲ與フ、之ニ加フルニ此養成所ハ看護ヲ職業トセサレトモ之ヲ習ハントスルモノニ入學ヲ許シ又協會員ニシテ戰時ハ野戰病院ニ入り平時ニハ協會ノ救貧看護事業ヲ助ケントスルモノ、爲メニ三箇月間ノ課程ヲ設ケタリキ、尙ホ委員中ノ醫師十二名ヲ以テ負傷者手當疾病看護ノ原則ヲ講説スルヲ以テ婦人ノ傍聽スルモノ甚タ多シト云フ各地ノ婦人協會ニシテ祖國婦人協會ト連合シテ看護婦ヲ養成スルモノアリ、其中ニ就テ頭角ヲ現ハスモノ

ハ「バーデン」婦人協會ナリトス、新教「デヤコニー」協會モ其會員ノ養成ヲ謀リ近時獨太人看護婦ノ養成協會ナルモノ亦起レリ、看護婦ハ卒業後從來ノ地位ニ留マリテ鞏固ナル團結ヲナスモノアリ、彼ノ宗教組合附姉妹女性副牧師ノ如キ是レナリ、又多少鞏固ナル姉妹的關係ヲ有スル團體ヲ組成スルモノアリ、赤十字看護婦新教「デヤコニー」協會ノ如キ之レナリ、又卒業スルト共ニ獨立シ其才能ニ應ジテ其智識ヲ應用スルモノアリ、而シテ之ヲ從來ノ經驗ニ徵スルニ前二者ノ如ク鞏固ナル關係ヲ有スルヲ以テ可ナリトス、蓋シ團結ハ其會員ニ一種ノ後援ヲ與ヘ老衰、疾病、廢疾ノ際依頼スヘキ所アリ、又制服ノ着用ヲ許ス、是レ決シテ輕事ニアラサルナリ、又タ少クトモ赤十字ノ如キ記章ヲ帶フルヲ得ルナリ、(今日此記章ヲ濫用スルモノ少カラス) 宗教的組合ノ外世俗的組合ノ成立ハ目下ノ急務ニシテ看護婦ノ養成ニ注意スルハ吾人ノ切望スル所タリ、教育不完全若クハ全ク缺乏シ其人品ノ下卑ナル所謂野生看護婦ハ速ニ其跡ヲ絶タシメサルヘカラサルナリ、是ヲ以テ近時看護婦ノ養成長足ノ進歩ヲナセリト雖トモ婦人タルモノカ此事業ニ向テ爲スヘキ領域ハ尙ホ廣漠タルモノアルナリ

看護婦ノ職務ハ第一ニ患者ヲ看護スルニ在リ、然レトモ自宅看護ニ際シテハ家事殊ニ小兒ノ世話ヲ要スル場合アリトス看護貧ハ宗教上又ハ公共的又ハ私設ノ救貧事業ト連合シテ職務ヲ行フト雖トモ公共的救貧事業ハ多クハ未タ其域ニ達セス、此點ニ於テ最モ發達セルハ宗教的救貧事業ニシテ私立協會ノ事業モ近時擴張ノ趨勢アリ、而シテ協會員ト看護婦トノ關係ハ後者ハ獨立シテ動作シ前者ハ其力ニ應ジテ之ヲ補助スルヲ以テ最善トス、故ニ英國法ノ如ク各員其受持區域ヲ定メ其區域ニ於ケル看護婦ニ對シテ一種ノ監督ヲ行

ヒ、而シテ治療器具滋養品等ノ給與ノ如キ補助ヲナスハ、蓋シ良法トシテ模倣スヘキナリ

(ホ) 家政救助 一家ノ妻タルモノ病ニ臥シ又ハ或ル原因(例ヘハ疾病ノ爲メ病院ニ入院スルカ如キ)ニヨリ長ク家ヲ去ルトキハ家政ハ忽チ暗黒トナルナリ、而シテ代理者ヲ雇入ル力ナク家族若クハ知人ノ來テ助クルモノナキトキハ一家ノ困難實ニ尠少ナラス、家政全ク荒廢シ兒女亦タ墮落スルコトナシトセサルナリ、此窮狀ハ人ノ常ニ見聞スル所ニシテ如何ニセハ妻ノ代理ヲナサンムルヲ得ルカノ問題自ラ起ラサルヲ得サルナリ、妻ニシテ家ニ留ル場合ニハ看護婦ハ患者ヲ看護スルト同時ニ(固ヨリ多少ノ困難ヲ免レサレトモ)家事處理ノ任ニ當ルコトヲ得レトモ妻不在ノ場合ニ於テハ代理者必要ナリトス、此場合ニ當リ固ヨリ特殊ノ教育アルモノヲ要セス、同地位ニ屬スル婦女ニシテ其地位相當ノ食物ヲ調理シ且ツ洗濯ヲナシ小兒ノ世話ヲナセハ則チ足ル、然レトモ適當ナル代理者ヲ得ルコト容易ナラス、其理由ノ一ハ此種ノ婦女ハ閑暇ヲ有セス、其二ハ若シ之ヲ雇入レントスレハ相當ノ報酬ヲ與ヘサルヘカラサルナリ、之ニ加フルニ他ノ婦女カ家庭ニ入り夫及ヒ兒女ニ對シテ如何ナル感化ヲ及ホスヤ又果シテ節約以テ家事ヲ處理スルヤ、或ハ不正ノ行爲ナキヤ等ノ疑問ハ妻ノ胸中ニ起リ易ク之レ醫師カ重患ノ婦女ニ入院ヲ勸告スルニ當リ其言ノ用井ラレサル所以ナリ、蓋シ婦女ハ自己ノ不在ヲ以テ家庭ノ幸福ヲ絶滅スルモノト信スレハナリ、是ヲ以テ前記ノ目的ヲ達セント欲セハ嚴密ニ選擇セル善良ナル婦女ヲ送リテ妻タルモノ、信任ヲ得セシムルノ外ナキナリ、斯ノ如ク家政維持ヲ目的トセルモノ一千八百九十二年「フランクフルト」ニ起リ家政救助協會ト名ケタルヲ以テ此事業ヲ家政救助ト稱スルニ至レリ、此協會ハ此事業ヲ職

務トナスコトヲ定款ニ明記シ未タ曾テ惡評ヲ蒙ラサル老年ノ婦人ヲ雇ヒ相當ノ報酬ヲ與ヘテ家政ノ處理ヲ托ス、此婦人ノ職務トスル所ハ食物ノ調理、室内ノ掃除、患者ノ看護、兒女ノ世話其他夫又ハ年長ノ兒女ノ爲シ能ハサル他ノ家事ヲ取扱フニアリ、協會ハ無料ヲ以テ此救助ヲ與ヘ場合ニヨリテハ僅少ノ料金ヲ徴收スルコトアリ、協會ノ役員又ハ婦人委員ハ共同又ハ單獨ニ救助婦ヲ監督シ又救助婦女ノ長ヲ置ク豫定ナリ、目下委員ハ五十人ニシテ救助請求者ノ事情ヲ調査シ併セテ婦女ヲ監督ス、一千八百九十六年ニ當リテハ五百八十六ノ家族ニ救助ヲ與ヘ日數ヲ計算スレハ全日救助四千五百十二日、半日救助、二千五百八十九日ニシテ其他少時間ノ救助ハ此以外トス、四十七ノ家族ニ對シテハ一ヶ月又ハ半ヶ月間ノ救助ヲ與ヘタリキ、此等家族ノ兒女ハ平均三人乃至五人ニシテ多クハ勞働者又ハ日雇人足ナリ、救助ノ方法ニ至リテハ次章第四ニ掲クル實例ヲ見テ知ルヘシ、之ヲ要スルニ此協會ノ事業ハ細民ヲ救済スルノ結果甚タ大ニシテ伯林ニ於テモ之ヲ摸倣スルニ至レリト雖トモ未タ世人ヲシテ充分ニ其眞價ヲ知ラシムルニ至ラス、然レトモ家政ヲ間斷ナク維持スルハ一家ノ爲メニ必要ニシテ時機ヲ失セス、妻ノ代理者ヲ與フルトキハ惡結果ヲ避クルヲ得ルハ人々ノ領解スル所トナレリ

(一) 産婦救助 産婦ハ決シテ疾病ニアラス、一ノ生理的狀態ニシテ一定ノ經過ヲ有スルモノトス、且ツ地位ノ高下ヲ問ハス、職業ノ種類ニ關セス、婦人タルモノ、遭遇スル所ニシテ各家族ヲシテ喜憂相伴ハセシムルモノタリ、而シテ他人ヲ雇入ル、ノ力ナク他ニ家族ノ産ニ代ルヘキモノナキトキ又ハ産婦ノ容態若クハ家情ニ由テ病院等ニ收容セサルヘカラサルニ當リテハ産婦ハ一ノ窮厄トナルナリ、然ルニ細民ニ

至リテハ産婦ノ困難ヲ輕視スルノ傾アルハ人々ノ知ル所タリ、蓋シ分娩後速ニ離産スルモ其結果直ニ顯レス、又家事ノ處理スヘキモノアルニ當リテ就産スルハ懶惰ナルカ如キ觀アルヲ以テ速ニ勞働ニ着手シ以テ修身ノ痼疾ヲ來タシ併セテ生兒ヲ害シ遂ニ家庭ノ快樂ヲ失フニ至ル、是レ則チ近時公布セラレタル勞働者保護法ニ於テ分娩後四週間ハ産婦ノ勞働ヲ禁止セル所以ニシテ分娩ノ後少時産婦ヲシテ安息セシムルハ衛生上并ニ經濟上ニ於テ當サニ必要トスル所ナリ

一 家族ノ資産豊カナラサル等ノ原因ニヨリ妻ノ仕事ヲ代理スルモノナキニ於テハ産婦ノ窮厄ハ疾病ノ場合ニ異ラス、從テ産婦ニ對スル救助ハ疾病ノ際ニ與フル救助ニ外ナラサルナリ、換言スレハ普通ノ場合ニ於テハ産婦ハ少時ノ安息ヲ與フルカ爲メニ十日乃至十二日間就産セシメ更ニ十二日間乃至十四日間力ヲ要スル仕事ヲ廢スルヲ得セシムルニ在リ、産婦ノ容態不良ナル場合ニハ自宅ニ於テ疾病救助ヲ與ヘ之ヲ病院等ニ移ストキハ家政救助ヲナスヘキナリ

産婦救助ノ問題ハ寧ろ近時ニ屬スルモノニシテ蓋シ世人カ其衛生上經濟上ニ重要ナル所以ヲ認メタルニ由ルモノトス、而シテ公共的救貧制度ニ於テハ醫師及ヒ産婦ニ關スル準備ヲナシ、只場合ニ由リ一般救助ノ範圍ニ於テ金錢ヲ與ヘ寢具滋養品ヲ給スルニ止マルモノトス、特ニ肝要ナルハ産婆制度ニシテ國家ハ産婆養成ノ爲ニ特殊ノ設備ヲナシ又一定ノ資格ヲ備フルニアラサレハ産婆營業ヲナスヲ得サラシム、(此事タル必シモ貧民ノ爲ニノミ爲スニアラス)而シテ救貧官廳ハ産婆全般若クハ特定ノ産婆トノ間ニ成立スル契約ニヨリテ貧民ノ爲ニ産婆ノ便ヲ供シ、或ハ産婆カ貧民ノ爲ニ業務ヲ執リタルトキハ其仕事ノ輕重ニ應シテ

一定ノ報酬ヲ與フルアリ、或ハ豫メ特ニ產婆ヲ雇ヒ救貧官廳ノ命ニ應シテ執務セシム、而シテ近時ハ彼ノ救貧醫ノ場合ト異リ一般ニ產婆ノ選擇ヲ產婦ニ任スルノ制ヲ取リ從テ市町村ハ報酬率ヲ定ムルノミニシテ產婦ハ自ラ產婆ヲ選擇シ得ルモノトス、其報酬ハ三「マーク」乃至十「マーク」ニシテ難産又ハ夜間看護等ノ場合ニハ之ヲ増加スルナリ、產婆社會ノ現狀ニ關シテ專門家ノ訴フル所多シト雖トモ、之カ改良ハ一層上等ナル階級ノ婦女ヲシテ產婆ノ業ヲ營マシメ且ツ其報酬ノ職務ノ重大ナルト權衡ヲ保チテ相俟テ初メテ行ハルヘキナリ

產婦救助ハ個人的慈善事業ノ大ニ爲ス所アルヘキ領域ナレトモ之ヲ他ノ救助ニ比スレハ未タ見ルヘキ成績ナシ、只タ金錢及ヒ必需品ヲ以テ給與スル產婦救助協會ナルモノハ獨逸ニ於テ所々ニ散在スト雖トモ克ク產婦救助ノ本質ニ適スルモノナシ此目的ヲ達セント欲セハ、產婆制度ノ改良ト並行シテ產婦救助、家政救助ヲ改造セサルヘカラサルナリ、數年來此方針ヲ取ルモノナキニアラス、「マグデブルヒ」ハ產婦院維持協會ト伯林ノ產婦院協會トハ其方法相異ナレトモ其目的ハ一ニシテ殊ニ前者ハ其基礎遠大ナリ、即チ其發起人ノ一人ニシテ現管理者タル「ドクトル、ブレンネツケ」ハ產婦ヲ其容體又ハ家事上ノ都合上入院セシムヘキモノト自家救助ヲ要スルモノトニ分チ、前者ハ入院セシメ後者ニハ產婦看護婦ヲ派出スルモノトス又同時ニ產婆ハ產婦院ヲ以テ中心トナシ常ニ產婦院ニ出入シテ新智識ヲ求メ且ツ實地ノ研究ヲナサ、ルヘカラス故ニ自己ノ指定シテ入院セシメタル產婦ハ自己之ヲ擔當シテ一定ノ報酬ヲ受ルコトヲ得ヘク、產婦看護婦ハ產婦院ニ於テ養成シ協會ハ其能力ト信用トヲ保證シテ無料又ハ相當ノ報酬ヲ以テ之ヲ產婦ノ家ニ送ルモ

ノトス斯ノ如ク產婦救護ニ關スル各種ノ機關ヲ統一シテ民衆ニ產婦救護ノ必要ヲ悟ラシメ同時ニ產婆制度ヲ改良セントスルハ「ブレンネツケ」ノ方針ニシテ「デイユツセルドルフ」「キヨルン」「マンハイム」等ノ協會モ其目的ヲ同フスト雖トモ產婆トノ關係ノ親密ナルハ「マグデブルヒ」ノミ、他所ニ於テハ院內ノ產婆ノミヲ使用シテ院外ノ產婆ハ毫無關係ノ有セス伯林ノ協會モ亦產婦院ヲ設立シ產婦看護婦ヲ養成ス、之ニ加フルニ家政救助モ亦之ヲ行ヒ普通ノ場合ニ於テハ產婦ノ看護ト共ニ家政ヲ補助シ產婦入院スルトキハ全然家政處理ノ任ヲ執ルモノトス、此協會ハ創立日尙ホ淺ク其成績ノ良否ヲ判シ難シト雖トモ正路ニ向ツテ進歩シツ、アルヤ疑ナキナリ、產婦看護婦ノ事業ハ疾病看護婦ト異ナルナシ、即チ一ノ組合ヲ組織シテ疾病、廢疾、老衰ニ對スル準備ヲ設ケ一層上等ノ階級ニ屬スル婦女進ンテ此職務ヲ行ヒ以テ貧民ノミナラス社會一般ニ有害ナル似而非看護婦ヲ絶滅セシムルコト吾人ノ切望スル所ナリ、又疾病救助、家政救助ノ場合ト同シク協會ハ事業ヲ監督シ滋養品其他ノ補助ヲ與ヘテ補助スヘキナリ

(ト) 回復ノ患者ノ救護 疾病一タヒ治癒スト雖トモ直チニ病前ニ均シキ能力ヲ發揮シ能ハサルハ説明ヲ要セス、疾病本來ノ危險ハ既ニ去ルモ尙ホ所謂回復期ニ在ルモノハ寛待安息ヲ要スルヤ明カナリ、故ニ富有ナルモノハ疾病ト名クヘキ程ニアラサルモ入院療法ヲ取レルモノハ更ニ山林又ハ海濱ニ赴ムキ以テ精力ヲ養フニアラスヤ、然ラハ則チ重病ヲ患ヒタル後チ兩腕ノ全力ヲ用キテ勞働セントスルモノニ對シテ其必要ナルヤ言ヲ待タサルナリ、然レトモ近時ニ至ル迄世人ノ其必要ヲ悟ラス疾病ノ間看護ト家族ノ救助トヲ與フレハ則チ足レリトセリ、是ヲ以テ漸ク病院ヲ退キタルモノ直ニ勞働ニ從事シテ過勞ヲ來シ爲

ニ直ニ前病ニ復スルアリ、或ハ漸次衰弱ニ陥リテ遂ニ斃ル、モノアルナリ、所謂社會法ノ實行ニヨリ世人ノ此點ニ注意スルニ至レルハ喜フヘキコトニシテ殊ニ保險會社ノ被保人ノ廢疾ニ陥ルニ依リ年金ヲ仕拂フノ義務ヲ負フヲ以テ、單ニ利益上ヨリ打算シテ可成廢疾者ノ數ヲ減セントスルカ如キハ好模範トナレリ、而シテ十分ナル回復ヲ得セシメントスルニハ十分ニ安息シテ精力ヲ養成シ得セシムルカ爲ニ疾病間患者若クハ家族ニ與ヘタル救助ヲ繼續セサルヘカラス、且ツ疾病ノ性質ニヨリ病後ノ攝養ヲ要スルモ自家ニ於テハ新鮮ナル空氣ヲ呼吸シ滋養物ヲ食スル能ハサルヲ以テ山林海濱ニ赴カシメサルヘカラサルナリ、故ニ近年此點ニ注意シテ實行ヲ期スルモノ起ルニ至レリ、即チ伯林ハ「ブランゲンブルヒ」及ヒ「ギーターゴツ」ニ「ブレイメン」ハ「オスレープスハウゼン」ニ「プレストラウ」ハ「ウァイデンホーフ」ニ「ザクセン」ハ「ロッシユグイッツ」「クロステーグイッツ」及ヒ「ラウアー」ニ「シエトウトガルト」ハ「シタンムハイム」等ニ養生場ヲ設ケ又頃者「ミイユンヒエエン」ニ於テハ一部此目的ニ使用セシメンカ爲ニ一婦人百二十五萬「マーク」ヲ寄附セリト云フ

肺結核ノ蔓延ハ近時之カ救済及ヒ豫防ノ方法ヲ講スルニ至ラシメタリ、獨逸ニ於テハ肺病患者ノ數毎年百三十萬人ニシテ死亡者毎年十七萬乃至十八萬人ニ達ス、蓋シ肺病ハ特定ノ治療ヲ施スモ一定ノ期間ニ治愈スルモノニアラス、又全ク不治ノモノニアラス、初期ノ患者ニ對ツテ時機ヲ失セス空氣ノ流通不良ナル工場不健康ナル仕事場ヲ去ラシメ其回復期ニアルモノハ長ク空氣ノ新鮮ナル地ニ留マラシムルコト最モ緊要ナリ、此目的ヲ達スルカ爲ニ最近十年間ニ肺病保養院ノ設立セラル、モノ少カラス、其收容スル所ハ主ト

シテ疾病救護組合員又ハ被保險人ナレトモ救済事業ノ爲ニ既ニ好成績ヲ呈スルニ至レリ、英國ニ於テハ此種ノ設備獨逸ヨリモ早ク目下肺病患者ノミヲ收容スル病院十八ヶ所アリ、又倫敦病院ハ肺病患者ノ爲ニ特別ノ部門ヲ有ス、斯ノ如キ方法ニヨリ毎年七千人ノ肺病患者ヲ特設ノ病院ニ於テ治療スルヲ得ヘク其創立及ヒ維持ハ皆個人的慈善事業ノ經營ニ繫ラサルナシ

回復期ノ患者ノ救護モ亦豫防ノ手段トシテ經濟上、衛生上必要ナルモノタリ、故ニ疾病救助ノ全般ニ就テ述ヘタルカ如ク世人モ最モ注意スヘキ事項ニシテ國家并ニ市町村ハ之カ進捗ヲ謀リ私人ノ慈善事業モ亦大ニ盡力センコトヲ切望セスンハアラサルナリ

## ○獨逸貧民醫ノ事業

伯林市開業醫兼貧民醫

ドクトル、ユリウス、シテルン

### 緒言

貧民醫ノ事業タル獨逸貧民救助及慈善協會ノ會議トナレルハ余及他ノ貧民醫間ニ久シク有セシ希望ニ應ヘリ余ハ此會議ノ材料ヲ得ンカ爲メニドクトル、ミユンシテルベルクト其委員ニ命セラレ百十四ノ市ニ對シ貧民醫ノ事業ヲ種々ノ方面ヨリ觀察シテ照會書ヲ發セリ即チ

人口六萬人以上ノ市ノ貧民救助廳四十一、人口六萬人以下ノ市ノ貧民救助廳七十三ニ宛テ照會書ヲ發  
セリ

前者中三十八、後者中五十六ヨリ回答ヲ得タリ其回答中ニハ極メテ精密ニシテ材料ノ豊富ナルモノモ多カ  
リキ即チ

前者 ケニヒスベルヒ、ダンツヒ、シテッティン、ボーゼン、プレスラウ、ゲエルリツ、マクテブルヒ  
エルフルト、アルトナー、キールハンノーフェル、ドルトムント、カッセル、フランクフルト、アム、マ  
イン、ウイースバーデン、バルメン、デュセルドルフ、ドウイスブルヒ、エルベルフェルト、エッセン、  
クレーフエルト、ケルン、ミュンヘン、ニユルベルヒ、アウクスブルヒ、ドレスデン、ライプツヒ、  
ヘムニツ、シドットガルト、カアルスルーエ、マンハイム、ダアルムシタット、マインツ、ブラウンシ  
ユワイヒ、ハンブルヒ、リュベック、ブレーメン、シトラースブルヒ

後者 メーメル、ティルジット、エルビング、ボツダム、ブランデンブルヒ、フランクフルト・ヘンデル・オ  
ーデル、コトブス、ケスリン、シトラールズント、コールベルヒ、ブロムベルヒ、グネーゼン、シユワ  
イドニツ、グローガウ、リークニツ、ポイテン・オーベル・シレジエン、ケニクスヒユッテ、カト井ツ  
グライウツ、ラテイボール、メルゼブルヒ、ヒルデスハイム、オスナブリユック、ミュンステル、ブーレ  
フェルト、ポッフム、イーゼルローン、フルダー、ハーナウ、コーブレンツ、レムシアイト、トリール、  
ライト、レーゲンスブルヒ、パウツコン、チッタウ、ツ井カウ、ブオルツハイム、オッセンバツハ、ウッルムス

ウイスマール、アホルダ、ウワイマル、オルデンブルヒ、マイニンゲン、アルテンブルヒ、コーブルヒ、  
ゴータ、ケニティン、デサアウ、ルウドルシタット、グライツ、ゲーラ、ゾンデルスハウゼン、コルマル、  
イン・エルザス、メツ

此等ノ諸市殊ニ貧民救助廳ニ對シテ茲ニ深ク感謝ノ意ヲ表ス

### I、總論

我カ協會ノ從來ノ書類ヲ閱スルニ貧民醫ノ事業ニ關シテハ只時ニ言ノ是レニ及フコトアルノミナリシモ同  
事業ハ本協會ト密接ノ關係ヲ有スルニヨリ此材料ヲ調査シ以テ大ニ本協會ノ注意ヲ惹起センコトヲ希望セ  
リ

ペーメルト氏ハ其七十七ノ獨逸ノ市及二三ノ地方貧民救助ニ於ケル貧民救助制度（一千八百八十六年ト  
レスデン出版）中ニ於テ唯伯林市ノ貧民自宅救助ニ關スル報告ニ簡單ニ貧民醫ノ事業ヲ述ヘ其醫師ノ數及  
俸給ヲ最新ノ官廳ノ報告ニヨリ擧ケタルノミ同書中ノ他ノ市ニ關シテハ貧民ノコトニハ一言モ之レニ及ハ  
ス

獨逸國貧民救助及慈善協會ノ一千八百八十七年マクテブルヒニ於テ開キタル年總會ニ於テルドリヒ・ウ  
ラルフ氏自宅疾病救助ノ組織（協會ノ會議錄第五卷書類第四卷）ニ付キテ報告セシ中ニ自宅疾病救助ハ從來  
單ニ地方ノ貧民救助及兒童扶養ニ關スル會議中ニ附屬シテ論及セラレシモ特別ニ一問題トナシテ研究スル  
ヲ好シトスル旨ヲ述ヘタリ

同氏ノ報告中ヨリ數多ノ獨逸ノ市及聯合町村ニ於テ貧民醫ノ任命及其結果村落ニ於ケル貧民自宅救助ノ缺點及ヒ之レニ關スル希望ヲ知ルヲ得タリ然レトモ此希望ハ今日ニ至ルマテ未タ實行セサルモノ多シ此報告中特ニ茲ニ舉ケント欲スルハ『ポーゼン州ノ村落ニ於テハ貧民自宅救助ノ組織ハ單ニ形式タモ存セサルコトナリ同地ニ於テハ村落ニテ開業スルモ決シテ充分ナル收入ヲ得ルコト能ハサルニヨリ醫師ノ開業スルモノナキカ故ニ醫師ノ往診ハ多額ノ費用ヲ要シ其村落ノ行政廳之レヲナサシムルニ至ルハ非常ノ難事ナルハ必然ノ勢ナリ且種々ノ迷信及一種ノ宗教上ノ宿命心ニヨリ醫師ノ診察ヲ請ハサルモノ多シ』ト云ヘル一節ナリ

同報告ニハシレージエンニアリテハ都會ノ地及村落ト雖モ工業ノ盛ナル地ニ於テハ一定ノ貧民醫ヲ設ケ之レニ報酬ヲ與フルモザクセンニアリテハ唯小數ノ村落ニ限リ貧民醫アリウエストフワーレンニアリテハ當時一私人ノ義捐ト自治體ノ補助トニヨリ成立スル幾多ノ設備アリテ業務ニ堪ヘサルモノ及疾病者ヲ治療救助スルノ方法備ハレルニモドルトムント及ジーゲンノ如キ市ニアリテハ疾病自宅救助ハ單ニ醫師ノ自由行為ニ一任シライン洲ニアリテハ自治體ノ之レカ爲メニ盡力スルコト甚タ少ナクカッセル縣及シレスウイヒホールシタイン洲ニアリテハ小數ノ村落ノミ一定ノ貧民醫ヲ設ケ之レニ報酬ヲ拂フハンノーフエルニアリテハユルフエン郡ニハ六名ノ郡貧民醫ノ存スルコトヲ特筆セリ

又同書中ヘッセン大公國ニアリテハ地方ニ於ケル治療甚タ不完全ナルコトヲ述ヘ且醫師ノ診察料騰貴セルニヨリ貧民診察ヲ請フコトヲ止メ若クハ延引スル』コトヲ歎セリ又アンハルト公國ニ於テハデッサウ、ケエ

テン、ツォルプスト、ベルンブルヒ及パーレンシテトノ諸市ニ於テノミ貧民自宅救助ノ制アルモアルテンブルヒ市ニ於テハ市設ノ貧民救助ノ制ナリシユウワツバルヒゾンデルスハウゼンニ於テハ唯都會ノ地ノミ俸給ヲ受クル貧民醫アリウワルデックニ於テハ極メテ稀ニ地方貧民救助團體ヨリ俸給ヲ與フル貧民醫ヲ置クコトブルヒゴーターニアリテハ區醫及官設外科醫貧民疾病者ニ治療スルノ義務ヲ有シ此義務ノミニテ今日マテハ地方ニ於テモ不足ヲ感セスエルザスロートリンゲンニ於テモ貧民醫ノ事業ハ區醫ノ義務ノ一部ナルカ故ニ其區醫ノ效力ハ其區ノ範圍ニ依テ甚タシキ差異アルヘキコトヲ述ヘタリ

又特ニサクセン王國ニアリテハ村落ニ開業スル醫師ニ政府ヨリ保護ヲ與ヘバーデン大公國ニ於テモ斯ノ如キ醫師ニ政府及ヒ貧民救助團體ノ大ナルモノヨリ補助ヲ與ヘ若干義務ヲ負ハシムウエルテンベルヒ及バイエルンニアリテ縣醫及一等官醫師ハ旅行費ヲ受クルノミニテ貧民ヲ無報酬ニテ治療スヘキノ義務アリ且特ニ郡ノ基本財産ヨリ多額ノ補助金ヲ與ヘ醫師ヲシテ貧町村ニ開業スルヲ容易ナラシムルコトヲ特筆セリルードウイヒウワルフ氏ノ報告ニヨリマシクテブルクノ會議ニ於テ劇シキ議論ヲ生シ其結果獨逸國中悉ク貧民疾病者ニ對シ必要ノ設備必スシモ存セス且未タ何レノ地方ニ於テモ疾病者悉ク醫師ノ診察ヲ受クルヲ得ス故ニ法律ノ助ケニヨルト行政ノ方法ニヨルトヲ問ハス醫療ノ困難ナル地方ニアリテハ特別有力ナル救助法ヲ設クルノ必要ナルコトヲ議決セリ且疾病救助金庫中ニ勞働者保險ノ新組織ヲ設ケ以テ之レニ應センコトヲ希望スル旨ヲ決セリ

同會決議ノ結果五箇條ヲ決セシモ余輩ノ茲ニ論セントスルモノハ第一條及ヒ第三條ナリ



第一條 貧民ノ疾病者自宅看護ハ其性質上貧民自宅救助ノ一部分ナリ

第三條 法律上ノ自宅疾病救助ハ少ナクトモ無代價ニテ治療ヲ受ケ救助ヲ要スル貧民ニシテ容易ニ藥品ヲ得セシムルニアリ

ドクトル・ハウゼルヂユトマン氏ノ昨年協會ノプレスラウニ開ケル年總會ニ提出セル村落ニ於ケル疾病看護及自宅看護ニ關スル報告ニヨリ適當ナル看護人ノ必要ナルコト殆ント醫師及藥品ヨリモ大ナル見ル醫師ノ治療ヲ受クルハ唯ニ必要ナル金錢ヲ有セサルノミナラス其往來ノ距離甚タ遠ク且非常負傷者ニ醫療及藥劑ヲ與フル自治體ノ義務ノ履行セラル、コト甚タ不完全ナルノミナラス且多クハ時期ニ遅クル、ヲ以テ竹庵、牧者等ヲ好ミ且村落ノ人民ハ例令醫療ヲ受クルモ緩慢ナルニヨリ多クハ時期ニ遅ル、ヲ常トス唯ヘツセン及バーデンハ保險部ノ報告ニヨレハ醫療ヲ得ルノ方法充分ニ備ハリ村落ト雖モ又其方法ヲ存セリ、

今日迄ノ調査及會議ノ結果ヲ斯ク概觀セハ余カ村落ニ於ケル状態ヲ更ニ調査セサルノ理由自ラ明ナルヘシ此慈善行爲ノ改良及擴張ノ必要漸次之レヲ認ムル範圍増加シ獨逸國ノ諸市最近數十年間ニ於テナシタルノ結果ニ等シキニ至ルヘキハ余ノ疑ハサルトコロナリ社會政策上ノ法律益發達シ其効力益明ナルニ至リ市ノ設備ヲ摸スルモノ益多ク人民ノ幸福ヲ増進セントスル協會ノ盡力益擴張セラレ其土地ノ狀況ニ應シ有力ナル保護ヲ得ルニヨリ漸次進歩スヘキモノニシテ決シテ一時ニ發達スルモノニアラサルハ勿論ナリ必要ナル場合ニ於テハ自治體ハ其貧民ノ爲メ醫療ヲ得セシムル義務アルハ普魯西亞普通法ニ規定スルトコ

ロナリ北獨逸同盟法律施行法中被救助者ノ住所ニ關スル規定(一千七十一年四月八日)第一條ニ曰ク  
救助ヲ要スル各獨逸臣民ハ疾病等、  
務アル團體ヨリ之レヲナスヘキモノトス、

一千八百七十三年以來バーデン及ウエルテンベルヒニ於テモ此法律効力ヲ有スルニ至レリ又獨逸國ニ於テハ此他バイエルン、エルザスロートリンゲンニ於テモ各之レニ關スル規定アリバイエルンニアリテハ本籍地ヲ確定シ其所在地ノ自治體救助ノ義務ヲ有シ若シ必要ナルトキハ郡若クハ縣ヨリ過多ノ貧民救助ノ義務アル自治體ニ對シ補助ヲ與フヘキモノトスエルザスロートリンゲンニアリテハ被救助者ノ住所ニ關スル規定モ本籍地ニ關スル規定モナク救助ハ皆私設ノ慈善業ニ一任スルヲ原則トセリ然レトモ貧民自宅救助ノ場合ニ於テハ疾病者ニ對シ治療及醫藥ヲ施シ其費用ハ一部ハ自治體ノ任意ノ餼金ニ一部ハ政府ノ補助ヨリ支拂フコトトセリ

以後獨逸國ニ於テ漸次實施セラレタル社會政策法(貧民救助金庫、負傷、老年、廢疾保險)ハ成ルヘク速ニ醫療ヲ得セシムルノ方法ヲ設ケ且保險ニヨリ貧民救助ノ幾分ヲ脱スルヲ得且中年者ノ貧民疾病者ヲ減スルニ至レリ然レトモ勿論他方ニアリテハ慢性病者特ニ多分ハ長時間業務ニ從事スルコトヲ得サル病者ニシテ貧民救助金庫ヨリ補助スルノ義務絶ヘタルモノヲ引受クルニヨリ貧民醫ノ事業ハ甚タシク増加セリ故ニ一千八百九十七年我協會ノ年總會ニ於テプリンクマン氏其報告(本協會ノ書類第二十九冊)ニ附シテ社會政策法ノ結果ニヨリ一般ニ貧民救助ノ負擔ヲ減セシメ所ニヨリテハ之レヲ増加セリ

ト云ヘルハ貧民醫ノ事業ニ關シテモ亦然リトス

貧民疾病者ニ絶ヘス充分ノ醫療ヲ得セシムルノ義務ト共ニ貧民救助上ノ貧民醫ハ甚タ必要ニシテ且有力ナルモノトノ意見漸次一般ニ行ハル、ニ至レリ特ニ大都會ニアリテハ然リトス貧民疾病者ノ家屋内家屋外ニ於テ醫師ノ必要アルノミナラス救助ノ條件執務ノ適否救助院及病院ニ收容等ニ關シ醫師ノ助言ヲ要スルコト多キニヨリ貧民救助部ハ貧民醫ノ權利實行ヲ容易ナラシメ且其範圍ヲ擴張シ並ヒニ其救助部ノ諸機關ト關係ヲ益密ナラシメ且有益ナラシメント勉ムルニ至レリ貧民醫モ其智識ヲ各個人及公共ノ利益ニ供センカ爲メニ(ポート氏貧民救助及貧民疾病者治療一千八百九十三年伯林出版ノ緒言中ニ云ヘルカ如ク)

自治體ノ總テノ組織ニ於テ公衆衛生ニ注意シ且單ニ金錢ヲ惠ムノミヲ以テ貧民救助ノ目的ヲ達スルコトヲ得ス直接貧民ニ接進シ慈善的行爲ヲナスモノ最モ此目的ヲ達スルヲ得ヘキニヨリ貧民醫ハ衛生ノ進歩ニ對シ熱心ナル同情ヲ有セサルヘカラサルヲ感スルニ至レリ

前ニ述ヘタル各市ノ歳出表ニヨリ今日貧民醫ノ貧民救助官廳及疾病者ニ對スル關係ヲ茲ニ述ヘントス且附帶シテ一地方ニ於テ功ヲ奏シタル設備ヲ略述シ之レヲ他方ニモ普及セシメ且一般ノ利益ニ關スル問題ヲ説明セントス

我協會ノ發シタル照會書ハ次ノ如クニシテ余モ此順序ニ從テ述ヘントス

貧民醫ノ事業ニ關スル照會書

## 1、任命セシ行政廳

參事會——貧民救助部

職務監督——異議ノ申立——醫師委員會

職務規程

貧民醫團體

## 2、任命ノ形式

A、全ク之レノミニ從事スルヤ

兼職ナルヤ

官吏タル醫師ト否ラサルモノトノ名稱

貧民醫、組合醫、地方醫、州醫、市醫

報酬

俸給一定セリヤ昇給スルヲ得ルヤ平均額

其都度支拂フヤ

特別困難ナル場合(手術分娩等)ニ於ケル報酬

以上ノ諸項ノ報酬額如何

此俸給ハ恩給ヲ受クルモノナルヤ

其人員ノ選擇

廣告シテ募集スルヤ否ヤ學術上ノ智識ノ程度ノ開業免狀ヲ受ケタル後チ幾年ナルカ一若年ノ醫師ヲ第一トスルカ其地方ニ於テ住所ヲ有スルヲ要スルカ

奉職年限

終身ナリヤ一數年ナリヤ一再選ヲ許スヤ一交代ノ規定アリヤ一一定ノ重任ノ後之レヲ免スルノ規定アリヤ

貧民救助部ニ對スル地位

貧民救助部ノ役員ナリヤ一其地方廳ノ役員ナリヤ一可否ノ數ニ加ハルヲ得ルヤ將タ單ニ助言ヲ與フルニ過キササルカ一會議ニ加ハルノ義務アリヤ

B、官吏ナラサル醫師

醫師ノ自由選擇ナルヤ一制限アル自由選擇ナリヤ一其數ハ其地方ノ人口ニ依ルカ將タ病人ノ數ニ由ルカ

治療ノ數一往診ノ數一自宅診察ノ數

C、専門醫

患者直チニ之レニ就クヲ得ルカ一貧民醫ノ命ヲ要スルカ一獨立ニシテ治療スル權利ヲ要スルカ一報酬額

3、其事業ノ區域

全市一一定ノ區域其區域ノ廣狹

人數ニヨレル區域、從來ノ經過ニヨレル患者數ニヨレル區域

一貧民區域若クハ二區域以上ナルカ

一醫師居宅ヨリ其區域ノ境界ニ至ル距離

一年々患者數

4、其事業ノ範圍

a、疾病者ノ治療一軍人ノ家族、ノ治療

b、職務ニ從事シ得ルヤ否ヤノ調査

e、種痘證、學校缺席證書、負傷、廢疾、運搬セラル、ニ堪ユルヤ否ヤノ證書ノ調製一病院ニ收容スヘキノ命令、死亡證書

d、自宅貧民救助ノ外慈善院及孤兒院收容ニモ從事スルヤ

e、警察醫トシテノ事業

治療

a、自宅診察

b、往診

c、處方

醫藥器械治療品(繃帶、注射、支持器械等)―浴―強壯劑―貧民救助部ノ命ヲ待テ此等ヲ與フルカ將  
タ自ラ之レヲ與フルヲ得ルカ  
處方箋―危急ノ場合ニ於ケル治療  
日誌ノ記載

患者統計、傳染病者届出―報告ハ毎月之レヲナスヘキカ三ヶ月毎ナルカ將ターケ年毎ナルカ―特別ノ  
書式ニヨルカ貧民救助部ニ之レヲナスカ將タ縣區、郡區、市町村醫ニ之レヲナスヘキカ

- 5、貧民醫、種痘醫且學校醫ハ必ス同一ナルヘキカ若クハ此三者中ノ二ハ必ス同一人ナルヘキカ
- 6、貧民救助部トノ連絡ナキ醫師ニシテ或場合ニ於テ貧民ヲ治療シタルモノハ報酬ヲ受クルヤ否ヤ  
其條件如何  
報酬ノ標準如何

職務規程、證書、病床日誌、計算札、年報等ノ一般ニ行ヘルモノヲ送ラレンコトヲ希望ス

II 各 論

1、任命行政廳、職務監督、職務規程、醫師委員會、貧民醫團體

貧民醫ノ任命ハ例ヘハ伯林ニ於ケルカ如ク貧民救助部(此部ノ名稱ハ所ニヨリ差異アルモ)之レヲナスモノ  
アリ或ハ同部ノ申請ニヨリ參事會若クハ市町村委員會(多クノ市ニアリテハ然リ)若クハ稀ニハ市町村會之

レヲ任命スルコトアリ―コルマルインエルサスニアリテハ貧民救助院ノ申請ニヨリ市長之レヲ命シ「ブラ  
ンデンブルヒ」ニアリテハ醫師團體ノ申請ニヨリ市參事會之レヲ命シ「シツットガルト」ニアリテハ市ノ貧  
民救助委員會六名ト地方慈善協會員六名トヨリナレル委員會之レヲ命ス

職務監督及異議ノ申立ハ貧民救助部之レカ權ヲ有シ同部中所ニヨリテハ醫師ヨリナレル會之レカ中心トナ  
ルコトアリ伯林ニ於テハ貧民救助監督廳長ハ其醫師ヲ召集シ相談會ヲ開キ主トシテ貧民醫ニ關スル諸般ノ  
事項ヲ議シ職務監督ノ權ハ貧民監督廳長之レヲ有ス「ハンブルヒ」ニ於テハ貧民醫ニ關スル諸般ノ事務ヲ監  
督スルノ權ヲ託セラレタル貧民救助委員會々員貧民醫ノ委員ト協議ノ上之レヲ決ス但此貧民醫委員ハ決議  
ノ數ニ加ハルヲ得ス

「ブラウンシュワヒ」ニアリテハ貧民醫ノ上ニ最高貧民醫アリ「フランクフルト、アム、マイン」ニアリテハ開  
業ヲ許サレサル市醫一名アリテ衛生全體ニ關スル專門協議員タリ「シツットガルト」ニ於テモ市醫一名アリ  
「ゲヤルリッツ」ニアリテハ組合醫一名アリ

貧民醫ノ職務ニ關スル規程ハ多クノ市ニ存ス唯所ニヨリテハ一般ノ貧民救助規定中ニ存スルモノアリ或ハ  
契約書ノ中ニ之レヲ記セルモノアリ本會ノ受ケタル報告書中斯ノ如キ規定ノ存セサルモノハ十七市ノミナ  
リキ職務規定ハ職務ノ時間ノ外一方ニ於テハ監督官廳ニ對シ他方ニ於テハ貧民救助委員會及治療ヲ乞フ者  
ニ對スル職務ノ範圍ヲ規定セリ即チ貧民醫ノ疾病者ニ對スル時間止ムヲ得サル場合(疾病旅行)ニ代理ヲ設  
クルコト各疾病者ニ用ユヘキ藥劑ノ決定證明書、意見書ノ調製、病床日誌ノ記載法、疾病者ヲ專門醫及病

院ニ引渡、検屍傳染流行病ニ際スル心得又一般ノ衛生ニ對スル意見等ニ關スル規定ヲ設ク

諸市ノ規定其大様ハ殆ント相同シト雖トモ便宜上茲ニ現存ノ職務規程中樞要ナル文句ヲ記載セン

各貧民醫ハ其治療範圍内ノ貧民救助委員會若クハ自治體孤兒救助會ヨリ引渡シタル貧民疾病者及孤兒ヲ無報酬ニテ治療スヘキモノトス

a、疾病者ノ其居宅ヲ出ツルコトヲ得ル者ニ對シテハ醫師ノ自宅ニ於テ毎日一定ノ時間中（此時間ハ醫師之ヲ定メ貧民救助監督部ヨリ許可ヲ受クヘシ）

b、若シ疾病ノ性質上然ルヘキトキハ疾病者ノ居宅ニ於テ

又貧民醫ハ貧民救助監督部ノ命ニヨリ或ハ警察ノ求メニヨリ其治療ノ範圍内及外ノ負傷者及疾病者ニ對シ危急ノ場合ニ於テ無報酬ニテ應急ノ手段ヲ施シ斯ノ如キ場合ニ於テ警察ヨリ求メタル證書ヲ無報酬ニテ調製スヘキ義務アルモノトス但其負傷者及疾病者從來貧民救助委員ヨリ救助セラル、者ト否トフ問ハス

若シ後チニ至リ斯ノ如キ負傷者若クハ疾病者或ハ其家族支拂能力存スルコト明カナル場合ニ於テハ醫師ハ其勞ニ對スル支拂ヲ求ムルコトヲ得（伯林貧民醫職務規程第二條）貧民疾病者ノ貧民醫ニ治療ヲ求ムル定メナル時間中ニ於テスルヲ原則トスルモ成規ノ疾病者證書ヲ持參スル者ハ此時間外ト雖トモ危急ナル場合ニ於テハ治療ヲナスヘキモノトス（同上第四條）

「ブレセラウ」貧民醫職務規程第七條ニモ同シク

各區貧民醫ハ其區内ノ疾病者ニ對シ助手ノ助ケニヨラス自ラ治療スヘキノ義務アルモノトス且疾病ノ性質上然ルヘキモノハ必要ノ回数及必要ノ期中ニ往診スヘキ義務アルモノトス

此外各區貧民醫ハ其區内ノ疾病者ニシテ其居宅ヲ出ツル不都合ナキ者ニ對シ毎日一定ノ時間中自宅治療ヲナスヘシ但此時間其變更ハ貧民救助監督部ニ届出テ同部ヲシテ一般ニ知ラシムヘシ

危急ナル場合ニ於テハ區貧民醫ハ前顯ノ時間以外ニモ貧民自宅診察ニ應スヘシ

貧民救助委員會ヨリ與ヘタル疾病者證書ヲ以テ來タル患者ノ眞ニ貧民ニアラサルヘシトノ理由ヲ以テ診察ヲ斷ルヲ得ヌ又貧民救助委員ハ貧民醫ノ處方ニ對シ異議ヲ唱フルヲ得ヌ若シ貧民醫貧民救助委員ノ疾病者證書ヲ與ヘタル患者ニシテ眞ニ貧民ニアラサルヘシトノ疑ヒヲ有スルトキ及貧民救助委員貧民醫ノ處方ニ對シテ疑念アルトキハ互ニ報告ヲナシ成ルヘク口頭ニテ双方間ノ意思ノ疏通ヲ計ルヘシ若シ稀ニ双方ノ意見一致セサルコトアルトキハ直ニ貧民救助監督部ニ其旨報告スヘシ然レトモ斯ノ如キ異議ノ申立ニヨリ醫師ノ處方ノ實行若クハ貧民醫其患者ノ治療ヲ停止スルヲ得ヌ（伯林職務規程第六條拔萃）

此最後ノ項ニ關シテ「ツウイカウ」ノ職務規程ヲ述ヘム

若シ貧民醫疾病者ノ眞ニ貧困ナラサルモノナリト思惟スルトキハ貧民救助應ニ通知スルノ義務ヲ有ス然レトモ同應ノ決定以前ニ其治療ヲ中止スルヲ得ヌ

貧民醫疾病若クハ其他ノ故障ニヨリ代理ヲ要スル場合ニ於テハ少ナクトモ一週間以前（不意ノ場合ヲ

除クノ外ニ書面ニテ其代理方法ニ關シテ貧民救助監督部ニ届出テ許可ヲ得ヘシ但代理者ハ貧民醫自ラ之レヲ求ムヘシ

特ニ危急ナル場合若クハ其代理五日間以内ナルトキハ貧民醫ハ其治療區域内若クハ其近傍ニ居住スル醫師成ルヘクハ隣區貧民醫ヲシテ代理セシムルコトヲ得然レトモ貧民救助監督部及其治療區域ノ貧民救助部委員ニ直チニ代理ノ届出ヲナスヘシ

各貧民醫ハ二週間無報酬ニテ隣區ノ貧民醫ノ代理ヲナスヘキ義務アルモノトス(伯林職務規程第七條)

「フランクフルト」ノ職務規定ハ之レニ反シ若シ代理ノ必要アルトキハ市醫ニ其旨ヲ届出テ市醫ハ成ルヘク一定ノ順序ニヨリ代理ヲ定ムヘシ此代理ハ四週間マテハ報酬ヲ求ムルヲ得ス若シ是レ以上ニ及フトキハ貧民救助官吏ノ定ムル報酬ヲ受ケ之ヲナスヘシ

救助部ノ會議參與ニ關シテハ

貧民醫ハ其治療區域ノ貧民救助委員ノ月會ニ參與スルト否トハ隨意ナリ故ニ其會ノ都度通知ヲ受クルモノトス若シ疾病貧民ニ關シ若クハ衛生ニ關スル決議ヲナサンカ爲メ其出席必要ナルカ爲メ特ニ貧民救助委員ヨリ會議ニ參與スヘキノ命令ヲ受ケタルトキハ必ス出席スヘキノ義務アルモノトス(伯林職務規程第十九條)

又

其地方會議ニ於テハ貧民醫モ他ノ會員ト同シキ權利ヲ有シ貧民救助部長及貧民救助者ニ關スル訓令中

ニ規定スル救助ヲ與ヘンコトヲ求ムルコトヲ得(「フランクフルト、アム、マイン」貧民醫ニ關スル訓令

## 第二條)

一般ノ衛生ニ關シテハ

貧民醫ハ疾病及傳染病ノ場合ニ於テハ直チニ市ノ貧民救助部ニ其旨ヲ通知シ適當ナル衛生警察上ノ方法ヲ取ラシムルヲ得セシムヘシ又患者自己ノ過失ニヨリ故意ニ快復ヲ延滞セシメ若クハ妨クル者ノ氏名及飲酒ニヨリ反覆疾病ニ罹ル者ノ氏名ヲ貧民救助者若クハ其區ノ長ニ届出スヘシ(「バルメン」職務規程第六條及エルベルフェルト職務規定第七條)

市ノ貧民救助部ノ收容セル貧兒ノ治療ニ際シ營養不十分ナルカ不適當若クハ不良ナルコトヲ發見シタルトキハ直チニ其旨ヲ同部ニ報告スヘシ(「ダンツィヒ」職務規程第八條)

節儉ニ關スル規定ヲ設クル所多シ

貧民醫ハ其處方ニ際シ若シ其目的ヲ達スルニ充分ナルトキハ成ルヘク其藥品ノ廉價ナル様注意スヘシ(「フランクフルト」職務規程第八條)

貧民醫ノ團體ノ組織セラレタルモノ非常ニ稀ナルハ奇異ナル現象ト云フヘシ「フルベルフェルト」ニ於テハ職務規程第十一條ニヨリ貧民醫ハ其長一名ヲ選ヒ貧民救助部ニ届出スヘシ同長ハ時々貧民醫ヲ召集スドルトメントニ於テハ通例三ヶ月毎ニ貧民醫ノ會議アリ若シ是レ以外ニ其會議ノ必要ナルトキハ貧民救助部之レヲ召集スープレートメンニアリテハ貧民醫ハ毎年其内三名ノ委員ト會計者一名トヲ選舉ス(制限アル

自由選舉(一)ドレスデンニアリテハ其職務規定第二十二條ニ

貧民疾病者治療ニ關スル諸般ノコトヲ議センカ爲メニ時々貧民救助官ヲ會長トシテ總會ヲ開ク  
トアルモ報告中ニハ今日迄一回モ之レヲ開キタルコトナキ旨ヲ記セリ—ブレスラウニアリテハ貧民醫ハ必  
要ナル場合ニ於テ會議ヲ開クモ甚ダ稀ナリ—ゲヲリツツニ於テハ組合醫自己ノ意見ニ從ヒ同市ノ五名ノ貧  
民醫ヲ召集シテ會議ヲ開ク—ボーゼンニ於テハ市ノ衛生ニ關シ會議センカ爲メ市參事會長首席トナリ一年  
一回以上貧民醫ノ會議ヲ開ク—伯林ニ於テハ數十年來貧民醫協會存シ各貧民醫ハ必ス之レニ加入セサルヘ  
カラス一年二回以上會議ヲ開キ議事日程ヲ通知シ貧民救助監督部員ノ出席ヲ求ム今日ニ至ルマテ貧民救助  
監督部ノ代表者ノ出席セサルコトナク特ニ最近ノ數年間ニ於テハ救助部自ラ進ンテ之レニ加ハリ互ニ自由  
ニ意見ヲ交換シ双方共ニ満足シ且公衆ノ爲メニ有益ナル結果ヲ生スルニ至レリ故ニ余ハ各地ニ於テモ之レ  
ニ則ランコトヲ望ム

2、任命ノ形式、稱號、報酬、人員選擇、奉職年限、貧民救助部ニ對スル地位、醫師ノ自由選擇、報酬計  
算、専門醫

貧民醫ノ任命ハ通例ハ兼務ニシテ他ノ職務ト兼ネシムルモノ多シ即チ「メルゼブルヒ」ニ於テハ貧民醫ハ警  
察醫及病院醫ヲ兼ネ「ボイトン」ヲ「ベルシレー」ニアリテハ組合醫及警察醫ヲ兼ネ「シトラースブル  
ヒイムエルザス」ニアリテハ市醫及裁判所醫ヲ兼ス  
多クハ貧民醫ト稱スルモ所ニヨリテハ組合醫市醫、區貧民醫區醫ト稱スルモノアリ

貧民醫ノ報酬ニ付テハ照會ニヨリ得タル材料ニヨリナシ得ラル、限リノモノヲ次表ニ掲ゲタリ其説明ハ後  
チニ之レヲ述ヘン

伯林	ケエニヒス	ベールヒ	ダンツイヒ	シテティン	ポレーゼン	ブレスラウ	ゲエルリツ	マクテブ
一、六七七、〇〇〇	一、七二〇、〇〇〇	七	一、二五〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	七三〇、〇〇〇	三七三、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	
八三	七	一、〇〇〇	二二三	七	一一三、〇〇〇、六〇〇、一六〇〇	二一	五	
一、二〇〇—一、五〇〇	一、〇〇〇	ナシ	三〇〇	六〇〇	九〇〇	六〇〇	ナシ	
ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	
其半ハ故參ニシテ其俸給高シ	此外二三ノ區ニアリテハ大學病院往診ニヨリ是レ以外ノ收入アリ	其擔當區數ニ應シテ	治療數二百回マテハ斯ノ如クナルモ以上五十回毎ニ五「マ」ルクヲ増ス外ニ「マ」屍ノ證書ハ別ニ報酬ヲ受ク					

ド ウ イ ス ブル ヒ	エ ル ベ ル フ エル ト	エ ッ セ ン	ク レ ー フ エル ト	ケ エ ル ン	ミ ユ ン ヘ ン	ニ ユ ル ン ベル ヒ	ア ウ ク ス ブル ヒ	ド レ ス デル ン	ラ イ ブ ツ ッ ヒ	ラ イ ブ ツ ッ ヒ	フ オ ル オ ル ラ	ケ ム ニ ッ ツ	シ ト ット ガ ル ト	カ ア ル ス ル ー エ
七〇〇〇〇	一三九〇〇〇	九六〇〇〇	一〇七〇〇〇	三二一〇〇〇	四〇七〇〇〇	一六二〇〇〇	八〇〇〇〇	三三六〇〇〇	三九九〇〇〇		一六一〇〇〇	一五七〇〇〇	八四〇〇〇	
九	九	三	八	一一	二二	八	八	一九	二〇		一一	一一	五	
五〇〇	六〇〇	一三五〇	九〇〇	九〇〇	六〇〇	五〇〇—七〇〇	一八〇—六〇〇	八〇〇	九一〇		四〇〇—九〇〇	三〇〇	五〇〇	一〇〇〇
アリ	アリ	アリ	アリ	アリ	アリ						アリ	アリ	アリ	
定ノ報酬ヲ受ク	市醫ノ報酬ノ半額ナリ	検屍ハ報酬ヲ受ク	各區毎ニ貧民患者ヲ百五十名ト定ム其以上ノ貧民患者ヲ治療シタル者ハ六箇月毎ニ六十マルクノ加俸ヲ受ク	區ノ數ニ應シ	貧民區ノ範圍ニ應シ	此外日中往診ハ半「マルク」夜間往診「マルク」								

三〇四

フ デ ユ セル ドル	バ ル メ ン	バ ー イ デ ン	ウ イ ー マ イ ン	ト ・ ア ム ・ マ イ ン	フ ラ ン ク フ ル	カ ッ セ ル	ト ル ム ン	ド ル ト ム ン	ハ ン ノ ー フ エ	キ ル ト ナ ル	ア ル ト ナ ル	エ ル フ ル ト ヒ		
一七六〇〇〇	二二七〇〇〇	七四〇〇〇	二二九〇〇〇			八一〇〇〇	一一一〇〇〇			二〇九〇〇〇	八五〇〇〇	一四八〇〇〇	七八〇〇〇	二一四〇〇〇
?	九	四	?			五	?	二		六	四	?	七	?
一〇〇〇	五〇〇		一〇〇〇	一一〇〇—一四〇〇		五〇〇、九〇〇、一〇〇〇	九〇〇	三〇〇、七〇〇		一〇〇〇	一一〇〇	二二〇	三〇〇—六〇〇	六〇〇
アリ	アリ					アリ	アリ							アリ
此外分娩ノトキハ法	ニ報酬ヲ受ク	此外分娩ノトキハ別	止ム	百「マルク」ニ至リテ	ルク」ヲ増シ一千四	二年毎ニ百五十「マ	百「マルク」一名	五百「マルク」一名九	非常ニ小ナル區	ヲナス助手	醫ハ大學病院ノ往診	一貧民區域毎ニ貧民		

三〇四



メザ	メ	シトラスフルヒ・イ	ン・エルザス	メ	テッ	エ	ブル	コ	ケ	ブ	グ	シ	グ	グ	リ
ツ	メ	フルヒ	ザ	メ	ル	ビ	ン	ト	ス	ス	ム	ド	ネ	ロ	ク
ス	ツ	ヒ	ス	ル	ト	グ	ヒ	ス	リ	リ	ヒ	ツ	ゼ	ガ	ニ
ス	ス	イ	ス	ル	ト	グ	ヒ	ス	リ	リ	ヒ	ツ	ゼ	ガ	ニ

三三〇〇〇	一九〇〇〇	二八〇〇〇	四五〇〇〇	四二〇〇〇	三八〇〇〇	一九〇〇〇	四六〇〇〇	二〇〇〇〇	二六〇〇〇	二二〇〇〇	一	五	一	三	五
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---	---	---	---	---

四	一	三	三	四	二	一	六	二	七	二	一	三	一	三	四
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

六〇〇—六四〇	九〇〇	六〇〇	五〇〇—八〇〇	三〇〇	六〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇—六〇〇	七五〇—九五〇	四五〇	一	一	一	一	一
---------	-----	-----	---------	-----	-----	------	------	---------	---------	-----	---	---	---	---	---

アリ			アリ						アリ						
----	--	--	----	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	--	--

市醫二名組合醫二名  
 外ニ助手醫四名アル  
 毛唯代理スル場合ニ  
 限リ報酬ヲ受ク  
 外ニ市醫一名困難ナ  
 ル手術治療及分娩ハ  
 報酬ヲ受ク  
 同時ニ病院醫ナリ  
 此外ニ分娩ニ對スル  
 三〇七

マ	リ	マ	コ	ゴ	ケ	デ	ル	グ	グ	ゾ	コ	マ	リ	マ	ダ	マ
ン	ユ	ン	ー	ー	エ	サ	ウ	ラ	ラ	ン	ー	イ	ユ	ン	アル	ン
ハ	ニ	シ	ブ	テ	テ	ア	シ	イ	イ	ハ	ブ	ニ	ニ	ン	ム	ハ
ン	ン	ユ	ル	ー	ー	ウ	タ	ツ	ツ	ル	ル	ン	ン	ム	シ	ハ
ム	ク	ヒ	ヒ	タ	ン	ウ	ヒ	ラ	ラ	ゼ	ゼ	ク	ク	ム	タ	ム

九〇〇〇〇	六九〇〇〇	六二五〇〇〇	一八〇〇〇	三一〇〇〇	二〇〇〇〇	四二〇〇〇	一一〇〇〇	二二〇〇〇	四三〇〇〇	七〇〇〇	一	一	三	二	一	一
-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	---	---	---	---	---	---

一三	三	四	一	二	一	三	一	一	二	一	一	三	二	一	一	一
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

二五〇—八〇〇	八〇〇	一〇〇〇	六〇〇	九〇〇	一五〇〇	七〇〇	三〇〇	七〇〇	四〇〇	六三〇	一	一	一	一	一	一
---------	-----	------	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	---	---	---	---	---	---

アリ		アリ														
----	--	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ハ「マルク」  
 三〇六  
 此外恩給ヲ受クルコ  
 トヲ得ル警察醫四名  
 貧民醫ヲ兼ヌ  
 法定手数料ノ最少率  
 ニ從ヒ其都度支拂フ  
 市醫ナリ  
 外ニ外科醫二名  
 分娩ニハ別ニ報酬ヲ  
 與フ外ニ外科醫一名  
 昇給スルヲ得

ボイテン・オ ーベル・シレジン	四二〇〇〇	二	七〇〇		三〇八 報酬ヲ受ク 此外ニ警察ノ依頼ニ 應シタルトキハ報酬 ヲ受ク 同時ニ病院醫ナリ 病院醫及警察醫ヲ兼 ヌ 此外警察醫、種痘醫、 學校醫ヲ兼ヌ九百 「マルク」ヲ受ク 『報酬ヲ受ケサリシ 辨價トシテ』 市醫ト貧民醫トヲ兼 ネ其俸給ハ増加スル コトヲ得且恩給ヲ受 クルコト得
ケエニクスヒユッテ	四四〇〇〇	一	九〇〇		
カトキッツ	二二〇〇〇	一	一八〇〇		
ラティボー	二一〇〇〇	二	五〇〇		
グライウツ	二四〇〇〇	四	六〇〇		
メルゼブルヒ	一八〇〇〇	一	一三〇〇		
ミュンステル	五七〇〇〇	五	六〇〇—一〇五〇		
ビーレフエルト	四七〇〇〇	八	三〇〇		
オスナブリユック	四五〇〇〇	二	一五〇〇		
ボッフム	五三〇〇〇	四	六〇〇		
イーゼルローン	二四〇〇〇	一	一〇〇〇		
フルダ	一四〇〇〇	一	九〇〇		
ハナウ	二七〇〇〇	一	一六〇〇		
ゴーブレント	三九〇〇〇	四	六〇〇		
トリ	三九〇〇〇	三	一〇〇〇		

レムシアイト	四七〇〇〇	七	四〇〇		此外私立慈善院醫一 名アリ 分娩ニ對スル報酬ア リ
レトゲンスブルヒ	四一〇〇〇	二	四〇〇		
パウツェン	二二〇〇〇	一	三〇〇		
チッタウ	二八〇〇〇	二	六二〇		
ツ井カウ	五〇〇〇〇	一	一三〇〇		
プロルツハイム	三三〇〇〇	三	六〇〇		
ウイスマール	一八〇〇〇	一	六〇〇		
アポルダ	二〇〇〇〇	一	三〇〇		
ウワイマル	二六〇〇〇	一	六〇〇		

貧民報酬ハ通例契約ニ因テ確定セラル其額ハ地方ノ狀況ト及ヒ其意向トニ由テ差アリ現時ノ趨勢ニ改良ヲ加フルヨリモ寧ロ其地方ノ慣習ニヨルコト多シ然レトモ從來ニ比シテ増額セシトコロ多シ所ニヨリテハ漸次増給スルノ制アリ然レトモ恩給ヲ與フルノ制アルハ報告書中ハ一ナウノミ

多クノ市ニアリテハ一定ノ患者數マテ俸給ヲ確定セリ例ヘハゲエルリツ、ニアリテハ疾病二百件以上ハ五十人毎ニ五十「マルク」ノ報酬ヲ與ヘミユヘンニアリテハ貧民簿ニ記入セル貧民百五十名以上ナル區ニ對シテハ六ヶ月毎ニ俸給以外ニ附加俸ヲ與フカールスル—エニアリテハ規定ノ俸給以外ニ治療ノ都度規定セル手數料ヲ與フマイニンゲンニアリテハ貧民ニハ其治療ノ都度法定醫師報酬ノ最小額ヲ與フブレーメンニ於

テハ近時其治療ノ都度支拂方法ヲ試行ス分娩ノ際特別ノ報酬ヲ與フルモノハパールム、ジュセルドルフ、リ  
 ↑グニツツ、コットブス、検屍書ニ對シテ報酬ヲ與フルモノハケルン、ゲルリツツ、慈善院ニ收容スヘキ證  
 明書ニ對シ報酬ヲ與フルモノハバルメン癩疾者保險ニ關スル證書ニ對シ報酬ヲ與フルモノハホルマルナリ  
 一種奇異ナル制ニテ賛成スルヲ得サル制度ヲ設クルモノハフルダナリ同所ニテハ一定セル俸給アルモ手術  
 ニ對スル全報酬ニアラスシテ唯支拂フコトヲ得サル治療者ニ對スル辨償ニ過キス故ニ貧民醫ハ此報酬アル  
 ニ關ハラス治療シタル貧民ヨリ支拂ヲ求ムルコトヲ得

アーヘンニ於テハ一千八百九十八年七月一日以來貧民醫ノ報酬ニ關スル新規定アリ各貧民醫ニハ從來ノ如  
 ク一定ノ區域ヲ擔當シ一定ノ俸給ヲ受クル外其治療シタル患者ノ數ニ應シテ報酬ヲ受ク此數ハ貧民救助者  
 ヨリ發シタル疾病證書ヲ疾病者ヨリ醫師ニ渡シタルモノヲ提出シテ其數ヲ定メ市ニテ定メタル率ニヨリ此  
 數ニ應シテ報酬(俸給ヲ減シタル殘額)ヲ與フ、此外貧民疾病者ニ對シ所謂醫師ノ自由選擇ト稱スル制ヲ行  
 フトコロアリ此制ハ最近十年以後醫師社會及諸金庫監督部ニ於テ大議論アリタルモノナルカ故ニ少シク之  
 レヲ詳説セントス

第一ニ述ヘサルヘカラサルハ完全ナル醫師ノ自由選擇ヲ行ヘルモノハ吾輩ノ知ルところニテハライト市ノ  
 ミナルコトナリ同地ニテハ此制ハ一千八百九十六年七月一日ヨリ存シ市ノ醫師ハ悉ク貧民醫ト見做サレテ  
 貧者ノ治療ノ爲メ年額一千八百「マルク」ヲ支出シ之レヲ疾病者證書ノ數ニ應シ貧民醫間ニ分配ス且外科及  
 産科ノ大手術ニ對シテハ法定ノ最小額ニ從ヒ別ニ支拂フ余カ同市ノ醫師ヨリ受ケタル私信ニヨレハ今日マ

テノ經驗ニ於テハ醫師モ官廳モ醫師ノ自由選擇ヲ以テ満足セリ一千八百十九年——一千九百年ノ疾病證書  
 (四週間有效)一枚ノ價格ハ「マルク」ナリ治療ノ回数及其平均價格ハ知ルコトヲ得ス

制限アル醫師ノ自由選舉ハブレメンニ存セリ貧民救助部所屬ノ患者ハ其市ノ區ノ貧民醫(市ノ四區ニ各  
 四名乃至五名ノ貧民醫アリ)ノ何レニ就クモ可ナルモ同一ノ疾病中貧民救助部ノ許可ナクシテ醫師ヲ變更  
 スルヲ得ス貧民救助部ハ一千八百九十七年二月ノ規定ニ基キ貧民醫ニ支拂フヘキ總額ヲ三名ノ醫師委員會  
 ニ支拂ヒ同委員會更ニ之レヲ各貧民醫ニ分配ス一千八百九十九年四月以來概算額ノ代リニ其治療ノ都度一  
 定ノ率ニ從ヒ支拂フコト、セリ即チ診察ハ一回ハ五十ペンニツヒ往診ハ「マルク」夜間往診及夜間診察ハ  
 前各項ノ二倍産科の手術ハ一回十「マルク」トセリ然レトモ制限アル醫師自由選擇ノ制ハ依然之レヲ行ヘリ  
 會計年度一千八百九十八年ノブレメン市貧民救助部年報ハ此制ハ充分効力ヲ奏セリト云ヘリ然レトモ貧  
 民救助部長ヨリ醫師ノ請求ヲ至當ト認メ概算額ハ増加セリ其理由ハ從來ノ報酬ハ教會ニテ貧民ヲ救助セシ  
 時代ノ慣例ニヨレルモノニテ現時ノ標準ニ適セス又其階級充分ナラサルニヨルト云ヘリ現今ノ報酬額ハ假  
 リニ試行セルモノナリ

ウヲルムスニ於テハ一定ノ俸給ヲ受クル三名ノ貧民醫アリ、マイニンゲンニ於テハ治療數ニ應シテ支拂フ  
 五名ノ貧民醫アリ兩地共ニ貧民醫ノ何レニ就クモ患者ノ隨意ナリウヲルムスニアリテハ一千八百九十九年  
 十月ヨリ始メテ此制ヲ行ヘリ同市ノ報告ニヨレハ今日マテハ特別ノ變動ヲ見ス特ニ醫師ヲ妄リニ變更スル  
 ノ弊ヲ見スト云ヘリ同市報告中ニ「貧民醫ハ一定ノ報酬ヲ受クルニヨリ甲醫ノ治療數乙醫ヨリモ多キニ對

スル報酬ハ單ニ其他人ヨリモ隆盛ナリトノ自覺心ニ存スルノミ  
 フランクフルト、アム、マインノ貧民救助部ノ報告ハ全然醫師ノ自由選擇ニ反對セリドレスデンハ一千八百  
 九十七年十一月審議ノ后チ

醫師ノ自由選擇ノ範圍ヲ更ニ擴張スルコトヲ止メ診察スルニ應シテ貧民醫ニ報酬ヲ與フルノ法ヲ用キ  
 ス從來ノ一定セル俸給ヲ受クル貧民醫ノ俸給ヲ増シ且其數ヲ増加スルコトヲ議決セリ

伯林ニ於テハ一千八百九十三年自由ニ選擇シタル金庫醫師協會ノ成立ト共ニビルヒヨ氏ノ一千八百四十八  
 年醫界改正(醫界改正一千八百九十三年第十七冊)中ニ當然ナル理由ヲ述ヘタル貧民從來ノ希望ヲ實行シ得  
 ヘキニ至リタルニヨリ實行スヘシトノ市會ニ提出セラレタリ提出者ドクトル、ツアーデック氏ハ次年ノ豫算  
 編製ニ際シ特別ノ貧民醫ノ報酬ヲ設クルコトヲ止メ前顯ノ協會ト協議ノ上市會ニ其結果ヲ報告セラレンコ  
 トヲ市參事會員ニ求メタリビルヒヨ氏曰ク

市町村廳ハ統計表ヨリ貧民ノ數ヲ正確ニ知ルコトヲ得且貧民間ノ疾病數ヲ可ナリ正確ニ知ルコトヲ得  
 ルニヨリ醫師團體ノ事業ノ平均額ヲ知リ從テ其當然受クヘキ報酬ヲ計算スルコトヲ得ト

ドクトル、ツアーデック氏ハ一千八百九十一年—一千八百九十二年々報ヨリ疾病者一名一年間ノ醫師報酬一  
 「マルク」五十三ペンニヒト計算シ第十九醫區ニ於ケル患者數ヲ百六十七名トシ第十六醫區ヲ二千四十六  
 人第四十八醫區ヲ二千五百六十五人ト算シ其間ヲ計算シテ二十醫區ニ於テ一年一千人以上ノ患者アルコ  
 トヲ主張セリ又同氏ハ貧民疾病救助ノ特別ノ事情貧民疾病者ノ増減ノ差異甚タシキコト貧民醫ノ主張セル

煩雜等ノ理由ニヨリ貧民毎ニ若クハ疾病數毎ニ報酬ヲ與フルノ困難ナルヲ知ルモ双方ノ盡力ニヨラハ此等  
 ノ困難ニ勝ツハ困難ナラサルコトヲ主張セム然レトモ同氏ノ提議ハ市參事會ノ採用スルトコロトナラス以  
 後此問題ニツキテハ市ノ行政部ニ於テ何等ノ會議ヲモ開クコトナカリキ

茲ニ附言スヘキハ本年(一千九百年五月)新設伯林市營業疾病金庫ニ對シ醫師ノ自由選擇ヲ實行セルコ  
 トナリ

余ハ一定ノ規約ニ基キ總テノ醫師ヲシテ金庫所屬ノ疾病者ヲ治療セシムルハ獨逸醫師ノ大多數ノ正當ナル  
 要求タルコトヲ認メ且醫師ノ自由選擇ノ制ハ被保險者及醫師ノ利益ナルカ故ニ數年經驗後ニハ實行シ得ヘ  
 キモノナルコトヲ認ムルモ我今日一般ノ事情ニ關スル智識ニヨレハ大都會ノ貧民疾病者ニ對シテ實行スル  
 ニ適スルモノニアラスビルヒヨ氏ノ前ニ掲ケタル語ヲ述ヘシ以來既ニ半世紀ヲ經過シ大都會ノ事情ノ變セ  
 ルコト甚タシ小都會及田舎ヨリ移住スル者甚タ多ク工業商業交通ノ意外ニ發達スルニ至リタルモ大市ノ暗  
 黒面益甚タシキニ至リタルハ蔽フヘカラスコハ貧民救助豫算ノ變遷ヲ一見セハ明カナリ

貧民救助部ハ益其役員及自ラ進シテ助力ヲ與フル人ノ數ヲ増加シ一定ノ區劃ヲ設クルヲ要スルニ至レリ此  
 區劃(救助部、貧民救助委員)ハ若シ其事業ヲ明瞭ナラシメンニハ其役員中ニ委託醫ヲ要シ此顧問醫ハ其區  
 劃内ノ貧民ノ事情ニ通シ其貧民ノ事情及其要求ニ關シテ專門ノ顧問タルヲ要ス若シ貧民救助委員今日ノ如  
 ク一定ノ委託醫ヲ設ケスシテ數多ノ不定ノ醫師ニ治療ヲ託セサルヘカラストセハ貧民醫ト貧民救助委員ト  
 ノ關係上當然生スルトコロノ種々ノ殆ント毎日ノ事項ハ同委員ヲシテ殆ント其事務ヲ執ルニ堪ヘサラシム

ヘシ又醫師ノ自由選擇ヲ實行セハ救助官廳其全醫師ヲ充分監督シ貧民及醫師共ニ満足ノ結果ヲ得セシムルコトハ到底不可能ナルヘシ斯ノ如クニシテ規律弛廢セハ如何ナル結果ヲ生スヘキカハ此等ノ復雜ナル事情ヲ知ル者ノ皆認ムルトコロナリ

現行ノ制ハ大都會ニ對シテ救助ヲ請フ者ノ事情ヲ調査シ眞ノ貧民ト然ラサルモノトノ區別ヲナスヲ得セシム

茲ニ附記セント欲スルハ佛蘭西國ニ於テデバルトマン、デ、ランデス及デバルトマン、デ、ボスジノ先例ニ從ヒシシステム、ランデ或ハシシステム、ボスジアント稱スル甚ダ發達セル醫師ノ自由選擇ノ制アルコトナリ同制ニヨリ九十六デバルトマン中六十八患者ニ醫師ヲ選擇スルノ權ヲ與フ其選擇ハ其地方若クハデバルトマンノ醫師ニシテ之レニ從事スル總テノ中何レヲ選フモ隨意ナルモノアリ又一定ノ區域ニ對シテ定マリタル若干名ノ醫師中隨意ニ選擇スルヲ許スモアリ醫師報酬ハ一定ノ俸給ヲ受クルモノアリ或ハ其治療數ニ應ジ契約上ノ率ヲ受クルモノアリ

貧民醫ヲ任命スルニ當リ其人員ノ選擇ハ多クハ廣告募集ノ方法ニ依ル然レトモケニスベルヒ、ダンツイヒシテイン、ポーセン、ラヒブツイヒ、ヘムニツツ、ブレーメン等ノ如キ市ニアリテハ志願者自ら申出ル者絶ヘサルニヨリスノ如キコトヲナスノ必要ナシボレスラウニアリテハ缺員補充志願者名簿ヲ作りブランデブルヒ、及ブレーメンニアリテハ其地ノ醫師協會志願者ヲ紹介スルノ勞ヲトル

任命ノ條件トシテ何レノ地ニ於テモ開業免狀ヲ有スヘキハ勿論ナリハンノーフェル、エツセン、ダルムシ

タート、ブロンベルニアリテハ志願者中年齡ノ若キ者ヲ選ヒドウイスブルヒニ於テハ其區域内ニ居住スル最年長ナル者ヲ選ヒボフム及グライウイツツ、ニ於テハ其土地ニ居住スルコト久キ者ヨリ選ヒマークテブルヒ、ニ於テハ其地ノ病院ノ助手タリシ者ヲ選ヒシトラースブルヒニアリテハ公醫ノ試験ニ及第シタル者ニ限ルトセリ伯林ニアリテハ近來無益ニ志願者ノ數ヲ増加セシメサル爲メ其志願者ノ資格同シキトキハ其醫區内ニ居住セル者ヲ採ルコト、セリ

貧民醫ノ義務年限ハ多クハ之レヲ定メス解僱及辭職ニ際シテハ三ヶ月以前ニ通知スルノ義務ヲ規定セリ然レトモシユワトニツツ、オナフリユック、シトラスブルヒ、ニアリテハ終身ナリエッセン、チルジツト、ブロンベルヒ、イーゼルローム、ウイスマル、エルフルト、ニアリテハ一年間トシ反覆就職スルヲ得ルコト、セリ伯林ライブツツヒ、マークデブルヒ、バルメン、ハンブルヒ、ドレスデンハ三ヶ年トシ再就職スルコトヲ得(然レトモドレスデンニ於テハ六ヶ年以上就職スルハ唯特別ノ場合ニ限ル)ケルン、フランクフルト、アム、マイン、ニュルンベルヒニアリテハ五ヶ年トシ再就職スルコトヲ許ス(然レトモニュルンベルヒニ於テハ唯一回再選ヲ許スノミ)ブレ斯拉ウニ於テハ其期限ヲ六ヶ年トシ解僱及辭職ニ際シテハ六ヶ月以前ニ通知スルノ義務ヲ規定セリ

貧民醫ノ貧民救助部及其區委員ニ對スル地位ハ職務規定及貧民救助規定ニヨリ定メラル然レトモ貧民醫ハ定期ノ會議ノ都度通知ヲ受ケ且出席ヲ希望セラル、モ若シ特別ノ必要アリ其旨ヲ通知セラル、ニアラスンハ出席ノ義務ナシ但シドルトムント、オフエンバ、ハウオルムス、デスサウ、ケーテンニアリテハ三ヶ月毎ノ

會議ニ出席シマインツニアリテハ毎年ノ調査會ニ出席スヘキノ義務ヲ規定セリ、會議ニ出席スル者多クハ注意ヲ與フルニ止マリ決議ニ加ハラス之レニ加ハルハボトゼン、プレスラウ、ハンノーベル、ヘムニツツ、カールスルイエ、マンハイム、メーメル、フランクフルト、アンデル、オーデル、フランクフルト、アム、マイン、ケニッヒスヒユッテ、ラーティボール、レーゲンスブルヒ、ツウイッカウ、ボルツハイム、グライウイッ、グライウツ、ナリグネーゼン、ニアリテハ貧民醫四名ノ中二名丈ケ貧民救助部代表者ニ加ハリ決議ノ數ニ與カル此貧民救助部代表者ニ加ハル、ト否トハ余ノ深ク注意スルトコロニアラス我カ最モ重キヲ置クハ貧民醫ヲシテ定期ノ會議ニ加ハラシムルニアリ如何トナレハ單ニ書面ニテ簡單ナル返答ヲナスヨリモ口頭ニテ意見ヲ陳フルノ有力ナルハ各人ノ經驗ニヨリテ明カナレハナリ斯ノ如クセハ充分意見ヲ述フルコトノ外臨機ニ貧民醫ノ希望ニシテ口頭ニアラスンハ到底充分説明スルヲ得サル問題ヲ其會議ノ諸員ニ知ラシムルヲ得ヘケレハナリ

勿論會議毎ニ之レニ加ハラシムルハ(特ニ大都會ニアリテハ)貧民醫ノ職務多忙ナルニヨリ甚タ困難ナルヘキモ成ヘク其都合ヲ計リ出席スルヲ得セシメハ其結果ハ單ニ出席者ノミナラス公衆ニ對シテ有益ナルヘキハ疑ヒヲ容レス

旅行疾病等止ムヲ得サル場合ニ於テ貧民醫ノ代理ヲナスハ通例貧民醫間ニ於テシ短時間代理ノ義務ハ職務規程ニヨリ定ムルモノアリ又各人ノ意思ニ一任スルモアリ

シトラースブルヒ、ニアリテハ八名ノ貧民醫ノ外四名ノ助醫アリ此助醫ハ代理ヲナストキニ限り報酬ヲ受

ケ貧民醫空位ヲ生シタルトキハ之レニ任スフランクフルトニ於テハ市醫ハ貧民醫ノ長ニシテ其監督ヲ兼ネ若シ貧民醫代理ノ必要アルトキハ市醫ニ届出サシメ市區一定ノ成ルヘク一定ノ順序ニヨリ代理ヲ命ス同市ノ代理ハ四週間マテハ無報酬ナルモ之レ以上ニ及ヘハ貧民救助官ノ定メタル報酬ヲ受ク

専門醫ハ所ニヨリテハ貧民救助部ノ機關直接ニ其診察ヲ求ムル所アルモ多クハ貧民醫ノ指揮ニヨリテ其診察ヲ求ム數多ノ市醫特ニ大學ノ存スル市ニアリテハ治療ヲナス専門醫益増加スルニヨリ之レニヨルコト多シ然レトモ自治體中一定ノ俸給ヲ與ヘ専門醫(主トシテ眼科醫ナルモ亦耳鼻咽喉醫、婦人科醫ヲモ)ヲ定ムルコト多シ又貧民醫ノ指揮ニヨリ専門醫ノ治療ヲ受ケタルニ對シ一定ノ率若クハ法定治療料ノ最少額ヲ與フルトコロアリ専門醫ハ殆ント皆獨立治療ノ權ヲ有スルニヨリ其疾病者ニ對シ全責任ヲ負フ然レトモ貧民醫ノ希望ニヨリ其相談役タルニ止マルコトアリ

### 3、貧民醫ノ事業ノ區域及年患者數

小自治體ニアリテハ各貧民ノ事業其市ノ全區域ニ及フハ勿論ナリ然レトモケニスリン、コルベルヒ、ウイスマルノ如キ一萬八千ノ人口ヲ有スル市二萬二千人ヲ有スルカットウイッツ、四萬四千人ヲ有スルケニッヒスヒユッテニ於テ唯一名ノ貧民醫ヲ有スルハ少シク奇異ノ感ナキ能ハス多クノ市ニアリテハ市ノ行政區劃内若クハ貧民「救助委員區劃」ニ從ヒ一定ノ貧民救助區劃、若クハ貧民「區劃」ヲ定ム貧民醫ハ其擔當スル區劃内若クハ其近傍ニ居住スヘキハ殆ント各市皆此規定アリ然レトモ所ニヨリテハ地勢上然ルコトヲ得サルコトアリ(例ヘハグライウイッツ、ノ報告ニハ同市ノ地形蜘蛛巢ノ如クナルニヨリ然ルコトヲ得スト云ヘリ)

擔當區域ノ境界ヨリ醫師ノ居宅マテノ距離ハ所ニヨリテ同シカラサルハ勿論ナリ我カ受ケタル報告ニヨレハエッセンニアリテハ十五分時間バルメン、ゴータ、マインツハ、二十分時間カッセルニアリテハ三十分時間内ヲ要シチルジトニ於テハ「キロメートル」半シトウツトガルトニ於テハ「キロメートル」半グライウイツ、ツィタウ、オルデンブルヒニアリテハ「キロメートル」オスナフリユク、ニアリテハ「五」キロメートルナリ

大都會ニシテ其昔時ノ市ヲ中心トシテ漸次其周圍ニ擴張シ其中心ハ工業商業ノ目的ニ供セラル、モノニアリテハ中央ノ貧民區域ノ範圍ノ廣キハ勿論ニシテ漸次退縮スル都會ニシテ貧民甚ダ多キモノニアリテハ病者ノ數中央ニ至ルニ從ヒ増加ス故ニ患者ノ數若クハ其區域ニ對シ一定ノ標準ヲ定ムルコトヲ得サルハ明カナリ伯林ニアリテハ此關係特ニ明カナルニヨリ患者ノ多キ區ハ成ルヘク之レヲ縮小セント勉ム然レトモ患者數ノ少ナキ區ノ範圍ヲ擴張セントスルハ其治療ヲ求ムル貧民多クハ虛弱ナル婦人ナルカ故ニ到底不可能ニ屬ス昨年中貧民救助監督部ノ命ニヨリ一定月數間貧民醫ノ事業(貧民醫ノ宅診、往診、其他ノ治療證書)ノ統計ノ編製ヲ試ミタルモ其結果ハ未ダ知ルコトヲ得ス其目的ハ貧民醫ノ事業ノ状態ヲ知り區ノ境界及報酬ヲ改正セントスルニアリ

年々ノ患者數ニ關スル報告ハ其根本タル報告ノ異ナルニヨリ容易ニ分類スルヲ得ス然レトモ其結果ハ甚タ有益ナルヘシト思惟スルニヨリ茲ニ掲ク

次ノ統計表ハ成ルヘク最近ノモノナルモ前年度ノモノニハアラス

貧民醫一名ノ一年間ニ治療スル患者數ハ

- ツィト アウ、概數.....五〇、
- レゲンスブルヒ.....九〇—一二〇、
- ゲライツ.....一〇六、
- エルベルフェルト.....四一四、
- ドレスデン.....一九五、
- イゼルローン.....二五〇、

又全體トシテハ

貧民醫區	患者數	平均貧民醫一名ニ對シ
エッセン.....三	二〇〇〇	六六七、
ダン ツィヒ.....二	五八三六	二五四、
マークデブルヒ.....一六	四三六〇	二七二、
ニユルンベルヒ.....八	一二六二	一五八、
ミュンシテル.....五	一二六三	四五二、
ボーフウム.....四	一〇〇〇	二五〇、
チトウツトガルト.....一	二七七二	二五二、
ダルムシタット.....六	一三八〇	二三〇、
トリール.....三	七二六	二四二、

マインツ	四	六〇八	一五二
ティルジト	三	一五一	五〇四
ゲネーゼン	四	七五〇	一八八
ドルトムント	四	一〇七八	二七〇
オスナーブリュック	二	五九六	二九八
リュベック	三	五二四	二六二
ゲライウツ	四	一三六六	三四一
グロークアウ	三	三四二	一一四
ゴータ	二	六三六	三一八
ブレスウ	二	五五〇	二六二
伯林	八〇	四八一二四	六〇一

伯林ノ年報ハ一千八百九十八年ヨリ九十九年ニ至ル行政年度ニシテ治療數ハ區ニ由テ異ニシテ最少百六十  
 四ヨリ最多一千三百七十迄ノ差アリ千件以上ナルモノハ四區ニシテ平均一貧民醫區ニ對シ六百〇一件ニシ  
 テ此平均數以下ナルモノ三十九貧民醫區ニシテ殆ント總區數ノ半ハニ位ス

4、貧民醫ノ事業

貧民疾病自宅救助ニ於テハ貧民醫ノ事業ハ殆ント總テ相同シ即チ疾病者ノ治療―病院、癲狂院、不治病院  
 へ患者引渡―検屍ヲナスノ必要アリタルトノ死亡證書―接骨醫、産婆、繃帶醫へ患者ノ引渡食物及強壯劑  
 ノ命令(直接若クハ其區貧民救助委員ヲ通シテ)―執務ノ適否、瘕疾、運搬シ得ヘキヤ否ヤノ確定(之レニ

關スル證書ニ對シテハ特別ノ報酬ヲナス所多シ)ナリ

此外所ニヨリテハ病院醫ニ屬スル事業ニ從事セシムルモノアリ即チ學校缺席證明書、産科、種痘(多分ハ  
 特別ノ報酬ヲ受ク)已ニ種痘消ノ證明書、藥劑價額ノ檢閱(ドウィスブルヒ、エッセン、ニュルンベルヒ)其  
 區ノ救濟設備ノ監督(ケニヒスベルヒ)自宅救助ヲ受ケサルニ夜間診察(シテッチン)孤兒ノ治療、保育ノ引  
 受―孤兒院及貧民收容所ノ治療(バルメン、レムシアイト、コトブス、ケーテン)保險設備、私立慈善院、  
 浮浪者收容所ニ於ケル治療(カッセン、ニュルンベルヒ、ゴータ)貧民勞働所ニ於ケル治療(ウィスバーデン  
 オルデンブルヒ)―總テ此等ノ場合ニ於テハ多クハ特別ノ報酬ヲ受ク廢疾院監督區内ノ火事場へ出張スル  
 コト(?) (ケリヒヨベルヒ) 消防長ノ求メニ應シ火事場へ出張(ツリール) 巡査、下士ノ貧困ナル者ノ治療  
 (シットルト)市ノ消防夫、夜番人及市ノ船守ノ治療(チルシット) 市有地勞働者ノ治療(リーグニツ)市ノ  
 胥吏ノ治療(ラーチポール)病院ニ收容スヘキ旅人ノ診察(リュベック)給金前借ノ僕婢ノ治療(リークニツ、  
 グライウツ)小學校ノ毎月檢閲特ニ流行病ノ節ハ數回ノ檢閲(デスサウ)市長ノ依頼ニヨリ小學校兒童ノ健  
 康診察(コーブレント、チルシット)手職見習者トナラントスル者ハ健康證書ヲ要スルニ由リ其調製(ウオ  
 ルムス、デスサウ)貸間及旅宿ノ檢閲(ウオルムス)―警察ノ依頼ニ應スル治療兵事ニ關スル診察、不健康  
 ノ疑ヒアル住宅ノ檢閲等ノ如キ警察醫ノ事業ヲナサシムル所多シ

特別ノ報酬ヲ與ヘ貧民醫ヲシテ種痘醫ヲ兼ネシメ又近來學校醫ヲ兼ネシメ若クハ兼ネシメントスル所アリ  
 斯ノ如キ兼職ヲナサシムルモ爲メニ貧民救助部ノ事業ニ障碍ヲ與フルコトヲ報告セシトコロナシ此等ノ職



務ヲ兼テシムルハ一ハ種々ノ困難ヲ受クル貧民醫ニ對シ多少報酬ノ意味ヲ有シ一ハ斯クノ如クシテ貧民救助部ニ熟練セル醫師ヲ繋カントスルナリ

貧民救助部ト何等ノ關係ヲ有セサル醫師ニシテ時ニ貧民ヲ治療シタルトキ(危急ノ場合ニシテ貧民醫ノ立會ハサルニヨリ治療シタル時ニ限り)ハ法定ノ手数料ノ最少率ヲ與フルハ殆ンド總テノ自治體皆然リ

貧民患者ノ治療ハ宅診ト往診トノ二種ニシテ其被救助者タルコトヲ知ルニハ二様アリ一ハ時期ヲ定メ貧民救助委員ヨリ當時救助セル凡テノ人名ヲ記シタル名簿ヲ貧民醫ニ交附シ(ニユルンベルヒ、ライプツィヒ、マシハイム、ウイスバーデン)若クハ貧民名簿ニヨル(ボーゼン)一ハ其都度救助官貧民救助委員長若クハ區長ヨリ疾病證書ヲ交附ス(ダンツィヒニアリテハ無料治療證書、シテチンニアリテハ醫師許可證書ト云フ)治療ノ無報酬ナルノミナラス藥品モ無料ニテ與フ然レトモ所ニヨリテハ貧民名簿ニ記入セル者即チ長時間救助ヲ與フルモノニ限り藥品ヲモ無料トスル所アリ(ライプツィヒ、ウイスバーデン)然レトモ此方法ハ他所ニテ之レヲ實行センハ充分ノ注意ヲ要スルナルヘシ

貧民醫ノ宅診ハ必ス自宅ニ於テ之レヲナスニアラス所ニヨリテハ貧民救助官廳(コルマル)貧民救助所(ヒルデスハイム)市役所(カールスルーエ)若クハ特別ニ借り受ケタル場所(シトラースブルヒ)ニ於テスルモアリ

貧民醫ノ處方ハ醫藥ノ外、浴湯、眼鏡、器械的治療品(繃帶、灌腸、灌注器支持器等)滋養及強壯劑、牛乳葡萄酒及一私人ニ託シテ扶養セシメタル場合アリテハ疾病者食品(ドレスデン)ヲ定ム此等ノ諸品ハ醫師直

接ニ納品者ト價格ヲ定メテ給與スルトコロアリ或ハ貧民救助部機關ヲ通シテ之レヲ給與スルコトアリ此場合ニ於テ同機關價格ノ談判ヲナス

此等ノ點ニ關シテハ各市何レモ貧民醫ノ貧民救助委員ニ對スル關係ヲ定メ双方並ヒニ被救助者ニ對シテ便宜ナル方法ニ改メンコトヲ勉ム即チ伯林ニ於テハ近來複雜ナル書式ヲ簡ナラシメ從來ヨリモ貧民醫ノ獨立行爲ヲ多カラシメタリ故ニ今後ハ普通ノ器械的治療品(眼鏡繃帶等)ニシテ其價格十五「マルク」ヲ超エサルモノ)並ヒニ浴湯ノ命令ハ貧民救助委員ヲ通セスシテ醫師直チニ之レヲ命スルヲ得セシメタリ然レトモ病院ニ引渡シ牛乳、肉、其他ノ食品ハ同委員ヲ通スルコト、セリコハ監督及計算上ノ點ヨリ出デタルモノナリ高價ノ繃帶及器械ヲ給與スルニハ貧民救助監督部ノ許可ヲ要ス

藥品ノ處方ハ醫師ノ意ニ一任スルモ治療ノ出來得ラル、限リハ奢侈品ヲ省キ成ルヘク節儉ヲナサシムルコト命ス費用ヲ減センカ爲メ經驗ニ富ミタル醫師協議ノ上可ナリト定メタル夥多ノ處方錄アリ(伯林ノ處方錄最モ多ク行ハル、モ)ケエルン及ハンブルヒニハ各處方錄アリアウクスブルヒニハチムセン教授ノミニユヘン臨床處方錄ヲ用キ又所ニヨリテハ陸軍處方錄ヲ用ユルトコロアリ専門雜誌ニ新藥トシテ其効力ヲ稱贊セルモノヲ成ルヘク使用セントスルハ多クノ醫師ノ希望スル所ナルモ之レニ由リテ貧民救助ノ費用ヲ多カラシムルコト多キハ疑ヒヲ容レス職務規程中ニ「チヨコレート、香料嗅烟草、及斯ノ如キ嗜好品並ヒニ食品ヲ全然處方トシテ與フルコトヲ得ス」トノ項アルトコロアルヲ見レハ處方ノ高價ナルコトヲ顧ミサルコト甚タシキ弊アリシヲ察スルニ足ル伯林處方錄中藥品ノ處方ニ際シ費用減却ノ心得第一條ニ

藥品ノ選擇ハ醫師ノ隨意ナルモ高價ノ藥品ハ其効力ノ迅速ニシテ安全ニ且長時ナルトキニ限り之レヲ用ユヘキモノナリ未タ經驗ヲ終ヘサル藥品及所謂専門藥ハ用ユヘカラス又呪咀等ハ用ユヘカラス處方ハ成ルヘク廉價ノ藥品ヲ用ユヘキモ患者ノ幸福ヲ害セサルヲ原則トスヘシトアルヲ服膺スヘキナリ

余ノ茲ニ此條ヲ掲ケタル所以ハ貧民疾病者ニ對シテハ廉價ノ藥品(即チ隨テ無効ノ藥品)ノミヲ用ユヘシトノ愚論ヲ唱フル者屢々之レアルニヨリテナリ斯ノ如キハ唯人道ニ反スルノミナラス愚ノ極ト云フヘシ病床日誌ノ記載ハ殆ント各市其貧民醫ノ義務トセリ(各市皆然ラサルハ奇異ノ至リナリ)斯クノ如クニシテ蒐集シタル材料ハ醫師自身ノ利益ナルノミナラス貧民救助官廳ヨリ照會ヲ受ケタルトキ記憶ヲ助クル爲メ最モ必要ナルモノナリ所ニヨリテハ病床日誌ニ基キ毎月三ヶ月毎若クハ一ケ年毎ニ醫師自身若クハ官廳統計報告ヲナス所アリ一千八百八十四年八月十二日內務大臣ノ縣知事ニ宛テタル指令中公醫ニ關シテ

參事會及醫事課ヲシテ其區域内ノ疾病ノ種類ヲ調査スルニ充分ナル材料ヲ得セシメハ其結果ハ有益ナルヘシト思惟スルニヨリ公醫ノ設ケアルトコロハ自己ノ治療シタル疾病ノ數及其種類ヲ自治體官廳ニ報告セシメ自治體官廳ハ之レヲ縣知事ニ報告スヘシト云ヘリ

然レトモロート氏ハ自己ノ職務上ノ經驗ヨリ曰ク

當時受ケタル報告ハ一般ニ其價値ナキモノニシテ到底之レニヨリテ調査スルコトヲ得ス此等ノ報告ハ

自治體衛生及公衆衛生ノ範圍ニハ何等ノ關係ナキノミナラス唯疾病ノ統計ニ限レルモ此點ニ於テモ甚タ不安全ニシテ缺點多キハ唯村落ノ地ノ貧民醫ノ報告ノミナラス都會ノ者モ亦タ然リ加之ノミナラス西部ノ二三ノ縣ヨリハ全ク報告ナシ且病名及其分類ハ多クハ醫師ノ任意ニシテ一定ノ方針ナキニヨリ各報告ヲ比較シテ統計表ヲ作ルハ不可能ニ屬ス

他ノ醫師ノ如ク貧民醫モ亦流行病届出ノ義務アルハ勿論ナリ其届出ハ警察ニ宛ツルモマインツ、ノ如ク郡衛生課ニ宛ツルモアリ伯林ニ於テハ以前ハ流行病月報後チニハ每三ヶ月報及ヒ一定ノ衛生事項ニ關スル一般ノ年報ノ存セルモ其精密ト精確ナル點ニ於テ缺クルトコロアリ且互ニ協議シタル統計表ノ提出ハ醫師ニ對シテハ甚タ困難ナルモノナリシニヨリ(一千八百九十四年七月一日ヨリ統計局及醫師協議ノ上醫師委員ノ立案セル日誌ヲ用井每三ヶ月報告ヲ廢止セリ

此日誌ハ二部ニ分レ其一部ハ醫師ノ手許ニ止マルヘキモノニシテ患者ニ關スル必要ナル記載ニシテ他ノ一部ハ計算札(Statistik)ニシテ各患者毎ニ附屬シ容易ニ切り取ルヲ得セシメ翌年ノ二月ニ之レヲ總括シテ貧民救助監督部ニ送リ茲ニ於テ救助都報告ニ記載スル材料トス

斯クノ如クニシテ記載シタル個人計算札ハ治療スル人員數及疾病ヲ確定スルヲ得市ノ貧民救助ノ狀態ヲ明カナラシムコトハ從來能ハサリシトコロナリ此札ハ醫師ノ日誌及醫區ノ番號曆年數疾病者ノ姓名、男女、年齡、住所、家族關係、疾病診斷及病院ニ引渡シタルトキハ其病院ノ名稱一私人若クハ公共ノ救助金ヲ受タルモノナルヤ、否ヤ死亡セリヤ否ヤ及同年間他ノ醫區ニ於テ已ニ治療ヲ受ケタル者ナリヤ否ヤヲ記載ス

此計算札附ノ日誌實行以來六年ヲ經過シ貧民醫並ヒニ貧民救助部ノ満足ヲ得タルニヨリ卷末ニ之レヲ掲ゲテ一般ニ採用セラレンコトヲ望ム

(但日誌ノ各頁ニハ患者五名ヲ記載ス)

又フランクフルト、アム、マインニ行ハル、同シク統計ノ目的ニ使用スル書式『市ノ貧民醫ノ患者目録』ヲモ掲ク此書式ヲ數多ヲ一冊トシテ報告年ノ終貧民救助部ニ提出ス

伯林書式ノ長所ハ計算札ノ病床日誌ト連絡シ之レニヨリテ貧民醫ノ勞ヲ省キ且統計上便宜ナルニアリト思惟ス

### III 結 論

本書ハ多年貧民救助部ニ從事セル人ニ對シテハ何等新奇ノ智識ヲ與ヘサルヘキハ余ノ自覺スルトコロナリ然レトモ豊富ナル材料ニヨリ比較セルニヨリ經驗アル者ニ對シテハ比較ノ根據トナリ且改良ノ動機トナリ此動機ニヨリ本協會種々ノ有益ナル決議ヲナスニ至ランコトヲ望ム

報酬ニ付キ論スルニ際シ掲ケタル表ハ現今一般ニ獨逸國ニ行ハル、モノヲ明瞭ナラシムルニ足ラサルハ余カ自覺スルトコロニシテ此數字ノ價値ヲ明瞭ナラシメンニハ其各地方ノ狀況ヲ詳論スルヲ要スルモ得タル材料ノ不完全ナルト同項ノ紙數ノ限リアルニヨリ到底之レヲナシ得ス然レトモ余ハ前ニ掲ケタル一千八百九十八年ブレーメン市ノ年報中ニ『貧民醫ノ報酬ハ現時ノ標準ニ適ハス』ト云ヘルハ多クノ市ニアリテハ事實ナルヘシト思惟セサルヲ得ス勿論報告中『一千八百九十六年以來組織セル貧民救助事業ニ醫師ヲ加ヘ

タルモ猶ホ改良スヘキ點甚タ多シ其廉價ナルハ唯一ノ長所ナリ』ト云ヘルモノアリシモコハ單ニ一ヶ所ニ過キサリシハ幸福ト云フヘシ

醫師ノ慈善心ヨリ自ラ進ンテ貧民ノコトニ盡スヲ望ムヘキハ勿論ナリト雖トモ公衆ヲシテ貧民疾病者ノ爲メニ助力スルノ義務アルコトヲ感セシメ必要ナル場合ニ於テハ自ラ進ンテ勞力及金錢ヲ擲ツノ念ヲ喚起セサルヘカラス即チ貧困ナル地方ヲシテ其貧民疾病ニ充分ナル治療ヲ得セシメンカ爲メニ郡地方貧民救助團體ヨリ助力ヲ與ヘ若シ之レニテモ不充分ナルトキハ國庫ノ補助ヲ與フルカ如キ亦余カ希望スル所ナリ斯ノ如キ旨意ニテザクセン、ブラウンシュワヒ、バイエルン、ウエルテンベルヒニ於テハ多額ノ金錢ヲ使用シ得ルノ方法ヲ設ケタリト雖トモ余ハ獨逸國全體ニ對シテ法律ヲ設ケ伊太利ニ於ケルカ如ク數多ノ貧民醫ヲ置キ其報酬ハ多額ナラサルモ恩給ヲ受クルノ權利アルモノトシ一般ノ衛生ニモ注意セシムルノ必要アリト信ス勿論ロート氏カ欲スルカ如ク給水、下水、糞尿、排除、食品問題、屠獸所、住宅、貧民收容所及病院學校、幼稚園、旅宿等ノ監督ヲモ貧民醫ノ事業トセハ勿論貧民醫ハ兼職トシテ之レニ從事スルヲ得サルニ至ルヘシ

計 算 札

第.....號.....ヨリ.....マテ

姓 名 長 時 間 救 助 ?	男 女	生 日 月 年
--------------------------------------	--------	------------------

千八百九十年病床日誌第.....號第.....醫區 治療初日  
 前年ヨリ第.....號室  
 獨身有配者遺棄婦離婚者失偶者嫡出子私生兒(被救助兒)  
 尙治療中ナルカ  
 何月何日.....何病院ニ收容ス  
 死亡日.....唯檢屍セシノミ

診 斷 :

患者ハ本年中既ニ他ノ醫區ニ於テ治療ヲ受ケタルコトアリヤ

姓 名 長 時 間 救 助 ?	男 女	生 日 月 年
--------------------------------------	--------	------------------

千八百九十年病床日誌第.....號第.....醫區 治療初日  
 前年ヨリ第.....號室  
 獨身有偶者遺棄婦離婚者失偶者嫡出子私生兒(被救助兒)  
 尙ホ治療中ナルカ  
 何月何日.....何病院ニ收容ス  
 死亡日.....唯檢屍セシノミ

診 斷 :

患者ハ本年中既ニ他ノ醫區ニ於テ治療ヲ受ケタルコトアリヤ

伯林計算札附病床日誌

(計算札ハ此處ノ傍ニ附帶セルモノト思フ可シ)

第何冊 番 號	姓 名	生 年 月 日	住 所	治 療 シ タ 日 月
---------------	--------	------------------	--------	----------------------------

疾 病、經 過、治 療 等、

注 意 各頁ハ五名ノ患者ヲ載ス

市ノ貧民醫患者目錄

地名 何年—何年 No.....  
 自宅、病院.....

1. 姓		2. 名	
3. 男女		4. 年 齡 年 月	
5. 住 所 町		No.	
6. 引 受 前年ヨリ		7. 數 往 診 宅 診	
8. 退 去 全 快 不 治		何區ニ 何々 死 去 治 療 明年度へ 移 轉 病院ニ 引 繼ク	
9. 病 名		10. 注 意	

○失業者ト其授業制度

第壹編

第一章 失業者ノ總數

第二章 失業ノ原因

第三章 失業者ノ救濟法

第一節 應急的救濟法

第二節 根本的救濟法

第二編

第一章 米國都市ノ失業者救濟制度

第二章 獨逸及和蘭ニ於ケル勞働殖民制度

第一編

第一章 失業者ノ總數

失業ト云ヘル文字ノ意義多様ニシテ諸家各々其用法ヲ異ニスルカ故ニ、從ツテ失業者ノ總數モ亦人々ニヨリ、其數フル所自ラ相違アルヲ免レスカコロ、デー、ライト氏ハ一千八百八十六年勞働評議員タリシ時、其報告書中ニ於テ、此意義ヲ限定シテ曰ク

失業者の定義、失業者トハ經濟界隆盛ナル時ニ於テハ、充分ノ職業ヲ有ス可ク、且ツ常ニ職業ヲ求メ居  
タリシ労働者ナリ

氏ノ意味スク特殊ニシテ、カノ怠惰放逸ナル者等ヲ、失業者中ニ加ヘサルカ故ニ其自然ノ結果トシテ失業  
者ノ總數イタク減少セリ從ツテ夫ノ普通ノ意味ニ於テ、此語ヲ使用シ其總數ヲ多額ニ計算スルモノヲシテ  
恰モ針小ヲ棒大ニスル誇張ノ看アラシム、人苟モ經濟界逼迫ノ時ニ於テ、相當ノ利潤ニ値スル職業ヲ失ヘ  
ル者ノ總數ヲ知ラント欲セハライト氏ノ計算セル總額ニ加フルニ、盛時ニ際シテ、尙職業ナキ幾多無賴ノ  
徒ヲ以テセサル可ラス

紐育聯合慈善協會ノシー、デー、ケロッグ氏及「ウイスコニン」大學教授アール、デー、イリー氏等ノ  
計算ニ據レハ、合衆國ニ於テ救助シタル窮民ノ總數ハ、何レモ三百萬人ヲ下ラストナセリ此等三百萬ノ窮  
民ニ加フルニ、假令ヒ救助ヲ受ケサルモ、長キ間全ク職業ヲ失ヒ、或ハ一週中、僅々數日ノ小時間職業ヲ  
得ルニ止マリ他ノ幾倍ノ時間ヲ空腹ト共ニ全ク徒費セシモノヲ以テスレハ、其總數ハ利潤アル職業ヲ失ヘ  
ルト云フ廣義ノ失業者タルナリ、然レトモ此數モ亦決シテ全事實ヲ覆ヘリトナス可ラス、何トナレハ夫ノ  
中等社會ニ於テハ、製造場營業所等ノ合併店員ノ免黜等ニヨリ其定業ヲ失ヒ、内實營々トシテ利潤アル職  
業ヲ求メ乍ラ尙ホ在來ノ信用ヲ保チテ、自家適當ノ職業ヲ他ニ獲得スルノ必要ヨリ、長ク定職ヲ有セルカ  
如キ外見ヲ裝ヒ、人知レヌ苦心ニ慘憺タル者、日々増加シ來ルノ傾向ヲ示セトモ、而カモ之等ハ統計ノ遂  
ニ克ク及ヒ得ル處ニ非サレハナリ

若シ此等ノ事實ニ絶エス心ヲ注キ、且ツ失業者ノ意味ヲ克ク攻究シ、然ル後ニ此問題ニ關スル所謂統計ヲ  
調査セハ、統計ハ一層効力ニシテ且ツ價値アルモノトナリヌヘシ、斯問題ニ關シ、統計的調査ノ尤モ意ヲ  
用非タルモノハ一千八百八十七年ノ出版ニカ、ル一千八百八十五年度マサチュセツ洲労働局ノ報告ナ  
ルヘシ、今左ニ同報告中該洲ニ關スルモノヲ摘録セン。

一千八百八十五年五月一日ヲ限リテ計算セラレタル國勢調査ニ由ルニ、前一々箇年間ニ於テ其本業ヲ失  
ヘル男女ノ數ハ、二十四萬一千五百八十九人ナリ、内男子十七萬八千六百二十八人ニシテ、女子六萬二  
千九百六十一人ナリ。

而シテ曩キニ利潤アル職業ニ就キタリシ總人員ハ八十一萬六千四百七十人ニシテ、内一年間ヲ通シテ其  
定業ヲ持續シ得タリシ者ハ、總計五十七萬四千八百八十一人殆ント全員ノ七〇、四一「ボルセント」相  
當シ残り二十四萬一千五百八十九人即チ二九、五九「ボルセント」ハ其業ヲ失ヘル者ナリ、更ニ時間ニ  
就テ之ヲ謂ヘハ、失業者カ其本業ヲ失ヒシ時間ハ平均四々箇月ト十一分ニシテ、之ヲ最初業ニ就キシ全  
員ニ割リ直セハ、總員悉ク平均一ヶ月ト二十二分ノ間其業ヲ失ヒシニ相當ス、換言スレハ其初メ利潤ア  
ル労働ニ從事セシ總人員ノ三分ノ一弱ハ労働期間ノ約三分ノ一ヲ失業シ、該洲全部ノ労働者ハ十一々箇  
月ニ足ラサル時間其定業ニ從事セシナリ。

更ニ之ヲ換算スルニ、二十四萬一千五百八十九人カ四箇月ト十一分ノ間業ヲ失ヘルコトハ一箇年ヲ通シ  
テ八萬二千七百四十四人カ失業セシニ等シ

尙ホ此報告ハ下ノ如キ細表ヲ掲ケ職業別ニヨリテ失業者ヲ分類セリ

分類表

職業別	全然職業ヲ失ヒタル者ノ割合 (ホルセント)	定業ヲ失ヒナカラ他ノ内職ヲ得タリシ者ノ割合 (ホルセント)
男 子	(1100,000)	(1100,000)
官吏、會社員、教師等	一、二二	二、四四
家事的業務	〇、五二	〇、七一
召使ヒ人	〇、九二	一、四九
商業	四、六二	六、一三
運輸業	三、九三	五、四〇
農業	八、四七	一、四八四
漁業	一、九八	一一、四一
製造業	六五、九四	五三、四四
靴工	一八、一二	一一、五一
煉瓦、瓦、排水管製造	〇、六八	二、一五
建築業	一三、九〇	一五、六九
綿布類	五、九二	一、三七
機械業	二、六六	一、七四
金屬及金屬品	六、一四	四、八六
麥稈及棕櫚葉細工	〇、六三	二、五一

職業別	全然職業ヲ失ヒタル者ノ割合 (ホルセント)	定業ヲ失ヒナカラ他ノ内職ヲ得タリシ者ノ割合 (ホルセント)
毛布類	三、一一	一、三三
其他ノ諸製造品	一四、七八	一一、二八
鑛山採掘業	〇、三九	〇、五〇
日雇取	一一、三九	二、四四
年期奉公	〇、六二	〇、二〇
女 子	(1100,000)	(1100,000)
官吏、會社員、教師等	九、〇八	八、四四
家事的業務	六、三三	一一、〇一
召使ヒ人	三、九九	四、二八
商業	一、九八	四、一六
運輸業	〇、〇三	〇、三六
農業	〇、〇六	〇、三六
漁業	七八、二二	七〇、五一
製造業	二六、二八	八、五六
靴工	一一、三三	一九、五〇
仕立業	二一、九八	七、〇一
綿布類	四、九一	一四、五一
麥稈及棕櫚葉細工	二二、七二	二〇、九三
其他ノ諸製造品	〇、〇二	〇、二四
日雇取	〇、二九	〇、二四
年期奉公		

如上ノ表ハマサチ「セ」ソ洲ニ就テ謂ヘルモノナレト、今亞米利加合衆國全體ノ報告ヲ見ルニ一千八百八十六年度合衆國勞働報告ニ曰ク

一千八百八十五年七月一日ヲ以テ終レル一年間ヲ調査セシニ、製造場、採掘所等ノ地方ニアル諸會社中約五「ボルセント」ハ、其全期間職業ヲ中止セリ、其他全期ニ亙ラサルモ時々之ヲ中止シタル諸會社ハ、ソレヨリモ以上ノ割合ニ登ルヘシ、猶之ヲ精算スルニ上ノ如キ諸會社ノ七「ボルセント」二分ノ一ハ、全ク業務ヲ中止セシカ、然ラサレハ中止ニ近キ状態ヲ以テ、一年ヲ空費セシコト疑ヲ容レス、一千八百八十年ノ國勢調査ニ據レハ全國ノ諸會社ハ、無慮二十五萬五千ニシテ其雇人ノ數殆ト二百二十五萬人アリ上記ノ比例ヲ以テ略々正確ヲ得タルモノトシ、之ヲ此實數ニ適合スルニ實ニ一ケ年間ニ於テ一萬九千二百二十五個ノ會社ハ其業務ヲ中止シ、雇人十六萬八千七百五十人ハ其職ヲ失ヘルナリ、但シ上ノ割合ハ全然誤算ニ非ストスルモ、尙ホ直チニ之ヲ全體ニ適合スルハ誇大ニ失スルノ恐レナキニ非ス、蓋シ或種ノ工業ニ於テハ業務ヲ中止シタル會社ノ平均、上ノ比例ヲ超過スルモノアリ、他ノ種ニ於テハ其以下ナルモノアリテ、一定シ難カルヘク、且ツ其業務ヲ半途ニテ中止スルカ如キ會社ハ、概シテ小規模薄資本ニシテ、從ツテ雇人モ小數ナルモノ多カルヘケレハナリ、然レトモ之等ノ問題ハ姑ク問ハス、今假リニ合衆國全體ニ於テ、各種ノ職業ニ從事セル一切ノ勞働者ニ、上ノ割合ヲ適合スレハ、一千八百八十年ニ於テ全國ノ勞働者ハ總計一千七百三十九萬二千〇九十九人ナレハ、業ヲ失ヘルモノ百三十萬四千四百七人ノ多キニ至ルヘシ、左レトモ之レ農、商、奴僕、手工、力工等アラユル職業ニ差別ナク適用シタルモノナ

レハ、コノ計算ハ過大ニ失セルヲ免レサル可シ、蓋シ此割合ハ單ニ (一) 農業 (二) 商業及ヒ運輸業 (三) 機械工業採掘業及ヒ (四) 製造業ノ四種ニ從事セル者ヲ限り、適用スルヲ以テ當ヲ得タリトナス、而シテ此等ノ四大種類ノ業務ニ從事セル勞働者ノ總數ハ、一千八百八十年ノ調査ニ據レハ、一千三百三十一萬七千八百六十一人ナリ、之ニ加フルニ上ニ得タル七「ボルセント」二分ノ一ノ割合ヲ以テスレハ、失業者九十九萬八千八百三十九人ヲ生スルニ至ル

是レ一千八百八十五年七月一日ヲ以テ終レル一ケ年間ノ失業者ノ總數ニシテ、官省ノ調査ハ能フ限りニ於テハ、最モ正確ナル者ナルヘシ、(勿論此場合ニテ所謂失業者トハ經濟界隆盛ナル時ニ於テハ充分ノ職業ヲ有スヘク、且ツ常ニ職業ヲ求メツ、アル勞働者ヲ指ス)

此統計大約百萬ノ數ハ合衆國ニ於ケル或一定時間ニ於テ業ヲ失ヒタル勞働者ノ代表的總數ト見做シテ可ナルヘシ、カノ鐵道工事中止ノ爲メ突然其業ヲ失フカ如キ場合ニ於テサヘ、サシタル増減アルコトナカルヘシ、但シ此計算ハ金融最モ逼迫シ、困難殆ト極度ニ達セシ際ノ失業者ノ割合ナレトモ、所謂金融好況ヲ呈セル時ニ於テモ、其割合ニ「ボルセント」又ハ二「ボルセント」半ヲ下ラサルヘシ、蓋シ凡テノ職業悉ク隆盛ヲ極ムル事ハ甚タ稀ニシテ、繁榮ハ絶エス此方面ヨリ彼ノ方面ヘト移リ行クモノナレハ也

ライト氏ハ後更ニ説明ヲ加ヘ、上述ノ記事ハ商工業最モ振ハサリシ一千八百八十五年ヲ限リテ述ヘタルモノナレハ、元ヨリ一般ノ状態ヲ陳述シタルモノニ非ス且ツ又或ル一期間ヲ限リテ計算シタルモノナルカ故ニ居常百萬ノ失業者ヲ有スルモノトシテ引用セサランコトヲ注意セリ、ソハ兎モ角モライト氏ノ用語ニテ



ハ、失業者トハ繁榮ノ時ニ於テハ充分ノ職業ヲ有シ、唯金融逼迫ノ際ニノミ限リテ其業ヲ失ヘル者ナリト  
ノコトヲ記憶スルヲ要ス、此點ニ關シマサチュエツツ洲會委員ハ、其報告書ニ記シテ曰ク  
吾人ノ達シ得ヘキ研究ノ範圍ニ於テハ、失業者ハ毎月毎歲波動ヲナシテ増減シ、一面ニ於テハ曾テ然リ  
シカ如ク今モ尙ホ起リ來ル社會必然ノ一作因<sup>ファクトル</sup>ニシテ他面ニ於テハ其數次第ニ増加シ行ク社會進步ノ一大  
障害物ナリ、サレハコハ不斷ノ問題トシテ深ク心ヲ傾注シ、冷靜持久ノ態度ヲ以テ仔細ニ研究スヘシ、  
單ニ之ヲ綜括シテ僅々過去二ケ年間ノ商工業不振事件ト連關セシメ、以テソカ解釋ヲ試ミント欲スルカ  
如キハ早計取ルニ足ラサル也、所謂經濟事情平時ニ復セシ時ト雖、失業者ノ總額以テ社會ノ災禍ヲ招ク  
ニ足ルモノアルハ、是レ明白ニシテ顯著ナル事實ナリ

茲ニ所説ヲ爲スモノアリ失業者ノ數ヲ算立スルコト餘リニ誇大ニ失セリトテ、國勢調査中ヨリ職業ヲ有ス  
ルニ至リシ者ノ増加ヲ擧ケ之ヲ指摘セントセリ、然レトモ此問題タルヤ單ニ夫ノ實際利潤アル仕事ハ之レ  
無キモ、只職業ニ從事セリトノ名目ヲ有スル者ヲ云爲スルニハ非ラテ、寧ロ人々カ從事セル職業ハ何程ノ  
仕事アリテ幾何ノ利益ヲ労働者ニ得セシムルヤヲ知ラント欲スル也、況ンヤ其所謂職業統計ナルモノハ、  
一見甚タ精細ナルカ如キモ内容大ニ然ラサルモノアルニ於テラヤ

カロール、デーライト氏ハ、更ニ其著「合衆國ニ於ケル工業ノ發達」ニ於テ論述シテ曰ク

一千八百七十年ヨリ一千八百九十年ニ至ル二十年間ニ於テノ總人口ハ、六一、四一「ボルセント」ノ比例ニ  
テ膨脹シ、各種ノ職業ニ從事セル者ハ「八一、八〇」「ボルセント」ノ割合ニテ増加セリ、尙ホ之ヲ分析ス

ルニ一千八百六十年ヨリ一千八百九十年ニ至ル三十年間ニ於テ、製造場、機械工場、採掘所等ニ雇ハレ  
シモノ及ヒ機械發明ノ影響ヲ尤モ鋭ク感セシモノ、増加ハ一七二、二七「ボルセント」ニシテ、總人口ノ  
増加ハ僅ニ九九、一六「ボルセント」ノミ此統計ヲ以テ單ニ諸種ノ發明ニヨリテ、新職業ノ増加セシコト  
ヲ示スモノトセンモ、其結果ヤ一層寒心スヘキモノアルニ非スヤ

然レトモ若シ一千八百八十年ヨリ一千八百九十年ニ至ル十年間ヲ調査スレハ、自ラ異リタル結果ヲ見ルヘ  
シ、即チ此十年間ニ總人口ハ二四、八六「ボルセント」ノ割合ニテ増加シ、利潤アル職業ニ就ケル者ハ三〇  
七二「ボルセント」ニテ増加セリ、但シ其増加セシハ重ニ女子ノ從事スヘキ職業ニシテ男子ノ職業ノ増加比  
例ハ僅々二七、六四「ボルセント」即チ人口増加ノ比例ヨリ多キコトニ「ボルセント」ニ過キス、而カモ此統計  
上ノ増加タルヤ、思フニ眞ノ職業ノ増加ニハ非スシテ、會社ノ實質的ニ大規模トナリ從ツテ登録ニ便利ヲ  
與ヘ、先ニ記載漏レトナリシ者、今ヤ精細ニ網羅セラル、ニ至リタル結果ナルヤモ知ル可ラス、且ツ此ノ  
コトニ付テモ記憶スヘキハ、定業ヲ有セル人民ノ數、如何ニ増加スレハトテ實際利潤ヲ得ヘキ仕事ノ有無  
ト何等ノ關スル處ナキコト也、假令ヘハ先ニ百人ノ靴工アリシカ今ヤ増加シテ三百人トナリタレハトテ、  
彼等靴工ハ幾何ノ仕事ヲ増シ幾何ノ利潤ヲ加ヘンヤ、問題ハ依然トシテ解釋セラレサル也

近時、各國ニ於テ社會問題研究者、労働代表者、救濟委員會等漸ク此失業者ノ問題ニ關シテ、審査ノ歩武  
ヲ進メ一層眞面目ニ討究スルニ至リタルハ、誠ニ慶賀スヘク合衆國ニ於テモ斯問題ノ尤モ誠實慎重ニ研究  
セラル、時期ニ向ヒタリシコト疑フ可ラス

英吉利ニ於ケル失業者ニ就キジョン、パーンス勵聲疾呼シテ曰ク

偽善ノ衣ニテ覆ヘヨ、奸詐ノ布ニテ包メヨ如何ニ覆ヘハトテ、如何ニ包メハトテ勃如トシテ興起シ來ル一問題アリ、是レアラユル國家アラユル政府ノ目前ニ横ハリ、萬事ヲ放抛シテ研究セスンハ止マサル底ノ大問題ナリ、問題トハ何ソヤ曰ク如何ニセハ夫ノ正直ナル労働者ヲシテ救貧ト名ツクル泥土ニ汚サル、コトナク、惠與ト稱スル微菌ニ染傳セラル、コトナク、健全ニシテ而カモ相應ノ利潤アル職業ヲ得セシムルヲ得ヘキヤトノ問題はレナリ、官省ノ統計ハ巧ミニ數字ヲ引用羅列シテ、公ニ扶助ニ與リシ窮民ノ減少ヲ示シ、世ニハ求ムヘキ職業ノ缺クルコトナク、世路ハ漸ク平夷ニ向ヘリトナシカノ自立ニシテ純直ナル労働者カ其職業ヲ失ヒ之ヲ求ムルニ汲々タルヲ笑フ、然レトモ是レ洵ニ皮相ノ見ニシテ該官省ノ統計ハ、却ツテ問題ノ真相ヲ暴露シテ餘リアルモノ也、先ニ政府ノ扶助ニ依頼セシ窮民ハ、人口千人ニ對スル四六「ボルセント」ナリシカ今ヤ減シテ二〇「ボルセント」トナリシ事實ハ、當局者以テ樂天觀ノ理由トナセトモ、焉ソソ知ランソハ唯夫ノ救貧法ノ不法苛刻ニシテ、無罪ト有罪トヲ同一視セルカ爲メ、正直ナル労働者ノ之ニ依頼スルヲ欲セサルニ至リタル自白ニ過キササルヲ

救貧法ノ斯ノ如ク墮落シ、男子之ニ倚ルヲ耻辱トセルニモ拘ラス、生理ノ必然作用ニ迫ラレ、職業ノ缺乏ニ強イラレ其被救助者二〇「ボルセント」中ニ入ラサルヲ得サリシ労働者ニ取リテハ、何等無情ナル慰藉ソヤ、何等迷惑ナル恩惠ソヤ

彼ノ職工組合假令ヘハ友愛ヲ旨トシ、疾病相救ヒ貸借相滿タシ協力業ニ當ル如キ趣旨ニテ成レル組合ハ労働者カ困厄ニ際シテ、必ス先ツ一身ヲ委托スル處ニシテ此組合制度ハ漸々隆盛ニ向ヘリ、然ルニ是等ヲ以テ困厄ヲ救フ一原素タルコトヲ認メス、却テ代ユルニ救貧法ヲ以テス而シテ自立ニシテ純直ナル貧民カ益々其救貧法ニ嫌惡ノ情ヲ加フルヲ知ルヤ、之ヲ利用シテ從前ハ貧者、富者共ニ負擔シタル救貧稅ヲ專ラ貧民ノミニ加エントス

貧民タリト雖尚ホ納稅セルモノ、喜ンテ猶一層ノ重荷ヲ運ヒ得ルモノナランヤ、嗚呼是レ優柔、軟骨ナル中等社會ヲ代表スル政府ノ企圖ナリ

加之ノミナス、カノチャール、スプース氏カ證明シタリシカ如ク、政府ニ依頼セル被救助者ノ外尚ホ幾百千ノ窮民アリ、彼等カ衣食住ニ於ケル生活ノ程度安慰ノ分量ハ、遙カニ被救助者ヨリモ將タ犯罪者ヨリモ劣等ナレトモ自己ノ品格ヲ下シテ他ノ救助ニ倚ルヲ欲セス、空シク望ミヲ萬一ニ期待シテ徒ラニ孜孜汲々、職業ヲ渴望スルノミ、而カモ其職業ヤ途ニ來ラス或ハ遇々之アリトスルモノハ從事スルニ利潤餘リニ薄ク、收支相償ハサルモノ多シ、實ニカノ佳良ナル労働者中ニ見ル勤儉獨立ノ美德（嗚呼寧ロ不徳カ）ハ、日ニ月ニ漸ク癡類セントシ、且ツ當局者ハ之ヲ利用セントスル也

若シ窮民ニシテ救貧法ニ由リ扶助セラル、ヲ欲セサレハ、是レ明カニ救貧法ノ正ニ癡絶シテ可ナルヘキヲ證セルモノニ非スヤ窮民カ良道ヲ選ヒテ、我ニ職業ヲ與ヘヨト叫フニ職業ヲ與フルト救貧法ヲ以テ救濟スルトハ、只外形ヲ異ニセル同一物ニシテ何レヲ施スモ大差ナシト云フハ是レ何ノ謂ソヤ窮民ニシテ獨立ノ念盛ニシテ救助ニ依頼スルヲ潔シトセス、而カモ適當ナル職業ハ之ヲ得ル事稀ナル時ニハ遂ニ苦

惱ノ末勢ヒ疾病ニ罹リ、或ハ百計盡キテ窃盜ヲ働キ鐵窓塲裡ニ呻吟スルニ至ル、是レ洵ニ止ムヲ得サルノコトナリ

然ルニ政府ハ彼等ノ健康全ク害ハレ、道心悉ク破ラル、ニ及ヒ、初メテ之ヲ養老院ニ送り監獄ニ繋キ遂ニ死ニ至ラシム、是レ抑々何ノ意ソヤ

實ニ親シクカノ失業者ノ悲運ヲ嘗メタル者ハ必スヤカーライルト感ヲ同シウスルナル可シ、彼曰ク運命ノ不平均ヨリ來ル悲惨ノ事天下ニ多シト雖、人其職ヲ失ヒテ之ヲ得サルヨリ大ナルハナカル可シト

「フアビヤン、ツラクト」第五卷ニハイソングランド及ウエールスノ統計ヲ掲ケテ左ノ如ク謂ヘリ、失業者ナル不斷ノ一大團體ニ就キ信據スヘキ統計ヲ作ルコトハ容易ノ業ニ非ス、商工局労働課ニ達シタル

職工組合ノ報告ニ由ルニ一千八百九十三年十二月ニ於テ失業者ノ割合ハ七、九「ボルセント」ナリ、ロンドン市内ニ於テ共同宿泊所ヲ我家庭トセル者平均三萬ヲ超エ、毎夜窮民臨時保護所ニ在ル者平均

一千一百人以上ナリト言フ有名ナル統計學者チャールズブ、ース氏ノ語ル所ニ由レハ、首都四百萬ノ人口中三萬七千六百十人、即チ

總人口ノ〇、九「プロセント」ハ最下級（隨意労働者、遊惰漢及ヒ無賴漢等ヲ含ム）ニ屬シ三十一萬六千八百三十四人即チ其七、五「プロセント」ハ次級（隨時労働者、其日暮シ絶エス欠亡ノ狀ニアル者）ニシテ

九十三萬八千二百九十三人即チ其二、三「プロセント」ハ窮民也（コノ中ニハ職業ニ就ク事不規則ナル爲ニ收入足ラサル者及ヒ假令ヒ業務ハ規則正シク有スルモ利潤甚タ僅少ナル者ヲ含ム）之等ノ總計ハ百二

十九萬二千七百三十七人ニシテ、全都人口ノ三〇、七「プロセント」ニ相當シ概ネ一週間一家族ノ儲高一

「ギニー」ヲ超ヒス此等多數ノ窮民ノ外ニ、尙ホ貧民院慈惠院、監獄工藝院等ニ生ヲ托セル者九萬九千八百三十人ヲ加フレハ、此一都市ニ於テスラ猶合計無慮百四十萬ノ人民ノ實ニ憐ムヘキ狀態ニテ生存セル

者アリ如何ナル樂天的思想ヲ有スル社會研究者スラモ終ニ安心シ満足スルコト能ハサル可シ一千八百九十二年イソングランド及ヒウエールスニ於テ救貧院、施療院、慈惠院及ヒ癡狂院ニ在院中死亡セ

シ者六萬六千四百二十四人アリ、是レ全死亡人員ノ一一、九「プロセント」ナリ、更ニ之レヲ細別スレハ左ノ如シ

救貧院ニテ死亡

セシモノ

三萬九千七百四十八人

慈惠病院ニテ

二萬四百四十人

癡狂院ニテ

六千二百三十六人

由來、官省ノ貧民救助法ハ甚タ嫌ハシキモノニシテ、次第ニ墮落ニ向ヒツ、アリ、サレハ正直ナル窮民ハ往々其救助ヲ受クルヨリモ寧ロ死ヲ欲スル者アルニ至ル、カ、ル義民尠ナカラサルニモ拘ハラズ、尙實際官省ノ扶助ヲ受クル者日々百萬ヲ下ラス、細別スレハ左ノ如シ

地方	被救助者	救助金額
イングランド ウエールズ スコットランド(同年一月十四日) アイルランド(同年一月八日)	七七六、四五八人 一九三、四九六人 一〇二、八六五人 一、〇七二、八一九人	八、八四七、六七八磅 九一二、八三八磅 一、〇五四、五一四磅 一〇、八一五、〇三〇磅
總計		

ソレ如此多數ノ被救助者アリ、而カモ是レ尙ホ悉皆ヲ盡セルニ非ス、何トナレハ政府ノ扶助ヲナスヤ一個  
人ニ長ク連繋シテ扶助スルコトナク、一定ノ期ヲ訓シテ成ル可ク別人ニ之ヲ給ス故ニ一年間ヨシ一度タ  
リトモ官ノ救助ヲ受ケタル個々人ノ統計ハ、毎日ノ小計ヲ二ケ十分ノ三倍シタル者ナリ(是レチャールス  
ブリス氏ガ一千八百九十一年十月統計學會ニ提出シタル報告ニシテ最近ノ調査ニ係ルモノナリ)カク計  
算スレハ被救助者ノ總數毎年殆ンド二百四十六萬人ノ多キニ達シ手工<sup>マニファクチュラー</sup>労働者ノ十分ノ一ニ相當ス、或ル  
地方ニ至レハ老年ノ労働者悉ク官ノ救助ニ浴スル所アリ

上來吾人ハ常ニ業ヲ失ヘル者、若クハ臨時業ヲ失ヘル者ニ就キテ聊カ觀察スル處アリタリ、然レトモ初メ  
ハヨシ規則正シキ定業ニ従事セシ者ト雖、時ニ數月間業ヲ失フコト敢テ稀ナリトセス、既ニ上ニ記シタリ  
シカ如ク一千八百八十五年マサチューセツツ洲ニ於テカ、ル突然ノ理由ヨリシテ労働者ノ業ヲ失フモノ一

年間ニ於テ平均五週間ナリ

一千八百八十六年イリノイ洲労働公報ハ代表的労働者ノ統計ヲ掲ケテ曰ク「代表的労働者八萬五千三百  
二十九人カ就職ノ平均時間ハ僅ニ三十七週間ト十分ノ一ニシテ、全労働時間ノ七二三「ボルセント」ナリト  
バックスター氏ノ計算ニ從ヘハ、英國ニ於テ労働者ノ大部分カ年々充分ノ業務ヲ得ルハ四十一週間乃至四  
十四週間ニシテ、稍高尚ナル職業ニ就キ、手藝ニ巧ミナル製造者ハ聊カ優リテ多時ノ間業務ヲ得ルカ如シ

第二章 失業原因

労働者カ職業ヲ失フニ至レル最大ノ原因ハ、労働者自身ノ薄弱無能(様々ノ方面ニ無能ナルコトアレト、  
就中節制スルノ能力ヲ缺ケルニヨルコト尤モ多シ)ニアリトスルコト是一般人民ノ常ニ口ニスル處ニシテ  
往々斯問題ノ研究者サヘ稱道スル處ナリ、即チ説ヲ爲ス者ハ曰ク「如何ナル職業ニテモ相應ノ利潤アラハ、  
甘シテ之ニ従事セントスル労働者ニシテ、若シ飲酒ノ惡癖ヲ制スルカ、或ハ其日主義及ヒ亂費ノ習ヲ  
移ス時ニハ、必スヤ何等カノ職業ニ缺ルコトナカルヘシト

此説ヲ助クルニ幾多明白ナル事實アリ、即チ失業者ノ多數否大多數ハ、或ル意味ニ於テ無能ニシテ多クハ  
今日主義ニ立チ、大抵酒ヲ嗜ミ二三ヲ除クノ外職業ニ好惡ヲナシ、所謂幾分カ「氣ノ利キ」タル職業ニ非  
サレハ従事スルヲ欲セサルノ徒ナルコト是也、亦世ノ志士仁人カ失業者ヲ救済セント欲シ、彼等ノ爲ニ或ハ  
職業ヲ授ケ、或ハ職業ニ就カンコトヲ勸誘シ或ハ新ニ職業ヲ創設スルナト、彼等ノ爲ニ盡瘁スルコト誠ニ  
至レリト雖、而カモ其結果ヤ全然勸誘セラレタル職業ニ就クヲ欲セサル者アリ、假令ヒ職業ニ就クモ永ク

就業セサル者アリ、會々永ク就業スル者アルモ其作ス所誠ニ拙劣ニシテ、到底久シク業務ヲ經續セシムルコト能ハサル者アリ

カ、ル實例ハ世上ヨク目撃スル所ニシテ殆ト枚舉ニ暇アラズ、夫ノ徒ラニ金錢ヲ窮民ニ施與シテ喜ヒ、窮民ハ之ヲ殆ト何等ノ目的モナク寧ロ、惡結果ヲ齎スカ如キ方法ニテ空シク濫費シ盡シ舊態依然トシテ窮民タルカ如キハ、與フル者モ罪アリ受クル者モ亦無能ト呼ハル、モ敢テ之ヲ避クルニ辭ナキナリアハレ如何ハカリ放恣無節制カ善良ナル勞働者ヲ害ヒ、之ヲ貧窮ト失業トノ地獄ニ導キ入ル、ソヤ、實ニ失業ノ三大原因ハ、(一)放恣ニシテ無節制ナルコト(二)今日主義ニシテ遠キ慮ノナキコト(三)亂費ニシテ勤儉ノ念ヲ欠クコトニアリ

然レトモ此說ノ反對立場ニアリテ、論スヘキコト亦尠ナカラズ

(第一)上ノ說ニヨレハ、無能カ失業ノ原因ト見做サル、ハ、實際今日之ヲ立證センカ爲メニ調査シタリシ失業者ハ概ネ無能ナリト言フハ穩當ナリト雖、總テノ失業者ヲ悉ク無能ナリト謂フニ至リテハ聊カ推理ヲ誤リタルノ見解ト謂ハサル可ラス、カノ長者ノ門ニ膝ヲ屈シテ物品ヲ乞ヒ争ヒテ官省ノ扶助ニ媚集スル者ハ、概ネ甚タシク薄志ニシテ能力ヲ缺キ自己ヲ尊重スルコト尤モ尠ナキ者ニテ、世ノ志士仁人カ常ニ接觸スル失業者ハ概ネカ、ル不徳弱行ノ輩ナリ、以テ一般ヲ律ス可ラス、價值アリ氣力アル有爲ノ人々ハ彼等カ救助ヲ受クルニ先チ己ニ業ニ飢餓ヲ文字ノ儘ニ嘗メ盡シ、早ク此世ニ暇ヲ告ク可シ、故ニ曰ク「感情的ニ而已慈善ヲ爲セル者ハ、其眼界甚タ狹マク誤リテ推理スルコト蓋シ少シトセサルナリ」ト

(第二)無能力ハ假令ハ一面ニ於テハ失業ノ原因ナリトスト雖、職業ヲ失ヘル者直ニ悉ク無能ニシテ怠惰殆ント其業ニ堪ヘサルノ徒トナス可ラス、茲ニ一人ハ其業ヲ保チ、一人ハ之ヲ失ヘル時其原因寧ロ其他ニ存スル事多キ場合アリ、假令ハ經濟事情逼迫ノ機ニ際シ雇主ハ雇人百名中十名ヲ解雇セサルヲ得サルノ場合ニ會シタリトセハ、勢ヒ幾分カ他人ニ比シテ能力ヲ缺クル所アル雇人ヲ解雇スヘク、是レ現下ノ事狀ニ照シテ尤モ當然ノ處置ナリ、此解雇セラレタル被雇人ハ他ト比シテハ幾分カ無能ナル所アル可キハ勿論ナリト雖亦甚タシキ惡人極度ノ無能漢ニ非ス、經濟界良好ノ時ハ僱者ノ喜ヒテ長ク使役スヘキノ人々ナリ是レ明白ニ失業ノ原因ハ經濟上ノ奈何ニアリテ、勞働者能力ノ有無ニ關係セサルコトヲ示ス是レ依リテ是ヲ觀レハ能力ノ奈何ハ不景氣ノ時ニ際シ、其被僱者ノ解雇セラル、ヤ否ヤノ條件タルニハ相違ナシト雖失業ノ原因トナルコトナシ、故ニ失業ノ原因ハ不景氣之カ主因ヲ爲スモノ也

(第三)世ノ慈善家ハ動モスレハ失業者ト無能力者ト常ニ相隨伴セルヲ見テ、直ニ其間ニ因果ノ關係ヲ結ビ付ケントシカノ論理ノ所謂「併在ハ必スシモ原因ニ非ス」ト謂フ原則ヲ忘ル若シ上ノ說ノ「無能ハ失業ノ原因ナリ」トノ斷定ヲ許シ得ルトセハ其正反對ニ「失業ハ無能ノ原因ナリ」ト斷定シ得サルノ理由ナシ、カノ父祖相繼キテ一定ノ職業ヲ得サル者ヲ見ナハ此說ノアナカチ奇論ニシテ、世ニ實例稀ナル說ニ非サルヲ知ラン、殊ニ「節制力ヲ失ヒシ」ト「遠キヲ慮ルノ念慮ヲ缺如セシ」トハ特ニ然ルカ如シ

窮民ニ關シテワーナー教授カ科學的精細ナル研究ヲ參考スルニ、氏ノ著「亞米利加ノ慈善事業 (American

Charities)」曰ク

凡テ窮民ト謂ハル、者ノ中、僅ニ其二一、三「ボルセント」ハ其窮乏ノ原因ヲ彼等カ行爲ノ非難スヘキ失態ニ歸セシムルヲ得ヘキモ七四、四「ボルセント」ノ多數ハ全ク然ラス、其他飲酒ノ結果窮民トナリタルハ僅々一一、〇「ボルセント」ニシテ二八、五「ボルセント」ハ職業ノ缺乏或ハ賃銀ノ低廉ナルニ基ケリ云々更ニ最近ノ統計ハ亞米利加統計協會ノ報告ナリ、同協會カ聯合慈善協會ノ記録ニ基キ調査シタル窮乏ノ原因及其割合ハ左ノ如シ

表

窮乏ノ原因	紐育市	バルチモール市	他ノ小都市
職業缺乏ノ爲	四八、〇	四三、〇	三五、〇
疾病ノ爲	一八、〇	一八、〇	三五、〇
不節制、無思慮ノ爲	一八、〇	一三、〇	二〇、〇
他ノ雜原因	一四、〇	二一、〇	二七、〇

實際ノ統計カクノ如キニモ拘ラス、飲酒カ何故ニ慈善事業ニ從事セル人々ヲ初メ、多クノ有志家ニヨリテ貧困ノ主要ナル原因ト見做サル、ヤヲ推究スルニ、ソノ理由ノ多クハ彼等貧窮家族ノウチニハ世ノ慈善家ノ注目ヲ惹クニ先チ、既ニ業ニ落膽ト薄志トニ依リ酒ヲ用キテ苦悶ヲ遣ル者アレハ也、故ニ問題ハ一歩ヲ進メテ何故彼等カ酒ヲ用ウルニ至リシヤヲ究メサル可ラス、抑モ飲酒ノ原因タルヤ或ハ遺傳ノ惡結果ニヨル者モアラン、或ハ長屋ノ不潔、不淨、衛生ニ適セサルニ基ケル者モアラン、或ハ亦教育訓練ヲ誤リタル者

モアラン、假令イ無能ハ彼等ヲシテ業ヲ失フニ至ラシメタル原因ナリトスルモ、而カモ彼等ヲシテ無能ナラシメタルモノハ何ソヤ、其原因必スシモ彼等ノ不徳ニノミ歸スルヲ得サルヘシ或ハ亦商業上蹉躓ノ結果業ヲ失フタルモノアリ、其原因タル或ハ彼等カ商路上人ノ常トスル奸策ヲ用ユルヲ欲セサリシ者モアラン或ハ彼等ハ事務ヲ處理スル上ニ必要ナル熱心ヲ缺キ疑懼百出スルノ餘リ之ヲ處理スルニ得堪ヘサリシ者モアラン

ジョン、スチ、ワード、ミルハ「隔週評論」ニ論シテ曰ク

人其有徳ノ故ヲ以テ世恩ニ浴シ榮華ヲ得タルモノ世ニ其例乏シカラストセス、而カモ亦同時ニ其不徳ニヨリ陋劣、阿諛ニヨリ殘忍、貧婪ノ利己心ニヨリ、商畧上公然ノ虛偽、奸策ヲ用ヒ或ハ全然奴隸トナリテ世ニ時メク者其數擧テ數フ可ラサルモノモアラン、是レ明カニ所謂世ノ成功ナルモノハ、德行ヨリモ寧ロ氣力、才能等ニ依ルモノ多キヲ證シテ餘リアリト謂ハサル可ラス、然リ而シテ或者ハ其氣力ト才能トヲ社會ノ有益ナル業務ニ應用シテ榮エ、或者ハ又タ之ヲ戰ノ器トナシテ敵手ヲ陷窞シ以テ等シク勞ユル者アリ

ラスキン氏ハ其論集第四卷ニ述テ曰ク

只需要供給ノ法則ニ由リテ支配セラレ、ソノ横暴、公然ト現ハレタル時而已之ヲ防遏スルノ社會ニアリテハ、富者ノ性格ハ粗雑ニ之ヲ解剖スルニ、概ネ下ノ如シ即チ彼等多クハ黽勉ニシテ事務ヲ斷行シ、倨傲ニシテ貪婪敏捷ニシテ事ヲ處理シ、肉感的ニシテ想像ニ乏シク、感受性薄弱ニシテ概ネ無智ナリ之ニ反

シテ依然貧民中ニ數ヘラル、者ハ大愚、ナラサレハ大賢、怠惰ナラサレハ大量、下賤ナラサレハ深慮、魯鈍ナル者、想像力豊カナル者、感性鋭敏ナル者、提誨シテ導キ易キ者、先見ノ明識ナキ者、時ニ唐突ナル衝動ニヨリテ惡事ヲ爲ス者、愚昧ナル奴隸、公然竊盜スル者、或ハ徹頭徹尾仁慈ニシテ正義ノ念篤ク殆ント神ニ近キ人々ナリ

ソレ如斯ク失業ノ第一原因ハ無能ナルニアリ然レトモ無能ハ必スシモ不徳ノ異名ニ非ス、是レ疑フ可ラサルモノナリ故ニ眞ノ問題ハ結局「無能ハ何ニ由リテ生セシヤ」ヲ究ムルニアリ

今吾人ハ更ニ一轉シテ問ハン、失業ノ社會的方面ニ於ケル原因ハ如何ト、之レニ應スル答辯ハ實ニ多樣ニシテ人各々見ル所ヲ異ニスルカ故ニ概括シテ此小論文ニ説明シ盡クスコト能ハス然レトモ信據スルニ足ル諸學者ノ説ノ歸スル所ヲ舉クレハ左ノ如シ、曰ク失業ノ原因ハ多ク生産的方法ノ推移或ハ其進歩ニ歸因ス、尠クトモ時々製造機械ノ新發明アリテ、以テ人工ニ代ル場合ノ如キハ失業者ヲ生セシムルコト疑ヲ容レスト社會主義者ハ概テ論スラク、失業ノ原因ハ機械其物ニ非ス機械ノ一ヶ處ニ占領セラレ、其結果トシテ所有者ノ雇人ニ充分ノ賃銀ヲ支拂ハサルニ由ルト

ホブソン氏ハ失業者ノ依テ生スル所以ハ、製造物ヲ消費スルコトノ不足ナルト使用高ヨリモ以上ノ金錢ヲ儲ケントスル人々ノ慾望心トノ二ツニアリト論セリ

然レトモ多數ノ人ハ其原因スル所、財政ノ困難ナルト貨幣政策ノ過誤ナルトニアリトナセリ

諸家ノ説如斯多樣ナルハ、畢竟此問題ノ或意味ニ於テ社會問題全體ニ亘レルノ故ニシテ、失業者問題ハ單

ニ自立ノ一問題ニ非ス、近世商工界全體ヲ包容セル一大問題タルコトヲ忘ル可ラス

### 第三章 救済法

#### 第一節 應急的救済法

吾人ハ此題目ノ下ニ各都市カ一時ノ危急ニ際シ、其職業ヲ失ヒタル勞働者ヲ救ハント欲シテ、大ニ力ヲ盡シタル應急策ナルモノヲ列舉セント欲ス

先ツ一千八百九十三年ヨリ翌一千八百九十四年ニ亘レル冬期間亞米利加ニ於テ試ミラレタルモノヨリ初ムヘシ

此危機ニ際シ一時ノ應急策ヲ案出シテ以テ盡瘁努力セシモノ尠ナカラスト雖、其尤モ見ルニ足ルヘキモノハ所謂「デットロイット策」(Debt Plan)ナリ「デットロイット策」トハ、失業者ニ耕地ヲ貸與シ、鋤鋤ヲ執リテ自ラ馬鈴薯其他ノ野菜穀類ヲ作ラシメ之ニ相當スル利潤ヲ得センムルノ法ナリ、ケレトモ其精細ナル記述ハ之ヲ他日ニ譲リ更ニ進ムテ他ノ諸都市ヲ瞥見スヘシ

バルチモア市ノ應急法ハ極メテ平凡ナル者ニシテ、諸種ノ慈善團體ハ或ハ失業者ニ「スープ」等ノ食品ヲ與ヘ或ハ數名ノ幹事ヲ選ヒテ失業者カ職業ヲ得ヘキ石材工場ニ派遣セシメボストン市ニテハ市長ノ選拔ニ係カル一大救済委員會ヲ設ケ寄附金ヲ募集シ、失業者ヲシテ市ノ業務ニ就カシメタリ、其業務ハ男子ハ概ネ水道敷設道路普請及ヒ市街ノ清潔法等ノ諸事業ニ従事セシメ、而シテ女子ハ新ニ設立セラレタル裁縫工場ニ收容シテ裁縫ニ従事セシメタリ、賃銀ハ男子一日一弗乃至一弗五十仙、女子一日八十仙ヲ通則トセリ

女子ノ裁縫ハ多クハ襪襪ニテ毛氈ヲ作り、布片ヲ綴リテ蒲團ヲ調製スル等ノ仕事ニシテ、此類ノ毛氈蒲團ハ悉クシー、アイランド (Queensland) ノ不運命ナル困窮者ニ送附セラレタリ、此等ノ作業ハ普通ノ正業者ト競争スルカ如キ結果ヲ避ケンカ爲メ、殊更ニ選定セラレタル職業ナリ、男子ト雖トモ軟弱ニシテ戶外ノ労働ニ堪ヘサル者ニハ女子ト同一ノ職業ヲ執ラシメタリ、如上ノ方法ニテ多少ニ拘ラス職業ヲ得タリシ者通計男子五千七百六十一人、女子三千四百七十九人ナリキ

シンシナチー市ニ於テハ、市ハ三萬弗ヲ支出シテ各公園ニ於テ失業者を役使シ、市民ノ或協會ハ各慈善會ノ連合木工場ニ於テ職業ニ就カシメタリ

シカゴ市ノ救済方法ハ頗ル大規模ニシテ、一方ニ「スーブ」等ノ煮賣店ヲ設ケ、他方ニ職業ヲ與フルノ目的ヲ以テ二三ノ事業ヲ興シタリ、男子ノ多クハ只食物ヲ得ンカ爲ニ市街清潔業ニ従事シ、女子ハ(一千四百七十八人)日給五十仙ニテ九個ノ裁縫工場ニテ働キタリ

デンバー市ニ於テハ臨時労働者假宿所ヲ設置スル爲メニ天幕及ヒ食料ヲ給シ、市ニ事業ノ存スル限リハ之等ニ就カシメタリ、但シ木挽工場一ヶ所ハ或ル慈善家ニヨリテ開始セラレタリ

インデアナポリス市ニ於テハ一方ニ商業會議所ノ委員ノ飲食店ヲ設置スルアリ、他方ニハ市民ノ使役スルニ足ル失業者アラハ一個人ニ之ヲ雇ヒ入レシメ尙且ツ漏レタル者ハ市ノ事業ニ使役シタリキ

賃銀ハ切符ニテ支拂ヒ、件ノ飲食店ヨリ之ヲ購求セシム、切符面ニハ一週間ノ定糧ヲ記載セリ、即チ馬鈴薯、玉蜀黍粉、玉蜀黍飯豚肉、糖蜜、麵麩及ヒ「スーブ」等ニシテ後半期ヨリハ麥粉及珈琲等ヲモ給與スル

コト、セリ

マサチユーセツン洲リン市ノ救済法ハ、一千八百九十四年一月發行ノ「評論」紙上ニ論述セラレタルカ如ク模範的救済法ヲ案出セリ、今之ヲ左ニ摘譯セン

當市ニ於テハ此逼迫ノ時期ニ際シ、倉皇新協會ヲ設立スルコトナク、僅ニ唯聯合慈善協會内ニ労働ノ一課ヲ増設セシノミニテ、從來存在セル諸種ノ慈善協會ヲ利用シ、之カ奔走ノ任ニ當ラシメタリ

失業者ヲシテ取ラシメタル職業ハ多クハ公園ト市街トニ關スルノ仕事ニシテ、賃銀ハ市民ノ寄附金ヲ仰キテ支拂ヒタリ由來何レノ處ニ於テモ特ニ應急救済法ノ行ハルルヤ之ト伴フ弊害ハ誠ニ多クシテ免レ難キモノナリ、之ヲ引例セハ他ノ都市ヨリ無職業者ヲ集合セシムルカ如キハ普通ノ労働界ニ混雜ヲ起サシムルノ恐アリ、或ハ又欺騙ヲ挑發シ又ハ誇大ニシテ何等ノ方針ナキ感情的救済ヲ鼓吹スルカ如キハ吾人ノ既ニ業ニ熟知スル處ニシテ一ツトシテ危険ナラサルハナシ、當市ハ此等ノ恐ロシキ惡結果ヲ避ケンカ爲メ左ノ三箇條ヲ制定シ之ニ準據シテ救済ヲ實行シタリシナリ

第一條 社會ニ發表シテ廣ク金員ヲ募集シ若クハ新聞紙上ニ慈善ニ關スル官省ノ廣告ヲナス可ラス。寄附金ハ委員自ラ行キテ募集スヘク、而シテ失業者ニ執ラシムヘキ職業ハ役員ノ意見ニヨリテ或ハ教會或ハ救済會等ニ於テ廣告スヘシ

第二條 職業ヲ與フルハ唯リン市ノ現住者ニ限り、而カモ受救者ハ極度ノ窮乏ニ陥リテ他ニ朋友又ハ保護者ヲ有セサル失業者ニ限ルヘシ。失業者ノ此條件ニ適合セル者ナリヤ否ヤハ戸々ニ就キテ嚴密ニ審



查討究スヘク決シテ世ノ風評ニ耳ヲ借サス、又揣摩臆測ヲ逞フシテ公明正大ヲ缺クコトナク、唯實際ノ智識ヲ基礎トナスヘシ、且ツ審査シタル結果ハ之ヲ送附シテ救濟ヲ實施スル慈善會又ハ個人ニ表明スヘシ

第三條 賃銀ノ格ハ大凡半日ノ勞働ヲ一弗トナシ、一週間勞役シテ平均三弗ノ餘裕ヲ生セシムルヤウ注意スヘシ、但シ窮乏極度ニ達セシ時ヲ追加メルコトアルヘシ。云々

紐育市ニ於テハ私立ニナレル東部失業救濟會ナルモノアリテ市務課ト協議シテ道路ノ掃除ニ失業者ヲ使役シ、其他彼等ヲ率ヒテ貧民ノ住宅ヲ清潔ニセシムル勞役或ハ製靴業ニ從事セシム道路ノ掃除ニ從事セシメシ失業者ハ前後ヲ通シテ總計三千二百九十二名ニシテ其三分ノ二ハ一週間、殘餘ハ二十二週間ノ久シキ時之ニ從事セシメタリ。貧民ノ住宅ヲ清潔ナラシムルノ業ニハ四百九十一名ノ失業者ヲ一時之ニ從事セシメ、其内七百戸ノ居室ハ天井ヲ塗り變へ、四萬七千個ノ居室ヲ刷淨シ、而シテ其他種々ノ廢物ヲ運搬シタリ。靴工場ハ四個所ニ創設セラレポストン市ニ於ケルト同シ方法ヲ用井タリ。之ニ從事シタル者ハ男女二百五十名ニテアリキ。賃銀ハ道路ヲ掃除スルノ勞役ニ於テハ一日七時間ノ就役ニテ一弗、靴工場ニ於テハ初メハ六十仙乃至七十仙ニシテ其外ニ晝食ノ給與アリタリシカ後五日間ノ勞働ニテ一週間四弗トナレリ

フィラデルフィヤ市ニ於テハ其規模ハ稍大ナリシカトモ職業ハ甚タ多カラズ、唯僅ニ一慈善協會ノ盡力ニヨリテ失業者ニ巷路清潔業ヲ與ヘ一日、一弗ヲ給與シタリシノミ

ピッチホルグ市ニ於テハ其委員會中心トナリテ二十五萬六千弗ノ資金ヲ募集シ（其大半ハカルネギー氏ノ寄附ナリ）一日賃銀一弗ヲ給シテ市内公園等ノ業務ヲ以テ一萬三千五百二十九名ノ失業者ニ職業ヲ授ケタリ而シテ此等失業者ノ多數ハ職工及書記等ニシテ間々相當ノ職業ヲ有シタリシ人々モ尠ナカラサリキト云フセント、ポール市ニ於テモ一日一弗ノ賃銀ニテ市ノ業務ニ從ハシメ資本金ハ有志者ノ組織セル各團體ニテ之ヲ募集シタリ

上來ノ記述ハ、職業ヲ與フル爲ニ特設シタル事業ニ就テ觀察シタルモノナレトモ、此外救濟ノ目的ヲ有シテ盡瘁シタリシ者ナキニ非ス。カノ職工組合等ノ諸協會ハ之ニ向ツテ盡ス所決シテ尠ナラサリシナリ。但シ其等ハ單ニ會員トシテノ失業者ヲ救フニ止マリ廣ク社會全般ノ失業者ヲ救濟スルノ目的ニアラサルコト勿論ナリトス。之等團體ノ爲ニ各都會ハ爭ヒテ資金ヲ義捐シ其運動ヲ助ケタリ。就中マサチューセツ洲ニ於テハ十三個ノ市民ヨリ成レル救濟委員會ヨリ十四萬七千弗ヲ募集シタリ。此寄附額ハポストン市ノミニテモ殆ト其三分ノ二ノ巨額ニ達セリ

英吉利國ニ於テモ失業者ノ應急救濟法ニ就キテハ幾多ノ徑路ヲ辿レリ  
一千八百六十年ヨリ翌年ニ亘レル冬期間稀有ナル寒氣ノ襲來セシ時ハ。殆ト四萬磅ノ資本金ヲ募集シ、而シテ此等ノ金額ハ重ニ警察署ノ手ヲ歴テ分配セリ

後一千八百六十三年ヨリ越エテ翌一千八百六十四年ニ亘リ、本綿ノ不作ノ爲ランカシャイヤー縣ニ於テ失業セル者頗ル多ク、其ノ困難ノ狀殆ト名狀ス可ラサルモノアリシカ、其時政府ハ救濟事業ノ爲メ百二十萬

磅ヲ支出シ、失業者ニ裁縫其他之ニ類似セル職業ヲ授ケタリ。而シテ之カ爲ニ就業セシモノ總計三萬八千十四人ニシテ彼等ハ不慣レノ業務ニモ係ラス、容易ニ熟達シタリシモノ頗ル多カリシト云フ

一千八百八十六年「マンシヨン、ハウス公債」(Mansion house fund)ト稱セラル、資本金ハロンドン市ニテ募集セラレシカ、聞ク處ニヨレハ其使用法甚タ佳良ナラサリシカ如シ

一千八百九十二年ヨリ一千八百九十三年ニ亘リテロンドン府ノ三十三教區ニ失業者ノ救濟事業ニ着手シ、重ニ道路ノ清潔、修繕及ヒ下水工事ニ從事セシメタリ。其労働時間ハ一週中長キハ六日、短カキハ二日ナルモアリ、賃銀ハ一時間四片半ヨリ九片マテナリ。而シテ日給ハ二志八片ヨリ四志マテナリ。此成績ハ各區ノ方針ニヨリテ必スシモ一様ナラサリシカ

良成績ナルハ甚タ稀ニシテ、多クハ哀レナル最後ヲ遂ケタリト謂フ

ロンドン郊外ノ六十三區（ザレリクト）モ同一ノ事業ニ着手シ「マンシヨン、ハウス」委員會(Mansion House Committee)カ此レカ目的ノ爲ニ募集セシ金額ハ千三百十五磅ナリ。其使用別ハ左ノ如シ

用途	金額
労働者賃銀	五六四〇
移住費	四一六〇
施與費	一〇七〇
諸道具其他ノ雜費	一七八〇
總計	一七〇〇

此救濟ニ與リシ労働者ハ總計二百五十三人ニシテ概ネ海濱ノ労働者ナリシカ如ク其賃銀ハ一時間六片ナリ其授ケタリシ職業ハ初メハ單ニ試験的ナリシカ漸次適好ナル業務ヲ求メ得タリシカ如シ  
一千八百九十三年及一千八百九十四年ニハロンドン府内ニ七個他ニ二十個ノ區廳ハ等シク失業者ノ救濟ニ從事シタリ

獨逸國ニ於テハ一千八百九十三年ヨリ翌一千八百九十四年ニ亘リテ數多ノ都市ハ概ネ石工場又ハ市街等ニ於テ失業者ニ業ヲ與ヘ之ヲ救ヒタリ

第二節 根本的救濟法

マサチユーセツ洲失業者問題研究會ハ各種ノ人士カ斯問題ヲ解釋セント欲シテ提供シタル十二個ノ方案ヲ掲ケタリ。其十二個ノ方案トハ左ノ如シ

- 第一案、都市ノ住民ヲ田舎ニ移轉セシムルコト
- 第二案、監獄作業ト自由作業トノ競争ヲ勤メテ避クルコトニ注意スルコト
- 第三案、一日ノ労働時間ヲ短縮スルコト
- 第四案、外ヨリ移住シ來ル労働者ヲ防止スルコト
- 第五案、工業教育ヲ擴張スルコト
- 第六案、口入屋又ハ労働周旋所ヲ改良スルコト或ハ公立職業紹介所ヲ設立スルコト
- 第七案、國家又ハ都市ハ労働者ニ職業ヲ與フルノ目的ヲ以テ或ハ製造場ヲ創設シ又ハ工事ニ關係スヘキ

第八案、國立大農場ヲ起コスコト

第九案、國家ハ普通ノ官業ヲ増加シ殊ニ其一部ハ冬期間ニ配布スルコト

第十案、國家ト都市トヲ問ハス、凡テ公ノ事業ハ政府之カ直轄ヲナスコト

第十一案、公ノ事業ハ悉ク之ヲ其土地ノ住民ニ從事セシムヘキコト

第十二案、國家ノ事業トシテ勞働者殖民地ヲ興スコト

此諸方案中多クハ營ニ失業問題ヲ解決セント試ミタルノミナラス、同時ニ他ノ社會問題ニモ互レル者アレハ其等ハ更ニ詳説ヲ要ス。即チ第二、第三、第四、第五、及ヒ第十ノ諸方案ハ皆是レナリ。其等ノ討議ハ之ヲ他日ノ機會ニ譲リ、今ハ其他ノ諸案ニ就キ以下少シク研究スル處アルヘシ

先ツ第一案市民移轉策ニ就イテ之ヲ見ルニ、市内ノ被雇者カ今日ノ如キ無資力ニシテ而カモ無學ナル状態ニアリテハ、彼等ヲ導キテ山村田野ニ移轉セシムルコトハ殆ト望ミナキコトトナリ。且ツ農産收益ノ薄利ナル今日ノ如クシハ、彼等ヲ勸メテ此移轉ヲ斷行セシムルノ理由誠ニ薄弱ナルヘク、結局政府ノ扶助ニ倚ルノ外ナカル可シ。去レハ勢ヒ第八案官設殖民地ナルモノト同一ノ問題トナルヘシ

第八案官設殖民地ニ就イテハ二三ノ先例ナキニアラス。即チ先ニシテハニユー、ジーランドアリ。後ニシテハビクトリア殖民地アリ。ビクトリア殖民地ハ一千八百九十三年八月三十一日ヲ以テ一ツノ條例ヲ發布シ、邑會、勞働者住宅協會勞働者殖民會ノ三項ヲ規定セリ。一千八百九十四年七月三十日發行ノ同地ノ

週報ニ其大要ノ記載アレハ左ニ轉載セン

此議案ノ時宜ニ適ヒ、民意ニ合シ、違カラス法律トナル可キ性質ノ者ナリシコトハ、每群衆ノ官省ニ集合シ、熱心ニ其發布ヲ冀望シ、幾多ノ便益ヲ計ラントスルニテモ知ル可シ。然モ其志望タル決シテ一時ノ流行熱ニ非スシテ、長ク持續セラレ、近キ二箇月間ニ於テスラ四百五十三通ノ請願書提出セラレ、採録セラレシヲ見ル。議案ノ審査初マリシ以來、請願者ノ總計ハ四千八十名ニシテ内二千二百二十二名ハ認可セラレ、九百九十三名ハ却下セラレ残り九百六十五名ハ猶調査中ナリ。シカモ之等ノ人員ハ議案

(中略)

此條例ハ三項ニ分カル

第一項 村邑部落 (Village Communities)

第二項 勞働者住宅協會 (Homestead Association)

第三項 勞働者殖民地 (Labor Colonies)

第一項ニテハ十八歳以上ノ男女ニシテ「エーカー」(「エーカー」ハ凡テ我カ四段十八步餘ニ相當ス)以上ノ永代借地カ、牧場又ハ秣場ノ借地カ、一千八百九十年ノ發布ニカ、ル土地條令第四十二條及ヒ第四十九條ニ因レル特別免許狀カ、或ハ此條令第二項ニ相當スル借地カ此等ノ中何レカ一ツヲモ所有セサル者ハ、「エーカー」ヨリ二十「エーカー」ノ土地ヲ所有スル權利ヲ得ルコトヲ規定ス。此項ノ請願者二千

第二項ニテハ六名以上ノ一協會又ハ一團體ノ左ノ如キ條件ニテ各移住者ニツキ「エーカー」ヨリ五十「エーカー」ノ土地ヲ所有シ得ルコトヲ規定セリ。即チ十八歳以上ノ男女ニシテ既婚ノ女子ヲ除キ十「エーカー」以上ノ永代借地ヲ所有セス、且ツ第一條規定ノ制限外ノ者ハ此條項ニ基キ移住者タルコトヲ得此項ニ關スル請願者ハ總計一千三百五十四名アリ。内二個ノ協會七十一人ヲ代表シ百五十二個ノ團體一千二百八十三名ヲ代表セリ

此第二項ニ基ケル移住ニハ根本的困難渺ナカラサレトモ其報告ヲ見ルニ明カニ人意ヲ強ウスルニ足ルモノアリ(中略)

此條令第三十二條ニ基キ金錢上ノ扶助ヲ受ケタル移住者ハ九百八十五人ニシテ、凡テ之ニ支拂ヒタル金額ハ八千八百七十三磅也。是レ議會豫算ノ半ハニ及ハサル額ニシテ、移民ニ關スル諸事業ヲ、或ハ改築シ、或ハ新設セシ總價格ニ比スレハ、僅ニ四二、五「ポルセント」ニ相當ス。斯クノ如ク如何ナル場合ニ於テモ必ス精細ナル検査ヲ遂ケ、支出額ヲシテ改良セシ諸事業ノ價格ヲ越エシムルコトナシ。此扶助ハ概ネ一週間十志ノ割合ニテ月賦ニテ給與ス(中略)

リランビル洲ニ於テ行ハレタル「リチャードソン」移民會ノ特別報告ハ興味殊ニ深キモノアリ。同移民會ハ其初メ横ヲ割リ、森林ヲ開拓スルカ如キ事業ヲ與ヘテ失業者ヲ救ヒ居タリシカ、程ナク移民條令ノ發布セラル、ニ及ヒ、横ヲ割リ森林ヲ開拓スルノ業ヲ取ラシメタリシ處ノ地ヲ利用シ、直チニ之ヲ失業者

ニ與ヘテ耕作ニ從事センメタリシナリ。其年内ニ消費セシ額ハ總計二千六百五十磅三志十片ニシテ材木ノ賣高及ヒ人々ノ貯金ハ二千八百三十二磅十九志七片ニ上レリ。其中一個所三百四十一人ヨリ成レル殖民場アリ。家屋ヲ建テ垣根ヲ造リ清潔法ヲ行ヒ貯水池ヲ設ケ或ハ耕作ニ從事スル等ノ爲ニ費シタル總額ハ二千五百八十九磅十一志ナリキ。然レトモ此條令ニ基キテ支出シタル金額ハ僅々二百七十二磅ニ過キスト云フ。是レ明カニ労働者ヲ救済スヘク、救済シテ相當ノ利潤ヲ與フヘキコトヲ證明シ得ヘキ事實ナリト謂フ可シ

ロンドン府會ニ於テモ亦委員會ヲ組織シ一千八百九十三年發表ノ小作人條令第三十一章第五十五項及ヒ第五十六項ニ基キビクトリヤ洲ニ於ケルト同シ趣意ヲ以テ之ヲ經營セリ。此條令ハ各地ノ府縣會ニ權利ヲ與ヘ土地ノ購買或ハ借地ヲ許可シ、之ヲ使用シテ小作人ノ爲ニ事情ニ應ジテ或ハ拂ヒ下ケ或ハ其一部ヲ貸與セシムルモノナリ。委員ノ選定ハ一千八百九十三年ノ三月ニ行ハレ、委員ハ直ニ各所ニ於テ土地ヲ求め之ヲ「エーカー」ノ十分ノ一ノ小區劃ニ分チ各區劃一ケ年ノ小作料八志ト定メタリ。多クノ労働者ハ之ニ就キテ耕耘シ、而カモ勞役甚タ勤メタリシト云フ。然レトモロンドン市附近ノ土地ハ地價甚タ高キヲ以テ相償ハサリキト謂フ

第七案失業者ニ職業ヲ得セシムルノ目的ヲ以テ國立ノ製造場又ハ工業ヲ興スヘシ、トノ方策ハ古來一ツノ實例ヲモ見ス。但シ同シク國家的事業ナレトモ失業者ヲ救済スルノ目的ニ非スシテ或ハ工業ヲ興シ或ハ工事ヲ初メタル實例ハ決シテ渺ナカラス。夫ノ一千八百四十八年巴里市ニ設ケラレタル有名ナル國立勞役

工場ノ如キモ其一例ト謂フ可シ

第六案労働周旋所ノ改良或ハ官立職業紹介所ノ設立ニ就キテハマサチューセツツ洲地方局ニ於テ精細ニ論述セラレタリ。是レハ亞米利加ニ於ケル斯問題研究ノ嚆矢ナリ。歐洲諸國ノ政府モ又此方面ノ研究ニ注目スルモノアルニ至リス

官立職業紹介所ノ初メテ設立セラレタルハヲバイラ洲ニシテ一千八百九十年四月二十八日ナリ。而シテ監督權ハ労働統計局評議員ノ掌中ニアリト規定セラレタリ。一千八百九十二年現任労働統計局評議員ダブルユー、テイ、ルイズ氏ハ職業紹介所ニ關シテ曰ク

乏シキモノ一ツトシテ満タサレサルハナク求ムルモノ一ツトシテ與ヘラレサルハナキ、完全無缺ノ黄金界ハ遠ク神ノ子再臨ノ日ニ待タサル可カラス。假令カノ世ヲ樂シミ泰平ニ鼓腹スル樂天家ト雖モ圓滿完備ノ境土ハ遠キ未來ニ屬シ、我等ハ唯望ミノ星トシテ遙カニ仰キ見ルニ止マルヘキモノナルコトハ遂ニ忘ル能ハサル處ナルヘシ。然リ不滿ト失望トハ是レ人生ニ於テ避ク可ラサルコトニシテ亦奈何トモナシ得サルナリ。職業ヲ紹介スルノ事業ニ就テ見ルモ幾多ノ缺點依然トシテ存シ進歩誠ニ遲々トシテ前程未タ近カラサルヲ思フ。其欠點ノ歸スル處半ハ雇主ト被雇主トノ間ニ蟠レル觀念ノ相違アリテ殆ト調停シ難キニ因ルト雖モ、而カモ亦官省無能ニシテ其等ノ缺陷ヲ補足シ、紛亂ヲ解決スルニ足ラサルコトヲ自白セサル可ラス。要スルニ此制度タル未タ一介ノ乳兒ナリ

成熟ト完備ノ域ニ達スルマテニハ尙幾多ノ歲月ト深慮トヲ要セサル可ラス。カノ之ヲ統率シ監理スルノ

指導者ナキコト私利ヲ營ム民間ノ口入屋ニ對スル惡感先入主トナリテ一般ノ思想頗ル偏頗謬見ヲ帶フルコト労働者ヲ募集シ職業ヲ探求スル廣告ノ方法皆無ナルコト或ハ各地ノ出張所ニ起ル種々ノ困難等斯ノ如キノ事情相結ヒテ斯業ノ發展ニ禍スルコト蓋シ大ナリト謂ハサル可カラス。然リ斯ノ如キノ障害誠ニ尠ナカラサルニモ關ラス、内容ノ進歩頗ル見ルニ足ルヘキモノ亦ナキニ非ス。カノ地方支部ニ於ケル夥多ノ耕地、専ラ救民策トシテ設備セラレ數千ノ被雇者ハ來リテ從來得來リタル經驗ニ依リ尤モ熟練セル業務ニ就キテ其身ヲ益シ其力ヲ伸ハシ得ヘシ、嘗ニ大都會ニ於テ此設備ノ存スル而已ナラス、山村僻邑何レノ地ニモ事務員ヲ派遣シアレハ相當ノ便益ヲ受クコトヲ得ヘシ

此制度ノ普及ト共ニ私設口入屋ノ奸計漸ク影ヲ匿シコロソボス、トレドー、デイトンノ三市ニ於テハ一ツモ之レナシクリーブランド市、ミンシンナチー市ニ於テハ二三猶其業ヲ經續スル者アリト雖、次第ニ衰微スヘキハ蓋シ自然ノ結果ナリ

カリホルニヤ洲ハハイラ洲ノ例ニ鑑ミ、職業周旋所ヲ設置セリ。次デ一千八百九十六年七月二十日紐育市ニ於テハ官設職業紹介所ヲ設立スルニ至リタリ

一千八百九十年度ノマサチーエセツツ洲労働局公報ハ官立職業紹介所ノ難事業タルコトヲ述ヘ從來存置セル私人ノ營業ヲ以テ満足シ、唯之ヲ能フ限リ意ヲ用非テ改良スルニ如カサルコトヲ論セリ

但シ現在ノ職業周旋所ノ奸惡ヲ摘發スルニ痛切ヲ極メタレハ參考ノ爲メ左ニ轉載スヘシ

實際此等周旋所ノ多クハ概ネ腐敗ノ泥濘ニ染ミ、墮落ノ深淵ニ沈ミ唯奸計譎欺ヲ事トシ、由テ以テ私利

私慾ヲ貪ラント欲スル者ノミ其廣告スル處ヲ見ルニ麗々シク「新教ヲ奉スル小女二百人ヲ募集ス」トアレハ實際職業ヲ得タリシ者ハ二十人ニ過キス。「婦人ノ賣子入用、ト札ヲ掲クルモノハ一ノ奸策ニシテ決シテ其周旋所ニテカ、ル職業ヲ得タル者ナク「農場監督者欠員アリ、給料二十弗ヨリ六十弗ヲ給ス」ト廣告スレトモ實際ハ最良ノ農場ニテ最高ノ賃銀ヲ得タルモノ四十三弗ヲ越エス。其名ハ「基督教徒博愛義會」ト謂ヒ或ハ「相愛職業周旋所」ト稱シ誠ニ其名稱タケハ善美ヲ極ムト雖モ實ハ只高ク掲ケタル羊頭ニ過キスシテ内部ノ狗肉ハ其名ノ正反對ナルヲ奈何セン(中略)

次ニ述ヘントスル一例ハ尤モ世ニ行ハル、奸策ニシテ勿論其奸策ノ成就スルハ多ク依頼者ノ無智暗愚ニ由ルト雖モカモ現時ノ制度ノ不完全ナルニ乘セシコトハ否ム可ラス

扱テ茲ニ一女子アリテ高等ノ下宿屋ニ下婢タランコトヲ欲シ、略々其地方ヲ撰ミ給料ヲ定メ或ル周旋所ニ依頼センカ、先ツ之ヲ依頼スルニ當リテ勢ヒ手數料ノ先拂ヲ請求セラルヘク、且ツ其周旋所執務中ハ必ス其待合室ニ於テ結果イカニト待チ合ハサ、ル可ラス

數日ノ後愈々之ニ應スル雇主ノ有リシ時會々件ノ女子其待合室ニ居合セサリシナランニハ、其希望セシ職業ハ直ニ取り消サレ更ニ之ヲ請願スル爲メニハ再ヒ手數料ヲ支拂ハサル可ラス、或ル女子ノ如キハ數週ノ間同シ周旋所ニ三度手數料ヲ拂ヒ而カモ猶職業ヲ求メ得サリキト云フ

若シ依頼者事理ヲ知りテ依頼後六日ノ後尙職業ヲ得サリシ爲メ手數料ノ返却ヲ請求センカ、事務員ハ僞リテ云フ「先ニ職業ノ好適地アリシモ依頼者恰モ居合セサリシヲ以テ其職業ハ其儘放棄セラレ手數料ハ

沒收セラレシナリ」ト其外手數料欺取ノ手段數回ニシテ盡キス更ニ一例ヲ上クレハ一人ノ雇主周旋所ノ手ヲ經テ下婢ヲ雇ヒ入レント欲シ、相談調ヒテ愈々到着ノ日ヲ待チツ、請求セラル、マ、ニ雇主ノ手數料ハ云フニ及ハス、雇ハントスル下婢ノ手數料先拂ヤ或ハ時トシテハ其馬車賃ニ至ル迄之ヲ支拂ヒタル後何等ノ事情アリテカ下婢ハ遂ニ來ラズ

雇主ノ其不當ヲ詰リ苦情ヲ述フルヤ、周旋所員ハ平然トシテ凡テノ責任ヲ拒ミ代フルニ他ノ下婢ヲ以テセンナト、辭ヲ左右ニ託シテ事遂ニ止ムニ至ル若シ會々手數料ヲ返却スルコトアリト雖モソハ必ラス口角泡ヲ飛ハシ、紳士ヲシテ思ハス眉ヲ顰メシムルカ如キ醜體ヲ演シタル後ナラテハ決シテ返却スルコトナシ、故ニ雇主ハ大抵之ヲ放抛シテ他ノ周旋所ニ依頼スルヲ常トス

其他周旋所中ニハ無能ノ労働者ヲ紹介スル者アリ(殊ニ農場ニ多シ)欺イテ農夫ヲ遠隔ノ地ニ送り彼等ノ再ヒ歸來セサルヲ恃ム者アリ、或市ノ如キハ周旋所又ハ僞リノ雇人ト結托シテ大仕掛ニ手數料ノ二重取リヲ企ツル者アリ、或ハ婦女子ヲ欺キテ醜業ニ墮落セシムル者アリ、一々數エ來レハ事々皆意外ニシテ恰モ好シテ罪惡ヲ發クカ如ク見ユルモ事實ハ茲ニ擧ケシヨリモ尙甚タシキモノアリテ存ス

然リ是レ皆ナ事實ナリ、而カモ此等ノ罪惡ニ對スル哀訴ノ警官ノ耳ニ達セシハ極メテ尠ナク前年中當路者ノ審査ヲ蒙リシ者僅ニ七十二件ボリス、コムケシヨシ警察評議員會ニ提出セラレタルモノ唯三件ノミ是ヲ百二十六個ノ免許ヲ受ケタル周旋所ニ比較スレハ誠ニ言フニ足ラサル小數ナリ、乍併是レ警官ノ専ラ受動的ニシテ進ンテ破邪懲惡ヲ期成スルノ精神ナク奸惡日ニ瀾漫スルヲ見テ稍失望ノ態度ニアルコトヲ證明スルモノニ非ス

トセンヤ、之ヲ要スルニ吾人ノ見解ヲ以テスレハ現今ノ制度ハ甚タ粗漫ニシテ此名譽アル業務ニ報イ憎ムヘキ詭計ヲ破ルニ足ラサルモノトス(中略)

一千八百九十三年度勞働統計局公報中ポストン市内ノ官許周旋所カ届ケ出テタル尤モ完全ニ近キ報告ヲ見ルニ過クル一ケ年間ニ依頼シ來レル候補者ノ數ハ殆ト六十萬人ニ達シ、周旋シタル地位殆ト十二萬五千ニ近カリシト謂フ、是レ元ヨリ誇大ノ計算ナル可キモ假リニ之ヲ以テ信ヲ措クニ足ルモノトナシ、其三分ノ二ヲ婦女子ト假定シ、只規定ノ手數料ヲノミ拂ヒタリシモノトセンモ職業ヲ求メント欲シテ費ヤシタル總額ハ實ニ八萬弗ニ上レリ、是ヲカノ數百ノ内密ニ紹介スル周旋者ニ拂ヒタル手數料ト合スレハ必ス十五萬弗ヲ超過スルナル可シ(中略)

職業ヲ與フルヲ以テ其根本主義トナセル慈善的諸官衙ノ尤モ苦慮スル處ハカノ無能力者ノ處分ナリ、殊ニ人ノ尤モ注目スルハ無告ノ婦女子ニシテ、何等ノ職業ニモ適セサル者ヲイカニ處遇スヘキカトノ問題ナリ

タトヘ彼等如何ニ無能ナリト雖モ何事ヲカ成サシメサル可ラス、當市内ニ於テ正規ヲ踏メル六個ノ周旋所ハ唯上流社會ノ奴婢ノ周旋ヲノミ取り扱ヒ手數料モ概ネ被雇者ヨリ得スシテ寧ロ雇主ニ求メ、其收入トナモル者ナルカ、彼等ハ無能力者ナル依頼者ヲ強イテ私人ニ周旋スルコトナク之ヲ勸メテ直チニ慈善的協會又ハ會社ニ趣カシム(中略)

雇主ハ曰ク「慈善的會社ヨリ送り來レル奴婢ニシテ満足ナル者一人モコレナシ」ト然ラハ雇主ハ廣ク彼等

ヲ工女等ノ間ニ求メテ満足ナル結果ヲ得タリシヤト云フニ然ラス

斯クマテニハ良奴婢ヲ得ルニ力ヲ盡セルニモアラス、カノ第一流ノ工女等ヲ檢シ其職業ヲ得ル機會ヲ調査セシニ之亦同シク不充分ナリト云フ(中略)

事實ニ徴シテ之ヲ見ルニ女子職業周旋所ニ於ケル奸計醜行ハ寧ロ男子ノ周旋所ヨリモ甚シキモノアリ、カノ男子ノ周旋所ニアリテハ亂脈ト不規律トハ宛ラ公然ノ秘密ノ如ク或ハ避ク可カラサル附隨物ノ如ク認めラル、ニモ拘ラス、實際ハ寧ロ前者ニ於テ多ク寒心スヘキモノアルヲ見ル、蓋シ之ハ女性ノ無智淺慮ニシテ經驗ノ乏シキニ歸スヘキカ(中略)

生存ノ競争ハ男性間ニ於テ尤モ激烈ナリ、男子ハ殆ト皆ナ其自活ノ道ヲ求メサル可ラス、然ルニ就イテ働ク可キ地位ノ供給ハ限リアリ、限リナキ職業ノ需要ヲ悉ク滿タスニ足ラス、此ニ於テカ失業者ト云フ不斷ノ問題起リ來ラサルヲ得ス、之ニ反シテ女性間ニ於テハ供給殆ト需要ト相適合スルヲ以テ、常識ノ教フル所ニ從フモ女子周旋所ハ無能力者ニスラ相當ノ地位ヲ得セシメ得ヘシ(ヨシソハ雇主ノ損耗ナリトモ)然レトモ男子ノ周旋所ニ於テハ才能ヨシ勝レタリトモ、之ニ適當スル地位ヲ得セシムルコト容易ノ業ニ非ス

第十二案勞働殖民策ハ從來度々討論セラレタル問題ナリ、歐洲諸國ニ於ケル此方策ハ亦大ニ研究ノ價アレトモ、概ネ最下級ノ勞働者ニシテ殆ト勞務ニ從事スル能力ナキ失業者ニノミ施セシモノナリ

エドワード、バラミー氏ハマサチユーセツワ洲公報紙上左ノ如キ方案ヲ提出シテ大ニ此策ヲ稱道セリ。曰

此労働者殖民事業ノ根本主義ハ労働者ヲシテ互ニ相扶助セシムルニアリ、言ヲ換ユレハ彼等ヲシテ相互ノ産出物ヲ相互ニ消費セシムルニアリ、去レハ其産出物ハ之ヲ普通ノ市場ニ出シ賃銀ノ爲ニ作リタル物品ヤ營業ノ爲メニスル一私人ノ製造業者等ト競争セシムルコトアル可ラス、必ス之ヲ先ツ失業者タリシ一團體ノ内部ニテ消費スヘキ也

乍併爰ニ國家ノ義務トシテ其補助ニ俟ツ處多キモノアリ、即チ此等ノ失業者ハ最初着手ノ當時ヨリ各自獨立シテ一團ノ組織ヲ完備シ得ルモノニ非ス、去レハ國家ハ先ツ彼等ノ爲ニ計畫ヲ立テ組織ヲ編ミ且ツ彼等カ獨立シテ相支ヘ得ル爲ニ必要物件ヲ備フ可シ、是レ當然國家ノ爲スヘキ業務ニシテ一面ニハ不運ナル市民ノ利福ヲ進メ他面ニハ此等ノ制度ナカリセハ遂ニハ施與惠恤ノ爲メニ同シク國家又ハ個人ノ財寶ヲ消費スルノ止ムナキニ至ルコト必然ナレハ也

更ニ茲ニ注意ヲ要スルハ此事業ヲ以テ警察的又ハ慈善的問題トナサ、ルコトナリ、慈善ハ慈善トシテ存シ労働ニ堪ヘサル者ヲハ救貧院ニ收容スヘシ、警察ハ勿論世ニ有害ナル者ヲ捕ヘテ監獄拘禁スヘシ、此事業ハ唯世ノ勞役ニ堪ヘ得ル有爲ノ労働者ヲシテ自助自活セシムルニアリ、彼等カ有スル逞シキ筋肉ヲシテ空シク槽檻ノ間ニ消磨セシメス、由テ以テ大ニ活用シ得ヘキ必要ナル機械ヲ備ヘヨトノ謂ナリ、一時ハ政府ニ依頼シテ多額ノ金錢ヲ乞ヒ之ヲ以テ必要ナル田畑ヲ買ヒ植物ヲ植エ家屋ヲ建築シ或ハ食料品ヲモ購入スルコトアル可シ、然レトモ是レ唯一時ニシテ畢竟此ノ組織ノ眼目ハ自助ニアリ、自活ニアリ、故ニ

上ニ述ヘタルカ如ク組織未タ完備セス、機關猶整頓セサル草創ノ際ハ必要上彼等ヲ法律上ノ公民ト分ツコト或ハコレアルヘシ、然レトモ制度一度ヒ完備シ人各々自活スルニ至ラハ何等ノ區別ヲ其間ニ劃スルハ管ニ不要ナルノミナラス却テ有害ナリトス、

以上ノ論旨ハ何レモ永久ノ移住策ニ就キテ云ヘルコト勿論ノコトナリ、ソハ失業者ノ問題ヲ以テ或一定ノ期間ニ於ケル臨時問題トナスハ蓋シ至愚ノ至リナレハナリ、假令ヒ移住者ノ數ハ隨時増減スルコトアル可シト雖モ移住ノ事業ハ四時必ス廢弛ス可ラス、喻ヘハ此事業ハ護謨輪ノ如シ、伸縮ハ自在ナレトモ斷切ス可ラス、組織愈々完備ノ域ニ達スレハ男女ヲ問ハス苟モ職業ヲ失ヒタル者ハ直ニ來リテ事情ニヨリ、短キハ數週間長キハ數年間此ニ生活ヲ樂シミ得ヘシ

此失業者ノ殖民地ニハ農場存スヘク製造場設クヘク住宅築クヘク倉庫備フヘシ倉庫ニハ労働者ノ産出シタル物品ヲ貯ヘ草創ニ際シテ生産未タ之レナキ時ニハ政府カ此缺陷ヲ補フ爲ニ給與セル物品ヲ貯藏スヘシ、而シテ労働者ニハ先ツ労働ニ着手スル時ヨリシテ、彼等ノ勞苦ニ報ユルニ十分ノ報酬ヲ以テスヘキコトヲ保證シ、何者ヲモ其以上ニ與フルノ要ナシ、之カ爲メニハ一種ノ通券ヲ作り、其通用ハ同店舗ニ行キテ食物ヲ購フト協同旅館ニ至リテ宿泊シ得ルノミニ限り通券ハ其他ノ通貨ト區分スヘシ、労働者ノ賃銀ハ業務ノ奈何ニ關セス凡テ一定スヘシ、故ニ監督員ハ特ニ注意シテ健康者ノミ收容シ、且ツ何人モ其業務ニアリテ怠惰ナル如キコトナカラシメ能フ限り勞力ノ均一ヲ圖ルノ要アリ、女子タリト雖モ勿論同額ノ給料ヲ支拂フ可シ怠惰又ハ違法ノ懲罰ハ唯一ノ逐放刑アルノミ通券面ノ價格ハ労働者ノ産出物ニ



間接直接ニ現ハレタル勞力消費ノ多少ニ基キ大要ヲ計算シテ定ムヘシ、若シ勞働者ノ給料一定セス、彼等ノ從ヒシ業務ノ輕重ニヨリ上下スルコトアラハ產出物ノ價格ヲ規定スルコトハ實ニ至難ノ業ニシテ而カモ不平不滿ノ聲絶ユルコトナカル可シ、然レトモ給料凡テ均一ナレハ誰カ自己カ產出セシ物品ノ高價廉價ヲ論セン、通券ノ使用ニハ二重ノ便益アリ一ツハ以テ勞働者ヲシテ必ス各自ノ產出物ニ由テ生活ヲ營ミ他ノ市街ニ行ツテ物品ヲ購フコトナカラシメ二ハ以テカノ國家組織ノ結果トシテ往々見ルカ如キ勞銀相場ノ混亂ヲ來タスコトナカラシム、若シ政府ニ返却スヘキ前金アラハ產出物ヲ時價ニ照シテ支拂フヘク其外此殖民場ニ必需品ニシテ而カモ輸入ノ止ムヲ得サル者、或ハ諸雜費ニシテ正貨ヲ以テセサレハ購フ能ハサル者等ハ皆之ニ准スヘシ

政府監理ノ費用及ヒ諸種ノ支出悉ク備ヘラレ、一移民團中一ツノ苦慮スヘキモノナキニ至ラハ、生産品ヲハ一切通券ニヨリテ凡テノ勞働者ニ配分生産ノ増加ト共ニ給料額相加ハラシム可シ、是レ此組織ハ政府ノ監理ト保證トノ許ニ移住者各自同心協力以テ其副利ヲ享樂スヘキ性質ノモノナレハ也

扱テ又勞働者ノ出入頻繁ナル此ノ失業者殖民場ニ其基礎ヲ固クシ、其根底ヲ深クセント欲セハ勞働者ヲ彼等カ就業期ノ長短ニヨリテ區別シ、一定ノ時期以上續キテ勞働シタル者ヲ上級ノ勞働者トナシ、最低ノ定額給料以上ノ生産アリシトキハ之カ配當ヲ受クル權利ヲ得セシメ其以外ノ者ニハ殘額ヲ分配スヘシ然レハ第一級ノ古參勞働者ハ世ノ勞働者ヨリモ優等ノ賃銀ヲ受クルコトトナリ、從テ此團體ニ永ク固定セント欲スルニ至ルヘク、由ツテ以テ動搖ハ只短期間ノ勞働者ニ止マルヘシ

重テテ云フ殖民地ニ於ケル勞働者ヲ處遇スルニ決シテ慈善的意味ヲ以テ之カ處遇ヲナス勿レ、彼等ヲ國家ノ厄介物トナス勿レ必ス之ヲ嚴格ナル勞働條規ニテ律スルノ外萬事萬端悉ク他ノ市民ト等シク自由平等不羈獨立タラシム可シ、是レ尤モ重要ナル問題ニシテ此一點本制度ノ生死ノ關スル處安危ノ懸ル所ナリ、若シ此制度ニシテ苟且ニモ一點慈善ヤ扶助ヤ救助ヤノ臭味ヲ帶ハシメンカ凡百ノ機關精緻ノ組織遂ニ其墮落ヲ防ク能ハサルニ至ラン、當事者須ク心ヲ用キテカノ男女ノ勞働者ヲシテ勞働ノ爲ニ設立シタル國家的業ニ就クヲ以テ一點一畫我カ威嚴ヲ損シ自尊ノ精神ヲ害フモノト思フノ念ヲ起サシムル勿レ

此政府事業ハ最初失業者ノ渴望ニ應シテ起シタル者ナレトモ職業ノ確固トシテ動カサル利益及ヒ其組織ノ完成ニ伴フ資銀ノ騰貴ハ當ニ一度ヒ此殖民場ニ投シ來リシ者ヲ長ク留メテ愈々此事業ヲ完成セシムルノミナラス進ンテ個人ノ雇主ヲシテ勞働者ヲ引留ムルノ必要ヨリ漸時公明ニシテ人道ニ叶ヘル處遇法ヲ取ラシメ由テ以テ一般勞働者ノ生活狀態ヲ高メシムルニ足ルヘシ

加之ナラス同時ニ失業者カ困窮ノ餘深ク其賃銀ノ當否ヲ問フノ暇ナクシテ職業ニ就キ益々其狀況ヲ惡シカラシムルノ禍ヲ防キ容易ク相當ノ賃銀ヲ得セシムルニ至ルヘシ

ペラミー氏ハ上ノ如ク滔々トシテ失業者殖民場ノ利益ヲ稱道スレトモ社會主義者ハ一人トシテ氏ニ贊スル者ナシ、思ヘラク失業者ノ一團體ハ誠ニ不完全ナル一階級ニシテモトヨリ彼等ニ歸スヘキノ罪ハ之レ非ストスルモ彼等ヲ率キテ一個別天地ナル殖民場ニ移シ獨立シテ生計セシムル時ハ、如何ニ努力スルトモ必スヤ名譽アル殖民場ヲシテ無用有害ノ區トナシ、國家ノ事業ヲシテ憐ムヘキ救貧事業ニ終ラシムヘシ、此等

ノ點ヲ以テ社會主義者ハ如ク社會ヨリ獨立シタル失業者殖民策ニ反對シ能フヘクハ他ノ方法ニテ國家的事業トセン事ヲ欲セリ

然レトモ奈何セン他ニ良案ノ取ルヘキモノナキヲ第一着手スヘキハ失業者中ノ種々ノ異分子ヲ分類スルコトナリ、ジョン、バーンス氏ハ曰ク

眞ノ勞働者ヲカノ無賴浮浪ノ徒ト區分セサル間ハ失業者問題ハ決シテ適當ニ解釋セラレサルヘシ、カノ浮浪徒小窃盜無賴漢等實ニ憐ムニ堪ヘタル者ナリト雖モ之ヲ純直ナル勞働ヨリ截然區別シテ處理セスンハ兩者共ニ長ク恩惠ニ浴スルコト難シ旭日己ニ登ル事三竿、漸ク目覺メテ職業ヲ求メ而シテ職ノ乏シキヲ嘆スル紳士輩ハ慈眼一個ノ值ナキ者ナリ、予ハ屢々カノ純直ニシテ専心職業ヲ求ムル勞働者ト怠惰無慚ニシテ偏ニ酒食ニ沈湎スル惡漢ト相混シテ會合ノ席ニ連ナレルヲ見タリト

然リ而シテ多數ノ社會主義者ハ常ニ謂ヘラク目下ノ狀態ニアリテハ尠ナクモ惰弱ニシテ悔ユルヲ知ラサル不徳漢ヲハカノ「エルマイラ」感化監獄ノ如キ種類ノ監獄ニ投シ勞働ヲ教ヘ之ヲ強制セシム可シ、彼等ノ多クハ背徳無慚ノ輩ナリト雖、中ニハ嚴格ナル訓練ノ許ニ指導シ得ヘキ者尠シトセス、若シ勞働ニ堪ヘサル無能者アラハ之ヲ工インダストリアル藝院ニ送致スルノ外ナシ、自余ノ能力アリ勤勉ナル者ニハ左ノ如キ方法ニ從ヒテ職業ヲ與フ可シト

(一) 所謂失業者ノ數ヲ成ルヘク減少スル爲メ、政府ハ多クノ勞働事務所ヲ作り、職業ノ存スル限リ私人ノ業務ニ從事セシムヘシ

(二) 救済スヘキ失業者ノ範圍ヲ制限センカ爲ニ都市ニ命ジテ職業ヲ與フヘキ失業者ハ一定ノ年期間其市内ニ居住シタリシ者ニ限ラシムヘシ

若シ然カセサレハ全國ノ失業者ヲ一都市ニ蝟集セシムルノ憂アリ

(三) 男子ノ失業者ニ關シテハ、眞ニ該市ノ住民ニシテ實際職業ヲ失ヘル者ニ限り、之ニ與フル職業ハ眞ニ該市ノ改良ニ必要ナル事業ヲ以テシ其事業ヲ興スニハ決シテ私人ノ資本ニ依ル可ラス、而シテ技能ニ秀テタル失業者ニハ之ニ應シテ手腕ヲ要スル職業ニ就カシメ然ラサル者ハ又之ニ從ツテ技能ヲ要セサル職業ヲ取ラシムヘシ、勞働時間又ハ賃銀ハ其事務ニ應シテ職工組合ノ定ムル處ニ從フヘシ、之ニ要スル費用ハ次ノ二財源ニ據ル可シ

第一、新租稅ヲ賦課スルコトナクトモ市ノ事業ヨリ得ル利潤ヲ使用スヘシベルリン市ニ於テハ其歲入ノ半額ハ市ノ事業ノ收益ニシテグラスゴ<sup>1</sup>其他二三ノ都市ニ於テモ同様ノ結果ヲ示セリ、若シ此政策カ私設團體ノ事業ヲ妨ケ其雇ヘル勞働者ヲ解雇スルコトアラハ、市ハ其團體カ解雇シタル人員ヨリモ多數ノ勞働者ヲ雇ヒ入ル可シ是レ市ハ短時間ノ勞働期ニテ大計畫ノ事業ヲナシ、而シテ私設團體ヨリモ高キ報酬ヲ以テ多數ノ勞働者ヲ雇ヒ入レ、而カモ尙其費用ヲ支出シ得ヘケレハ也

第二、地價ニ對スル稅律ヲ直上ケシテ歲入トナシ、土地ヲ抵當トシテ投機ヲ爲スヲ防キ、建築工事ヲ獎勵シ由テ以テ多クノ職業ヲ得セシムヘシ、其他新開ノ市區ヲ掃除シ、外觀ノ美麗ニ注意スルト共ニ衛生等ニモ注意スヘシ

女子ニ關シテハ販賣ヲ目的トセル衣類ヲ私宅ニテ製造スルヲ禁シ、別ニ製造場ヲ設ケテ他ノ商品ト等シク大規模ニテ製造セシメ就業ノ時間ヲ嚴定シ兒童ヲシテ大人ノ勞働者ト共ニ就役セシメス以テ規律正シク職業ヲ與フヘシ、而シテ男子ハ皆其家族ヲ支フルニ足ル賃銀ヲ儲ケ得ンニハ、未婚ノ婦人、寡婦、其他倚ルヘナキ女子ノ爲ニ名譽アル職業ヲ與フルコト誠ニ易々タルノミ

上來述ヘタルハ是レ一般ノ社會主義者カ失業者殖民策ニ反對シテ主張シタル方針ノ大要ニシテ、社會主義カ進ンテ一變化ヲ來タサ、ル間ハ其說ヲ變化セシムルコトナケン

個人主義ヲ執レル人々ハ國家事業ノ成功ヲ疑ヒ、寧ロ一般ニ論究シテ手工ノ練習ヲナサシメ中庸節約ノ徳ヲ施カシメントセリ

獨逸、瑞西ノ諸國ニ於テモ失業保問題ニ關シテ企ツル所ナキニシモ非サレト、未タ日尙ホ淺キヲ以テ充分其効ヲ評論スルニ足ラス

### 第貳篇

#### 第壹章 米國都市ノ失業救濟制度

商工業ノ不景氣ニ伴ヒテ失業者ノ數ハイタク増加スルモノナリ、亞米利加合衆國勞働公報第一輯ニ據レハ一千八百七十三年ヨリ引キ續キテ一千八百七十八年ニ及ヘル不景氣ノ際マサチューセツ洲ニ於テ職業ヲ失ヒタル勞働者ハ約三十萬人ナリ而カモカ、ル不景氣ハ數年間繼續シ其連續シテ勞働ニ從事セシ者ハ同洲内ニテ僅々三十一萬八千人ニ過キサリキト云フ

當時同洲ノ勞働局ニ於テ調査シタリシ報告ヲ見ルモ猶失業者ハ三萬人ヲ下ラス。昨今ノ不景氣ニ於テヨレゴノ洲知事ノ報告ニ據レハ同洲ノ勞働者中其三分ノ二ハ失業シ其失業者中ノ三分ノ一ハ恰モ適當ナル活計ノ手段ヲ有セサルモノナリト云フ、然レトモクロッソン氏ハ此報告ヲ以テ餘リニ誇大ニ失セリトナシ、失業著ノ三分ノ一カ活路ヲ失ヘルヨリモ寧ロ此報告コソ却テ其證據ヲ失ヘルモノナレトテ私カニ之ヲ嘲笑セリ

一千八百八十二年ヨリ一千八百八十五年ノ不景氣ニ於テハ全國ノ失業者凡ソ一百萬人ナリト稱シ、下リテ一千八百九十三年ノ大危難ニ連續シテ起リタル最近ノ不景氣ニ際シテハ職工組合ノ計算ニ由レハ四百五十萬ノ失業者アリキト謂ヒ稍々緩和ナル計算ニ從フモ猶百萬人ヲ下ラスト謂フブラッド、スツリートニ致サレタル報告ニシテ、其顛末ノ一千八百九十三年十二月二十三日ニ出版セラレタル公報ヲ見ルニ百十九個ノ都市ニ於テ、總計百九十五萬六千百人ノ家族ヲ有セル勞働者八十萬一千五十五人ハ其業ヲ失ヘリト謂ヒカルロス、シー、クロッソンカ隔週經濟雜誌ニ寄稿セントテ調査シタリシモノニ據ルニ六十ノ都市ニ於テ、五十二萬三千八十人ノ失業者アリキト謂フ、此計算ハ上ニ述ヘタルブラットスツリートノ公報ト略ホ其比ヲ同シウセルヨリ推察スレハ以テ其真相ヲ算シ得タルニ庶幾カララン乎

失業者ノ統計ニ關シ、亞米利加合衆國內ニ於テ、最モ周到綿密ナル調査ヲ遂ケタリシハ一千八百八十五年ノ不景氣ニ際シ、マサチューセツ洲勞働局ノ調査シタル者ナルヘシ、其調査ノ大要ハ即チ左ノ如シ

當時同洲内ニ於テ收入アル職業ニ從事セシ者八十一萬六千四百七十人ナリシカ、此不景氣ノ結果トシテ

右ノ内二十四萬一千五百八十九人ノ失業者ヲ生シタリ、之ヲ時間ニ換算シ各個人ノ本業ノミニ就テ云ヘハ總計八萬二千七百四十四年ニ相當ス、但シ多クノ人其本業ヲ持續スルコト能ハサル際ニハ往々何等カノ副業ヲ得ルモノナリ、故ニ此時間ノ計算ヲ適當ニ引キ去レハ全然徒費セラレタル正味ノ労働時間ハ七萬八千七百十七年ト七割九分ナリ、今此消費時間ヲハ初メ利純アル職業ニ從事セシ悉皆ノ労働者間ニ平均スレハ各人一箇月ト一割六分ノ間無職業ニテ經過セシニ相當シ、單ニ一時業ヲ失ヒタル人々ノ間ニ而已之ヲ平均スレハ、一個人ノ失ヒタル時間ハ三箇月ト九割一分ナリ、是ヲカノ誇大ナル報告ト比較スレハ痛心スヘキコト甚タ尠ナキニ似タレトモ、實際ノ損耗ハ却テ夥シキモノアリ、第十一回亞米利加合衆國々勢調査ニハ其調査期間ニ於テ業ヲ失フコトノ爲ニ消失シタル時間ノ計算ヲモ詳カニスル計畫アリタリ、カ、ル調査ハ全國ニ亘リテ平時ノ状態ヲ知ルニ尤モ便ナレトモ未タ完成ヲ告ケサレハ、爰ニ引用スルコト能ハサルヲ遺憾トナス

由來各種ノ失業者ヲハ、猶一層精密ニ研究シ一々異同ヲ辨シテ、之ヲ類別スルハ甚タ容易ナラサル事ニ屬スト雖、之ヲ完成スルニ非サレハ、失業者ノ報告ハ皆幾分カ不明了ナルコトヲ免レサル可シ、サレハニヤ英吉利國商工局労働課ニ於テハ「失業者ノ處遇及ヒ其方法」 Agencies and Methods for Dealing With the Unemployed ト題スル報告書ヲ出版シ普通一階級ト見做サル、失業者ヲ稍明晰ニ分類シテ左ノ四種ニナセリ

(第一種) 此種ノ中ニハ小時間ニテ果サルヘキ仕事ニ雇ハレシ労働者ニシテ其小仕事ノ終ルト共ニ解雇セラレ未タ他ノ職業ヲ得サル者ヲ含ム、如斯基失業者ハ單ニ「仕事漏レ」トシテ呼フヘキヲ穩當トナス

(第二種) 此種ノ中ニ屬スルハ、期節ノ推移ニ伴ヒテ仕事ノ多寡一定セサル職業ニ從事セル労働者ナリ、其職業ノ中ニハ一仕事ノ殆ト一年間連繋スル者多ケレトモ、中ニハ造船業ノ如キ數箇年ニ亘ルモノアリ或ハ又一箇年ヨリモ短日月ナルモアルナリ

(第三種) 此種類ニハ經濟上需要ヨリモ饒多ナル職業ニ從事シタリシ労働者ヲ屬セシム、斯ノ如ク社會ノ需要ヨリモ職業ノ多キニ過タル所以ハ之ヲ習得スル者ノ多數ナルニ由ルコト、其一原因タルナリ、或ハ一般商工業ノ推移ヨリ來ルコトアリ、或ハ又各地方ニヨリ實業ノ性質及其種類相變化スルヨリ來ルコトアリ、其他數ヘ來レハ幾多ノ原因ヲ探リ得ヘシ

(第四種) 世ニハ從事スル職業ノ技能ニ於テ、世間一般ノ程度ヨリ拙劣ナルカ爲ニ、其職業ヲ得サル者アリ此等ノ者モ一種トシテ此中ニ數エ得ヘシ

「失業ノ結果ハ恐ルヘキモノ多シト雖、就中其尤モ寒心スヘキ一方面ハ左ノ事實ナリ、即チ職業ノ缺乏又ハ其不定ナルコトハ労働者ヲ無能ナラシムルニ於テ、偉大ナル力ヲ有スルコトアリ、其肉體ニ於テハ營養ノ不良ナルカ爲ニ次第ニ衰弱ヲ來タシ、其精神ニ於テハ規律正シキ職業ヲ欠クカ爲ニ道德上ノ墮落ヲ來ス」或ル一定ノ時間ヲ限リ、一定セル職業ノ範圍ニ就テ謂ハンニ、一千人ノ佳良ナル失業者ハ肉體上ニ於テモ道德上ニ於テモ將又智力上ニ於テモ實際ノ職業ヲ有スル一千人ノ不良ナル有業者ヨリモ拙劣無能ナリ、但シ能力ノ如何ハ重ニ實業上ノ問題ニシテ、慈善問題ニ關スルコト極メテ少ナシ、茲ニ吾人カ討究セントスルハ専ラ無職業者カ結局貧窮ニ陥リシ場合之ヲ如何ニ處遇スヘキカトノ問題即是也

窮民救助ニ關シテ尤モ困難ナル問題ハ失業ノ爲ニ活計ノ方途ヲ立ツルコト是ナリ、英國ハ遠クエリザベス女王ノ時ヨリ時々此問題ノ爲ニ力ヲ致セリエリザベス王朝ノ時初メテ實行セラレタルモノハ、即チ英國救貧法ノ第一着手ニシテ窮民ヲ勞役ニ就カシムル方法ヲ設ケ之ニ要スル費用ヲ租稅ヨリ徵收スヘキコトヲ命令セリ、抑テ此論文ノ脱稿セシハ一千八百九十四年ノ三月ニシテ、我亞米利加ニ於テハ時恰モ失業者ノ爲ニ特殊ナル救濟法組織サレ此救濟法ハ空前ノ大經營ヲ以テ實行サレツ、アリシカ、其結果ノ奈何ハ興味アリ、且ツ有益ナル參考ニ資スルヲ得ヘケンモ惜ムラクハ未タ其顛末ヲ詳カニスルコト能ハサルヲ憾ミトスサレトモ從來各國ニ於テ行ハレタリシ種々ノ經驗ヲ綜合スルニ救濟ノ原則ハ凡ソ三箇條ニ分ツコトヲ得ヘシ

(第一) 職業ヲ與エテ失業者ヲ救濟スル方法モ、他ノ救濟法ト等シク、先ツ用意周到ナル調査ヲ遂ケ然ル後之ヲ實行スヘキモノトス

(第二) 救濟ニ資スヘキ職業ハ必ス眞ニ有用ナル職業タルヘク決シテ故意ニ假設シタルモノヲ以テスヘカラス、且ツ能フ限リニ於テ收利アル職業ヲ選擇スヘシ、而シテ假令試驗的ニ設ケタル職業タリトモ之ニ從事スル者ヲシテ相當ノ時日ノ間ハ連續シテ勞働セシムヘシ

(第三) 官廳ト個人トヲ問ハス、經濟的事情ノ困難ナルカ爲、世ニ必須ナル職業ニシテ、而カモ猶低廉ノ賃銀ヲ以テ成シ得ヘキノ機會ヲ發見セシ際ニハ直ニ之ヲ商業的利益ノ點ヨリ着手シ決シテ救助の原則ニ從テ行フ可ラス、是レ如キ手段ヲ取ルハ却テ商工業ノ不振ヲ回復スル根本的ノ治療ナレハナリ

抑テ一步ヲ轉シテ、重ナル慈善事業カ不斷ノ標的タルヘキ浮浪徒ニ關シ、聊カ論スル處アルヘシ、余ハ知レル限リニ於テハ、亞米利加合衆國內何レノ地方ニ至ルモ皆此浮浪徒處遇ノ問題ニ關シテ焦眉ノ急ヲ感シ東ハボストンヨリ西サン、フランシスコニ至リ、北ハセント、ポールヨリ南ハニュー、ヤルレアンニ及フ迄毎回ノ報告一ツトシテ浮浪徒ニ關スル歎聲ニアラサルハナク、何レモ特ニ其多數ナルコトヲ證言セリ人若シ教授マッコックノ所論ヨリ推理スレハカオチカット洲ハートフォールド市ニハ特ニ多數ノ浮浪徒ノ存在スルヲ知ルヘク、若又インヂヤナ洲立慈善會議刊行ノ報告書ヲ一讀セハ該洲ニ於ケル浮浪徒ノ著シク多數ナルニ驚駭セン、更ニ轉シテニュー、ヨルク市ニ赴カハ此ニモ亦特ニ多數ノ浮浪徒アリテ、警察署無料宿泊所病者安直宿泊所等ニ充滿シ、且ツ浮浪少年者ハ小兒保護協會ノ建設ニカ、ル六個ノ整頓完備セル寄宿所ヲ悉ク占有スルヲ見ン

更ニ轉シテ英國ヲ見ルニ、<sup>イギリス</sup>英蘭ノミニ於テモ數年前ノ計算ニ據ルニ浮浪徒三萬人ト註セラレ、更ニ大英國全體ニ於テゼネラル、ブリスノ報告スル所ニ據レハ浮浪徒ノ總數實ニ十六萬五千ノ多數ニ及ヘリト謂フ但シロンドン府聯合慈善協會ハ當時百五十頁ノ小冊子ヲ出版シ、同府内ニ於ケル浮浪徒ノ調査始末ヲ掲ケ上ノ計算ノ稍々多キニ過クルコトヲ示セリ、乍併該協會ハ此問題ノ誠ニ緊要ナル一大問題ニシテ、一日モ忽諸ニ附ス可ラサル者ナルコトヲ懇切ニ開陳シ痛ク世人ノ反省ヲ促セリ

更ニ一葦ノ帶水ヲ隔テタル獨逸國ニ入ランカ、幾多ノ浮浪徒群ヲナシテ、國民嘆嗟ノ中心トナリ、其總數多キ時ハ二十萬少ナキ時モ尙ホ四萬人ヲ下ラス、實ニカノ大組織ヲナセル木賃宿兼帶ノ橫割場及ヒ二千五

百人ヲ收容スルニ足ル勞働殖民地等ノ制度ハ皆是等浮浪徒ノ爲ニ設備セラレタルモノナリ  
加之漂泊無宿ノ乞食ニ對スル嘆聲ハ露西亞ニ於テモ宜シク領事ノ報スル處ニ據レハ浮浪徒ノ繁殖ハ漫延セ  
リト云フ

浮浪徒ニ關スル地理的ノ研究ハ、如上開陳シタルヲ以テ中止シ、更ニ進ンテ之ヲ歴史的研究ニ委ネントス  
吾人ハ開闢以來何レノ時代ニ於テモ浮浪徒ノ群集夥シク存在シテ、國家ヲシテ災厄ノ深淵ニ沈淪セシメシ  
コト蓋シ尠ナカラサルヲ知ル也、若シ夫レ世人カ好ンテ最初ノ殉教者ヲ尋ヌルニ倣ヒ、假リニ最初ノ浮浪徒  
ヲ求メンカ歴史初マリテ未タ久シカラサルノ時其弟アベルヲ殺シテ野ニ彷徨流浪セシカインニ於テ之ヲ見  
ルナリ浮浪徒ノ起原スル處夫レ斯ノ如ク遠シ、然レト彼等浮浪ノ輩ト雖モ進化ノ埒外ニ存スル者ナランヤ  
彼等モ亦星ト共ニ移リ、歳ト共ニ變リ年々歳々其面目ヲ新ニセサルハナシ、カノ僅少ナル費用ヲ以テ旅行シ  
得ル新手段ヲ講シ、遂ニ旅行券制度又移住法案ヲ破却スルヤ、浮浪徒ハ茲ニ一種ノ新性質ヲ帶ヒ來リ、遂ニ  
カノ「コックシー隊」ノ如キモノヲ見ルニ至レリ（譯者註シテ曰ク「コックシー隊」トハヨロヨロノヤコブ、  
セルヘル、コックシー氏カ其副將ブラウン氏ノ説ヲ容レテ、一千八百九十四年三月失業者及之ニ同情ヲ  
表スル一味ヲ糾合シ大舉シテワシントン市ニ進軍シ、議會ニ向テ失業者ノ悲惨ヲ目睹セシメ、其救濟ヲ  
請願シタルニ初マリ、カ、ル行動ヲ總稱シテ「コックシー主義」ト云ヒ、其一隊ヲ「コックシー隊」ト呼フニ  
至レル也

カタシテ世ハ次第ニ其家族ニ對シ、或ハ其隣人ニ對スル義務拋棄スルニ容易トナリ、人ハ勞働シテ汗ヲ流サ

ンヨリハ寧ロ一定ノ居所ナクシテ流浪スルノ寧ロ多ク安樂ニシテ、且ツ世ニ處シ易キヲ擇フニ至レリ勞働  
ノ變易スルコト必スシモ惡シ、ト云フニハアラスト雖モ唯其結果ノ悲惨ナルヲ奈何セン

亞米利加ノ諸洲ハ浮浪徒ノ處分ニ關シテ、各自稍異リタル四種ノ方法ヲ取レリ、之ヲ左ニ略說スレハ

(第一) コハ浮浪徒ノ來リテ目ニ觸ル、ニ從ヒ、之ヲ他郷ニ追放シ、其災害ヲ避クル方法ニシテ處遇法多  
キカ中ニモ尤モ簡便ナルモノ也大抵何レノ大都市ニ於テモ窮民移轉ノ費目トシテ特別豫算ヲ立テ、之ニ備  
ヘ各支部ノ救貧吏モ、亦同一ノ目的ノ爲メ多少ノ金額ヲ支出セリ、如斯基資金ハ殆ト何等適切ナル討究ヲ  
經ルコトナクシテ使用セラレレカ職責ニ任スル官廳モ、其間フ處唯浮浪徒ヲ其請願スル地ニ送ルニハ、費  
用ノ點ニ於テ低廉ナリヤ否ヤニ止マリ其以上ニ於テ些ノ効果ヲモ念頭ニ置カサルモノ、如シ、曾テバルチ  
モアー市ニカ、ル資金アリテ市長秘書官ノ手ニヨリテ支拂ハレタリシカ同秘書官ハ規則上浮浪徒ヲハ單ニ  
次ノ大都市ヘノミ送り得ルニ止マリシカハ「若シ浮浪徒ニシテニュー、ヨルク市ニ赴カント願フ者アラハ  
之ニファイラテルフィア市迄ノ汽車切符ヲ與エテ、其地ニ赴カシメ、其以上ハ同市ノ市長ヲ特ミテ目的地迄達  
セシメタリ、カ、ル方法ヲ以テ夥シキ浮浪徒ヲワシントン市ニ送致シタリシカ、バルチモアー市ハ洒然ト  
シテ辨解シテ曰ク「ワシントン市ハ先ニ夥多ノ浮浪徒ヲ我市ニ送りタリ、故ニ我ヨリモ之ヲ送りテ平均セ  
シムルハ是レ當然ノコト而已」ト

浮浪徒處遇ニ關スル各小都市ノ狀況ヲ審ニシタルハインデヤナ洲第一回慈善會議ノ評論ナリ該市々立養育  
院ノ監督者ハ一堂ニ會合シテ浮浪徒ニ關スル議論ヲ上下シ、各々其處遇法ニ關スル經驗ヲ比較討究セリ、此

研究ノ餘端ナクモ該市々立ノ養育院及救貧院ハ何レモ皆浮浪徒ヲ宿泊セシムル爲一個若シクハ數個ノ居室ヲ備ヘ、彼等ノ勞働ニ堪ヘ得ル者ナリヤ否ヤヲ試驗スルコトナク、直ニ宿泊ヲ許シ、食物ヲ與ヘ居タリシ爲メ善意却テ惡果ヲ結ヒ、盡力ハ遂ニ弊害ニ終リ、彼等ヲシテ甘シテ浮浪ノ生活ヲ繼續セシムルニ至ル而已ナルコトヲ暴露シタリキ、即チ該洲ノフオート、ウエーンニ於テハ會計課ノ報告ニ據ルニ浮浪徒ヲ他町村ニ放逐スル爲流車賃二百三十一弗六十五仙ヲ費セリ、之ヲ一人ニ平均スルニ六十九仙ト二分ノ一ナリト云フ、他ノ町村ノ報告ヲ見ルモ、略之ニ似タル金額ヲ費シ居レリ、而シテ今ヤ全洲ノ委員相會合シテ之等ノ報告ヲ比較スルヤ、爰ニ初メテ彼等ハ無益有害ナル過失ヲ行ヒツ、アリシヲ發見シ、愕然トシテ覺醒シ爾來着々改良ノ途ニ就キタリ、然ルニ不幸ニモ他ノ諸洲ハ概テカ、ル會合ヲ有セス、舊態依然トシテ昨非ヲ反覆シツ、アルナリ

此浮浪徒所遇ノ第一法ノ難點ハ云フ迄モナク、其法浮浪徒其物ノ爲ニ設ケタルニ非スシテ、單ニ浮浪徒ナル一大重荷ヲ此ノ社會ヨリ他ノ社會ニ轉輸スル爲タルニ外ナラサル也

諸市ノ官省皆此事實ヲ認メ得サルニハ非スト雖、而カモ猶カ、ル拙劣ナル方法ヲ放抛シ得サル所以ノ者ハ畢竟己カ市町村ヲ以テ他ノ諸隣洲ノ窮民塵捨場タルヲ欲セサルカ爲メ而已

(第二) 浮浪徒處遇ノ第二法ハ、輕罪ヲ以テ之ヲ罰スルニアリ、即チ彼等浮浪罪ヲ以テ逮捕シ、且ツ之ヲ禁獄ニ處スル乎、若クハ之ヲ救貧院ニ送致スル乎ニアリ、是レ往時英吉利ニ於テ所謂「ストリート・ベグガース壯健ナル乞食」ヲ所遇セシ方法ナリ、乍併其昔ニ於テハ浮浪徒ノ禁錮セラレタリシ監獄ハ甚タ良好ナル物ニ非サリシカハ浮

浪徒中自立シ能ハサル者ヲ逮捕シ、之ヲ教區外ニ追放シタリキ、其追放ノ際ニハ或ハ烙印ヲ施シ、或ハ兩耳ヲ殺キ、其外今日ヨリ見レハ野蠻ノ振舞ト思ハル、種々汚辱ヲモ加ヘタリ

一千八百七十九年カネチカツト洲ニ於テハ一ツノ法律ヲ制定シ、浮浪徒ハ悉ク一ケ年以上ノ禁錮ニ處スルコト、セリ、該法律一ト度實施セラル、ヤ、其成功殆ト無類ナルカ如キ觀ヲ呈シ、先ニハート、フオードノ警察署ニ宿泊セシ浮浪徒ハ其數八十五人乃至百三十人ナリシカ、今ヤ減シテ三人乃至五人トナルニ至レリ、且ツニユー、ヘーブン市ノ警部長ハ此法律ノ效果意外ノ邊ニ現ハレ盜マンカ爲ニ乞食ヲ襲ヒテ町村ヲ彷徨スル犯罪者ノ一團ヲ驅除スル好手段トナリタルコトヲ述ヘ、報告シテ曰ク「今ヤ從前ノ如ク戸々ヲ遍歴スル乞食ハ一人モナキニ至レリ」ト村落ノ役場モ等シク皆此法律ノ施行ヲ喜ヒ、一時ハ此處遇法以テ全浮浪徒ヲ救治スルニ足ルト迄信セラレタリ、然ルニ浮雲ハ一定ノ場所ニ永ク留マルモノニアラス、該法律ニ關スル信任ハ程ナク地ニ委シ去ラレ土ヲ捲キテ舊態再ヒ重來シ、僅ニ後車ノ戒鑑ヲ遺シ、壓制的法律ノ如何ニ此問題ニ關シテハ一時有効ニシテ、久シキニ亘リテハ却テ有害ナルカヲ知ラシムルニ足ラシメタリ若シ此方法ヲ嚴格ニ實行セハ、一時ハ全浮浪徒ノ影ヲ匿サシムルニ足ルヘシ、然レトモ正直ナル窮民ヲモ尙且ツ苛酷ナル處遇ヲ以テスルハ果シテ當ヲ得タリヤ否ヤハ、絶エス社會ノ人心ニ戰ク疑念タルヲ失ハサル可シ、而シテカ、ル嚴格ナル法律ハ多ク空文ニ終リ易ク、鎮壓ノ目的物タル惡漢ハ却テ其虛ニ乘シテ蔓延スルモノナリ

(第三) 浮浪徒處遇ノ第三法ハ世ニ尤モ普通ナルモノニシテ、即チ彼等カ請ニ任セテ、無差別ニ救助ヲナ

スモノナリ、若シ人來リテ門戸ヲ叩キ食ヲ乞ハ、之ヲ拒ム勿レ、一夜ノ宿錢ヲ求ムレハ之ヲ與ヘヨ、若シ警察署ニテ宿泊センコトヲ願ハ、彼等ノ爲ニ室ヲ備ヘ彼等カ室ニ滿ルマテ宿泊セシメヨ、自由旅宿ヲモ開キ而シテ之ニ食物ヲモ備ヘヨ若シ人嚴冬ニ來リテ救貧院ニ客タランコトヲ求メハ、双手ヲ擴ケテ之ヲ迎ヘ寒風凜烈タル嚴冬ニ温暖ナルカクレガ隠家ヲ與ヘ一陽ノ來復ト共ニ再ヒ出テ行カシメヨ如斯キハ是レ中世期ノ修道院ニ於テ行ハレタリシ方法ニシテ、亞米利加諸洲ノ内ニハ今猶之ヲ實行スル者尠シトセス、吾人一度ヒ此方法ヲ實施センカ、吾人カ財囊ノ重カラン限リ、幾百ノ浮浪徒ヲ招致シテ猶底止スル處ヲ知ラサル可シ、曾テ西國ノ一農夫數ヶ月間浮浪徒ト交ハリテ諸洲ヲ漂泊シ、其經驗ニ基キテ浮浪徒ノ生活事情及ヒ種々苦肉ノ奸策ヲ語リタリシカ、終末ニ臨ミテ沈思一番稍々解決ニ苦ミタル調子ヲ以テ論結シテ曰ク「嗚呼浮浪ノ生活タル滑稽諧謔ニ滿チ、事頗ル愉快ナリト雖、余ノ此生活ヲ追ヒ行カサリシ所以ノモノハ何トナク蟲ノ好カサリシカ爲メ而已」ト、此時ニ際シテ彼ヤ實ニ岐路ニ立タル者、右シテ眞ノ勞働者トナルヲ得ヘク、左シテ浮浪徒ト墮落スルヲ得ヘシ、而シテ彼ハ其良道ヲ擇ヒ、今ヤ相應ノ財產ト家族トヲ有シ、有福ナル生活ヲ樂シメリ、然レトモ先キニ流浪ノ際彼カ依頼セシ人ノ稍々寬大ニ失シテ且ツ亦淺慮ノ人タランカ、若シ彼ノ宣告セラレタル監獄ニシテ多少安逸ノ場所タランカ、或ハ若シ偶然彼ノ訪問セシ都市ニシテ猶數個ノ自由宿泊所ト「スーブ」ノ施與トヲ備ヘタランカ、彼カ選擇ノ方針何レノ邊ニ向ヒシヤ、未タ容易ニ推測ス可カラサルモノアリ、彼カ幸ニ良途ヲ擇ヒシ場合ノ如キハ、以テ一般ノ例證トナスニ足ラス、蓋シ概テ浮浪徒ハ、此農夫ノ如ク意識ニ反省シテ決斷スルコトナク、專ラ流水ノ卑キニ就クカ如ク、阻碍尤モ少

ナキ方向ニ從ヒ、不知不識ノ間途ニ浮浪徒生活ノ渦中ニ投入スルヲ常トス、ソレ如斯ク危機ニ際シテ失業  
者ノ事ヲ決スルヤ、實ニ無意識ノ餘ニ出ツト雖、彼等一度ヒ決スレハ牢乎トシテ亦拔ク可ラス、往々途ニ  
墮落ノ極ニ至ル豈恐レサル可ケンヤ

然リ其場合ノ如何ヲ問ハス、周密ナル調査ヲ經シテ無差別ニ物品ヲ施與スルハ單ニ金錢ヲ徒費スル而已  
ナラス、實ニ人格ヲ腐敗セシムル所以ニシテ、此方法ヲ改良シタルモノハ勞働ニ堪ヘ得ルヤ否ヤヲ確メタ  
ル後、救助ヲ與フルモノナリ、英吉利ノ窮民臨時保護所ハ實際ニ於テ此方法ヲ取レルモノニシテボストン  
市ノ「ボストン旅客宿泊所」ハ、合衆國ニ於ケル此種ノ企圖ノ好模範也

上來記述シタル浮浪徒ノ處遇ニ關スル三種ノ方法ハ何レモ之ヲ浮浪徒中或一種ノ者ニ限リテ適用スレハ、  
充分ノ効果ヲ收メ得ヘキモノナリ、即チ或ル種ノ浮浪徒ハ直接物品ノ救助ヲ要スルモノアリ、或者ハ刑罰  
ヲ受クルニ價值アルアリ、或者ハ追放シテ轉地セシムルノ要アル者アリ、如斯ク浮浪徒ノ種類極メテ多ク  
其性質モ亦一定セサルカ故ニ適當ニ之ヲ處遇スルニハ先ツ調査ニ便利ナル方法ヲ取り、病症ニ應シテ投藥  
スルノ策ヲ案セサル可カラス

(第四) 浮浪徒處遇法ノ内尤モ適當ニシテ且ツ緊要ナル救濟法ハ以下開陳スルカ如キモノニシテ都市ノ大  
小ヲ論セス、何レニテモ比較的容易ニ設備シ得ラル、モノナリ、然ルニカ、ル設備ヲ有スル所甚タ稀有ナ  
ルハ慨嘆ニ堪ヘサルコト也、此制度ハ先ツ第一ニ若干ノ建物又ハ土地ヲ占有シ嚴正ナル勞働ノ試験ヲ行ヒ  
且ツ浮浪徒ノ身分及ヒ前途ニ關スル調査ヲ結了スル迄ハ就役セシメテ其身ヲ支ヘシム、第二ハ食物及ヒ寢



室ヲ給與スル輕便法ヲ設ケ、第三ハ浴場及ヒ洗濯場ヲ備ヘ、第四ハ役員ヲ選ヒテ各浮浪徒ノ過去及將來ニ關シ、初メヨリ終リニ至ル迄完全ナル調査ヲ遂ケテ以テ臨機應變ノ處置ヲ取ラシムルモノナリ

亞米利加ノ都市ノ内此制度ヲ採用シテ成功セシハファイラデルフイヤ市ヲ以テ嚆矢トナス、該市ノ聯合慈善協會ハ木賃宿及ヒ檣割場ヲ設ケ特殊ノ委員ヲ擧ケテ無宿者ヲ處遇シタリキ、此設備一度ヒ成ルヤ、浮浪徒ノ警察署ニ宿泊スル者一人モ之ナク、警官ハ宿泊ノ請願者ヲシテ悉ク該協會ニ赴カシム、今其手續ヲ聞クニ茲ニ浮浪徒ニシテ救助ヲ請求スル者アラシカ、役員ハ一々彼等ヲ引見シテ其由來ヲ聞キ、請願ノ主旨ヲ具サニ陳述セシム、彼等ノ請願ハ種々ニシテ或ハ一定ノ住家ヲ得ントスルアリ、或ハ他所ニ於テ職業ヲ求メントスルアリ、或ハ他郷ニ親戚知己ヲ尋ネントスルアリ、實ニ其請願ヤ千態萬様ニシテ、必スシモ一ツヲ以テ律スヘカラサル也、以上述フルカ如ク請願スル處各々相異ルト雖モ、其申立ノ一々精細ニ調査セラル、迄ハ必スヤ先ツ彼等ヲ檣割場ニ入レ以テ其勞役ニヨリテ糊口セシム、浮浪徒ノ種類如何ヲ問ハス、彼等カ申立ノ外何等カ確實ナル實證アリテ、其請願ヲ許可スルニハ彼等ノ前途ニ取リテ之カ適切ナル良法タリヤ否ヤノ確證ヲ得ルニ非スシハ、一紙半錢ノ補助ヲモ與フルコトナシ、故ニ多數ノ浮浪徒中ニハ、自己ノ經歷ヲ語り、木賃宿反ヒ檣割場ヘノ通券ヲ受取リテ後、直ニ何レヘカ其妻ヲ匿ス者アリ、彼等ノ内ニハ、己カ經歷談ノ全然虛偽ニシテ調査ニ堪ヘ得サルコトヲ知レル者アリ、或ハ又調査中スラモ勞働スルコトヲ欲セサルモノアリ、之ニ反シテ、正直ナル窮民ト雖(其兒童タルト婦女女子タルト將亦大人タルトヲ問ハス)同シク町疇周密ナル調査ヲ遂クルニアラサレハ、決シテ救助ヲ成サ、ルモノナリ、サレハ其結果ヤ救助スル

ニ値セル浮浪徒ニ取リテハ大ナル便益ナレトモ遊惰詐欺ノ輩濟ニ對シテハ輕カラサルノ打撃ト云フ可シ

ボストン市ニ於テハ木賃宿及ヒ檣割場ノ該備アレトモ、未タ身元調査ニ關シテハ何等ノ試ムル處ナシ、故ニ初メ正直ナリシ浮浪徒モ朱ニ交ハリテ赤クナルカ如ク、此制度ノ中ニアリテ却テ不知不識ノ間ニ墮落ニ傾ク者アリ而シテ世人ハ時々救助金ヲ寄附スルノ外彼等ノ生命ニ要スル必需品ニ付テハ何等ノ考案ヲモセサルナリ

ニュー、ヘーブン市聯合慈善協會ノブレストン氏ハフィラ、テルフィヤ市ニ於ケル制度ニ改良ヲ施コシ、檣割場ヲ日暮前後ニ開放スル組織ヲ立テタリ、此開放ノ結果浮浪徒ハ救助ヲ乞フニ先チ、自立シテ生活セント欲セハ來リテ常ニ勞働スルヲ得ヘク、而シテフィラ、デルフィヤ市ニ於ケル如ク、一定ノ時間ヲ限リテ勞働スルニ非スシテ一定ノ賃銀ヲ儲ケ得ル迄勞働ニ從事シ得ヘシ、此市ニ於テモ身元調査ハ遺憾ナク行ハレ一度ヒ來訪シタリシ浮浪徒ニシテ遂ニ歸適スル處ヲ得タリシ者ニ關シテハ、其履歷悉ク明白ニシテ、一々掌ヲ指スカ如キ趣キアリ

ワシントン市ニ於テハ一千八百九十三年一月市設木賃宿ヲ開キタリシカ、當時警察署ニテ夜ヲ過コセシ者毎夜大凡百五十人ヲ下ラス

而カモ嚴冬ノ朔風凜烈ヲ極ムルノ候ナリシカハ、僅々五十人ヲ容ルルニ足ル而已ナル此木賃宿ニテハ、狹隘ヲ感スルコト速カナラント憂慮措ク能ハサリキ、然ルニ之ニ附屬セル檣割工場ハ勞働者ノ爲ニ夜ニ至リテ門戸ヲ開放シ、時ヲ定メスシテ相當ノ賃銀ヲ儲ケ得ル迄、檣割ニ從事スルコトヲ許セシカハ、警察署ノ

全然宿泊ヲ許サ、ルニモ拘ラス、此木賃宿ハ其冬期間別ニ設備ノ不足ヲ覺ユルコトナク、本年（一千八百九十四年）冬ニ於テモ同様ナリキト云フ、バルチモア市ニ於テモ、一千八百九十三年ヨリ翌年ニ亘ル冬期間、之ト同様ナル經驗ヲナシ、亦等シク良好ナル結果ヲ得タリシト云フ

如斯ク木賃宿制度ノ結果良好ナルヲ以テ、斯事業ニ親シク關係セル人々ハ言フ迄モナク、一般人民ノ多數ハ謂ラク「浮浪徒問題ハ此等ノ設備ニ由テ悉ク解決スルコトヲ得ヘシ」ト、然レトモ此制度ニ隨伴スル困難亦決シテ尠シトセス、唯一般社會ハ其困難ヲ閑却シテ顧ミサル而已、困難トハ何ソ

先ツ第一ニ來ルモノハ職業ノ撰擇是ナリ、抑モ浮浪徒ヲシテ如何ナル職業ヲ執ラシムレハ、彼等ニ取リテ尤モ利益アリヤト謂フコトナリ、彼等ヲシテ横ヲ割ラシメンカ、即チ蒸機仕掛ノ木挽業ト競争ヲ來タシ、石ヲ切ラシメンカ、是レ又石切機械業ト競争スルノ止ムヲ得サルニ至ンワシントン市ノ調査ニ由レハ、市用ノ爲メ横ヲ購入スルニ、市立木賃宿ニ附屬セル横割場ノ横ハ受負人ヨリ直接ニ購求スルヨリハ「ロード」（長サ八呎幅四尺立方ノ木材堆量）ニツキ八十仙高價ナリト云フ、是レ半ハ、官品購入ニ受負入札ヲ許ス法律ノ性質ニ由ルトハ雖、抑モ亦何レノ處ニ於テカ、一々手ツカラ斧ヲ振ヒテ割リシ横ノ機械割ヨリモ多クノ利益ヲ儲ケ得ヘキ理アラシヤ、フイラ、デルフイア市ニ於テモ慈善協會ノ絶エス感スル困難ハ、社會ノ商工業者ト競争シテ其横ヲ賣却スルコトノ難キコト即チ是ナリ、如斯ク其費用終始相償ハサルヲ以テ、ニュー、ヘーブン市ノ市役所ニ於テハ別ニ横割部ヲ設ケ、其工場ノ經常費ヲ支拂ヒ、且ツ救助ニ要スル食物及ヒ宿舍ノ通券料ヲモ支出セリ、ボストン市ニテハ横割場ニ於テ收益アリヤ否ヤニツキテハ、何等

注意セル調査ナシ、若シカノワシントン市ニ於ケルカ如ク、人々ノ額ニ汗シテ割リシ横ノ徒手シテ労働セサルヨリモ得ル所シカク甚タ大ナラサランニハ、明カニ此難問ノ解決ハ前途未タ遼遠ナルコトヲ證シテ餘リアリ、夫ノ英吉利ノ救貧院ヲシテ、其臨時被保護者ニ課スルニ純然タル義務的労働ヲ以テセシメシ所以ノモノハ、一ニ労働者ヲシテ全ク競争ヲ避ケテ、而カモ利潤アル職業ヲ得セシムルコトノ不可能ナルニ基因セシムハアラサル也、然レトモ如斯ク公然ト表明セル義務的労働ハ、實ニ不經濟ナル而已ナラス、實ニ良民ヲシテ墮落ノ深淵ニ陥ラシムルノ動機タルニ外ナラス、何トナレハ彼等被救助者ハ彼等カ從事セル職業ノ僅ノ利潤ヲモ儲ケ得サルコトヲ知り物品ノ救助ヲ受クルト何等擇フ處ナキ結果ヲ來タセハ也サレハ此義務的労働ヲ課スル唯一ノ長所並ニ利益トモ見做スヘキ點ハ浮浪徒ヲ強制シテ労働ニ就カシメ之ヲ威嚇スルニ効力アルコト及ヒ從テ請願者ノ數ヲ減少セシムルトノ點ニアリフ存ス、經濟上ノ點ニ於テハ斯ル方法ノ永續スル理由ナクカノボストン市ノ「ブアレントン、ホーム」ノ如キ特別經費ノ支出ヲ要スル横割場ノ成立スルハ、他ニ慈善家アリテ如スキ利潤ナキ制度ヲ補ヒ、充分ナル經常費ヲ寄附スル爲ニ外ナラス

横割場ヲ有スル木賃宿制度ノ浮浪徒テフ大難問ヲ解決スルニ足ラサル他ノ理由ハ、此方法ノ施行ハ必ラスヤ遂ニ機械的事業トナリ了ルヘキ傾向ヲ有スルコトナリ、浮浪徒各個人ノ利害ハ閑却セラレ彼等ハ次第ニ自立シテ良民トナルノ機會ヲ失ヒ、漸々墮落シテ習慣的浮浪徒ト化シ、唯日々正規ノ課業ヲ機械的ニ迪ルニ至ル也、此結果ヤ時ヲ得レハ乃チ牛飲馬食ヲ事トシ、浪々滄々トシテ歸適スル處ヲ失フ無頼漢ノ一大團隊ヲ生シ、彼等ヲシテ横割場及ヒ木賃宿トハ隨時來リテ、食料ヲ仰キ、宿ルニ居室ヲ求ムル一ノ避難所ナ

リト思惟セシムルニ至ル、謂フ勿レ彼等無賴漢ハ勞働ヲ強制スル木賃宿ニ來ルコトナシト、彼等ト雖何ソ僅少時間ヲ間ニ合セ的ノ職業ニ就クヲ否ム者ナランヤ、カ、ル無賴漢ノ一大團體コソ獨逸勞働殖民地ニ於ケル一大災厄ノ一ニ數ヘラル、モノナレ、而カモ各個人ノ身元ニツキ、殆ト何等ノ調査ヲモ成サ、ル時ニハ、一個人ニシテ一回ノ宿泊三日ヲ越ユ可ラサル規則ノ違反ヲモ省ミス、再三再四來リテ木賃宿ヲ煩ハス輩儕ヲ生スルニ至ル

斯ク木賃宿ヲ兼テタル横割工場制度ノ重ナル便益ハ一ハ以テ地方ノ市民ヲシテ怪シケナル浮浪徒來リテ救助ヲ乞フ時ハ之ヲ該木賃宿ニ送リテ其面倒ヲ免レシメ、二ハ以テ若シ一都市ニ於テ單一一個ノ市立木賃宿ヲ而巳有スルカ、或ハ數個ヲ有スルトモ互ニ相協同シテ救貧事業ニ當ル等ノ場合ニハ浮浪徒ヲシテ同一市内ヲ此處彼處ト彷徨スルコトナカラシメ、由テ以テ冬季間同一ノ場所ニ居ラシムルコトヲ得ルコト是ナリ浮浪徒ヲ同一ノ場所ニ收容スルノ便宜ハワシントン市ニ於ケル市立木賃宿ノ長所トシテ最良最善ノモノ也如上開陳シタル制度ハ實ニ必要缺ク可ラサル制度ナリト雖、該制度ハ單獨ニ組織ノミニテ運轉シ、以テ悉ク浮浪徒問題ヲ解決スルニ足ルモノニアラス、單ニ繼承シ來ルヘキ適當ナル處遇法ノ根底ヲ爲スモノニテ未タ確固タル救濟的方法ヲ保證スルニ足ラサルモノ也、既ニ屢々説示シタルカ如ク適當ナル處遇法ハ必ス先ツ精密ニ個人的事情ヲ調査シタル後ニ於テ初メテ考案セラル可ク、如何ナル良策妙案モ彼等カ浮浪ノ由テ起ル原因ヲ確メサレハ之ヲ施スニ由ナカラシ

次ニ亞米利加合衆國ニ於テハ地方監獄カウンティ・ゼイルノ不名譽ナル制度ヲ改良セサル可ラス、之レカ改良實行セラル、ニ

非スシハ、米國ニ於ケル浮浪徒問題ノ解決法ハ殆ト不可能ノ事ニ屬ス、改良トハ何ソ、曰ク因襲ノ久シキ習ヒ性トナレル浮浪徒及ヒ酒狂者ヲ不定刑期主義ノ宣告ニ依レル感化矯正ヲ目的トセル刑罰的機關ト連結スルノ法令ヲ發布スルニアリ、之ハ浮浪徒ニ關スルアラユル慈善事業ノ根底ヲ爲スモノ也、而シテカ、ル浮浪徒ヲ押送セラレタル矯正場ニ於テハ之ニ課スルニ嚴重ナル勞働ヲ以テシ、改善ノ證左現ハル、ニアラスンハ決シテ出場ヲ許ス可ラス、現今浮浪罪ヲ以テ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ハ僅々十日以上九十日間ノ禁獄ヲ命セラル、而已ニシテ、而カモ其監獄タルヤ温暖ヨク身ニ協ヒ、同囚ト共ニ「カルタ」ヲ弄ヒ煙草ヲ薰シ相互ノ罪惡ヲ評論スルモ亦自由ナレハ各自墮落スヘキ事柄ニ傾聽スルニモ亦適當セルノ場所ナリ、カ、ル有様ナレハ無賴漢ヲ逮捕シ之ヲ威嚇スルコトハ却テ彼等ニ恩惠ヲ與フル誓約ヲ爲スト異ナラサル也

調査類別當ヲ得テ斯ル有害ナル浮浪徒カ慈善事業ノ範圍内ヨリ驅除セラル、ニ至ラハ次ニ來ル可キ問題ハ老幼虛弱無能力者等ヲ保護スル爲ニ適當ナル機關ヲ設置スルコト是也

斯ル設備ハ木賃宿等ニテ處遇スヘキ浮浪徒ノ數ヲ減少スルニ於テ大ナル効力ヲ有スヘク、而シテ若シ此事業ノ監理者ニシテ健全ナル同情及ヒ判斷力ヲ有シ、其位置モ亦浮浪徒ヲ導キテ其適當ト信スル職業ニ就カシムルヲ得ヘキ處ニ置カレタランニハ彼必スヤ種々ノ請願者ヲ明白ニ分別シ、各個人ニ對シテ正當ナル處遇ヲナシ得ヘシ、亞米利加合衆國ニ於テハ何レノ洲ステート・カウンティト郡トヲ問ハス、何レモ皆充分ノ資産ヲ有スルヲ以テ若シ其資産ニシテ根本的救助ノ必要ニ適合スヘク巧妙ニ使用セラレタランニハ浮浪徒處遇問題ノ成功ハ期シテ俟ツヘキ也

唯困難ナルハ英國ニ於ケルカ如ク其處遇法ノ極端ナル嚴格ヨリ極端ナル寛容ニ走リテ、其方針歸一スル處ヲ知ラサルコト是也、殊ニ其多クハ處遇寛大ニ失シ、浮浪徒ヲシテ其浮浪ノ生活ヲ以テ習慣的トナラシメ遂ニハ流浮漂泊シテ放逸ナル一生ヲ送ルヲ以テ一個ノ權利ナルカ如ク思ハシム、是レ最モ畏ルヘキノ弊害ナレハ當事者タルモノ須ラク猛省スル所アリテ之カ爲ニ使用スル金錢ト勞力トヲシテ空シク水泡ニ歸セシムルコトナクハ洵ニ一大幸福ト謂フ可キ也

第貳章 獨逸及和蘭ニ於ケル勞働殖民地

獨逸及ヒ和蘭ニ於ケル失業救濟法ハ失業者ノ問題ヲ研究スル吾人ニ取リテハ尠ナカラサル教訓ヲ與フルモノニシテ、深ク討究スルノ價值アリ、故ニ以下聊カ之ノ問題ニ關シテ記述スル處アル可シ

文明各國ニ行ハル、失業者處遇ノ方法ヲ大別スレハ左ノ三種又ハ四種トナル可シ

(第一種) ノ失業者ハ職業ニ堪フル能力ヲ有シ乍ラ、時勢ノ非ナルカ爲ニ職ヲ失ヒタル者ナレハ之ニ物品又ハ生業ヲ扶與シテ、一時ノ急ヲ救ヒ、漸時彼等ノ爲ニ適當ノ職業ヲ周旋スル方法ヲ取ルモノ也

(第二種) 失業者ノ大半ハ職業ニ就クノ能力ナキ者ト雖、教育訓練ノ力ニ由テ能力アル者トナルカ故ニ彼等ヲ訓練スルノ目的ヲ以テ救濟セントスルモノ也

(第三種) ハ失業者ノ大多數ヲ以テ普通ノ商工業務ニ關係スルニハ全然能力ナキ者ト假定シ特ニ殖民地ヲ設ケ、社會ヨリ離隔シテ以テ自立ノ方法ヲ執ラシムルモノ也

右三種ノ救濟法ハ其經驗ヲ重スルニ從ヒ、漸次進歩ノ實ヲ示シ、失業者ヲシテ幾分カ國家ノ寄生蟲タルコ

トヨリ免レシムルヲ得ルカ如シト雖、最後ノ第四種ニ至リテハ到底自立シ得サルモノ也

(第四種) ノ失業者ハ失業者中ノ渣滓ニシテ、訓練モ制度モ遂ニ彼等ヲシテ救濟スルニ於テ何等ノ効力ヲ現ハサ、ル難物ナリ、其故ニ彼等ノ爲ニハ特別ノ殖民地ヲ設ケテ茲ニ移住セシムレトモ、自衛自活ヲ以テ目的トナスモノニ非ス、是ヲ以テ該制度ハ事實ニ於テ救貧院ト選フ所ナシ

亞米利加合衆國ニ於ケル救濟制度ノ多クハ第一種ニシテ、獨逸國殖民地ハ第二種ナリ、而シテ和蘭國フリス、浪徒ホームレス、殖民地ハ第三種ニシテ、和蘭國ベッガロニス乞食殖民地ハ第四種ニ屬スルモノ也

今ヲ距ル十年前獨逸ニ於テハ乞食及ヒ浮浪徒ノ數大ニ増加スル傾向ヲ示シ、同國民モ概ネ彼等ニ向ヒテハ無差別ニ救助ヲ與ヘタリ、斯ク無差別ニ救助ヲ與ヘシ所以ノモノハ彼等ヲ飢渴ヨリ救濟スルノ方法ヲ知ラサリシカ爲也、此時ニ當リ新教ノ牧師フオン、ボーデルユシイングハ癩癩病者ノ救護事業ニ關係シタリシカ彼ハ癩癩病者ヲ救護スルノ條件トシテ勞役ニ就キシモノ而已ニ限リテ救助ヲ與フルコト、セリ、此方法ノ實施セラル、ト共ニ救助ヲ請願スル者ノ數ハイタク減少シタリシカ、其請願者ノ種類及ヒ性質ハ大ニ進歩シタリキ一千八百八十二年三月牧師フオン、ボーデル、シウイングハ地ヲベルリン、ケルン間ノ高地ニ近ク、ビーレフェルドノ工業市ヨリハ殆ト十哩ナル或ル荒蕪ノ地ニトス、此地ヲ名ケテウイルヘルムス、ドルフト云ヘリ、是即チ第一勞働殖民地ノ基礎ナリ、此殖民地ノ最先ノ目的ハ宗教及ヒ地位ノ如何ニ拘ラス、苟モ勞働ヲ欲シ且ツ之ニ堪ヘ得ル失業者ナランニハ、直ニ之ヲ收容シ正業ヲ發見シ得ルマテ耕耘及ヒ其他ノ勞役ニ從事セシムルモノ也、而シテ第二ノ目的ハ勞働ヲ嫌惡スル浮浪徒ヲシテ正業ヲ有セサルカ爲ニ止ム